GS450h / GS460 / GS350

ナビゲーションシステム取扱説明書



目次

1	車載機の操作	5
2	GPS ボイスナビゲーション	35
3	オーディオ＆ビジュアル	167
4	エアコン・デフォッガー	327
5	音声操作システム	339
6	情報	365
7	周辺監視	375
8	ETC システム	421
9	ハンズフリー	439
10	G-Link	489
	索引	613

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

- 本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書とあわせてお読みください。
- レクサス販売店で取り付けられた装備（ディーラーオプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書の画面の色は印刷インクの関係で、実際の画面の色とは異なることがあります。
- 本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無・地図データの作成時期等によって異なります。
- 1 章の「車載機の操作」には、本機について知っておいていただきたいこと、および各機能共通の操作内容がまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。

GPS ボイスナビゲーションについて

GPS ボイスナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データをハードディスクに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、ハードディスクに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。
お客様がハードディスクに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機で購入された曲の取り扱いについて

お車を乗り換える場合、この車両で購入された曲（G-SOUND）は、新しい車両で利用することはできません。あらかじめご了承ください。

ダイアグレコーダーについて

お車の万一の故障発生に備えて、ナビゲーションはそのハードディスク内に、回転数や冷却水温度等の故障診断に有用な情報を常時記録します。

12V バッテリーの取りはずしについて

本機は“ エンジン スタート ストップ ”スイッチ／“ パワー ”スイッチを OFF にするごとに、各種データをハードディスクに保存しています。各種データの保存が終わる前に 12V バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、レクサス販売店にお問い合わせください。

本書の中の表示について

本書でのスイッチ表示について

○○○	車載機本体（画面外）のスイッチ名称を表示しています。 （ **現在地** ・ **オーディオ** など） 車載機本体（画面外）のスイッチは、日本語表記と英語表記があります。 （ **オーディオ** ・ **AUDIO** など）
○○○	画面のスイッチの名称を表示しています。 （ **広域** ・ **詳細** など）
○○○	画面のタブの名称を表示しています。 （ **ナビ** ・ **オーディオ** など）

警告、注意について

⚠ 警告

ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

⚠ 注意

ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

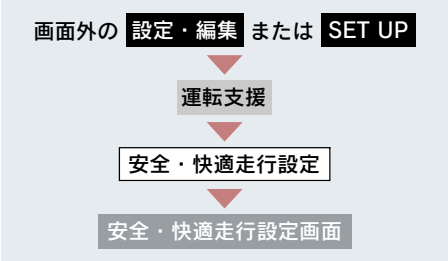
セーフティーシンボル

	“してはいけません”“このようにしないでください”“このようなことを起こさないでください”という意味を表しています。

その他の表示

→ P.000	参照するページを表示しています。

本書では、操作を開始する画面を表示するまでのガイドとして、下記のように記載しています。操作開始画面の表示方法がわからないときにご利用ください。



この場合は、次の操作を意味しています。

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 画面内の **運転支援** にタッチ。

3 画面内の［**安全・快適走行設定**］にタッチ。

4 安全・快適走行設定画面が表示される。
この画面から、操作を開始する。

1

車載機の操作

1 車載機について

1. 車載機でできること 7
   - 車載機でできること 7
2. 作動条件 8
   - 作動条件 8
3. 各部の名称とおもな働き 9
   - ディスプレイ 9
   - エアコン・オーディオ 10
   - ステアリングスイッチ 12
   - AUX／USB 端子 13

2 説明機能

1. 説明機能を使う 14
   - 説明機能について 14
   - 操作ガイドの使い方 14
   - ヒント機能の使い方 14

3 ソフトウェアキーボード

1. ソフトウェアキーボードを使う 15
   - 入力画面の各スイッチの使い方 15
2. ソフトウェアキーボードの設定をする 20
   - ソフトウェアキーボードの設定 20
   - 単語の編集 20
   - 定型文の修正 21
   - 入力履歴の削除 22
   - 予測変換候補の表示設定 22

4 リスト画面

1. リスト画面について 23
   - リスト画面の切り替え方 23
   - 文字の表示範囲の変更 24

5 画面の調整・設定

1. 画面の調整・設定をする 25
   - 画質調整画面の表示 25
   - 画質の調整 25
   - 昼画表示・夜画表示について 26
   - ライト点灯時の昼画表示 26
   - 画面を消す 26
   - 画面モードについて 27

6 車載機の設定

1. 車載機の設定をする 28
   - 車載機の設定 28
   - BEEP 音通知の設定 28
   - 時計を調整する 28
   - 操作画面継続表示の設定 29
   - 音声案内用スピーカーの設定 30
   - スタートアップサウンドの変更 30
   - スタートアップサウンド音量の調整 30
   - 個人情報の初期化 31
   - 言語設定の変更 32

7 アンテナ

1. アンテナの位置と取り扱い 33

ナビゲーション用アンテナ（GPS アンテナ）..... 33

ラジオ用アンテナ 33

デジタルテレビ用アンテナ 33

G-Link 用（通信）アンテナ 33

1. 車載機でできること

車載機でできること

モード	主な機能	記載場所
GPS ボイス ナビゲーション	• 現在地の表示 • 目的地への案内 • メモリ地点の登録 • メンテナンス機能の設定 • VICS・交通情報の地図への表示	35 ～ 165
情報	• 交通・ナビ関連情報の表示 • エコ情報画面の表示 • FM 多重放送の受信 • カレンダー機能	365 ～ 373
	• ハンズフリー	439 ～ 487
G-Link	• G-Link	489 ～ 611
オーディオ& ビジュアル	• AM・FM 放送の受信 • DVD チェンジャーの操作 • サウンドライブラリの操作 • デジタルテレビ放送の受信 • iPod® ／ USB メモリーの操作 • Bluetooth オーディオの操作 • ステアリングオーディオスイッチの操作	167 ～ 325
エアコン	• オートエアコンの操作 • プラズマクラスター® の操作	327 ～ 338
周辺監視	• バックガイドモニターの表示 • クリアランスソナーの表示*	375 ～ 420

*：車両型式などで異なる装備やオプション装備

2. 作動条件

作動条件

車載機の各機能は、次の条件により操作できるときと、できないときがあります。

○：操作できます。
×：操作できません。

“エンジン スタート ストップ”スイッチ（GS460 / GS350） “パワー”スイッチ（GS450h）		OFF	アクセサリーモード	イグニッション ON モード（停車中） ON モード（停車中）	イグニッション ON モード（走行中） ON モード（走行中）
モード	GPS ボイスナビゲーション／情報	×	○	○	○ 走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
	オーディオ & ビジュアル	×	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	○ 走行中は安全上の配慮などから、音声だけになります。
	エアコン	×	×	○	○
	バックガイドモニター	×	×	○ シフトレバーが R のときのみ。	○ シフトレバーが R のときのみ。
	クリアランスソナー	×	×	○ シフトレバーが P 以外のときのみ。	○ シフトレバーが P 以外のときのみ。

- − 20 ℃以下の低温時には、通信ができなくなったり、ハードディスクへの書き込みができなくなります。

ディスプレイ

本書では日本語表記のディスプレイ部イラストを使用して説明しています。

- ディスプレイに表示される言語および音声案内を日本語／英語に変更することができます。(→ P.32)

■ 日本語表記



■ 英語表記



名　称	機　能
1 現在地／ MAP スイッチ	ナビゲーション画面で現在地を表示するなど (→ P.46)。
2 目的地／ DEST スイッチ	目的地を設定する (→ P.85)。
3 情報・G ／ INFO スイッチ	情報画面を表示する (→ P.366)。
4 エアコン／ CLIMATE スイッチ	エアコン操作画面を表示する (→ P.328)。
5 オーディオ／ AUDIO スイッチ	オーディオの操作画面を表示する (→ P.174)。
6 設定・編集／ SET UP スイッチ	ナビゲーションの設定をする。

名　称	機　能
7 画質・消／DISP スイッチ	画質の調整をする、画面を消すなど（→ P.25）。

エアコン・オーディオ



名　称	機　能
1 エアコン操作スイッチ	エアコン操作画面以外の画面を表示させているときも、エアコンを操作することが可能（→ P.328）。
2 オーディオ操作スイッチ	オーディオ操作画面以外の画面を表示させているときも、オーディオを操作することが可能（→ P.174）。

⚠ 注意

画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

- 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。
- 1 つ前の画面に戻すときは、［**戻る**］にタッチします。
  タッチすると、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

⚠ 注意

12V バッテリー上がりを防ぐため、エンジン／ハイブリッドシステム停止中に長時間使用しないでください。

ステアリングスイッチ



スイッチ	機　能
1 音量調整スイッチ	オーディオやハンズフリーなどの音量を調整する。
2 TUNE スイッチ	デジタルテレビやラジオの放送局を選択する。(→ P.323)
3 TRACK スイッチ	DVD（CD）、サウンドライブラリ、iPod® ／ USB メモリー、Bluetooth オーディオの各モードを再生中に曲を選ぶ、チェンジャーのディスクを切り替えるなど。
4 MODE（モード切り替え）スイッチ	オーディオの電源を ON・OFF する。 モードを切り替える。(→ P.323)
5 電話スイッチ	ハンズフリーを使用して電話をかける、受けるなど。 (→ P.452)
6 トークスイッチ	音声操作システムで、音声認識コマンドを発声する。 (→ P.341)

AUX ／ USB 端子

ポータブルオーディオなどの機器を接続して、車両のスピーカーで聞くことができます。（→ P.288、290）



- ミニプラグケーブル（3.5Φ）、USB 端子が接続できます。
- ミニプラグケーブル、USB 端子、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ミニプラグケーブルは抵抗が入っていないステレオタイプのものを使用してください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。
（アクセサリーソケットについては、別冊「GS460 / GS350 取扱説明書」または「GS450h 取扱説明書」をご覧ください。）

1. 説明機能を使う

説明機能について

説明機能は、操作方法やスイッチの機能を説明する機能です。

次の 2 つの機能があります。

- 操作ガイド ..... 画像と音声で各アプリケーションの説明をする。
- ヒント機能 ..... 表示中のスイッチの機能を説明する。

操作ガイドの使い方

画像と音声を使って、各アプリケーションの操作説明をすることができます。

画面外の **情報・G** または **INFO**

▼

情報

▼

情報画面

- 走行中は音声のみで操作説明をします。画面はパーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。

1 **［操作ガイド］**にタッチ。



2 操作説明が見たいアプリケーションのタイトルにタッチ。

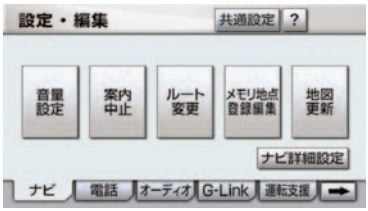
- ページは自動的に切り替わります。
  ・手動で切り替えるとき
  ➡ **［◀］**または **［▶］**にタッチ。
- 表示中のページが画面に収まらないときは、⌂ が表示されます。
  ・画面を移動するとき ➡ ⌂ にタッチ。
- 操作ガイドで表示される画面は、装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

ヒント機能の使い方

［?］が表示されている場合、その画面に表示されているスイッチの機能がわからないときに、スイッチの説明を表示させることができます。

［?］が表示されている画面

1 ［?］にタッチ。



2 使い方を知りたいスイッチにタッチ。

3 使い方の確認後、ヒント画面を解除する。
画面にタッチ、または約 6 秒以上操作しない。

4 ヒントモードを解除する。
➡ **［?戻る］**にタッチ。

- 走行を開始すると、ヒントモードは解除されます。

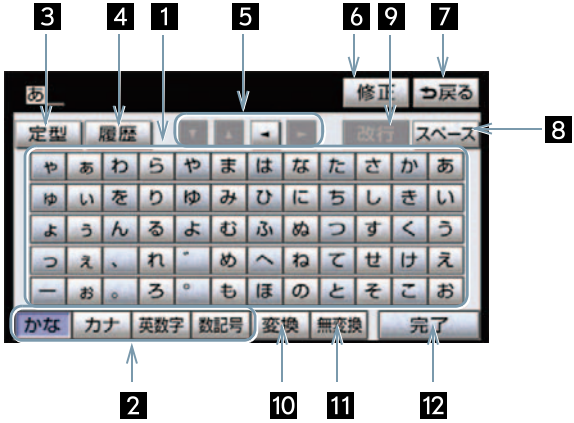
1. ソフトウェアキーボードを使う

入力画面の各スイッチの使い方

本システムでは、文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボードが表示されます。

- ここではG-Linkのソフトウェアキーボードで説明しています。ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。
- 各スイッチの働きは、次のようになっています。
  - ・特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。
  - ・ナビで文字入力するときは、専用のソフトウェアキーボードを使用します。
    - ➡「名称で地図を呼び出す」（→ P.74）
    - ➡「メモリ地点の名称入力」（→ P.117）

■ かな・漢字入力時



スイッチ	働　き
1 文字入力スイッチ	各種文字を入力する。
2 入力モード切り替えスイッチ	文字の入力モードを切り替える。 **［かな］**.....ひらがな、漢字を入力 **［カナ］**.....カタカナを入力 **［英数字］**.....アルファベット、数字を入力 **［数記号］**.....数字、記号を入力
3 定型スイッチ	定型入力画面を表示し、定型文を入力する。
4 履歴スイッチ	入力履歴画面を表示し、前回までに入力した文字列の履歴から入力する。
5 カーソル移動スイッチ	カーソルを移動する。 • タッチし続けると、連続してカーソルが移動。 • 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動。 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
6 修正スイッチ	文字を消去する。 • カーソルが文字の下にあるときは、カーソルの上の文字を消去。 • カーソルが最後尾の文字の後にあるときは、カーソルの直前の文字を消去。 タッチし続けると、カーソルの位置から 1 文字ずつ順に消去する。
7 戻るスイッチ	ソフトウェアキーボードで入力した文字を入力しないで、キーボードを終了する。
8 スペーススイッチ	カーソル位置に空白を入力する。
9 改行スイッチ	改行する。
10 変換スイッチ	かな入力時、漢字に変換する。
11 無変換スイッチ	かな入力時、ひらがなのままで確定する。
12 完了スイッチ	ソフトウェアキーボードを終了する。 キーボードが表示される前の画面にもどり、文字が入力される。

■ カタカナ入力時



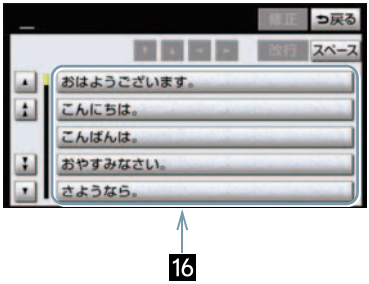
■ 数字・記号入力時



■ 英字・数字入力時



■ 定型文入力時／履歴入力時

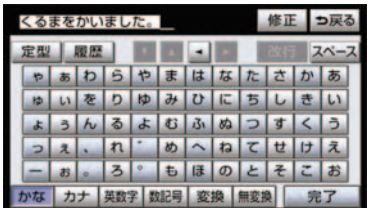


スイッチ	働　き
13 全角／半角スイッチ	半角入力と全角入力を切り替える。
14 大文字／小文字スイッチ	大文字入力と小文字入力を切り替える。
15 ページ切り替えスイッチ	ページを切り替える。
16 定型文入力スイッチ／履歴入力スイッチ	各文字列を入力する。

漢字変換

1 かな入力状態で、文字を入力する。

2 ［変換］にタッチ。



3 文字を確定する。

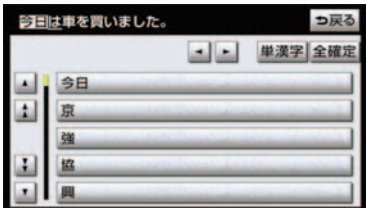
- そのままの状態でよいとき
  ➡［全確定］にタッチ。
- 変換範囲のみ変換するとき
  ➡希望の候補を選択しタッチ。
- 変換範囲（文節）が間違っているとき
  ➡［◀］・［▶］にタッチして変換範囲を修正する。
- 漢字を 1 文字ずつ変換するとき
  ➡単漢字変換（→ P.18）

4 変換範囲のみ変換する場合は、確定すると、次の変換範囲に移動する。すべての文字の変換が終わるまで、**3** の操作を繰り返す。

■ 入力したい漢字に変換されないとき

リストに入力したい漢字が表示されないときは、漢字を 1 つずつ変換してください。

1 ［単漢字］にタッチ。



2 漢字を確定する。

- そのままの状態でよいとき
  ➡［全確定］にタッチ。
- 入力したい文字でないとき
  ➡希望の候補を選択しタッチ。
- 候補が複数ページになるとき
  ➡［▲］・［▼］にタッチ。
- 変換範囲が間違っているとき
  ➡［◀］・［▶］にタッチして変換範囲を修正する。
- 候補には、音読み・訓読みに対応した単漢字を表示します。

予測変換候補の表示

G-Link 詳細設定の予測変換候補の表示で「する」を選択しているとき、予測変換をすることができます。文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を画面左下に表示します。

- 予測変換候補は最大 5 候補まで表示されます。
- 予測変換候補の表示／非表示を切り替えるとき
  ➡「予測変換候補の表示設定」（→ P.22）

1 かな入力状態で、文字を 1 文字以上入力する。

2 予測変換候補を選択する。



- 表示された候補でよいとき
  ➡ 予測変換候補にタッチ。
- 希望の候補でないとき
  ➡［▼］にタッチして希望の候補を表示させ、候補にタッチ。

2. ソフトウェアキーボードの設定をする

ソフトウェアキーボードの設定

設定・編集の G-Link 詳細設定画面（→ P.590）から、次の設定をすることができます。

項　目	ページ
単語の編集	20
定型文の修正	21
入力履歴の削除	22
予測変換候補の表示設定	22

単語の編集

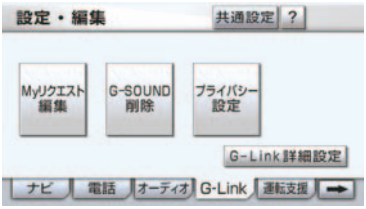
読みと単語を指定して、車載機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

単語の追加

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **G-Link** にタッチ。

3 **［G-Link 詳細設定］**にタッチ。



4 単語の編集の **［追加］**にタッチ。

5 **［読み］**および **［単語］**にタッチして、それぞれ入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 句読点など読みの先頭に使用できない文字を入力したときは、メッセージが表示され、読みを登録できません。

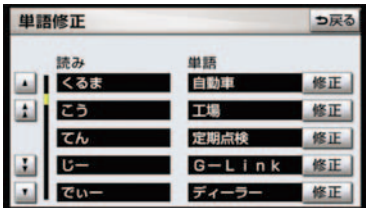
6 **［完了］**にタッチ。

単語の修正

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
G-Link
↓
G-Link 詳細設定
↓
G-Link 詳細設定画面

1 単語の編集の **［修正］**にタッチ。

2 修正したい単語の右側にある **［修正］**にタッチ。



3 **［読み］**または **［単語］**にタッチして修正する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 句読点など読みの先頭に使用できない文字を入力したときは、メッセージが表示され、読みを修正できません。

4 **［完了］**にタッチ。

- 単語の最大登録数を超えたときは、登録済みの不要な単語を削除してください。(→P.21)
- 引き続き単語の修正をするとき
  ➡ **2** ～ **4** の操作を繰り返す。

単語の削除

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
G-Link
▼
G-Link 詳細設定
▼
G-Link 詳細設定画面

1 単語の編集の［**削除**］にタッチ。

2 削除したい単語の右側にある［**削除**］にタッチ。



- すべての単語を削除するとき
  ➡［**全削除**］にタッチ。

3［**はい**］にタッチ。

定型文の修正

定型文は、お好みにより内容を変更することができます。
ただし、新規に追加することはできません。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
G-Link
▼
G-Link 詳細設定
▼
G-Link 詳細設定画面

1 定型文の修正の［**修正する**］にタッチ。

2 修正したい定型文にタッチ。



3 定型文を修正する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。

入力履歴の削除

不要な入力履歴を削除することができます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
G-Link
▼
G-Link 詳細設定
▼
G-Link 詳細設定画面

1 入力履歴の削除の［**削除する**］にタッチ。

2 削除したい履歴にタッチ。



- すべての履歴を削除するとき
  ➡［**全削除**］にタッチ。

3 ［**はい**］にタッチ。

予測変換候補の表示設定

ソフトウェアキーボードを使用するとき、予測変換候補の表示／非表示を選択できます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
G-Link
▼
G-Link 詳細設定
▼
G-Link 詳細設定画面

予測変換候補の表示の［**する**］または［**しない**］にタッチし、［**完了**］にタッチ。



1. リスト画面について

リスト画面の切り替え方

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補が表示されているリストにないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

▲・▼の切り替え表示

［▲］または［▼］にタッチ。



- 1 項目ずつリストが動きます。

行の切り替え表示

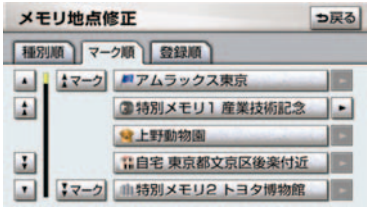
［あ行］・［か行］・［さ行］・［た行］・［な行］・［は行］・［ま行］・［や行］・［ら行］・［わ行］のいずれかにタッチ。



- 「あ行→か行」というようにリストが動きます。
- 「あ行」の場合、［あ行］をタッチするごとに、「あ→い」というようにリストが動きます。

マークの切り替え表示

［▲マーク］または［▼マーク］にタッチ。



- 次のマークに飛ばして、リストが動きます。

ページの切り替え表示

［▲］または［▼］にタッチする。



- 1 ページずつリストが動きます。

種類の切り替え表示

［▲種類］または［▼種類］にタッチ。



- 次の種類に飛ばして、リストが動きます。

地域の切り替え表示

［北海道］・［東北］・［関東］・［中部］・［近畿］・［中四国］・［九州］のいずれかにタッチ。



● 地域ごとにリストが動きます。

施設項目の切り替え表示

［店］・［車］・［宿泊］・［遊び］・［公共］・［医療］・［交通］・［文化］・［他］のいずれかにタッチ。

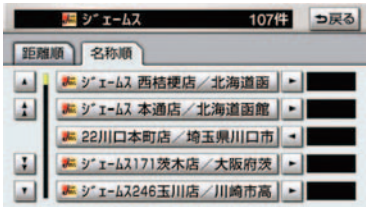


● 施設項目ごとにリストが動きます。

文字の表示範囲の変更

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべて表示されないことがあります。
次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

［▶］にタッチ。



● 先頭に戻すとき ➡ ［◀］にタッチ。

1. 画面の調整・設定をする

画質調整画面の表示

画面外の 画質・消 または DISP を押す。

■ 画質調整画面の表示例

（ライト点灯時の昼画表示）

ナビゲーション画面



DVD 画面



● 画質調整画面を解除するとき

➡ [完了] にタッチ。

・約 20 秒以上操作しなかったときも解除されます。

画質の調整

画面外の 画質・消 または DISP

▼

画質調整画面

■ 色合い※

[緑] … 緑色を強くする
[赤] … 赤色を強くする

■ 色の濃さ※

[濃] … 色を濃くする
[淡] … 色を淡くする

■ コントラスト

[強] … 強くする
[弱] … 弱くする

■ 明るさ

[明] … 明るくする
[暗] … 暗くする

※ 色合い、色の濃さは、DVD などの映像を表示しているときに調整できます。
ナビゲーション画面やオーディオ操作画面などは、コントラスト、明るさのみ調整できます。

● 昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

昼画表示・夜画表示について

夜間など、周囲が暗いと画面が明るすぎて映像が見えにくくなることがあります。そのため、画面を見やすくするために、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。

- ライト消灯時〈昼画表示〉
- ライト点灯時で周囲が暗いとき〈夜画表示〉

■ 昼画表示と夜画表示の画面例

昼画表示〈ライト消灯時〉



夜画表示〈ライト点灯時〉



ライト点灯時の昼画表示

ライト点灯時に、昼画表示にすることができます。

画面外の **画質・消** または **DISP**
▼
画質調整画面

夜画表示のとき、**［昼画面］**にタッチ。

- タッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。
- 昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。
- ライト消灯時の画質調整画面には「昼画面」は表示されません。
- メーター照度スイッチの MAX スイッチを押すと、つねに昼画表示にしておくことができます。
- 夜画表示への切り替えは、ライトの点灯と周囲の暗さの両方を判断して行います。したがって、周囲が明るいとき（昼間など）にライトを点灯しても、夜画表示には切り替わりません。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

画面外の **画質・消** または **DISP**
▼
画質調整画面

［画面消］にタッチ。

- 画面を表示させるとき
  ➡ 各モードのスイッチを押す。
- 画面を消しても、GPSによる現在地測位は継続されています。

画面モードについて

DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

■ 標準画モード（Normal）

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ ワイド 1 画モード（Wide 1）

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ ワイド 2 画モード（Wide 2）

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示します。



- お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面モードの切り替え

各映像の画面モードの切り替え方法については、次のページをご覧ください。

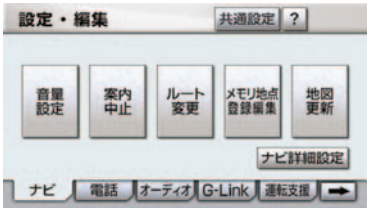
映　像	ページ
DVD	212
ビデオ CD	228

1. 車載機の設定をする

車載機の設定

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **［共通設定］**にタッチ。



3 各項目の設定をし、**［完了］**にタッチ。

共通設定画面から、次の項目を設定できます。

項　目	ページ
BEEP 音通知の設定	28
時計設定	28
操作画面継続表示の設定	29
音声案内用スピーカーの設定	30
スタートアップサウンドの変更	30
スタートアップサウンド音量の設定	30
個人情報の初期化	31
言語設定の変更	32

BEEP 音通知の設定

タッチスイッチにタッチしたときの応答音の出力する／しないを設定できます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
共通設定
▼
共通設定画面

BEEP 音通知の **［する］**または **［しない］**にタッチ。

時計を調整する

GPS の時刻情報（GPS 時計）を利用して、時刻を表示させることができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
共通設定
▼
共通設定画面

1 時計設定の **［設定する］**にタッチ。

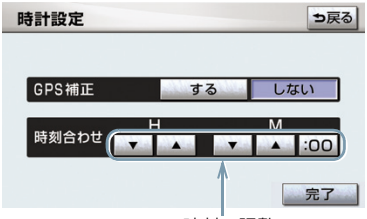
2 GPS 補正の［**する**］または［**しない**］にタッチ。

GPS 時計を使用しているとき



GPS 時計の補正

GPS 時計を使用していないとき



時刻の調整

3 ［**完了**］にタッチ。

GPS 時計の補正

GPS 時計を使用しているときに、時刻を進めたり、遅らせたりすることができます。

1 「時計を調整する」（→ P.28）**2** で表示された画面で、実際の時刻より進めるときは［**進める**］、遅らせるときは［**遅らせる**］にタッチ。

2 ［**完了**］にタッチ。

- 6 時間時刻を進める、または 6 時間時刻を遅らせると操作できなくなります。

時刻の調整

GPS 時計を使用していないときに、時刻の調整をすることができます。

1 「時計を調整する」（→ P.28）**2** で表示された画面で、H の［▼］［▲］を選択すると “時”、M の［▼］［▲］を選択すると “分” が調整できます。

- 時報と同時に［**：00**］を選択すると、時報に合わせることができます。
  ・0 ～ 29 分は切り下げられます。
  ・30 ～ 59 分は切り上げられます。

（例）

1：00 ～ 1：29 の場合は 1：00 に、1：30 ～ 1：59 の場合は 2：00 になります。

2 ［**完了**］にタッチ。

操作画面継続表示の設定

オーディオ操作画面の継続表示のする／しないを設定することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
共通設定
↓
共通設定画面

操作画面継続表示の［**する**］または［**しない**］にタッチ。

- ［**しない**］に設定すると、約 20 秒以上操作しなかった場合、もとの画面にもどります。
- ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面にもどらないことがあります。

音声案内用スピーカーの設定

音声案内をするスピーカーを設定することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
共通設定
▼
共通設定画面

- インストルメントパネル中央から出力するとき
  ➡［**センター**］にタッチ。
- 運転席側から出力するとき
  ➡［**運転席側**］にタッチ。

スタートアップサウンドの変更

ナビゲーションシステムの起動音を変更することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
共通設定
▼
共通設定画面

希望のサウンドにタッチ。

- 選んだ起動音が鳴ります。
- 起動音を OFF にするとき
  ➡［**OFF**］にタッチ。

スタートアップサウンド音量の調整

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
共通設定
▼
共通設定画面

設定したい音量にタッチ。

- 選んだ音量で起動音が鳴ります。

個人情報の初期化

車載機の設定や保存されている情報を初期化することができます。

次の情報を、削除または初期設定の状態にすることができます。

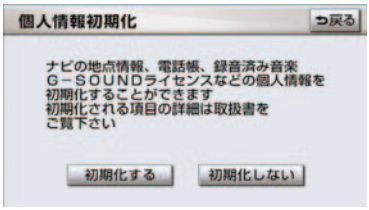
項　目	情　報
ソフトウェアキーボード	入力履歴
	追加した単語
	編集した定型文
	ソフトウェアキーボード関連の設定・編集項目
GPS ボイスナビゲーション	走行軌跡
	目的地履歴
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	ユーザーカスタマイズ
	安全・快適走行設定の項目※
	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス自動通知の設定
	販売店の設定
オーディオ&ビジュアル	サウンドライブラリに録音している音楽
	ラジオ、デジタルテレビでプリセットスイッチに記憶した周波数及びチャンネル情報
	Bluetooth オーディオ機器の登録情報
ハンズフリー	電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth 電話機の登録情報
	ロック No.
	ハンズフリー関連の設定・編集項目
G-Link	G-Link 画面のオーナーズデスク、情報確認
	G メモリ地点
	G-BOOK.com コンテンツで取得した G 情報マーク
	メインメニューに G-BOOK センターが追加したスイッチ
	ブックマーク
	閲覧履歴
	My リクエストのメニュー
	G-SOUND 楽曲のライセンス
	G-Link 関連の設定・編集項目

※ 踏切案内、合流案内、カーブ案内、レーン警告、事故多発地点案内の設定は初期化されません。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
共通設定
▼
共通設定画面

1 個人情報初期化の［**初期化する**］にタッチ。

2 ［**初期化する**］にタッチ。



3 ［**はい**］にタッチ。

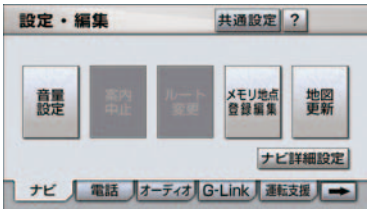
言語設定の変更

ディスプレイに表示される言語および音声案内を日本語／英語に変更することができます。

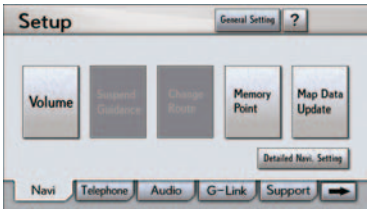
画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
共通設定
▼
共通設定画面

言語設定の［**日本語**］または［**English**］にタッチ。

日本語



英語



- 言語設定を英語に変更した場合、すべての表示および音声案内が英語に変更されるわけではありません。
- 英語に変更することによって、いくつかの案内がされない場合があります。

1. アンテナの位置と取り扱い

ナビゲーション用アンテナ（GPS アンテナ）

インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。

⚠ 注意

インストルメントパネル上やウインドゥガラス面には、次の物を設置しないでください。ナビゲーションシステム本来の性能が発揮できないおそれがあります。詳しくは「GPS について」（→ P.138）をご覧ください。

- 金属を含有するウインドゥフィルム
- その他の金属物（レクサス純正品以外の電子機器やアンテナなど）

ラジオ用アンテナ

リヤガラスに埋め込まれています。

⚠ 注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- リヤガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）がはいるおそれがあります。
  - ・ 金属を含有するウインドゥフィルム
  - ・ その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

デジタルテレビ用アンテナ

フロントガラスとリヤバンパーに内蔵されています。

⚠ 注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- フロントガラスおよびリヤバンパーのアンテナ線部に次の物を貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）がはいるおそれがあります。
  - ・ 金属を含有するウインドゥフィルムおよびステッカー
  - ・ その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

G-Link 用（通信）アンテナ

ルーフ後端に装着、およびインストルメントパネル中央付近に内蔵されています。

2

GPS ボイスナビゲーション

1 お使いになる前に

1. はじめに..... 38
   知っておいていただきたいこと 38

2 ここからはじめましょう

1. 地図を操作してみましょう 39
   地図に現在の車の位置を表示するには 39
   地図を動かすには..... 39
   地図を拡大／縮小するには 39
2. 自宅を登録してみましょう 40
   自宅を登録してみましょう 40
3. ルート案内をさせてみましょう 41
   目的地を決めましょう 41
   ルート案内を中止したいとき 42
   目的地を消去したいとき 42
4. GPSボイスナビゲーションとは？..... 43
   GPS ボイスナビゲーションとは 43
   ナビゲーション画面の見方 43
   音声案内について..... 45

3 地図の操作

1. 地図の表示..... 46
   現在地の表示..... 46
   スイッチの表示..... 46
   地図の移動（ワンタッチスクロール）..... 47
   地図縮尺の切り替え 48
   地図向きの切り替え 49
   地図の文字サイズの変更 49
   フロントワイド表示 49
   2 画面表示..... 50
   3D 表示 51
   地図の表示色の切り替え 53
   市街図表示..... 54
   駐車場マップ表示 55
2. 地図表示画面の設定..... 56
   施設の表示..... 56
   近くの施設の検索 57
   周辺施設走行中呼出ジャンルの変更 58
   ビジュアルシティマップ表示 59
   立体ランドマークの表示 59
   一時停止案内..... 59
   道路形状案内..... 60
   事故多発地点案内 61
   学校存在案内..... 62
   季節規制区間の表示 62
   走行軌跡の表示..... 62
   シーズンレジャーランドマークの表示 63
   県境案内..... 64
   画面切り替え時の動画表現 64
3. 高速道路・都市高速道路表示 65
   ハイウェイモード 65
   高速路線マップ..... 66
   高速分岐案内..... 68
   都市高速マップ表示 68

4. 音声の設定 70
音量設定 70
操作説明音声 70
ハートフル音声 70

5. 地図の呼び出し方法 71
地図の呼び出し方法 71
名称で地図を呼び出す 74
住所で地図を呼び出す 77
施設で地図を呼び出す 78
電話番号で地図を呼び出す 78
ジャンルで地図を呼び出す 79
郵便番号で地図を呼び出す 80
マップコードで地図を呼び出す 80
履歴で地図を呼び出す 81

6. 呼び出した地図の操作 82
ピンポイント検索 82
位置の変更 82
施設の内容の表示 82
提携駐車場の検索 82
住所の検索 83

4 目的地案内

1. 目的地案内について 84
目的地案内について 84

2. 目的地の設定・ルート探索 85
目的地の設定 85
自宅を目的地に設定 86
ルート探索 86
全ルート図表示 88

3. 目的地案内の開始 92
目的地案内の開始 92
目的地案内の中止 92

4. 目的地への案内 93
音声案内 93
交差点案内 95
到着予想時刻の表示 98
料金案内 99
フェリー航路の案内 100

5. 案内中の操作 101
オンルートスクロール 101
オンルートスクロールの設定 101
全ルート図を表示するには 103
到着予想時刻・残距離表示を
切り替えるには 103

6. ルートの再探索 104
自動再探索 104
ルートの再探索 104

7. ルート変更 106
ルート変更画面の表示 106
探索条件の変更 106
目的地の追加 106
目的地の並び替え 107
目的地の消去 108
出入口 IC（インターチェンジ）の
指定 109
通過道路の指定 109

8. 目的地履歴の消去 112
目的地履歴の消去 112

5 地点の登録

1. メモリ地点の登録 113
メモリ地点について 113
メモリ地点の登録 113
メモリ地点の修正・入力 114
メモリ地点の消去 120

2. 迂回メモリ地点の登録 121
迂回メモリ地点について 121
迂回メモリ地点の登録 121
迂回メモリ地点の修正・入力 121
迂回メモリ地点の消去 122

6 ナビを使いこなすために

1. 補正が必要なとき 123
補正について 123
現在地の修正 123
距離の補正 123

2. ナビの設定を記憶したいとき 125
各種ナビ設定の記憶 125
記憶の呼び出し 125
名称の変更 126
各種ナビ設定の記憶の消去 126

3. NAVI・AI-SHIFT（GS460／GS350） 127
NAVI・AI-SHIFT について 127

4. ナビ詳細設定一覧 128
ナビ詳細設定一覧 128
地図表示設定 128
自動表示切替設定 129
案内表示設定 130
音声設定 130
ルート系設定 131
その他 131

5. 安全・快適走行設定一覧 132
安全・快適走行設定一覧 132

6. メンテナンス機能 133
メンテナンス機能について 133
メンテナンスの項目設定 133
メンテナンスの詳細設定 135
販売店の設定 136

7. GPS について 138
GPS について 138
GPS 情報を利用できないとき 138
システムの特性上、避けられないズレ 138

8. 知っておいていただきたいこと 139
こんなメッセージが表示されたときは 139
故障とお考えになる前に 141
精度について 143

7 地図について

1. 地図について 146
地図データについて 146
地図データの情報を見るには 146
地図データベースについて 147
地図のスケール表示について 148
地図記号・表示について 148

8 VICS・交通情報

1. VICS・交通情報の表示 151
VICS・交通情報の表示 151
VICS・交通情報の表示設定 153

2. VICS・交通情報の活用 154
渋滞・規制音声案内 154
VICS 図形情報・文字情報の表示 155
割込情報（ビーコン即時案内）の表示 155
割込情報の表示設定 156
渋滞考慮探索 157

3. VICS 放送局の選択 159
放送局の選択 159

4. VICS の概要 161
VICS について 161
知っておいていただきたいこと 163
VICS 記号・表示について 165

1. はじめに

知っておいていただきたいこと

■ **走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。**

■ **安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。**

■ **目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。**

必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。

■ **道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。**

■ **タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→ P.124)**

このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。

■ **自車位置マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。**

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

■ **実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。**

人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。

ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※や GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

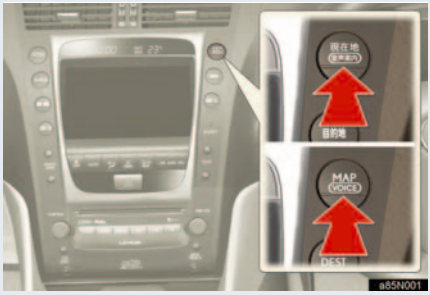
「精度について」もあわせてご覧ください。(→ P.143)

※ マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自車位置マークを表示させるシステムです。

1. 地図を操作してみましょう

地図に現在の車の位置を表示するには

画面外の **現在地** または **MAP** を押す。



現在の車の位置 が表示されます。



現在の位置（自車位置マーク）

地図の表示について

次のような表示をすることもできます。

地図の表示	ページ
スイッチを消す	46
地図の向きをかえる	49
進行方向の地図を広く表示する	49
左右 2 画面で表示する	50
地図を立体的に表示する	51
地図の表示色をかえる	53
市街図を表示する	54

地図を動かすには

地図にタッチ。



例えばここにタッチすると

タッチした位置が地図の中央に移動します。



タッチした位置

地図を拡大／縮小するには

［詳細］… 拡大する
［広域］… 縮小する



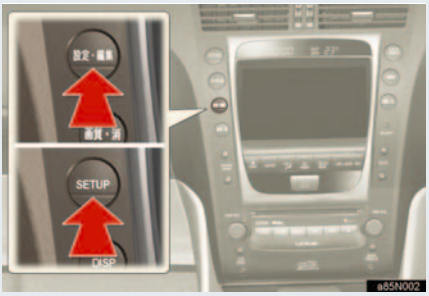
2. 自宅を登録してみましょう

自宅を登録してみましょう

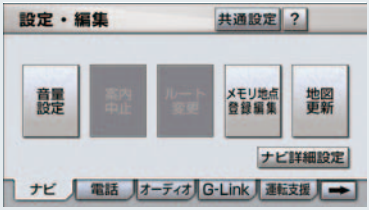
自宅を登録すると、目的地設定で［**自宅に帰る**］にタッチするだけで、自宅までのルート探索ができます。

例として、自宅「東京都文京区後楽 1 丁目 4 − 18」の地図を住所から呼び出し、登録します。

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。



2 ［**メモリ地点登録編集**］にタッチ。



3 メモリ地点の［**登録**］にタッチ。

4 地図の呼び出す方法を選ぶ。
ここでは、［**住所**］にタッチ。

5-1 都道府県名から順に、住所を選択する。まず、［**東京 23 区**］にタッチ。

5-2 ［**文京区**］にタッチ。

5-3 ［**後楽**］にタッチ。

5-4 ［**1 丁目**］にタッチ。

5-5 ［**番地指定**］にタッチ。

5-6 番地を入力する。

5-7 ［**完了**］にタッチ。

6 にタッチして、自宅の位置に を合わせる。

7 ［**セット**］にタッチ。

8 ［**自宅・特別メモリに種別変更**］にタッチ。

9 自宅の［**未登録**］にタッチ。

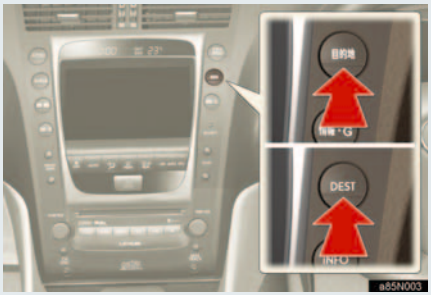
10 ［**完了**］にタッチ。

3. ルート案内をさせてみましょう

目的地を決めましょう

例として、「名称」から「上野動物園」を探して、目的地に設定してみましょう。

1 画面外の **目的地** または **DEST** を押す。



2 **［名称］**にタッチ。



3-1 「うえのどうぶつえん」と入力する。

3-2 **［完了］**にタッチ。

3-3 **［上野動物園］**にタッチ。

4 にタッチして、目的地に設定したい場所に を合わせる。

5 **［目的地セット］**にタッチ。

6 **［案内開始］**にタッチ。

▶**［目的地セット］**が表示されないときは

➡**［新規目的地］**にタッチ。

［追加目的地］の使い方について

➡「目的地の設定」（→ P.85）

検索方法について

次の方法で検索することもできます。

検索方法	ページ
住所検索	77
施設検索	78
電話番号検索	78
ジャンル検索	79
郵便番号検索	80
マップコード検索	80
G で設定	567

全ルート図について

案内を開始する前に、全ルート図から次のことができます。

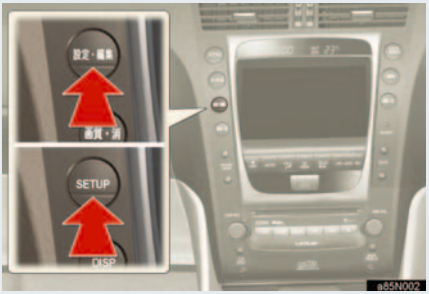
項　目	ページ
ルート情報を表示する	90
別のルートを表示する	91
探索条件を変更する	106
目的地を追加する	106
目的地を並び替える	107
目的地を消去する	108

項　目	ページ
出入口 IC の指定・解除をする	109
通過道路を指定する	109
通過道路を修正する	110
通過道路指定を解除する	111
季節規制区間を迂回するルートを探索する	111
G ルート探索する	557

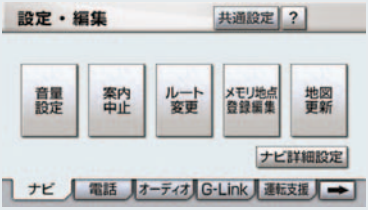
ルート案内を中止したいとき

ルート案内中に寄り道をしたいときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。



2 **［案内中止］**にタッチ。

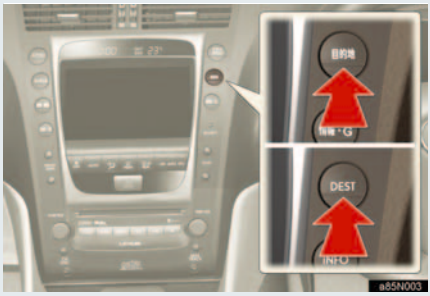


● 案内を再開するとき
➡ **［案内再開］**にタッチ。

目的地を消去したいとき

目的地までの道がわかるときなど、ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。

1 画面外の **目的地** または **DEST** を押す。



2 **［目的地消去］**にタッチ。



3 **［はい］**にタッチ。

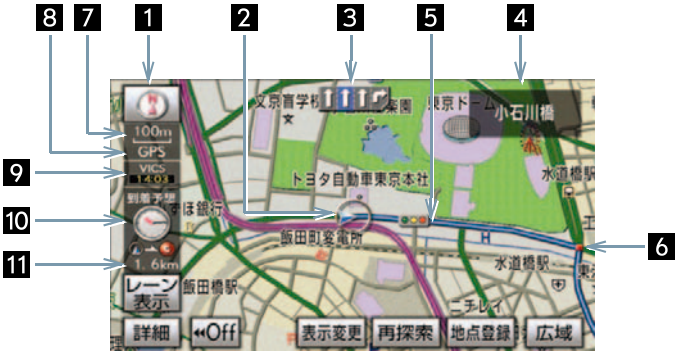
4. GPS ボイスナビゲーションとは？

GPS ボイスナビゲーションとは

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

ナビゲーション画面の見方

目的地案内中の現在地画面



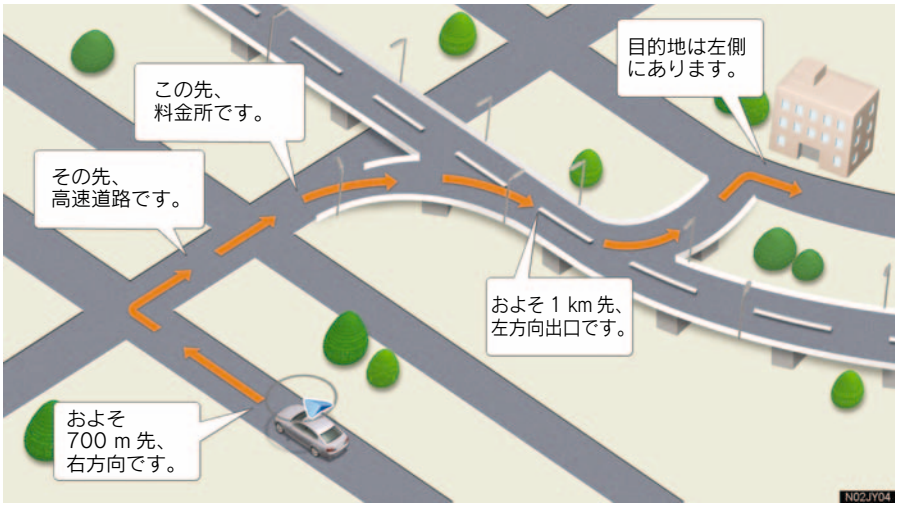
1 方位マーク（ヘディングアップ時は ）	地図の方角を表示する。 • 地図向きの切り替えについて ➡「地図向きの切り替え」（→ P.49）
2 自車位置マーク	現在位置と車が向いている方角を表示する。
3 レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ） • 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示。
4 名称表示	状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ） • 通過・分岐する交差点の名称 • 走行している道路の名称 • 通過する IC・SA・PA の名称（高速道路を走行しているときのみ） • 分岐する IC・JCT の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）
5 ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。 （→ P.90）
6 案内ポイント	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示する。 （→ P.96）

7 スケール表示	表示させている地図の縮尺を表示する。 • 詳しくは、「地図縮尺の切り替え」（→ P.48）・「地図のスケール表示について」（→ P.148）をご覧ください。
8 GPS マーク	人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示する。 • GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。（→ P.138）
9 VICS タイムスタンプ	VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。 • ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色がかわります。（→ P.152）
10 到着予想時刻表示／目的地方向マーク	状況により次のマークを表示する。 ■到着予想時刻表示  目的地への到着予想時刻を表示する。（→ P.98） • 到着予想時刻表示の切り替えについて 「到着予想時刻・残距離表示を切り替えるには」（→ P.103） ■目的地方向マーク  ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。
11 残距離表示	現在地から目的地までの距離を表示する。 • 表示されているルートを通っての距離を表示する。 （ルートからはずれたときは、直線距離を表示する。） • 残距離表示の切り替えについて 「到着予想時刻・残距離表示を切り替えるには」（→ P.103）

- 本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、ノースアップ・1 画面・2D 表示のフロントワイド表示を「しない」に設定している画面です。
- また、GPS マーク・VICS タイムスタンプが表示されていない地図画面を使用しています。

音声案内について

目的地案内中は、分岐する交差点・目的地などが近づくと、音声が出力されます。(→ P.93)



1. 地図の表示

現在地の表示

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。



現在地以外の地図表示中

または

地図以外を表示中

画面外の **現在地** または **MAP** を押す。

- 走行中は表示される道路が制限されます。（幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。）ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。（→ P.90）
- 新車時、および12Vバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
- ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
- GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ P.123）

▶現在地画面で、画面外の **現在地** または **MAP** を押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



- 以下のとき路線名・路線番号は表示されません。
  - ・地図データに情報がないとき
  - ・200m 図より広域な地図を表示しているとき
- また、高速路線マップ（→ P.66）を表示しているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

スイッチの表示

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。



地図表示中

［◀◀ Off］にタッチ。



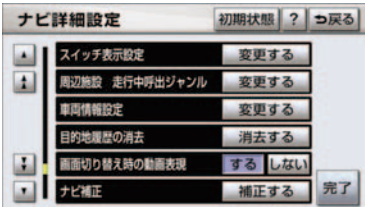
- ［◀◀ Off］のときに表示するスイッチ類を設定するとき
  ➡「スイッチ表示設定」（→ P.47）
- スイッチ類を表示するとき
  ➡［▶▶ On］にタッチ。

スイッチ表示設定

［◀◀ Off］にタッチしたときに、表示するスイッチ類の設定をすることができます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
ナビ詳細設定
▼
その他
▼
ナビ詳細設定画面

1 スイッチ表示設定の［**変更する**］にタッチ。



2 表示設定を変更したいスイッチにタッチし、［**完了**］にタッチ。

- 文字または記号がうすくなっているスイッチは［◀◀ Off］にタッチしたとき表示されません。
- 初期設定の状態にもどすとき
  ➡［**初期状態**］にタッチ。

3 ［**完了**］にタッチ。（**1** の画面）

地図の移動（ワンタッチスクロール）

タッチした地点を画面の中心として、地図を動かすことができます。



地図表示中

地図上にタッチ。

- タッチし続けると、地図が動く速度が速くなります。（このとき、⊕が黄色になります。）
- 地図左下に現在地からの直線距離が表示されます。
- 走行中は安全のため、一定の距離しか移動しません。また、走行中で市街図（→ P.54）または駐車場マップ（→ P.55）を表示しているときは、地図を移動することはできません。
- ワンタッチスクロールで地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、画面外の 現在地 または MAP を押し現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（→ P.49）ができないことがあります。

地図スクロール時の地名表示

地図を移動しているとき、画面上部に画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号を表示させることができます。



- 地図の移動をやめると、約 6 秒後自動的に消去されます。

地図スクロール時に地名の表示／非表示を設定できます。(→ P.129)

- 以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
  - ・地図データに情報のないとき
  - ・200m 図より広域な地図を表示しているとき
- また、高速路線マップ（→ P.66）を表示しているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

地図縮尺の切り替え

地図を 1/2048 万図～1/5 千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

地図表示中

[広域]… 地図の範囲を広くする
[詳細]… 地図の範囲を狭くする



スケールバー

- 13 段階に切り替えることができます。(→ P.148)
- タッチするごとに、1 段階ずつ切り替わります。
- **[広域]** または **[詳細]** にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、縮尺が切り替わります。
- **[広域]** または **[詳細]** を約 1 秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら手をはなします。
- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺をかえることはできません。

縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージが画面に表示されます。



縮尺切り替えメッセージの表示／非表示を設定できます。(→ P.130)

- 縮尺切替メッセージ表示を「しない」に設定したときは、以下のメッセージは表示されなくなります。
  - ・『都市高マップは 200m 図より詳細な地図では表示できません』
  - ・『都市高マップは 1.6km 図より広域な地図では表示できません』
  - ・『施設情報 VICS・交通情報は広域の地図には表示されません』
  - ・『施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません』
  - ・『VICS・交通情報は 1.6km 図より広域の地図には表示されません』
  - ・『市街図を表示します』
  - ・『リアル市街図を表示します』

地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

または にタッチ。

- タッチするごとに、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。

〈ノースアップ表示〉

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示する。



〈ヘディングアップ表示〉

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示する。



- ヘディングアップ表示のとき、現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示に復帰します。
- 3D 表示（→ P.51）にさせているときは、常にヘディングアップ表示されるため地図向きを切り替えることはできません。

地図の文字サイズの変更

地図上に表示される地名などの文字サイズを変更することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
地図表示設定
↓
ナビ詳細設定画面

地図の文字サイズ変更の［大］・［中］・［小］のいずれかにタッチし、［完了］にタッチ。



フロントワイド表示

通常は自車位置マークが画面の中心に表示されますが、フロントワイド表示にすると、進行方向の地図を広く表示させることができます。



フロントワイド表示のする／しないを設定できます。（→ P.128）

2 画面表示

画面を左右に 2 分割して表示させることができます。



- 左画面の操作は、1 画面表示のときと同じです。
- 2 画面表示にさせているときは、左画面のみワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。
- 現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、2 画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2 画面表示に復帰します。
- 一度2 画面表示を解除し、再度2 画面表示にしたときは、前回 2 画面表示していたときの縮尺で表示されます。

次の表示をさせることができます。

〔例〕

- 左右異なる縮尺で表示
- ヘディングアップ表示とノースアップ表示
- 施設表示の ON と OFF
- 3D 表示の ON と OFF

地図表示中

1 **［表示変更］**にタッチ。

2 **［地図表示］**にタッチ。



3 **［2D ツイン］**（通常の 2 画面表示）または **［3D ツイン］**（2 画面 3D 表示）にタッチ。

- 解除するとき
  ➡ **［2D］**（通常の表示）または **［3D］**（通常の 3D 表示）にタッチ。

右画面の設定

次の 2 通りの方法で、右画面の設定をすることができます。

- 地図画面から設定する（→ P.50）
- 設定・編集画面から設定する（→ P.51）

地図画面からの設定方法

2 画面表示中（→ P.50）

1 右画面の地図上にタッチ。

2 右画面の設定をする。



作動表示灯

■設定・編集画面からの設定方法

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
地図表示設定
↓
ナビ詳細設定画面

1 右画面設定の**[変更する]**にタッチ。



2 右画面の設定をし、**[完了]**にタッチ。

3 **[完了]**にタッチ。(**1** の画面)

▶右画面設定画面から、次の設定を変更することができます。

地図縮尺の切り替え (→ P.48)

[詳細]または**[広域]**にタッチ。

地図向きの切り替え (→ P.49)

または にタッチ。

- 2 画面表示画面でも、切り替えることができます。

3D 表示 (→ P.51)

[3D 表示]にタッチ。

- 3D 表示のときは、作動表示灯が点灯します。

施設の表示 (→ P.56)

左画面に施設の記号を表示させているとき、右画面でも施設の記号を表示させることができます。

[周辺施設表示]にタッチ。

- 施設が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

VICS・交通情報の表示 (→ P.151)

左画面に VICS・交通情報を表示させているとき、右画面でも VICS・交通情報を表示させることができます。

[VICS 表示]にタッチ。

- VICS・交通情報が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。
- 施設の表示、VICS・交通情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。

3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。



- 3D 表示は、フロントワイド・ヘディングアップ表示で表示されます。
- 現在地画面以外の地図 (目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など) は、3D 表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D 表示に復帰します。

地図表示中
▼
表示変更
▼
地図表示
▼
地図表示画面

[3D]（通常の 3D 表示）または
[3Dツイン]（2画面3D表示）にタッチ。



- 解除するとき
  ➡ [2D]（通常の表示）または
  [2D ツイン]（通常の 2 画面表示）にタッチ。

3D 表示の角度調整

3D 表示の角度を設定することができます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
ナビ詳細設定
▼
地図表示設定
▼
ナビ詳細設定画面

1 3D 地図表示設定の［変更する］にタッチ。

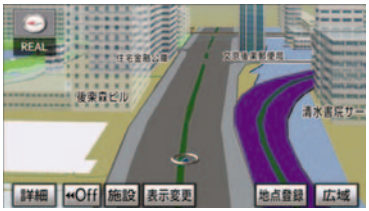


2 角度を調整し、［セット］にタッチ。
［ ］…… 角度を上げる
［ ］…… 角度を下げる

- 初期設定の状態にもどすとき
  ➡ ［初期状態］にタッチ。

リアル市街図表示

3D 表示中、1/2500 市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります。

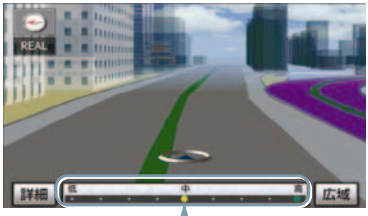


- 通常の市街図（→ P.54）は、表示されません。
- 市街図表示からリアル市街図表示にすると、（一方通行）の表示が（進入禁止）の表示にかわります。

視点の調整

リアル市街図の表示視点を切り替えることができます。

[広域] …視点を上げる
[詳細] …視点を下げる



スケールバー

- すぐに手を離したときは3 段階、そのままタッチし続けたときは 9 段階に切り替えることができます。
- **[広域]** または **[詳細]** にタッチしたあと、スケールバーにタッチしても視点を切り替えることができます。
- 最高角度の地図にさせているとき、**[広域]** にタッチすると、リアル市街図表示は解除されます。

地図の回転

3D 表示中（→ P.51）

1 地図上にタッチ。

2 地図を回転する。
[↙] … 時計まわり
[↘] … 反時計まわり



- 現在地画面にすると、もとの表示状態（回転前の状態）に復帰します。

3D 時ルート方向アップ表示

目的地案内中は、ルートを表示している方向の地図を広く表示することができます。



3D 時ルート方向アップ表示のする／しないを設定できます。（→ P.128）

- 3D 時ルート方向アップ表示を「する」に設定したとき、(方位マーク) が青色になります。

地図の表示色の切り替え

昼画・夜画それぞれの地図色を切り替える（5 種類）ことができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
地図表示設定
↓
ナビ詳細設定画面

昼の地図色・夜の地図色それぞれで、希望の地図色にタッチし、**[完了]** にタッチ。



市街図表示

地図データに市街図の情報がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。



1/5 千図表示中（→ P.48）

[市街図] にタッチ。



▶市街図表示には 1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。**[広域]** または **[詳細]** にタッチして切り替えます。

- 市街図のデータがある地域のみ、1/5 千図を表示すると、「市街図」が表示され、市街図表示に切り替えることができます。（市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。）
- 1/2500 市街図にすると （一方通行）を表示します。
- 3D 表示中、1/2500 市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示（→ P.52）になります。（通常の市街図は、表示されません。）

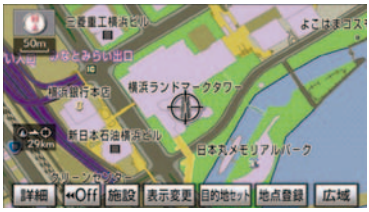
市街図表示の解除

1/5 千市街図表示中、**[広域]** にタッチする。

施設の内容の表示

市街図表示中

1 **[施設]** にタッチ。



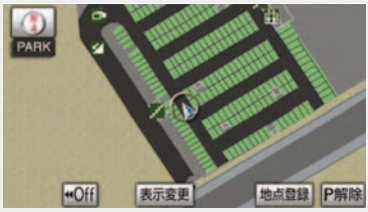
2 にタッチして、内容を表示する施設がある建物に地図を動かし、**[施設情報]** にタッチ。

- 選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。
- 選んだ建物に 1 つしか施設がないときは、その施設の内容が表示されます。
- 地図データに情報のない建物は、内容が表示されません。

3 施設名称にタッチ。

駐車場マップ表示

地図データに駐車場マップの情報をもっている駐車場に入ったとき、表示することができます。



駐車場マップの自動表示のする／しないを設定できます。（→ P.129）

- 駐車場マップ自動表示を「しない」に設定していても、**［表示変更］**から駐車場マップを表示することができます。

駐車場マップ表示の解除

［P 解除］にタッチ。

▶次の方法でも、駐車場マップ表示を解除することができます。

地図表示中
↓
表示変更
↓
地図表示
↓
地図表示画面

［駐車場マップ解除］にタッチ。



駐車場マップにもどすとき

地図表示中
↓
表示変更
↓
地図表示
↓
地図表示画面

［駐車場マップ表示］にタッチ。



2. 地図表示画面の設定

施設の表示

地図上に施設の記号を表示させることができます。



- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8　万図より詳細な地図で表示することができます。(全ルート図表示画面を除く)
- 表示することができる施設は、または から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
- 高速路線マップ（→ P.66）または駐車場マップ（→ P.55）を表示しているときは、施設情報を表示することはできません。
- 通常の地図画面での施設表示と、オンルートスクロールでの施設の選択（→ P.102）は別の設定のため、通常の地図画面で施設を変更しても、オンルートスクロールの施設は変更されません。

次の 2 通りの方法で、施設の記号を表示することができます。

- 地図画面から表示する（→ P.56）
- 設定・編集画面から表示する（→ P.56）

地図画面からの表示方法

地図表示中

1 ［表示変更］にタッチ。

2 ［周辺施設］にタッチ。



3 施設のジャンルにタッチ。

- ５つまで選択することができます。
- 表示されている以外のジャンルを選択するとき
  ➡［全ジャンル］にタッチ。
- ［G 情報マーク表示］は、G-Link を利用されているときに使用することができます。(→ P.570)

▶［全ジャンル］にタッチしたとき

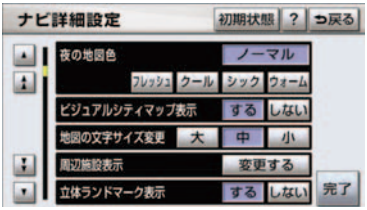
➡ 施設のジャンル　→　さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

- 表示を解除するとき
  ➡［表示解除］または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

設定・編集画面からの表示方法

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
ナビ詳細設定
↓
地図表示設定
↓
ナビ詳細設定画面

1 周辺施設表示の［**変更する**］にタッチ。



2 施設のジャンルを選択し、［**完了**］にタッチ。

- 施設のジャンルの選択方法は、「地図画面からの表示方法」（→ P.56）の手順 **3** と同様です。

3 ［**完了**］にタッチ。（**1** の画面）

施設表示の消去

周辺施設画面（→ P.56）

または

周辺施設表示設定画面（→ P.57）

個別に消去

選択済みの施設のジャンルにタッチ。

すべて消去

［**表示解除**］にタッチ。

近くの施設の検索

地図上に施設の記号を表示させているときに、▲または⊕の位置の近くにある施設の名称と▲または⊕からの直線距離・方向を表示させることができます。

- 検索することができる施設は、▲または⊕から半径約 10km 以内にある施設のみです。（最大 200 件まで）

地図表示中
▼
表示変更
▼
周辺施設
▼
周辺施設画面

1 ［**施設検索**］にタッチ。

2 施設名称にタッチ。



- 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示されます。
- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
- ワンタッチスクロールで地図を動かしたとき、矢印は表示されません。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

● 施設のリストは、以下の 2 種類の並べ方をすることができます。
距離順 … または から近い施設の順
種類順 … 施設の記号の種類順

3 **［情報］**にタッチ。

● 施設の内容が表示されます。(→ P.82)

ルートを考慮したリストの表示

目的地が設定されているとき、距離・方向をルート表示に連動したものにすることができます。

地図表示中
▼
表示変更
▼
周辺施設
▼
施設検索
▼
周辺施設検索画面

［ルート沿い考慮］にタッチ。



● 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのどちらの方向にあるかを表示します。
● ルートを考慮したリストを表示しているときは、作動表示灯が点灯します。

● 表示していた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。
● 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

周辺施設走行中呼出ジャンルの変更

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
ナビ詳細設定
▼
その他
▼
ナビ詳細設定画面

1 周辺施設走行中呼出ジャンルの**［変更する］**にタッチ。



2 変更したい施設のジャンルにタッチ。

● 初期設定の状態にもどすとき
➡**［初期状態］**にタッチ。

3 走行中呼出ジャンルに登録したい施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

4 ［完了］にタッチ。

5 ［完了］にタッチ。（**1** の画面）

ビジュアルシティマップ表示

道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させ、地図記号を立体的に表示させることができます。

● 地図記号･表示について ➡（→ P.148）



ビジュアルシティマップ表示のする／しないを設定できます。（→ P.129）

立体ランドマークの表示

地図上に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。



立体ランドマークの表示／非表示を設定できます。（→ P.129）

● 地図データに情報のない施設は、表示されません。

● 1/8　万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面、リアル市街図を除く）

立体ランドマークの内容の表示

地図表示中

1 立体ランドマークにタッチ。

● 名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 ［情報］にタッチ。



● 施設の内容が表示されます。（→ P.82）

一時停止案内

一時停止交差点に近づくと、地図右上に▼が表示され、音声案内されます。



一時停止案内のする／しないを設定できます。（→ P.132）

⚠ 警告

一時停止案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

- 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
  - ・地図データに情報のない地点
  - ・自車位置が正確に特定できないとき
  - ・2008 年 3 月時点の東京 23 区・政令指定都市（横浜市・大阪市・名古屋市など）・中核市（相模原市・熊本市・鹿児島市など）における片側 2 車線以上の道路に進入する道路以外※
    ※2009 年 8 月現在のものであり、変更される場合があります。
  - ・進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - ・一時停止交差点が連続するとき
  - ・他のナビ音声案内などと重なるとき
- 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
  - ・自車位置が正確に特定できないとき
  - ・地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点に変わったなど）

道路形状案内

踏切・合流道路・急カーブ・レーン数減少※の道路形状案内地点に近づくと、地図右上に案内マークが表示され、音声案内されます。踏切案内マークは地図上にも表示されます。

※ 都市高速道路走行中のみ案内されます。

道路形状案内のする／しないを設定できます。（→ P.132）

■ 道路形状案内マーク



形　状		案内マーク
踏切		
合流道路		
急カーブ		
レーン	レーン数減少	
	右折・左折専用	なし

■ 右折・左折専用レーン案内の例

直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。

目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。

（この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。）





警告

道路形状案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

- 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
- 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
  - ・目的地案内開始直後
  - ・再探索直後
  - ・目的地周辺
- 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
- 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

事故多発地点案内

交通事故が多発している地点を案内させることができます。

事故多発地点案内のする／しないを設定できます。（→ P.132）

■ 事故多発地点案内マーク

▶一般道路上では交通事故が多発している地点に、◆が表示されます。



- 1/5 千図～ 1/8 万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

▶高速道路上では交通事故が多発している地点に近づくと、地図右上に◆が表示され、音声案内されます。



警告

事故多発地点案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

学校存在案内

学校に近づくと、地図右上に が表示され、音声案内されます。



学校存在案内のする／しないを設定できます。(→ P.132)

■ 案内できる学校について

全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校※の小学校・中学校。

※ 専有校舎物件のみ。

⚠ 警告

学校存在案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

- 以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。
  - ・地図データに情報のない地点
  - ・土曜日、日曜日
  - ・午後 7 時～午前 7 時
  - ・自宅登録時の自宅周辺
  - ・一部の有料道路や自動車専用道路を走行中
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - ・案内表示中に別の学校に近づいたとき
  - ・他のナビ音声案内などと重なるとき

季節規制区間の表示

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが ━ で表示されます。また、このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



季節規制区間メッセージの表示／非表示を設定できます。(→ P.131)

- 季節規制区間を迂回するルートを探索したいとき
  - ➡「季節規制区間の迂回ルートの探索」(→ P.111)
- 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色はかわらず、メッセージも表示されません。

走行軌跡の表示

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。



- 保存できる距離を越えて走行したとき
  - ➡ 古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおす。

- 1/2500 図 ～ 1/512 万図で表示することができます。
- リアル市街図（→ P.52）または高速路線マップ（→ P.66）を表示しているときは、走行軌跡を表示することはできません。

地図表示中
▼
表示変更
▼
表示変更画面

［走行軌跡表示］にタッチ。



走行軌跡の消去

地図表示中
▼
表示変更
▼
表示変更画面

1 ［走行軌跡解除］にタッチ。



2 ［はい］にタッチ。

- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

シーズンレジャーランドマークの表示

シーズンレジャーランドマーク（桜の名所や紅葉の名所）を時期に合わせて表示させることができます。



内　容	マーク
桜の名所	
紅葉の名所	

シーズンレジャーランドマークの表示／非表示を設定できます。（→ P.129）

- 地図データに情報のない名所は、表示されません。
- 1/8　万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面、リアル市街図を除く）
- マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

県境案内

都道府県境を通過したとき、地図右上にその都道府県のマークが表示され、音声案内されます。



県境案内のする／しないを設定できます。（→ P.130）

- 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

画面切り替え時の動画表現

画面の切り替わるスイッチにタッチしたときや、画面外の **現在地** または **MAP** を押したとき、アニメーションのように表現されて画面を表示することができます。

画面切り替え時の動画表現のする／しないを設定できます。（→ P.131）

- 動画表現することのできない画面もあります。

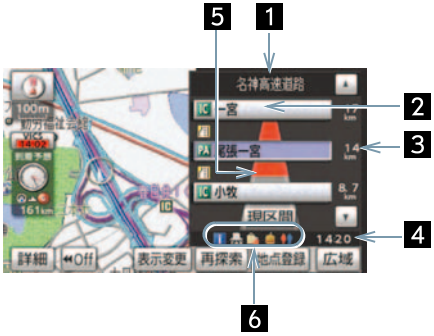
3. 高速道路・都市高速道路表示

ハイウェイモード

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

- 目的地案内中は、都市高速にはいっても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

[▲]・[▼] または施設名称（IC・SA・PA）にタッチ。



- 選ばれる施設が切り替わります。
- 施設を選んだとき、**[現区間]** にタッチすると、現在地から最寄りの施設が選ばれます。

1 道路名称表示	最寄りまたは選んだ施設の道路の名称を表示。
2 施設名称表示	施設の名称を表示。（目的地案内をさせていないときは、最大 10 カ所まで）
3 距離表示	現在地からの距離を表示。
4 通過予想時刻表示	選んだ施設への通過予想時刻を表示。
5 VICS 記号・表示（→ P.165）	VICS・交通情報を受信したとき表示。 • [VICS・交通情報の表示設定]（→ P.153）で、[一般道のみ] に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
6 設備マーク表示	選んだ施設（SA・PA のみ）にある設備を、ガソリンスタンドを除き最大 6 つまで表示。 • ガソリンスタンドは先頭に表示されます。 • 6 つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。

記号	内容
—※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAX サービス
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
	スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）

※固有のロゴマークが表示されます。

- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（→ P.99）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- SA・PA にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面（→ P.68）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。（高速分岐模式図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。）JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモードの解除

地図表示中
▼
表示変更
▼
地図表示
▼
地図表示画面

［高速略図解除］にタッチ。



▶ハイウェイモードにもどすとき
➡［高速略図表示］にタッチ。

高速路線マップ

高速道路にはいると、左画面に高速路線マップを表示させることができます。

一般道路を走行中でも表示させることができます。

高速道路走行中



一般道路走行中



高速路線マップの自動表示のする／しないを設定できます。（→ P.129）

- 高速路線マップを表示しているときは、常にノースアップ表示されるため、3D 表示（→ P.51）に切り替えることはできません。
- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、地図の右側に高速分岐案内画面（→ P.68）が表示されます。（高速分岐模式図自動表示を「しない」に設定しているときは表示されません。）JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にもとの画面に復帰します。
- 高速路線マップ自動表示を［しない］に設定していても、［表示変更］から高速路線マップを表示することができます。

● 高速路線マップでは、画面に表示されている道路のみのルートが表示されます。
（一度高速道路から出て再度、高速道路にはいるルートが探索された場合は、ルートが途切れて表示されます。）

高速路線マップの表示・解除

地図表示中
↓
表示変更
↓
地図表示
↓
地図表示画面

走行している道路の種類により、次のいずれかの操作をする。

高速道路走行中のとき

［高速路線マップ表示］にタッチ。



▶高速路線マップを 1 画面で表示したいとき
➡［表示変更］→［地図表示］→［高速略図解除］の順にタッチ。

▶解除するとき
➡［高速路線マップ解除］にタッチ。

一般道路走行中のとき

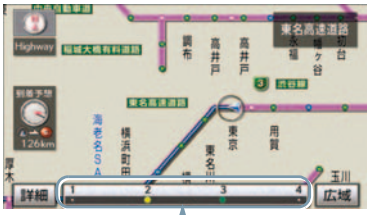
［高速路線マップ］にタッチ。



▶解除するとき
➡画面外の 現在地 または MAP を押す。

高速路線マップの縮尺の切り替え

［広域］ … 表示範囲を広くする
［詳細］ … 表示範囲を狭くする



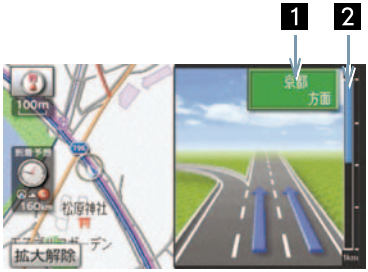
スケールバー

● 4 段階に切り替えることができます。
● タッチするごとに、1 段階ずつ切り替わります。
● ［広域］または［詳細］にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。

高速分岐案内

目的地案内中の地図表示画面で、現在地がルート上にあり、高速道路を走行しているとき、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内画面を表示させることができます。

高速分岐案内の自動表示のする／しないを設定できます。（→ P.129）



1 分岐点名称表示	IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
2 残距離表示	分岐点までの距離を表示。 （分岐点に近づくとともに ■ が短くなります。）

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 以下のようなときは、高速分岐案内が行われない場合があります。
  - ・目的地案内開始直後
  - ・目的地周辺
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。
- 高速分岐模式図自動表示を **［しない］** に設定していても、画面外の **現在地** または **MAP** を押すと高速分岐案内画面を表示することができます。

高速分岐案内画面の解除

［拡大解除］ にタッチ。

▶高速分岐案内画面にもどすとき

➡ 画面外の **現在地** または **MAP** を押す。

都市高速マップ表示

目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、都市高速にはいると、都市高速マップを表示させることができます。



都市高速マップの自動表示のする／しないを設定できます。（→ P.129）

- 1/2 万図 ～ 1/16 万図の地図で表示することができます。
- PA にはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。
- 2 画面表示 （→ P.50） しているときは、左画面に表示されます。
- 都市高マップ自動表示を **［しない］** に設定していても、**［表示変更］** から都市高速マップを表示することができます。
- 高速路線マップ （→ P.66） と都市高マップの自動表示を **［する］** に設定しているときは、高速路線マップを優先して表示します。

都市高速マップ表示の解除

地図表示中
▼
表示変更
▼
地図表示
▼
地図表示画面

［都市高マップ解除］にタッチ。



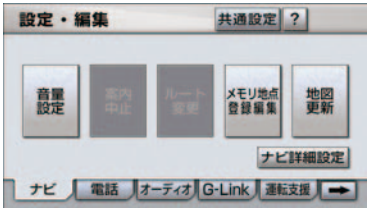
▶都市高速マップにもどすとき
➡［都市高マップ表示］にタッチ。

4. 音声の設定

音量設定

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **[音量設定]** にタッチ。



3 設定したい音量にタッチし、**[完了]** にタッチ。

- 音声を OFF にするとき
  ➡ **[消音]** にタッチ。

高速時の自動音量切替

車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。(車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。)

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
音量設定
▼
音量設定画面

[高速時の自動音量切替] にタッチし、**[完了]** にタッチ。

- 自動で 1 段階上がる設定にしているときは、作動表示灯が点灯します。

操作説明音声

操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

操作説明音声の発声する／しないを設定できます。(→ P.130)

ハートフル音声

通常の目的地案内中の音声案内・操作説明音声とは、異なった音声を出力させることができます。

〈ハートフル音声の例〉

■ 自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき

「お疲れさまでした」

■ ナビゲーション画面が表示されるとき

「今日は○月○日○曜日です」

ハートフル音声の発声する／しないを設定できます。(→ P.130)

- 状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

5. 地図の呼び出し方法

地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により地図を呼び出し、表示させることができます。

表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。

- 呼び出し方法の特徴については、表（→ P.72）をご覧ください。

▶目的地の設定のとき

画面外の **目的地** または **DEST**

▼

目的地画面（→ P.85）



その他の方法

戻る



▶目的地の追加のとき

ルート変更画面（→ P.106）

▼

目的地・通過目的地の **追加**

▼

目的地追加画面（→ P.106）



その他の方法

戻る



▶目的地の設定・追加以外のとき※

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
メモリ地点登録編集
↓
メモリ地点の 登録
↓
メモリ地点登録画面（→ P.113）

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
メンテナンス
↓
販売店設定
↓
販売店設定画面（→ P.136）

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
メモリ地点登録編集
↓
迂回メモリの 登録
↓
迂回メモリ登録画面（→ P.121）



※ 画面はメモリ地点の登録時のものです。迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときも表示される項目は同じです。

項目（スイッチ）	機　能	ページ
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	74
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	77
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	78
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	78
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 • メモリ地点を登録しているときのみ。（→ P.113）	—
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	79

項目（スイッチ）	機　能	ページ
郵便番号	入力した郵便番号が使用されている地域の地図を表示する。	80
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示する。	—
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	80
履歴／目的地履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 • 目的地履歴が登録されているときのみ。（→ P.112） 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 • 一度目的地案内を行ったときのみ。	81
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示する。	—
自宅に帰る	自宅を目的地としてルート探索を開始する。 • 自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。（→ P.86）	—
特別メモリに行く [1] / [2] / [3] / [4] / [5]	特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→ P.113）	—
自宅周辺	自宅周辺の地図を表示する。 • 自宅を登録しているときのみ。（→ P.113）	—
特別メモリ周辺 [1] / [2] / [3] / [4] / [5]	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→ P.113）	—
特別メモリ周辺		—
前回操作呼出	前回地図を呼び出す操作を途中で終了した場合、その操作を呼び出すことができます。	—
G で設定	G-Link を利用されているときに使用することができます。（→ P.567）	—

名称で地図を呼び出す

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面（→ P.75）に表示された件数が多い場合は、エリア（→P.76）・ジャンル（→P.77）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

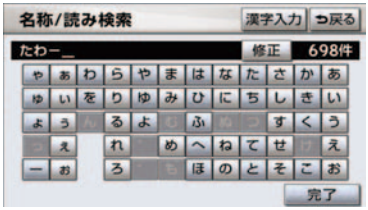
- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約 10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

名称読み入力

ひらがな入力

地図の呼び出し画面（→ P.71）
↓
名称
↓
名称／読み検索画面

名称を入力し、**［完了］**にタッチ。



- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
- 漢字・カタカナ・英数字・記号で入力するとき
  ➡**［漢字入力］**にタッチ。
  ・入力方法について
  ➡「名称文字入力」（→ P.74）
- 間違えたとき ➡ **［修正］**にタッチ。
- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→ P.75）

名称文字入力

名称読み入力に比べ、検索する施設名称または地名の件数を絞り込むことができます。

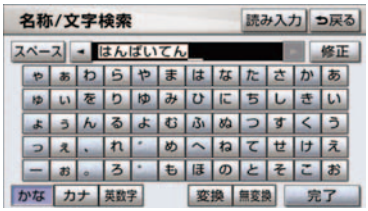
- **［読み入力］**にタッチすると、入力していた文字は消去され、「ひらがな入力」（→ P.74）の画面にもどります。
- 間違えたとき ➡ **［修正］**にタッチ。

地図の呼び出し画面（→ P.71）
↓
名称
↓
漢字入力
↓
名称／読み検索画面

ひらがな・漢字入力

1 **［かな］**にタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、**［変換］**にタッチ。



- 入力したままの状態で確定したいとき
  ➡**［無変換］**にタッチ。

3 入力したい熟語にタッチ。

- 変換範囲を修正するとき
  ➡ [◀]・[▶] にタッチ。
- そのままの状態でよいとき
  ➡ [全確定] にタッチ。

4 [完了] にタッチ。(**2** の画面)

- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。(→ P.75)

カタカナ、英数字・記号入力

1 [カナ]・[英数字] のいずれかにタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、[完了] にタッチ。

カタカナ入力時



英数字・記号入力時



- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。(→ P.75)

全国リスト画面

地図の呼び出し画面 (→ P.71)
↓
名称
↓
(名称入力)
↓
完了
↓
全国リスト画面

表示させる施設名称または地名にタッチ。



- 選択した施設の地図が表示されます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗 (チェーン店など) があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- エリア (→ P.76) またはジャンル (→ P.77) を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。

▶まとめて表示されたリストにタッチしたとき
➡ 施設名称にタッチ。

- 施設名称のリストは、以下の 2 種類の並べ方をすることができます。
- **距離順**※ … から近い施設または地名の順
- **名称順** …… 50 音順

※ 検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に並び替えできない場合があります。

エリア別検索

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

全国リスト画面（→ P.75）

1 ［**エリアで絞る**］にタッチ。

2 エリアの指定方法を選択する。



- 次の 3 通りの方法で、エリアを指定することができます。

スイッチ	項　目	ページ
住所	住所で絞り込む	76
地域	地域で絞り込む	76
周辺	周辺で絞り込む	77

住所選択時

全国リスト画面（→ P.75）
↓
エリアで絞る
↓
住所
↓
住所リスト画面

1 都道府県名にタッチ。



- リスト画面にもどすとき
  ➡［**全エリア**］にタッチ。

2 市区町村名にタッチ。

- 都道府県を指定してリスト画面を表示するとき
  ➡［**○○全域**］にタッチ。

地域選択時

全国リスト画面（→ P.75）
↓
エリアで絞る
↓
地域
↓
地域リスト画面

地域名にタッチ。



- リスト画面にもどすとき
  ➡［**全エリア**］にタッチ。

周辺選択時

全国リスト画面（→ P.75）
▼
エリアで絞る
▼
周辺
▼
周辺リスト画面

1 ［現在地周辺］・［先程の地図］・［目的地周辺］のいずれかにタッチ。



- リスト画面にもどすとき
  ➡［全エリア］にタッチ。

▶目的地を複数設定してある場合、［目的地周辺］にタッチしたとき
➡目的地にタッチ。

2 ［セット］にタッチ。

■施設のジャンル別検索

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

全国リスト画面（→ P.75）

1 ［ジャンルで絞る］にタッチ。

2 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。



- リスト画面にもどすとき
  ➡［全ジャンル］にタッチ。
- 地名を入力したときは、［その他］→［住所］の順にタッチすると、地名のリストが表示されます。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

住所で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ P.71）
▼
住所
▼
住所検索画面

1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順にタッチ。



- ［○○主要部］にタッチすると、広域図が表示されます。

2 ［番地指定］にタッチ。

3 番地を入力し、[完了] にタッチ。

- 入力した番地に、
  ・該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
  ・該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。
- 間違えたとき ➡ [修正] にタッチ。

施設で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ P.71）
▼
施設
▼
施設検索画面

1 施設のジャンルにタッチ。



- 表示されている以外のジャンルを表示するとき
  ➡ [その他] にタッチ。

▶[その他] にタッチしたとき
➡ 施設のジャンルにタッチ。

2 都道府県名（路線名）にタッチ。

- さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。
  このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
  [全国の○○] にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が 50 音順に表示されます。

3 施設名称にタッチ。

電話番号で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ P.71）
▼
電話番号
▼
電話番号検索画面

電話番号を入力し、[完了] にタッチ。



- 市外局番から入力します。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 入力した番号が以下のとき、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  ・該当する施設がないとき
  ・個人住宅などのとき
- 間違えたとき ➡ [修正] にタッチ。

▶同じ電話番号で複数の地点があるとき
➡ 施設名称にタッチ。

- 同じ名前の施設名称が、複数表示されることがあります。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
  - ・デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - ・一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは 1 年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
  記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

ジャンルで地図を呼び出す

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

地図の呼び出し画面（→ P.71）
▼
ジャンル
▼
ジャンル検索画面

1 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチし、［完了］にタッチ。



- 5 つまで選択することができます。
- 間違えたとき
  ➡［選択解除］または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

2 施設名称にタッチ。

- 施設のリストは、以下の 2 種類の並べ方をすることができます。
  距離順 … または から近い施設の順
  種類順 … 施設の記号の種類順
- ［ルート沿い考慮］にタッチすると、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。（→ P.58）

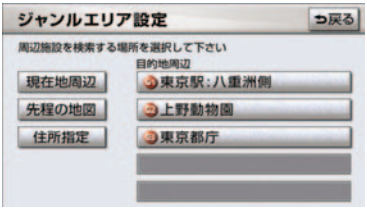
エリア別検索

施設を検索するエリアを変更することができます。

地図の呼び出し画面（→ P.71）
▼
ジャンル
▼
ジャンル検索画面

1 ［エリア］にタッチ。

2 施設を検索したい地域にタッチ。



- **［住所指定］**にタッチすると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。
  ・選択方法について
  ➡「住所で地図を呼び出す」（→ P.77）
  手順 **1** へ。

3 **［セット］**にタッチ。

郵便番号で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ P.71）
▼
郵便番号
▼
郵便番号検索画面

郵便番号を入力し、**［完了］**にタッチ。



- 7桁郵便番号を入力します。
- 間違えたとき ➡ **［修正］**にタッチ。

マップコードで地図を呼び出す

マップコード※とは、特定の位置の位置データをコード化し、1 ～ 13 桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

※「マップコード」は、株式会社 デンソーの登録商標です。

地図の呼び出し画面（→ P.71）
▼
マップコード
▼
マップコード検索画面

マップコードを入力し、**［完了］**にタッチ。



- 間違えたとき ➡ **［修正］**にタッチ。
- マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
  http://www.e-mapcode.com
- マップコードは、メモリ地点・迂回メモリ地点を登録すると、位置の名称の下に表示されます。
  ・メモリ地点……（→ P.113）
  ・迂回メモリ地点……（→ P.121）

履歴で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ P.71）

▼

履歴 または 目的地履歴

▼

履歴検索画面

希望の目的地履歴にタッチ。



- **［前回出発地］**にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。
- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

6. 呼び出した地図の操作

ピンポイント検索

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

ピンポイント検索されたとき



ピンポイント検索されなかったとき



- 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に が表示されます。

位置の変更

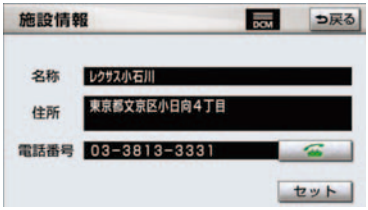
にタッチして、地図を動かす。

施設の内容の表示

［情報］にタッチ。

- 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

簡易情報表示



情報付き施設表示



- 画面をスクロールするとき
  ➡ にタッチ。
- ［○○］（［住所］・［写真］など）にタッチすると、それぞれの情報が書かれている部分に画面を移動します。

提携駐車場の検索

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

- 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- 検索される駐車場は、設定した車両情報（→ P.100）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

1 ［提携 P］にタッチ。



- ［提携 P］にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。

2 駐車場名称にタッチ。

- 選択した駐車場の内容が表示されます。
- 表示された画面の操作について
  ➡「施設の内容の表示」（→ P.82）
- それぞれの地点の地図を表示するとき
  ➡［地図］にタッチ。
- 専用駐車場は P、提携駐車場は P で表示されます。

住所の検索

■ 住所一覧検索

次のときに、検索することができます。

▶「名称で地図を呼び出す」のリスト画面で、地名にタッチしたとき

▶「郵便番号で地図を呼び出す」とき

▶「電話番号で地図を呼び出す」で、該当する施設がなかったとき

1 ［住所一覧］にタッチ。



2 地名にタッチ。

- 選択した地名の地図が表示されます。
- 詳細がわからないとき
  ➡［○○主要部］にタッチし、広域図を表示。

■ 周辺住所検索

次のときに、検索することができます。

▶「住所一覧検索」（→ P.83）で、該当する住所がなかったとき

▶「住所で地図を呼び出す」で、該当する住所がなかったとき

1 ［周辺住所］にタッチ。



2 番地にタッチ。

1. 目的地案内について

目的地案内について

目的地案内では、目的地の設定のしかた、目的地への案内のしかた、ルートの変更のしかたについて説明しています。

まずはじめに、
①目的地を設定します。
目的地をもう 1 カ所追加したいときは、
②目的地の追加をご覧ください。
希望のルートでなかったときは、
③入口 IC の指定・**④出口 IC の指定**・**⑤通過道路の指定**をご覧ください。
ルート変更は、他にも方法があります。(→ P.106 ～ P.111)



2. 目的地の設定・ルート探索

目的地の設定

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 カ所まで）100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。（→ P.112）

次の 2 通りの方法で、目的地の設定をすることができます。

- 目的地画面から設定する（→ P.85）
- 地図画面から設定する（→ P.85）

目的地画面からの設定方法

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。（→ P.71、P.82）



3 **［目的地セット］**にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が G 記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→ P.86）
- 設定した目的地を消去するとき
  ➡「目的地の消去」（→ P.108）

▶すでに目的地が設定されているとき

➡ 次のいずれかにタッチ。

［新規目的地］ … 新しく目的地を設定する

［追加目的地］ … 目的地を追加する※

※ 以降の設定方法について

➡「目的地の追加」（→ P.106）手順 **4** へ。

- 「地図画面からの設定方法」（→ P.85）で目的地を設定した場合は、一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

地図画面からの設定方法

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 地図上にタッチし、**［目的地セット］**にタッチ。



2 ⌂にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、**［目的地セット］**にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が G 記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→ P.86）

自宅を目的地に設定

画面外の **目的地** または **DEST**

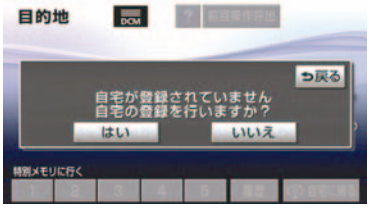
▼

目的地画面

［自宅に帰る］にタッチ。

■ 自宅が登録されていないとき

1 ［はい］にタッチ。



2 自宅の登録方法を選択する。

- 次の 3 通りの方法で、地図を呼び出すことができます。
  - ・現在地周辺
  - ・目的地履歴（→ P.81）
  - ・住所指定（→ P.77）

3 ［セット］にタッチ。

4 ［自宅に帰る］にタッチ。
（目的地画面）

ルート探索

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。
- 高速道路や有料道路の IC・SA・PA 内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→ P.104）を行ってください。

ルート学習

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内させることができます。

目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



ルート学習のする／しないを設定できます。（→ P.131）

- ルート学習する区間に、一部でも幅 5.5m 未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。（自宅登録時の自宅周辺を除く）
- 学習した道が使われない場合もあります。
- 自車位置マークが実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。（高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など。）
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

ルート学習結果の消去

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
ルート系設定
↓
ナビ詳細設定画面

1 ルート学習結果の消去の［**消去する**］にタッチ。



2 ［**はい**］にタッチ。

全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- 全ルート図が表示されたあと、画面外の **現在地** または **MAP** を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。(→ P.92)

■ 表示について

表示はすべて最終の目的地までのものです。



表　示	機　能
1 **IC 名称表示**	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称が下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称が上に表示される。
2 **有料道路距離表示**	目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。
3 **料金案内**	目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。 (有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。) • 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示する。
4 **距離表示**	目的地までの距離を表示する。
5 **IC マーク**	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC と、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の位置に表示する。
6 **到着予想時刻表示**	目的地への到着予想時刻を表示する。(→ P.98) • ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。
7 **残距離表示**	表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示する。 • ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。

■ スイッチについて

全ルート図表示画面で、次のことができます。



スイッチ	機　能
1 5 ルート（→ P.91）	別のルートを表示して選択する。 • 目的地案内開始後は表示されません。
2 ルート変更（→ P.106）	ルート変更画面を表示する。
3 案内開始【目的地案内中は、案内に戻る】（→ P.92）	目的地案内またはデモンストレーションを開始する。 目的地案内中は、現在地画面にもどる。
4 情報（→ P.90）	案内道路情報を表示する。
5 IC 名称（→ P.109）	出入口 IC を指定する。
6 到着予想時刻・残距離表示（→ P.103）	各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替える。 （目的地を複数設定しているとき）
7 G ルート／元ルート（→ P.557）	G-Link を利用されているときに使用することができます。

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定した車両情報（→ P.100）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速（→ P.99）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に✕が表示されることがあります。
- 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。
- 目的地案内開始後にも全ルート図表示画面を表示することができます。（→ P.103）

ルート表示について



ルートの表示色は、次の4 種類あります。

▶青色（　）

目的地を 1 カ所、または複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）の表示

▶白色（　）

目的地を複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示

▶水色（　）

幅 5.5m 未満の道路表示（→ P.90）

▶橙色（　）

季節規制区間表示（→ P.62）

幅 5.5m 未満の道路表示

現在地または目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路を通るルートも探索します。



- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

ルート情報（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

全ルート図表示画面（→ P.88）

1 ［情報］にタッチ。

2 ルート情報画面が表示される。



- 入口 IC・出口 IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
  ・それぞれの地点の地図を表示するとき
  ➡［地図］にタッチ。
- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に が表示されます。
- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- 料金は設定した車両情報（→ P.100）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（→ P.99）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

5 ルート表示

5つのルートから希望のルートを選ぶことができます。

- 以下のときは、5　ルートを表示できません。
  - ・目的地を複数設定しているとき
  - ・通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき
  - ・目的地案内開始後

全ルート図表示画面（→ P.88）

1 ［5 ルート］にタッチ。



- 5 つのルートが 5 色に色分けされて表示されます。

2 表示したいルート名称にタッチ。

- 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

スイッチ	内　容
推奨	一般的なルートで案内できます。
有料優先	有料道路を優先して案内できます。
一般優先	一般道路を優先して案内できます。
距離優先	距離の短いルートで案内できます。
別ルート	他の４つのルートとは別のルートで案内できます。

5 ルートの詳細情報

5 つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間を確認することができます。

全ルート図表示画面（→ P.88）
↓
5 ルート
↓
5 ルート表示画面

1 ［全行程一覧］にタッチ。

2 全行程一覧表画面が表示される。



- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。
- 料金は設定した車両情報（→ P.100）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均車速（→ P.99）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3. 目的地案内の開始

目的地案内の開始

全ルート図表示画面（→ P.88）

［案内開始］にタッチ。



- 全ルート図が表示されたあと、画面外の 現在地 または MAP を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

デモンストレーション（デモ）

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。



全ルート図表示画面（→ P.88）

［案内開始］に約 3 秒以上タッチ。

▶デモを終了するとき

➡ 画面外の 現在地 、MAP などを押す。

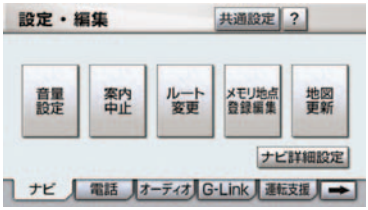
- デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。
- ルート探索終了後、目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。
- オンルートスクロールを使っても、探索されたルートを確認することができます。（→ P.101）

目的地案内の中止

1 画面外の 設定・編集 または SET UP を押す。

2 ナビ にタッチ。

3 ［案内中止］にタッチ。



- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。
- 目的地を消去するとき

  ➡「目的地の消去」（→ P.108）
- 中止した目的地案内を再開するとき

  ➡ 画面外の 設定・編集 または SET UP →（ ナビ ）→［案内再開］の順にタッチ。

4. 目的地への案内

音声案内

次のようなときに、音声案内が出力されます。

■ 目的地案内中の音声案内の例

分岐交差点手前

700m 手前

「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」

300m 手前

「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」

100m 手前

「ポーン まもなく右方向です」

交差点直前

「右方向です」



● ○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

▶信号機案内の例

2008 年 3 月時点の東京 23 区･政令指定都市（横浜市・大阪市・名古屋市など）・中核市（相模原市・熊本市・鹿児島市など）における片側 3 車線以上の道路を走行中に音声案内されます。※

※ 2009 年 8 月現在のものであり、変更される場合があります。

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」

「ポーン 次の信号を右方向です」

▶目印案内の例

リアル交差点（→ P.97）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン まもなく右方向 高架を登ります」

有料道路への進入時

「ポーン まもなく右方向です
その先 高速道路です」

「ポーン この先 料金所です」

連続車線変更案内時

連続車線変更案内（→ P.97）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン この先すぐに 左レーンに移動が必要です」

幅 5.5m 未満の道路への進入時

「ピンポーン 実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

■ 目的地周辺に到着したときの音声案内の例

目的地の手前

「ポーン まもなく目的地です」

目的地の直前

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」

音声案内はあくまでも参考としてください。

画面外の 現在地 または MAP を押すと、分岐交差点までの距離に応じた音声案内が出力されます。

- 自動音声案内を「しない」に設定していても出力されます。

自動音声案内のする／しないを設定できます。(→ P.130)

- 音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 地図データに情報のある地点で案内されます。
- 音声案内の音量は調節することができます。(→ P.70)
- 信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。
  - ・信号機のある交差点を走行しているとき
  - ・分岐する交差点までの距離が短いとき
  - ・分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき
  - ・2008 年 3 月時点の東京 23 区･政令指定都市（横浜市・大阪市・名古屋市など）・中核市（相模原市・熊本市・鹿児島市など）以外※

※ 2009 年 8 月現在のものであり、変更される場合があります。

幅 5.5m 未満の道路での案内

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

細街路での音声案内をする／しないを設定できます。(→ P.130)

- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅 5.5m 未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

他モードでの案内

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。(→ P.130)

- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

交差点案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図（→ P.95）または交差点拡大図（→ P.96）に切り替わります。また、ターンリスト図（→ P.98）を表示させることもできます。

レーン（車線）リスト図表示

分岐する交差点の手前（約 700m 以内）では、レーンリスト図（走行する交差点の名称とレーン表示）を最大 4 つまで表示させることができます。

レーンリスト図の自動表示のする／しないを設定できます。（→ P.129）

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.96）が自動的に表示されます。（交差点拡大図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。）
- レーンリスト自動表示を「しない」に設定していても、**［レーン表示］**にタッチすると、レーンリスト図を表示することができます。

▶レーンリスト



▶高精度レーンリスト

実際の車線状況に応じたレーンリスト（右側・左側車線の増減を画面にそのまま反映したもの）が表示されます。
また、バックカメラを利用して走行しているレーンを認識することにより、レーンリストに自車位置マークを表示します。



高精度レーンリストを表示できる地域について

2008 年 3 月時点の東京 23 区･政令指定都市（横浜市・大阪市・名古屋市など）・中核市（相模原市・熊本市・鹿児島市など）における片側 3 車線以上の道路※

※ 2009 年 8 月現在のものであり、変更される場合があります。

レーンリスト図表示の解除

［レーン解除］にタッチ。

▶レーンリスト図にもどすとき

➡ **［レーン表示］**にタッチ。



⚠ 警告

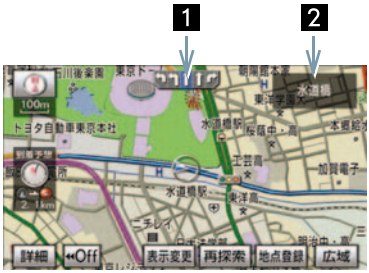
レーン案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

交差点拡大図表示

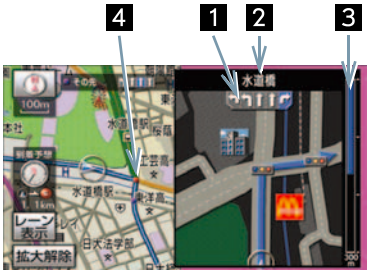
交差点が近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点が近づく（約 300m 以内）と、交差点拡大図を表示させることができます。

交差点拡大図の自動表示のする／しないを設定できます。（→ P.129）

分岐しない交差点



分岐する交差点（交差点拡大図）



1 レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線が表示されます。 • 走行を推奨する車線が青色で表示されます。
2 交差点名称表示	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
3 残距離表示	交差点までの距離が表示されます。 • 交差点に近づくとともに ■ が短くなります。
4 案内ポイント	通過・分岐する交差点に表示されます。

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
- レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- 交差点拡大図自動表示を「しない」に設定していても、画面外の **現在地** または **MAP** を押すと交差点拡大図を表示することができます。

3D 交差点拡大図表示

交差点拡大図を立体的（3D）に表示させることができます。



交差点拡大図の 3D 表示する／しないを設定できます。（→ P.130）

連続車線変更案内

分岐する交差点までの距離が短く、複数車線変更が必要な場合に表示されます。



- 地図データに情報のある地点で表示します。

立体的な拡大図表示

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

都市高速 IC 入口



立体交差点



リアル交差点



側道案内



- 地図データに情報のある地点（都市高速 IC 入口、立体交差点、リアル交差点※、側道案内）で表示します。

※ 都市部の交差点で分岐がわかりづらい交差点で表示されます。

拡大図表示の解除

［拡大解除］にタッチ。

▶拡大図にもどすとき

➡ 画面外の 現在地 または MAP を押す。

ターンリスト図表示

分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。

ターンリスト図の自動表示のする／しないを設定できます。(→ P.129)



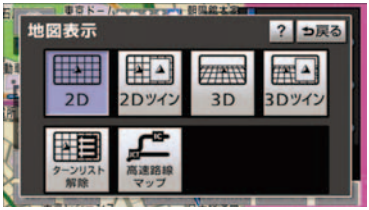
1 案内ポイント	分岐する交差点・IC・JCT 名称が表示されます。 現在地から次に分岐する交差点・IC・JCT までは、現在走行中の路線名が表示されます。
2 距離表示	案内ポイント区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。
3 案内方向	案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約 700m 手前では、レーンリスト図 (→ P.95)・交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図 (→ P.96) が自動的に表示されます。(レーンリスト自動表示・交差点拡大図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。)
- 地図データに情報のない交差点・IC・JCT 名称、路線名、路線番号は表示されません。
- ターンリスト自動表示を「しない」に設定していても、**[表示変更]** からターンリスト図を表示することができます。

ターンリスト図表示の解除

地図表示中
▼
表示変更
▼
地図表示
▼
地図表示画面

[ターンリスト解除] にタッチ。



▶ターンリスト図にもどすとき
➡ **[ターンリスト表示]** にタッチ。

到着予想時刻の表示

全ルート図表示画面 (→ P.88) と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、地図左下に到着予想時刻を表示させることができます。



到着予想時刻表示

- 到着予想時刻は設定した平均車速 (→ P.99) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク (◆) になります。

平均車速の設定

次の画面を表示したときの、時刻・時間を計算する基準である平均車速を設定することができます。

- 現在地画面の到着予想時刻
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻（→ P.88）
- ハイウェイモードの通過予想時刻（→ P.65）
- ルート情報の通過予想時刻（→ P.90）
- 全行程一覧表の所要時間（→ P.91）

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
ナビ詳細設定
▼
案内表示設定
▼
ナビ詳細設定画面

1 到着予想時刻表示の［**変更する**］にタッチ。



2 それぞれの道路の速度を設定し、［**完了**］にタッチ。

- 速度を上げるときは［▶］、下げるときは［◀］にタッチ。

3 ［**完了**］にタッチ。（**1** の画面）

- ［**初期状態**］にタッチすると、初期設定の状態（高速道路 80km/ h・有料道路 60km/ h・一般道路 30km/ h）にもどります。
- ［**VICS 情報考慮**］にタッチし作動表示灯が点灯すると、VICS・交通情報を考慮した到着予想時刻を表示させることができます。また、G ルート探索（→ P.557）により、広域の渋滞予測情報を G-BOOK センターから取得した場合も到着予想時刻に反映されます。

料金案内

料金案内は、料金所手前または ETC ゲート通過時のどちらかで実施されます。

- ナビ連動タイプETC システムが利用できないとき
  ➡ 料金所手前で支払予定料金の案内をします。
- ナビ連動タイプETC システムが利用できるとき
  ➡ ETC　ゲート通過時に支払った料金の案内をします。

料金案内



料金所手前での料金案内

目的地案内中の現在地画面で料金所に近づくと、地図データ情報を利用して、支払予定料金の表示と音声案内をします。この地図データ情報を利用した料金案内は、ETC システムに ETC カードを挿入していないときに実施されます。

料金案内のする／しないを設定できます。（→ P.130）

- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- 料金は設定した車両情報（→ P.100）のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

- 有料道路と一般道路が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道路へずれることがあります。このとき再探索が行われると、実際と異なる料金が案内されることがあります。
- 出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索をしたときなど）、または有料道路内に目的地を設定したときなどは、「料金不明」と表示されます。

ETC ゲート通過時の料金案内

ETC システムに有効期限内の ETC カードを挿入している場合は、ETC 情報を利用した ETC 割込表示により、支払った料金が ETC ゲート通過時に案内されます。（→ P.432）

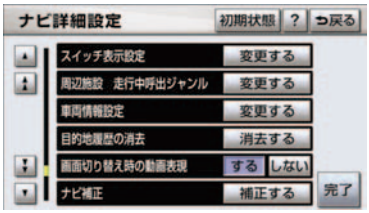
車両情報の設定

次の画面を表示したときの、料金の計算、および提携駐車場（→ P.82）を検索させるときの基準である車両情報を設定することができます。

- 現在地画面の料金案内（→ P.99）
- 全ルート図表示画面の料金案内（→ P.88）
- ルート情報の料金案内（→ P.90）
- 全行程一覧表の料金案内（→ P.91）

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
その他
↓
ナビ詳細設定画面

1 車両情報設定の **[変更する]** にタッチ。



2 次の項目を設定し、**[完了]** にタッチ。

ナンバープレートの分類番号

[1]・[3]・[5・7] のいずれかにタッチ。

車両寸法

長さ・幅・高さを設定する。

[▶] … 寸法を大きくする

[◀] … 寸法を小さくする

- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- 車両寸法については、車検証をご覧ください。
- **[初期状態]** にタッチすると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）にもどります。

3 **[完了]** にタッチ。（**1** の画面）

フェリー航路の案内

フェリーの航路は ------（破線）で表示されます。



- フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

5. 案内中の操作

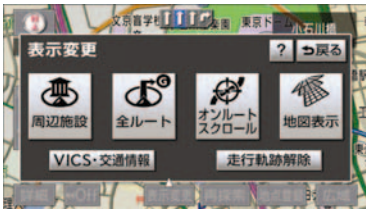
オンルートスクロール

出発した地点または目的地まで、ルートに沿って地図を自動で移動させることができます。

- ルート沿いの施設や VICS・交通情報を確認することができます。
- 以下のときは、オンルートスクロールをさせることはできません。
  - ・表示していた地図にルートが表示されていないとき
  - ・高速路線マップ（→ P.66）を表示しているとき

地図表示中
▼
表示変更
▼
表示変更画面

1 ［オンルートスクロール］にタッチ。



2 スクロールの項目（［▶G］・［S◀］・［▶|G］・［S|◀］）にタッチ。

- 設定したスクロールの条件により、スクロールのしかたが異なります。(→P.101)
- スクロールの条件または施設を変更するとき
  ➡［設定］にタッチ。

スクロール画面

オンルートスクロール中に、次の操作をすることができます。

［ ⏸ ］…… 一時停止
［▶▶G］または［S◀◀］… 早送り



オンルートスクロールの設定

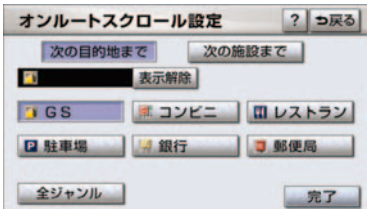
条件の選択

地図表示中
▼
表示変更
▼
オンルートスクロール
▼
オンルートスクロール画面

1 ［設定］にタッチ。

2 ［次の目的地まで］または［次の施設まで］にタッチし、［完了］にタッチ。

オンルートスクロール設定画面



次の目的地まで

［ ］… 次の目的地まで地図を移動

［ ］… 出発した地点または前の目的地まで地図を移動

［ ］… 次の目的地の地図を表示

［ ］… 出発した地点または前の目的地の地図を表示

次の施設まで

施設が選ばれているときのみタッチすることができます。

［ ］… 目的地方向で、最寄りの施設まで地図を移動

［ ］… 出発した地点の方向で、最寄りの施設まで地図を移動

［ ］… 目的地方向で、最寄りの施設の地図を表示

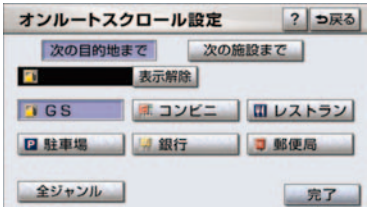
［ ］… 出発した地点の方向で、最寄りの施設の地図を表示

- 1/8　万図より広域の地図を表示していたときは、「次の施設まで」のスクロールをさせることはできません。

施設の選択

地図表示中
↓
表示変更
↓
オンルートスクロール
↓
設定
↓
オンルートスクロール設定画面

施設のジャンルを選択し、［完了］にタッチ。



- 5 つまで選択することができます。
- 間違えたとき
  ➡［表示解除］または選択済みの施設のジャンルにタッチ。
- 表示されている以外のジャンルを選択するとき
  ➡［全ジャンル］にタッチ。

▶［全ジャンル］にタッチしたとき

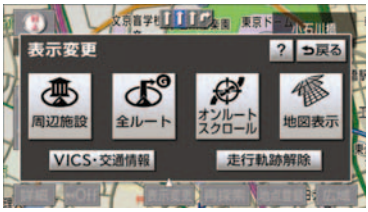
➡ 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡［表示解除］または選択済みの施設のジャンルにタッチ。
- オンルートスクロールでの施設の選択と、通常の地図画面での施設表示（→ P.56）は別の設定のため、オンルートスクロールで施設を変更しても、通常の地図画面の施設は変更されません。

全ルート図を表示するには

地図表示中
▼
表示変更
▼
表示変更画面

［全ルート］にタッチ。



● 全ルート図表示画面について
➡「全ルート図表示」（→ P.88）

全ルート図表示縮尺切り替え

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを、現在地を地図表示画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。

地図表示中

1 ［広域］または［詳細］にタッチ。

2 ［ ］にタッチ。



● 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替えるには

目的地を複数設定しているとき、切り替えることができます。

地図表示中

1 到着予想時刻・残距離表示にタッチ。



● 目的地が2カ所のときは、タッチするごとに各目的地までの到着予想時刻・残距離表示に切り替わります。

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

● 状況により目的地までの表示が異なります。
・現在地がルート上にあるとき
➡ 到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離
・ルートからはずれたとき
➡ 目的地の方向と直線距離

6. ルートの再探索

自動再探索

ルートからはずれたときに、自動的に再探索※させることができます。再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

※ 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。

自動再探索のする／しないを設定できます。（→ P.131）

- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

ルートの再探索

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

再探索されるルートは、8 つの項目（探索条件）を選ぶことにより異なります。

画面外の **現在地** または **MAP**

▼

現在地画面

1 **［再探索］**にタッチ。

2 再探索する項目にタッチ。



- **［次の 消去］**にタッチすると、現在地の次の目的地を消去して、再探索をすることができます。
- **［次の 解除］**にタッチすると現在地の次の通過道路、**［IC 指定解除］**にタッチすると IC の指定を解除して、再探索をすることができます。
- 通常のルート探索では、スマート IC を通らないルートが探索されます。
- **［スマート IC 考慮］**にタッチすると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索されます。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索されます。
- **［G ルート探索］**・**［取得中止］**は、G-Link を利用されているときに使用することができます。詳しくは、「再探索で G ルート探索する」（→ P.557）をご覧ください。

項目 （スイッチ）	機　能
推奨	現在地から次の目的地※3の間で、一般的なルートを探索する。
有料優先	現在地から次の目的地※3 の間で、有料道路を優先してルートを探索する。
一般優先	現在地から次の目的地※3 の間で、一般道路を優先してルートを探索する。
距離優先	現在地から次の目的地※3の間で、距離の短いルートを探索する。
別ルート	現在地から次の目的地※3 の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。
周辺迂回※1	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。（探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。） • 目的地案内開始前にはできません。
有料道から探索／ 一般道から探索※2	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。 • 目的地案内開始前にはできません。
G ルート探索／ 取得中止	G-Link を利用されているときに使用することができます。 （→ P.557）

※1 ルートからはずれたときは表示されません。

※2 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

※3 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートを探索します。

- 「○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**［有料優先］**にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**［一般優先］**にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定している目的地または指定している IC・通過道路に向かうルートが再探索されます。

7. ルート変更

ルート変更画面の表示

画面外の **設定・編集** または **SET UP**

▼

設定・編集画面

または

全ルート図表示画面（→ P.88）

1 **［ルート変更］**にタッチ。

2 ルート変更画面が表示される。



- ルート変更画面では、次のことができます。
  - ・探索条件の変更（→ P.106）
  - ・目的地の追加（→ P.106）
  - ・目的地の並び替え（→ P.107）
  - ・目的地の消去（→ P.108）
  - ・出入口 IC の指定・解除（→ P.109）
  - ・通過道路の指定（→ P.109）
  - ・通過道路の修正（→ P.110）
  - ・通過道路指定の解除（→ P.111）
  - ・季節規制区間の迂回ルート探索（→ P.111）
- **［探索開始］**にタッチすると、スマート IC を通らないルートが探索されます。
- **［スマートIC考慮］**にタッチすると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索されます。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索されます。

探索条件の変更

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

ルート変更画面（→ P.106）

1 **［探索条件変更］**にタッチ。

2 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）にタッチし、**［探索開始］**にタッチ。



- 探索条件の特徴について
  ➡「ルートの再探索」（→ P.104）
- 最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

- ５カ所まで設定することができます。
- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。（→ P.112）

● IC・通過道路（→ P.109）を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

ルート変更画面（→ P.106）

1 目的地・通過目的地の［**追加**］にタッチ。

2 地図の呼び出し方法を選び、追加したい地点の地図を表示する。（→ P.71、P.82）



3 ［**目的地セット**］にタッチ。

● ⊕の位置に目的地が記号で表示されます。

● ここまで（**1** ～ **3**）の操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。（→ P.85）

4 目的地を設定する区間の［**設定**］にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき
➡［**探索開始**］にタッチ。

● さらに追加して目的地を設定するとき
➡［**追加**］にタッチ。（**2** の画面へ）

目的地の並び替え

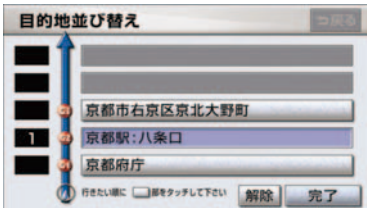
ルート変更画面（→ P.106）

1 目的地・通過目的地の［**並び替え**］にタッチ。

● IC・通過道路（→ P.109）を指定しているときは、メッセージが表示されます。

● ［**はい**］にタッチすると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

2 現在地の次に行く目的地から順に目的地にタッチし、［**完了**］にタッチ。



● タッチした目的地の左側に、新しい順番が表示されます。

● 間違えたとき ➡［**解除**］にタッチ。

● 選択済みの目的地にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。

● 最終目的地の 1 つ手前の目的地を選択すると、［**完了**］にタッチしなくても、約 3 秒後、自動的に最終目的地が決定され、**3** の画面が表示されます。

● すべての目的地にタッチしないで、［**完了**］にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。

3 ［**探索開始**］にタッチ。

目的地の消去

- すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。
- 複数目的地を設定し、IC・通過道路（→P.109）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によってIC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

次の 3 通りの方法で、目的地を消去することができます。

- ルート変更画面から消去する（→ P.108）
- 目的地画面から消去する（→ P.108）
- 地図画面から消去する（→ P.108）

ルート変更画面からの消去方法

ルート変更画面（→ P.106）

1 目的地・通過目的地の［消去］にタッチ。

- 1 カ所のみ設定されていたとき
  ➡ 手順 **3** へ

2 消去したい目的地にタッチ。



- すべての目的地を消去するとき
  ➡［全消去］にタッチ。

3 ［はい］にタッチ。

4 ルート変更画面にもどったとき
➡［探索開始］にタッチ。

目的地画面からの消去方法

画面外の 目的地 または DEST
▼
目的地画面

［目的地消去］にタッチ。



- 「ルート変更画面からの消去方法」（→ P.108）手順 **2** へ。
- 1 カ所のみ設定されていたとき
  ➡「ルート変更画面からの消去方法」（→ P.108）手順 **3** へ。

地図画面からの消去方法

1 地図上の消去したい目的地にタッチ。

2 ［情報］にタッチ。



3 ［消去］にタッチ。

● 「ルート変更画面からの消去方法」（→ P.108）手順 **3** へ。

出入口 IC（インターチェンジ）の指定

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口ICを 1 カ所ずつ指定することができます。

全ルート図表示画面（→ P.88）

または

ルート変更画面（→ P.106）

1 変更する IC 名称表示にタッチ。

2 次のいずれかの操作をする。

■ 左画面での操作

指定したい IC 付近に地図を動かし、**［探索開始］**にタッチ。

■ 右画面での操作

［▲］・**［▼］**または **［次路線］**にタッチして IC を切り替え、指定したい IC 名称 → **［探索開始］**の順にタッチ。



● **［次路線］**は JCT があり分岐するときのみ表示されます。
● スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）を選択することもできます。
このとき、ETC 車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

3 ルート変更画面にもどったとき
➡ **［探索開始］**にタッチ。

IC 指定の解除

全ルート図表示画面（→ P.88）
↓
IC 名称表示
↓
出口（入口）IC 指定画面

または

ルート変更画面（→ P.106）
↓
IC 名称表示
↓
出口（入口）IC 指定画面

［出口解除］または **［入口解除］**にタッチ。



通過道路の指定

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

● 2 カ所まで指定することができます。
● IC を指定しているとき（→ P.109）、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

次の 2 通りの方法で、通過道路を指定することができます。

- ルート変更画面から指定する（→ P.110）
- 全ルート図表示画面から指定する（→ P.110）

ルート変更画面からの指定方法

ルート変更画面（→ P.106）

1 通過点（通過道路指定）の［**指定**］にタッチ。

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、［**通過道路セット**］にタッチ。



3 ［**セット**］にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡［**次候補**］にタッチ。
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、［**次候補**］にタッチしても、道路が選べないことがあります。

4 目的地を複数設定しているとき、または IC・通過道路を指定しているとき
➡ 通過道路を指定する区間の［**設定**］にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき
➡［**探索開始**］にタッチ。

全ルート図表示画面からの指定方法

全ルート図表示画面（→ P.88）

通過道路を指定する位置に地図を動かし、［**通過道路指定**］にタッチ。



- 以降の操作方法について
  ➡「ルート変更画面からの指定方法」（→ P.110）手順 **3** へ。

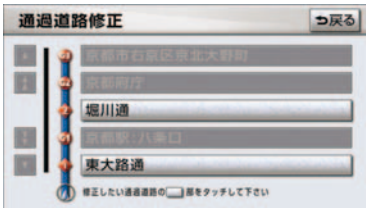
通過道路の修正

ルート変更画面（→ P.106）

1 通過点（通過道路指定）の［**修正**］にタッチ。

- 1 カ所のみ指定されていたとき
  ➡ 手順 **3** へ

2 道路または地名にタッチ。



3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、［**通過道路セット**］にタッチ。

4 ［セット］にタッチ。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡［次候補］にタッチ。
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、［次候補］にタッチしても、道路が選べないことがあります。

5 ［探索開始］にタッチ。

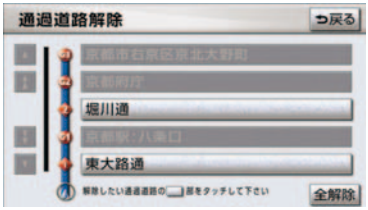
通過道路指定の解除

ルート変更画面（→ P.106）

1 通過点（通過道路指定）の［解除］にタッチ。

- 1 カ所のみ指定されていたとき
  ➡手順 **3** へ

2 道路または地名にタッチ。



- すべての通過道路指定を解除するとき
  ➡［全解除］にタッチ。

3 ［はい］にタッチ。

4 ［探索開始］にタッチ。

季節規制区間の迂回ルートの探索

ルート変更画面（→ P.106）

季節規制区間の迂回ルート探索を開始するとき
➡［季節規制回避探索］にタッチ。



- 季節規制区間を通るルートを探索させるとき
  ➡［季節規制通過探索］にタッチ。
- ［季節規制回避探索］または［季節規制通過探索］は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、［季節規制回避探索］にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

8. 目的地履歴の消去

目的地履歴の消去

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 カ所まで）100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
ナビ詳細設定
▼
その他
▼
ナビ詳細設定画面

1 目的地履歴の消去の［**消去する**］にタッチ。



2 地点名称にタッチ。

- すべての目的地履歴を消去するとき
  ➡［**全消去**］にタッチ。

3 ［**はい**］にタッチ。

1. メモリ地点の登録

メモリ地点について

メモリ地点を登録しておくと、

- 地図にマークで表示されます。
- 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- 目的地の設定のときなどに、メモリ地点の地図を呼び出すことができます。(→ P.71)

さらに、自宅または特別メモリ地点に登録しておけば、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。(→ P.71)

- 1/8　万図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面（地図画面）から登録するときを除く)
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

メモリ地点の登録

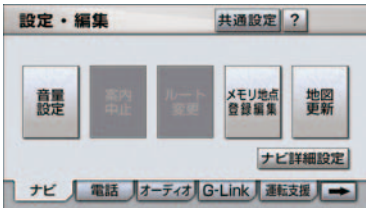
次の 2 通りの方法で、メモリ地点の登録をすることができます。

- 設定・編集画面から登録する (→ P.113)
- 地図画面から登録する (→ P.113)

設定・編集画面からの登録方法

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **［メモリ地点登録編集］**にタッチ。



3 メモリ地点の **［登録］**にタッチ。

4 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。(→ P.71、P.82)

5 **［セット］**にタッチ。

6 **［完了］**にタッチ。

- 自宅・特別メモリ地点に登録したいとき
  ➡ **［自宅・特別メモリに種別変更］**にタッチ。(→ P.115)

地図画面からの登録方法

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

登録したい位置に地図を動かし、**［地点登録］**にタッチ。



- または の位置にメモリ地点が で表示されます。
- 高速道路走行中、現在地に登録したときは、(方向付きメモリ) で表示されます。

メモリ地点の修正・入力

次の 2 通りの方法で、メモリ地点の修正をすることができます。

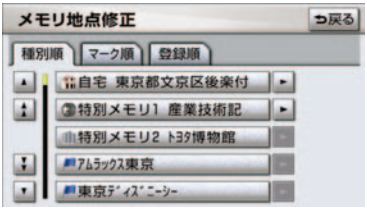
- 設定・編集画面から修正する（→ P.114）
- 地図画面から修正する（→ P.114）

設定・編集画面からの修正方法

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
メモリ地点登録編集
↓
メモリ地点画面

1 メモリ地点の［**修正**］にタッチ。

2 メモリ地点にタッチ。



- メモリ地点のリストは、以下の 3 種類の並べ方をすることができます。
  - **種別順** …… 自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、G メモリ地点の順
  - **マーク順** … マークの種類別
  - **登録順** …… メモリ地点の登録順

3 修正・入力をする。

- 修正・入力方法については以降のページをご覧ください。
  - 自宅・特別メモリに種別変更（→ P.115）
  - 自宅・特別メモリの種別解除（→ P.115）
  - マーク（→ P.115）
  - 名称（→ P.117）
  - 地図への名称表示（→ P.118）
  - 名称読み（→ P.118）
  - 位置（→ P.119）
  - 電話番号（→ P.119）

4 ［**完了**］にタッチ。（**3** の画面）

地図画面からの修正方法

1 地図上の修正したいメモリ地点にタッチし、［**情報**］にタッチ。



2 ［**修正**］にタッチ。

- 以降の操作方法について
  ➡「設定・編集画面からの修正方法」（→ P.114）手順 **3** へ。

自宅・特別メモリ地点に登録

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
メモリ地点登録編集
↓
メモリ地点の 修正
↓
(メモリ地点)
↓
メモリ地点修正画面

1 **［自宅・特別メモリに種別変更］**にタッチ。

2 自宅または特別メモリ 1 ～ 5 のいずれかにタッチ。



▶すでに自宅または特別メモリ地点が登録されているとき
➡ 変更してよければ、**［はい］**にタッチ。

● 登録されていた地点は、メモリ地点になります。

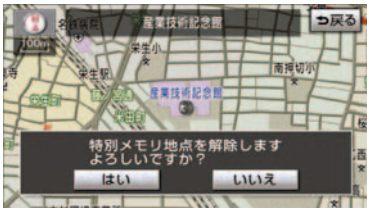
自宅・特別メモリ地点の解除

自宅または特別メモリ地点に登録されている地点を、メモリ地点に変更することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
メモリ地点登録編集
↓
メモリ地点の 修正
↓
(メモリ地点)
↓
メモリ地点修正画面

1 **［自宅・特別メモリの種別解除］**にタッチ。

2 **［はい］**にタッチ。



メモリ地点のマーク変更

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
メモリ地点登録編集
↓
メモリ地点の 修正
↓
(メモリ地点)
↓
メモリ地点修正画面

1 ［マーク］にタッチ。

2 マーク１ ・ マーク２ ・ マーク３ ・［音声付き］にタッチし、希望のマークを選ぶ。

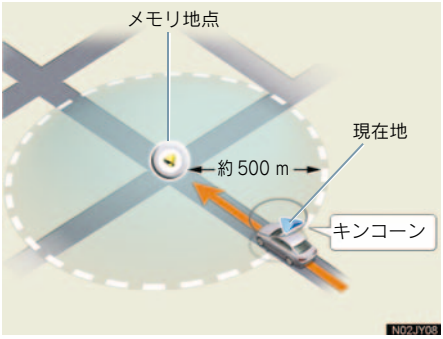


■ 音声付き

メモリ地点に約 500m まで近づくと音が鳴るようにすることができます。

音声付き

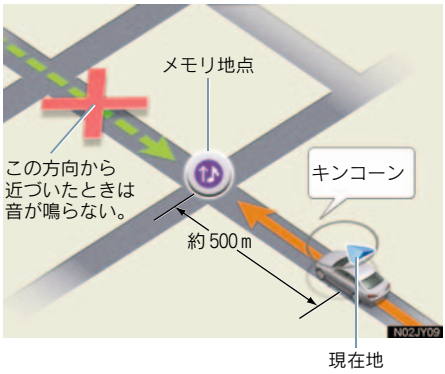




- メモリ地点に近づいたときに鳴る音を確認するとき
  ➡［音確認］にタッチ。

■ 方向付きメモリ（音声付き）

設定した方向からメモリ地点に約 500m まで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。



▶［方向付きメモリ］にタッチしたとき

➡ 方向を設定し、［セット］にタッチ。

［ ］…反時計まわり

［ ］…時計まわり



■ 地図に表示しないときは

マーク３ の［マーク無し］にタッチ。

マーク３



メモリ地点の名称入力

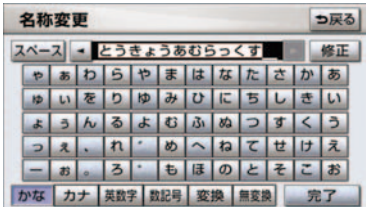
画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
メモリ地点登録編集
▼
メモリ地点の 修正
▼
(メモリ地点)
▼
メモリ地点修正画面

［名称］にタッチ。

ひらがな・漢字入力

1 ［かな］にタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、［変換］にタッチ。



- 入力したままの状態で確定するとき
  ➡［無変換］にタッチ。
- すでに名称が表示されているときや間違えたとき
  ➡［修正］にタッチ。

3 入力したい熟語にタッチ。

- 変換範囲を修正するとき
  ➡［◀］・［▶］にタッチ。
- そのままの状態でよいとき
  ➡［全確定］にタッチ。

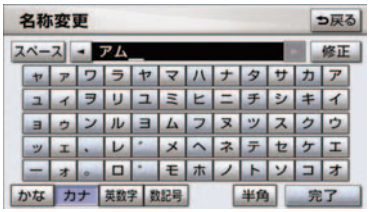
4 ［完了］にタッチ。(**2** の画面)

カタカナ・英数字・数記号入力

1 ［カナ］・［英数字］・［数記号］のいずれかにタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、［完了］にタッチ。

カタカナ入力時



英数字入力時



数記号入力時



- 入力する文字の大きさを切り替えるとき
  ➡［半角］または［全角］にタッチ。
- 英数字入力時、文字の書体を切り替えるとき
  ➡［大文字］または［小文字］にタッチ。

メモリ地点の名称表示

地図に入力したメモリ地点の名称を表示させることができます。

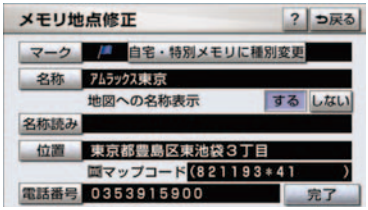


- 1/8　万図より詳細な地図で表示することができます。

メモリ地点名称の表示／非表示を選ぶことができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メモリ地点登録編集
▼
メモリ地点の **修正**
▼
(メモリ地点)
▼
メモリ地点修正画面

地図への名称表示の［**する**］にタッチ。



- 解除するとき ➡ ［**しない**］にタッチ。

メモリ地点の名称読み入力

メモリ地点に名称読みを入力しておくと、音声操作で地図を呼び出すことができます。(→ P.339)

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メモリ地点登録編集
▼
メモリ地点の **修正**
▼
(メモリ地点)
▼
メモリ地点修正画面

1 ［**名称読み**］にタッチ。

2 名称を入力し、［**完了**］にタッチ。



- 間違えたとき ➡ ［**修正**］にタッチ。

メモリ地点の位置修正

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メモリ地点登録編集
▼
メモリ地点の **修正**
▼
(メモリ地点)
▼
メモリ地点修正画面

1 **［位置］**にタッチ。

2 にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かし、**［セット］**にタッチ。



- 表示されている位置の住所とマップコードも修正されます。

メモリ地点の電話番号入力

メモリ地点に電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。(→ P.78)

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メモリ地点登録編集
▼
メモリ地点の **修正**
▼
(メモリ地点)
▼
メモリ地点修正画面

1 **［電話番号］**にタッチ。

2 電話番号を入力し、**［完了］**にタッチ。



- 市外局番から入力します。
- 間違えたとき ➡ **［修正］**にタッチ。

メモリ地点の消去

次の 2 通りの方法で、メモリ地点の消去をすることができます。

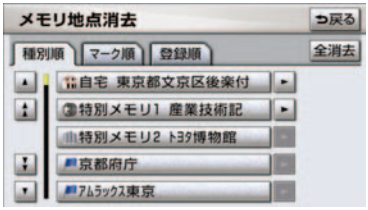
- 設定・編集画面から消去する（→ P.120）
- 地図画面から消去する（→ P.120）

設定・編集画面からの消去方法

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メモリ地点登録編集
▼
メモリ地点画面

1 メモリ地点の［**消去**］にタッチ。

2 メモリ地点にタッチ。



- すべてのメモリ地点（自宅、特別メモリ地点、G メモリ地点を含む）を消去するとき
  ➡［**全消去**］にタッチ。

3 ［**はい**］にタッチ。

地図画面からの消去方法

1 地図上の消去したいメモリ地点にタッチし、［**情報**］にタッチ。



2 ［**消去**］にタッチ。

3 ［**はい**］にタッチ。

2. 迂回メモリ地点の登録

迂回メモリ地点について

迂回メモリ地点を登録しておくと、ルートを探索させるとき、登録した地点（エリア）を迂回するルートを探索させることができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

- 1/8　万図より詳細な地図で登録することができます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。

迂回メモリ地点の登録

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メモリ地点登録編集
▼
メモリ地点画面

1 迂回メモリの［**登録**］にタッチ。



2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。
（→ P.71、P.82）

3 ［**セット**］にタッチ。

4 迂回範囲を設定し、［**セット**］にタッチ。

［▲］　… 迂回範囲を広くする
［▼］　… 迂回範囲を狭くする

- ［▲］・［▼］の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。
- 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることはできません。迂回したいときは、（迂回メモリ地点）を道路上に設定してください。

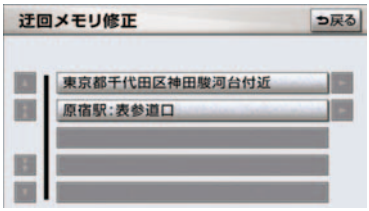
5 ［**完了**］にタッチ。

迂回メモリ地点の修正・入力

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メモリ地点登録編集
▼
メモリ地点画面

1 迂回メモリの［**修正**］にタッチ。

2 迂回メモリ地点にタッチ。



3 修正・入力をする。

- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。
  ・名称（→ P.117）
  ・地図への名称表示（→ P.118）
  ・位置（→ P.119）
  ・迂回エリア変更（→ P.121）

4 ［完了］にタッチ。（**3** の画面）

- 迂回メモリ地点は専用のマークで表示され、マークを変更することはできません。

迂回メモリ地点の設定

登録した地点を迂回するルートの探索する／しないを設定できます。

［有効］… 迂回するルートを探索する

［無効］… 迂回するルートを探索しない

迂回メモリ地点の消去

画面外の **設定・編集** または **SET UP**

↓

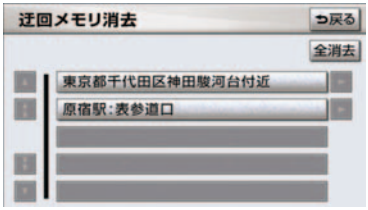
メモリ地点登録編集

↓

メモリ地点画面

1 迂回メモリの［消去］にタッチ。

2 迂回メモリ地点にタッチ。



- すべての迂回メモリ地点を消去するとき
  ➡［全消去］にタッチ。

3 ［はい］にタッチ。

1. 補正が必要なとき

補正について

地図上の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

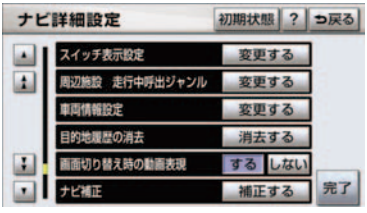
- 1/8　万図より詳細な地図で補正することができます。

現在地の修正

実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）とき、自車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
その他
↓
ナビ詳細設定画面

1 ナビ補正の［**補正する**］にタッチ。



2 ［**現在地修正**］にタッチ。

3 にタッチして現在地を修正し、［**セット**］にタッチ。

4 方向を修正し、［**セット**］にタッチ。
［ ］… 反時計まわり
［ ］… 時計まわり

距離の補正

走行中、地図上の自車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自車位置マークの進み方を修正することができます。

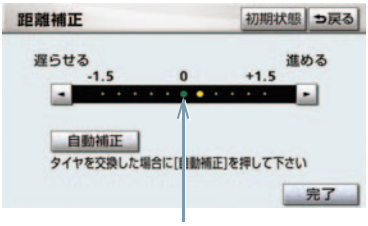
- 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正モード中は、補正をすることはできません。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
その他
↓
ナビ補正の **補正する**
↓
ナビ補正画面

1 ［**距離補正**］にタッチ。

2 補正をし、**[完了]** にタッチ。

- 実際より遅く進むとき
  - ➡ **[▶]**（進める）にタッチ。
- 実際より早く進むとき
  - ➡ **[◀]**（遅らせる）にタッチ。



初期状態の位置

- **[初期状態]** にタッチすると、自車位置マーク を適切な位置に表示できるように自動で補正します。（● の位置が初期状態（0の位置）にもどります。）

自動補正

タイヤ交換を行ったときは自動補正を行ってください。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
その他
↓
ナビ補正の **補正する**
↓
距離補正
↓
距離補正画面

[自動補正] にタッチ。

- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了します。

2. ナビの設定を記憶したいとき

各種ナビ設定の記憶

各種ナビ設定の設定状態を 3 パターンまで記憶させておくことができます。

次の設定項目を記憶することができます。

- 地図向きの設定（→ P.49）
- 地図表示モードの設定（→ P.50、P.51）
- 地図表示縮尺の設定（→ P.48）
- 施設の表示設定（→ P.56）
- 周辺施設　走行中呼出ジャンルの設定（→ P.58）
- 音量設定（→ P.70）
- メンテナンス自動通知の設定（→ P.136）
- ナビ詳細設定一覧の設定※1（→ P.128）
- 安全･快適走行設定一覧の設定（→ P.132）
- VICS・交通情報の表示設定（→ P.153）
- VICS 割込情報の表示設定（→ P.156）
- ETC の通知設定（→ P.433）
- 渋滞増減予測の表示設定※2（→ P.561）

※1 ルート学習、車両情報設定は記憶することができません。

※2 G-Link を利用されているときのみ。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
その他
↓
ナビ詳細設定画面

1 ユーザーカスタマイズの**[設定する]**にタッチ。



2 **［記憶］**にタッチ。

3 **［はい］**にタッチ。

- 手順 **2** ですでに記憶されている設定を選んだときは、**［はい］**にタッチすると上書きされます。

▶新規で記憶するとき
➡ 名称を入力する。（→ P.117）

記憶の呼び出し

ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
その他
↓
ユーザーカスタマイズの 設定する
↓
ユーザーカスタマイズ画面

設定 1 ～ 3 のいずれかにタッチ。

名称の変更

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
ナビ詳細設定
▼
その他
▼
ユーザーカスタマイズの 設定する
▼
ユーザーカスタマイズ画面

1 ［名称変更］にタッチ。

2 修正・入力をする。（→ P.117）

各種ナビ設定の記憶の消去

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
ナビ詳細設定
▼
その他
▼
ユーザーカスタマイズの 設定する
▼
ユーザーカスタマイズ画面

1 ［消去］にタッチ。

2 ［はい］にタッチ。

3. NAVI・AI-SHIFT（GS460 ／ GS350）

NAVI・AI-SHIFT について

NAVI・AI-SHIFT が作動すると、ナビゲーションの道路形状情報（コーナー等）、道路勾配情報、運転者のアクセル、ブレーキ操作の情報をもとに、オートマチックトランスミッションのギヤを 8 速から 3 速（GS460）、6 速から 3 速（GS350）の間でより最適なギヤに切り替えます。

⚠ 警告

- 状況により作動しないことがありますので、NAVI・AI-SHIFT を過信せず、常に道路状況に注意し、安全な速度で走行してください。
- 応急用タイヤ装着時は、NAVI・AI-SHIFT を「しない」に設定してください。

NAVI・AI-SHIFT の設定

NAVI・AI-SHIFT のする／しないを設定できます。（→ P.132）

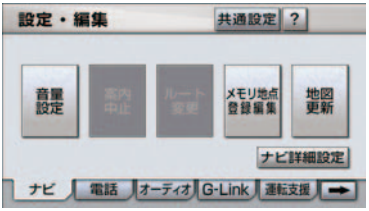
NAVI・AI-SHIFT の作動条件

シフトレバーが D で、車速が約 15 ～ 100km/h のとき作動します。

- 以下のときは、NAVI・AI-SHIFT は作動しません。
  - ・NAVI・AI-SHIFT を「しない」に設定したとき
  - ・レーダークルーズコントロールまたはクルーズコントロールを使用しているとき
  - ・ECT の SNOW モードを選択しているとき
  - ・シフトレバーが D 以外のとき
  - ・車速が約 15 km/h 以下、または約 100km/h 以上のとき
  - ・GPS ボイスナビゲーションの地図の道路上に自車位置マークがのっていないとき
  - ・GPS ボイスナビゲーションが目的地案内をしていないときの交差点走行時
    ただし、交差点走行時でも走行状況により、NAVI・AI-SHIFT が作動する場合があります。

4. ナビ詳細設定一覧

ナビ詳細設定一覧



1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **［ナビ詳細設定］**にタッチ。

3 設定したい項目にタッチ。

4 各項目を設定する。

- 詳しくは、次の表をご覧ください。
  - ・初期設定の状態にもどすとき
    ➡ **［初期状態］**にタッチ。

5 **［完了］**にタッチ。

設定値の**太字**は、初期状態で選択されている設定です。

地図表示設定

項目名	設定値	ページ
右画面設定	「変更する」: 右画面の地図表示設定を変更する。	51
フロントワイド表示（ノースアップ時）	「する」 ：進行方向の地図を広く表示する。 **「しない」** ：地図の中心に自車位置マークを表示する。	49
右画面の地図で表示（ノースアップ時）	「する」 ：進行方向の地図を広く表示する。 **「しない」** ：地図の中心に自車位置マークを表示する。	49
フロントワイド表示（ヘディングアップ時）	**「する」** ：進行方向の地図を広く表示する。 「しない」 ：地図の中心に自車位置マークを表示する。	49
右画面の地図で表示（ヘディングアップ時）	**「する」** ：進行方向の地図を広く表示する。 「しない」 ：地図の中心に自車位置マークを表示する。	49
3D 時のルート方向アップ	「する」 ：ルートが表示されている方向の地図を表示する。 **「しない」** ：自車位置マークの向きが画面上向きになるように表示する。	53
3D 地図表示設定	「変更する」: 3D 表示にしたときの視点を変更する。	52

項目名	設定値	ページ
昼の地図色	昼画の地図表示色を変更する。 **「ノーマル」**「フレッシュ」「クール」「シック」「ウォーム」	53
夜の地図色	夜画の地図表示色を変更する。 **「ノーマル」**「フレッシュ」「クール」「シック」「ウォーム」	53
ビジュアルシティマップ表示	**「する」**　：ビジュアルシティマップ表示する。 「しない」：ビジュアルシティマップ表示しない。	59
地図の文字サイズ変更	地図上に表示される地名などの文字サイズを変更する。 「大」**「中」**「小」	49
周辺施設表示	「変更する」: 地図上に表示する施設の記号を変更する。	56
立体ランドマーク表示	**「する」**　：立体ランドマークを表示する。 「しない」：立体ランドマークを表示しない。	59
シーズンレジャーランドマーク表示	**「する」**　：シーズンレジャーランドマークを表示する。 「しない」：シーズンレジャーランドマークを表示しない。	63
地図スクロール時の地名表示	**「する」**　：地名などを表示する。 「しない」：地名などを表示しない。	48

自動表示切替設定

項目名	設定値	ページ
交差点拡大図自動表示	**「する」**　：交差点拡大図を自動的に表示する。 「しない」：交差点拡大図を自動的に表示しない。	96
高速分岐模式図自動表示	**「する」**　：高速分岐案内を自動的に表示する。 「しない」：高速分岐案内を自動的に表示しない。	68
レーンリスト自動表示	**「する」**　：レーンリスト図を自動的に表示する。 「しない」：レーンリスト図を自動的に表示しない。	95
ターンリスト自動表示	「する」　：ターンリスト図を自動的に表示する。 **「しない」**：ターンリスト図を自動的に表示しない。	98
都市高マップ自動表示	「する」　：都市高速マップを自動的に表示する。 **「しない」**：都市高速マップを自動的に表示しない。	68
高速路線マップ自動表示	「する」　：高速路線マップを自動的に表示する。 **「しない」**：高速路線マップを自動的に表示しない。	66
駐車場マップ自動表示	**「する」**　：駐車場マップを自動的に表示する。 「しない」：駐車場マップを自動的に表示しない。	55

案内表示設定

項目名	設定値	ページ
縮尺切替メッセージ表示	**「する」**　：縮尺切替メッセージを表示する。 「しない」：縮尺切替メッセージを表示しない。	48
料金案内	**「する」**　：料金案内をする。 「しない」：料金案内をしない。	99
県境案内	**「する」**　：県境案内をする。 「しない」：県境案内をしない。	64
3D 交差点拡大図	「する」　：交差点拡大図を立体的（3D）に表示する。 **「しない」**：交差点拡大図を立体的（3D）に表示しない。	96
到着予想時刻表示	「変更する」：所要時間を計算する基準である平均車速を変更する。	99
G 情報マーク連動サービス※	**「する」**　：サービスを利用する。 「しない」：サービスを利用しない。	571

※ G-Link を利用されているときに操作することができます。

音声設定

項目名	設定値	ページ
VICS 渋滞・規制音声自動発声	**「する」**　：VICS・交通情報を音声案内する。 「しない」：VICS・交通情報を音声案内しない。	154
自動音声案内	**「する」**　：音声案内する。 「しない」：音声案内しない。	93
細街路での音声案内※	**「する」**　：幅 5.5m 未満の道路での音声案内をする。 「しない」：幅 5.5m 未満の道路での音声案内をしない。	94
他モード時の案内	**「する」**　：ナビゲーション以外の画面でも、音声による目的地案内をする。 「しない」：他モードに切り替えたとき、音声案内しない。	94
操作説明音声	**「する」**　：操作説明音声を出力する。 「しない」：操作説明音声を出力しない。	70
ハートフル音声	**「する」**　：ハートフル音声を出力する。 「しない」：ハートフル音声を出力しない。	70

※ ルート案内中に設定を変更するとルートの再探索が行われます。

ルート系設定

項目名	設定値	ページ
自動再探索	**「する」**　：自動的に再探索する。 「しない」：自動的に再探索しない。	104
ルート学習	**「する」**　：ルート学習する。 「しない」：ルート学習しない。	86
ルート学習結果の消去	「消去する」: ルート学習していたルートを消去する。	87
季節規制メッセージ表示	**「する」**　：季節規制メッセージを表示する。 「しない」：季節規制メッセージを表示しない。	62
渋滞考慮探索設定	「変更する」: 渋滞考慮探索、新旧ルート比較表示、G ルート情報自動継続の設定を変更する。	157、158、558

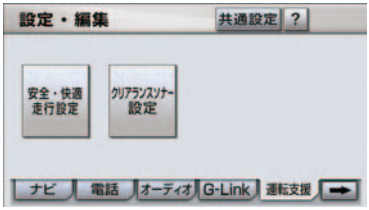
その他

項目名	設定値	ページ
スイッチ表示設定	「変更する」: [◀◀ Off] にタッチしたときに表示させたいスイッチ類を変更する。	47
周辺施設走行中呼出ジャンル	「変更する」: 走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更する。	58
車両情報設定※	「変更する」: 料金の計算、および提携駐車場を検索させるときの基準である車両情報を変更する。	100
目的地履歴の消去	「消去する」: 目的地履歴を消去する。	112
画面切り替え時の動画表現	**「する」**　：アニメーションのように表現されて画面を表示する。 「しない」：画面切り替え時のアニメーション表現をしない。	64
ナビ補正	「補正する」: 現在地の修正、距離の補正をする。	123
VICS 割込設定	「変更する」: VICS 自動割込情報表示の設定、自動割込表示時間を変更する。	156
ユーザーカスタマイズ	「設定する」: 各種ナビ設定の記憶・呼び出し・消去をする。	125

※　目的地が設定されているときは操作することができません。

5. 安全・快適走行設定一覧

安全・快適走行設定一覧



1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。
2 **運転支援** にタッチ。
3 **［安全・快適走行設定］** にタッチ。

4 各項目を設定する。
- 詳しくは、次の表をご覧ください。

5 **［完了］** にタッチ。

項目名	設定値	ページ
一時停止案内	「する」　：一時停止案内をする。 「しない」：一時停止案内をしない。	59
踏切案内	「する」　：踏切案内をする。 「しない」：踏切案内をしない。	60
合流案内	「する」　：合流案内をする。 「しない」：合流案内をしない。	60
カーブ案内	「する」　：カーブ案内をする。 「しない」：カーブ案内をしない。	60
レーン警告	「する」　：レーン警告をする。 「しない」：レーン警告をしない。	60
事故多発地点案内	「する」　：事故多発地点案内をする。 「しない」：事故多発地点案内をしない。	61
学校存在案内	「する」　：学校存在案内をする。 「しない」：学校存在案内をしない。	62
NAVI・AI-SHIFT※	「する」　：NAVI・AI-SHIFT を作動する。 「しない」：NAVI・AI-SHIFT を作動しない。	127

※　GS460/GS350

6. メンテナンス機能

メンテナンス機能について

メンテナンス機能とは、GPS（→P.138）のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。

- メンテナンス機能の内容・時期の設定については、レクサス販売店にご相談ください。
- 車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

メンテナンスの項目設定

メンテナンス時期の設定

- メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンス詳細設定の自動通知を「する」に設定しないと、メンテナンス案内は行われません。（→P.134）

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **メンテナンス** にタッチ。

3 **［項目設定］**にタッチ。



4 設定する項目にタッチ。

- （パーソナル項目）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。（→P.133）
- すでに設定されているパーソナル項目にタッチしたときは、**4** の画面が表示されます。
- 未設定の項目は（黒色）、すでに設定されている項目は（緑色）、メンテナンス案内が行われる時期の項目は（橙色）で表示されます。

5 **［お知らせ日］**または**［お知らせ距離］**にタッチ。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

6 日付・距離を入力し、**［完了］**にタッチ。

- 間違えたとき ➡ **［修正］**にタッチ。
- 「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、**［年］**・**［月］**・**［日］**にタッチして入力することができます。
  ・2 ～ 9 月と 4 ～ 9 日は **［月］**・**［日］**にタッチして入力する必要はありません。
  〈例〉2007 年 3 月 25 日と入力するとき **［7］**・**［年］**・**［0］**・**［3］**・**［2］**・**［5］**または **［0］**・**［7］**・**［3］**・**［2］**・**［5］**の順にタッチします。

7 **［設定完了］**にタッチ。

パーソナル項目の設定のしかた

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
メンテナンス
↓
項目設定
↓
メンテナンス画面

1 （パーソナル項目）にタッチ。

2 設定する項目にタッチ。



- （任意文字入力）以外にタッチしたとき
  ➡「メンテナンス時期の設定」（→ P.133）手順 **5** へ。
- （任意文字入力）にタッチしたとき
  ➡ 名称を入力する。（→ P.117）

メンテナンスの案内

設定をした日をすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に 4 つまで案内されます。



メンテナンスの案内のする／しないを設定できます。（→ P.136）

- 5つ以上の項目があるときは、が表示されます。
  ・任意文字入力のときは、入力した名称を表示します。
- **［次回表示しない］**にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。

メンテナンス設定を個別に消去

- すべて消去するとき
  ➡「メンテナンス設定をすべて消去」（→ P.136）

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メンテナンス
▼
項目設定
▼
メンテナンス画面

1 設定を消去する項目にタッチ。



2 **［設定消去］**にタッチ。

3 **［はい］**にタッチ。

メンテナンス設定を個別に更新

● すべて更新するとき
➡「メンテナンス設定をすべて更新」(→ P.136)

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
メンテナンス
▼
項目設定
▼
メンテナンス画面

1 設定を更新する項目にタッチ。

2 [自動更新] にタッチ。



3 [はい] にタッチ。

● 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。
● 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。(項目により、計算方法は異なります。)

▶パーソナル項目の免許証更新を選択したとき
➡ [3 年後] または [5 年後] にタッチ。

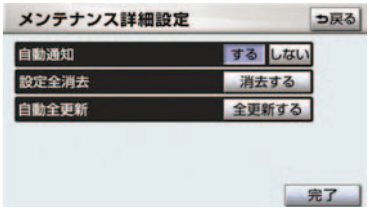
4 [設定完了] にタッチ。(**2** の画面)

メンテナンスの詳細設定

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
メンテナンス
▼
設定・編集画面

1 [メンテナンス詳細設定] にタッチ。

2 各項目を設定し、[完了] にタッチ。



● メンテナンス詳細設定画面から、次の項目を設定できます。
・自動通知(メンテナンス案内)の設定 (→ P.136)
・メンテナンス設定をすべて消去 (→ P.136)
・メンテナンス設定をすべて更新 (→ P.136)

自動通知（メンテナンス案内）の設定

自動通知のする／しないを設定できます。
「する」に設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
メンテナンス
▼
メンテナンス詳細設定
▼
メンテナンス詳細設定画面

自動通知の［**する**］または［**しない**］にタッチ。

メンテナンス設定をすべて消去

- 個別に消去するとき
  ➡「メンテナンス設定を個別に消去」（→ P.134）

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
メンテナンス
▼
メンテナンス詳細設定
▼
メンテナンス詳細設定画面

1 設定全消去の［**消去する**］にタッチ。

2 ［**はい**］にタッチ。

メンテナンス設定をすべて更新

- 個別に更新するとき
  ➡「メンテナンス設定を個別に更新」（→ P.135）

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
メンテナンス
▼
メンテナンス詳細設定
▼
メンテナンス詳細設定画面

1 自動全更新の［**全更新する**］にタッチ。

2 ［**はい**］にタッチ。

- パーソナル項目の免許証更新の設定をしていたとき
  ➡「メンテナンス設定を個別に更新」（→ P.135）手順 **3** へ。

販売店の設定

販売店の設定

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
メンテナンス
▼
設定・編集画面

1 ［販売店設定］にタッチ。



2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。（→ P.71、P.82）

3 ［セット］にタッチ。

- ⊕の位置に販売店が設定されます。
- 「施設で地図を呼び出す」（→ P.78）でレクサス販売店を呼び出し、地図が表示されたら、このまま地図を動かさずに［セット］にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

4 ［完了］にタッチ。

販売店の修正・入力

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メンテナンス
▼
販売店設定
▼
販売店設定画面

1 修正・入力をする。



- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。
  - ・販売店名（→ P.117）
  - ・スタッフ名前（→ P.117）
  - ・位置（→ P.119）
  - ・電話番号（→ P.119）
- ［販売店に行く］にタッチすると、販売店の地図が表示されます。

2 ［完了］にタッチ。（**1** の画面）

販売店の消去

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
メンテナンス
▼
販売店設定
▼
販売店設定画面

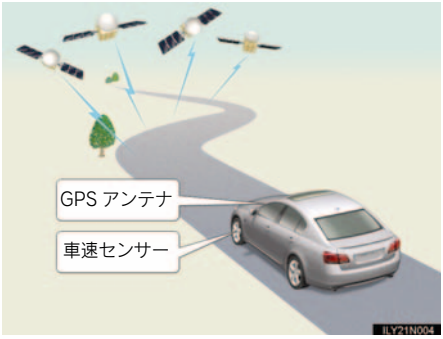
1 ［販売店の消去］にタッチ。

2 ［はい］にタッチ。

7. GPS について

GPS について

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星からの電波を受信して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができるシステムです。GPS は、米国が開発・運用しています。
このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。



GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- 人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき

システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置を表示しています。人工衛星からの電波の精度状態がわるいときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどは誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによりなくすことはできません。

8. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原　因	処　置
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、**[自宅周辺]** にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。(→ P.113)
自宅が登録されていません 自宅の登録を行いますか？	自宅が登録されていないときに、**[自宅に帰る]** にタッチしたため。	自宅の登録をするときは、**[はい]** にタッチしてください。(→ P.86) 自宅の登録をしないときは、**[いいえ]** にタッチしてください。
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 **[1]** ～ **[5]** または特別メモリに行く **[1]** ～ **[5]** にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。 (→ P.113)
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8 万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。(現在地画面（地図画面）から地点登録するときを除く)	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（1/8 万図以下）で行ってください。

メッセージ	原　因	処　置
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	**[はい]** にタッチしたあと、地図を道路付近に移動して、**[セット]** にタッチし、目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、**[いいえ]** にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（→ P.113）
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400 カ所・G メモリ地点 100 カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。 （→ P.120）
セットで◆を乗降 IC に設定します 次候補で別の出入口を探します	指定した IC に出口（入口）が複数あるため。	希望の出口（入口）のときは、**[セット]** にタッチしてください。 希望の出口（入口）でないときは、**[次候補]** にタッチしてください。
指定したICは時間規制によりご利用できない場合があります IC 指定を続けますか？	指定した IC に時間規制があるため。	指定を続けるとき、**[はい]** にタッチしてください。 指定をやめるとき、**[いいえ]** にタッチしてください。
指定された出入口 IC は規制があります ご注意下さい	時間規制のある IC を利用時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後のICから乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ [高速道路、有料道路など]	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、**[設定する]** にタッチしてください。 別の道路に設定するときは、**[他の道路]** にタッチしてください。

メッセージ	原　因	処　置
指定された区間の前後に乗降IC または通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降 IC または通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降ICまたは通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、**[はい]** にタッチしてください。 乗降ICまたは通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、**[いいえ]** にタッチしてください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症　状	考えられること	処　置
走行しても地図が動かない。 自車位置マークが表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（→ P.46）
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナ上部（→ P.33）に物が置いてあるときは、移動させてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（→ P.92）
	案内の音量が小さく（音声 OFF に）なっていませんか。	音量を大きくしてください。（→ P.70）

症　状	考えられること	処　置
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99％以上の有効画素がありますが、0.01％以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
以下のようにしたあと、しばらく画面にムラがある。 • GS460 / GS350：“エンジン スタート ストップ”スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする • GS450h:“パワー”スイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにする	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。(→ P.25)
実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている。 (自車位置マークがずれている。)	人工衛星の状態、車両の状態(走行場所や運転条件)などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(→ P.123)

精度について

次のようなときは、故障ではありません。

- このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→ P.124)

■ 以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。

- 角度の小さなＹ字路を走行しているとき、他方の道に自車位置マークが表示されることがあります。
- 隣の道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車位置マークやルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車位置マークが移動前の位置になっていることがあります。
- 自車位置マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- 12V バッテリーターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が４輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2 シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- ルーフキャリヤを取りつけたとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■ このシステムは、GPS 情報・各種センサーなどのほかにバックカメラの画像認識機能を使い、道路上のペイントを認識し、地図データベースの情報と比較することで、より精度の良い自車位置の特定を行っています。したがって以下のような場合、一時停止線までの距離、走行しているレーンの位置が正しく認識されないことがあります。

- 明るさ、外乱光や影の影響
  - ・街灯などの光源が無く暗い道路を夜間走行するとき
  - ・夜間に番号灯の消灯・バルブの切れ・よごれ、光学式ナンバーなどにより、車両後方が暗いとき
  - ・夜間、後続車が接近しているときや、後続車のヘッドライトが上向きになっているとき
  - ・降雨時や雨上がりなど、路面が濡れて光っていたり、水たまりがあるとき
  - ・自車・他の車両・ガードレール・街路樹など、道路構造物の陰の中や近くに道路上のペイントがあるとき
  - ・朝日や夕日など、太陽の光がカメラに入るとき
  - ・トンネルの出入口など明るさが急激に変化するとき
- 道路上のペイントや路面の状態（カスレ、よごれ、隠れ）の影響
  - ・道路上のペイントが存在しない
  - ・道路上のペイント周辺に積雪や融雪剤があるとき
  - ・道路上のペイント周辺に道路上のペイントを隠す障害物があるとき、路面の色や明るさが一様でないとき
  - ・コンクリート路のように道路上のペイントと路面のコントラスト差が少ない道路
  - ・カスレやよごれにより、はっきり見えないとき
  - ・路面補修痕、タイヤのスリップ痕、道路の継ぎ目などがあるとき
  - ・道路上のペイントの寸法や形状が規格外のとき
  - ・マフラーからの煙がカメラ視野に入ってくるとき
- 車両・走行状態の影響
  - ・車高が著しくかわったとき
  - ・タイヤを交換した直後
  - ・キャンピングカーなどをけん引しているとき
  - ・車が停車しているときや、微速走行しているとき
  - ・凹凸がある路面の走行や、障害物回避などの動作によりジグザグ走行をしたとき
  - ・著しく速度が速いとき
- カメラの状態の影響
  - ・カメラのレンズがよごれたり、水滴が付着していたり、曇っているとき
  - ・トランクが開いたまま走行しているとき
  - ・車両後部をぶつけたりして、カメラの位置や方向がずれたとき
  - ・カメラの視野を遮るものを装着したとき
- その他
  - ・地図と現地の状況が合わなくなったとき（道路工事で道路上のペイント状況が変わったなど）
  - ・測位性能が低下したときや道路上のペイントの種類、配置状況などにより画像認識が困難なとき

■ 探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
- 案内が行われない交差点があります。
- U ターン禁止の場所で、U ターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。
- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク が表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ ルート再探索時、以下のようなことがあります。

- 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
- 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- 再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へもどるルートが表示されることがあります。
- 再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
- ルートが探索されないことがあります。

1. 地図について

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。※

なお、この GPS ボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、財団法人 日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

※ 最新の地図データに更新されるかたは、「マップオンデマンド（地図差分更新）」（→ P.538）をご覧ください。

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの情報を見るには

ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報は、使用データ画面で確認できます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**

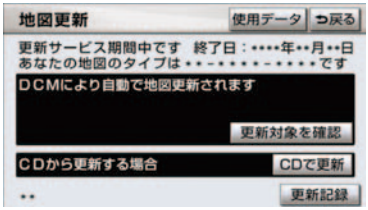
↓

地図更新

↓

地図更新画面

［**使用データ**］にタッチ。



- 使用データ画面に表示される［**地図更新**］は、全更新（→ P.538）時に使用します。全更新については、レクサス販売店にご相談ください。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土交通省 国土地理院発行の 2.5 万分の 1 地形図、および 5 万分の 1 地形図を使用しました。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2.5 万分の 1 地形図を使用しました。（測量法 第 30 条に基づく成果使用承認 平 15 企指向第 2 号）

この地図の作成に当たっては、財団法人 日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
（測量法 第 44 条に基づく成果使用承認 06-052T）

©2007 財団法人 日本デジタル地図協会

©ZENRIN CO.,LTD. &（株）トヨタマップマスター &（株）昭文社

■ 交通規制データの出典について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

■ 道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■ 交通事故多発地点について

地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

■ 渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索について

道路交通センサス、株式会社 昭文社提供データ、並びに JARTIC/VICS の情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が作成したデータを使用しています。

■ 統計交通情報について

統計交通情報データは、JARTIC/VICS 及び独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される 100m の ＿＿ の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。



● 地図の縮尺の切り替えについて
➡「地図縮尺の切り替え」（→ P.48）

スケール表示	縮 尺
25m	1/2500
50m	1/5 千
100m	1/1 万
200m	1/2 万
400m	1/4 万
800m	1/8 万
1.6k	1/16 万
3k	1/32 万
7k	1/64 万
13k	1/128 万
26k	1/256 万
50k	1/512 万
100k	1/1024 万
200k	1/2048 万

● 1/2500 図は市街図表示（→ P.54）に切り替えたとき、表示することができます。

地図記号・表示について

表 示	内 容
	高速道路（都市高速道路・有料道路を含む）
	国道
	主要道
	都道府県道
	その他の道路（幅 5.5m 以上）
	その他の道路（幅 3.0m 以上）
	トンネルまたは整備計画区間（各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地

● VICS・交通情報を表示する設定になっているときは、道路の表示色は異なります。（→ P.165）

記号		内容
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京 23 区役所
		町村役場・東京以外の区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
		IC（インターチェンジ）
		SA（サービスエリア）
		PA（パーキングエリア）
		スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）
		信号機
		駐車場
		駅
		道の駅
		フェリーターミナル
		港湾
		空港・飛行場
		学校
		幼稚園
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
		ホテル・旅館など

記号		内容
		ビル
		工場
		灯台
		神社
		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城・城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設
		通常の踏み切り
		ボトルネック踏み切り※
		レクサス販売店

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

- 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成してあります。

- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して 1 つのマークで表示されることがあります。
- 右側の表示・記号は、ビジュアルシティマップ表示にしたときのものです。(→ P.59)

1. VICS・交通情報の表示

VICS・交通情報の表示

地図上に VICS・交通情報（VICS 記号・表示）を表示することができます。（→ P.165）

■ VICS・交通情報の表示例

通常の地図



ハイウェイモード



高速路線マップ



	渋滞情報の表示例		
	渋滞	混雑	空き道
現況情報			
統計情報			

VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

■ 現況情報

現況情報は次の情報です。

現況 VICS 情報

VICS センターから提供される現況の情報

現況交通情報

〈G-Link 利用時〉

G-BOOK センターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報（→ P.554）

■ 統計情報

過去の交通情報を統計処理した情報です。

- この情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- 現況情報は、1/16 万図より詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。
- 統計情報は、1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。
- 現況交通情報は、G ルート探索（→ P.557）すると取得することができます。
- 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- 現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新（→ P.538）などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。

タイムスタンプについて



タイムスタンプ

タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制音声案内を出力することができます。(→ P.154)

時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。(現況情報が受信された時刻ではありません。)
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、[- - : - -] の表示になります。
  現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が [- - : - -] になります。
- 次の操作をした直後など、現況情報が受信されるまでは、[- - : - -] の表示になります。
  ・GS460/GS350 :“ エンジン スタート ストップ ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモードにする
  ・GS450h :“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたはONモードにする

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上 (約 10km 以内) に現況情報があると色がかわります。

- 赤色 (8:00) ……渋滞情報
- 橙色 (8:00) ……混雑情報
- 黄色 (8:00) ……交通規制情報

文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

- 現況 VICS 情報・現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1/32 万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- 次の操作をした直後など、現況情報が受信されるまでは、「交通情報」と表示します。
  ・GS460/GS350 :“ エンジン スタート ストップ ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモードにする
  ・GS450h :“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたはONモードにする
- 現況 VICS 情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

VICS 記号の内容の表示

規制情報の記号、または駐車場情報の記号にタッチ。



- VICS 記号によっては、内容が表示されない VICS 記号もあります。

VICS・交通情報の表示設定

VICS・交通情報の表示

地図表示中
▼
表示変更
▼
表示変更画面

1 ［VICS・交通情報］にタッチ。



2 VICS・交通情報を表示する道路を選択する。

［全て］……高速道路・一般道路に表示
［高速道のみ］……高速道路のみに表示
［一般道のみ］※ …一般道路のみに表示

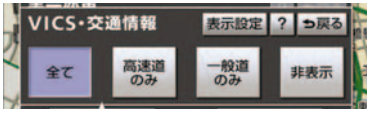
※ ハイウェイモード（→P.65）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。

・VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

VICS・交通情報表示の消去

地図表示中
▼
表示変更
▼
VICS・交通情報
▼
VICS・交通情報画面

［非表示］にタッチ。

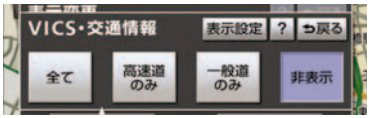


・タイムスタンプも表示されなくなります。

表示する VICS・交通情報の選択

地図表示中
▼
表示変更
▼
VICS・交通情報
▼
VICS・交通情報画面

1 ［表示設定］にタッチ。



2 表示する VICS・交通情報を選択し、［完了］にタッチ。

［渋滞・混雑］※……渋滞・混雑している道路の表示
［空き道］※……空いている道路の表示
［規制情報］……事象・規制がある道路の表示
［駐車場］……駐車場情報の表示

※ 渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

・作動表示灯が点灯している項目が表示されます。

2. VICS・交通情報の活用

渋滞・規制音声案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

次のようなときに、音声案内が出力されます。

■ 音声案内の例

VICS 表示がある地点

「およそ 1km 先 渋滞があります」

VICS 記号のある地点

「およそ 5km 先 電気工事のため 車線規制中です」

音声案内はあくまでも参考としてください。

渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。（→ P.130）

- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

■ 渋滞・規制音声案内の再出力

一度出力された渋滞・規制音声案内を再度出力させることができます。

地図表示中

タイムスタンプにタッチ。



- 一度音声案内が出力されるとタイムスタンプが灰色（スイッチ）になり操作することができます。
- VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプが灰色になっていれば、タッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

VICS 図形情報・文字情報の表示

画面外の **情報・G** または **INFO**
↓
（ **情報** ）
↓
情報画面

1 [VICS] にタッチ。



2 [FM 図形] または [FM 文字] にタッチ。

3 情報の番号（[1]・[2]・[3]…）にタッチ。

- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡ [文字] または [図形] にタッチ。

4 [▲]・[▼] または [自動送り] にタッチ。

- 前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
- 情報のページを送るとき
  ➡ [▲]・[▼] にタッチ。
- [自動送り] にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
  走行中は自動送りできません。
- 情報の自動送りを中止するとき
  ➡ [停止] にタッチ。
- 自動送り中に [▲]・[▼] にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡ [文字] または [図形] にタッチ。
- [目次] にタッチすると、**3** の画面が表示されます。

割込情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、VICS 文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。

割込情報の表示例



割込情報を切り替えるとき

[▲]・[▼] にタッチ。

- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡ [文字] または [図形] にタッチ。
- [表示消] にタッチする、または約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。
  表示時間は調整することができます。
  （→ P.157）
- 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

割込情報の呼び出し

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。
また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
VICS
↓
VICS 画面

1 ［割込情報］にタッチ。

- 提供時刻より約 30 分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

2 ［▲］・［▼］にタッチして、割込情報を切り替える。



- 画面は、図形情報を使用しています。文字情報を表示したときも操作方法は同じです。
- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡［文字］または［図形］にタッチ。

割込情報の表示設定

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
ナビ詳細設定
↓
その他
↓
ナビ詳細設定画面

1 VICS 割込設定の［変更する］にタッチ。



2 割込設定をし、［完了］にタッチ。

3 ［完了］にタッチ。（**1** の画面）

自動割込の設定

自動割込のする／しないを設定できます。

各項目の［する］または［しない］にタッチ。

■注意警戒情報　自動割込

注意警戒情報の表示

■ ビーコン文字表示　自動割込

文字情報の表示

■ ビーコン図形表示　自動割込

図形情報の表示

- 自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。

自動割込表示時間の調整

割込情報の表示時間を調整できます。

- 長くするとき ➡ [▶] にタッチ。
- 短くするとき ➡ [◀] にタッチ。

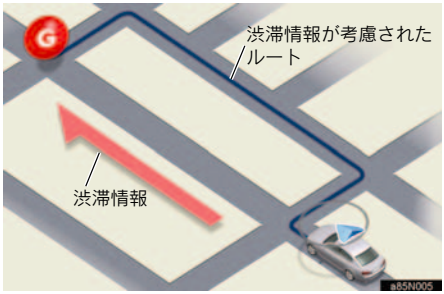
渋滞考慮探索

ビーコンからの現況VICS 情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。

- 現在地から約 10km 以内の渋滞･規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

〈G-Link 利用時〉

渋滞予測情報が取得されたときは、取得された渋滞･規制情報が考慮されたルート探索ができます。(→ P.557)

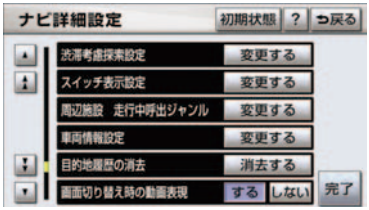


■ 渋滞考慮探索の設定

渋滞考慮探索のする／しないを設定できます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
ナビ詳細設定
▼
ルート系設定
▼
ナビ詳細設定画面

1 渋滞考慮探索設定の **[変更する]** にタッチ。



2 渋滞考慮探索の **[する]** または **[しない]** にタッチし、**[完了]** にタッチ。

3 **[完了]** にタッチ。(**1** の画面)

新旧ルート比較表示

ビーコンまたは G-BOOK センターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。



渋滞考慮探索（→ P.157）・新旧ルート比較表示を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。

新ルートで案内するとき

［新ルート］にタッチ。

- 約 10 秒以上操作しなかったときも、新ルートで案内します。

元ルートで案内するとき

［元ルート］または［戻る］にタッチ。

新旧ルート比較表示の設定

新旧ルート比較表示のする／しないを設定できます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
ルート系設定
↓
ナビ詳細設定画面

1 渋滞考慮探索設定の［変更する］にタッチ。



2 新旧ルート比較表示の［する］または［しない］にタッチし、［完了］にタッチ。

3 ［完了］にタッチ。（**1** の画面）

- 新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索（→ P.157）を「する」に設定していて、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。
- 新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定（→ P.153）に関わらず渋滞情報が表示されます。
  ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。（→ P.151）

3. VICS 放送局の選択

放送局の選択

現況VICS 情報を提供しているFM 放送局を選ぶことができます。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
VICS
↓
VICS 画面

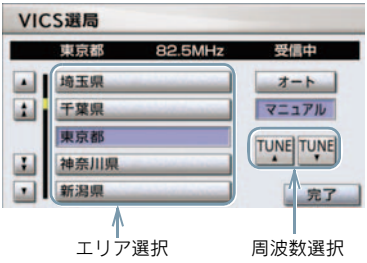
［VICS 選局］にタッチ。

- 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

自動選択時



手動選択時



▶通常は、［オート］（自動選択）にしておいてください。「オート」で受信されないときのみ、［マニュアル］（手動選択）で放送局または放送エリアを選択してください。

- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

自動選択

現在地がある都道府県の、VICS 提供FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
VICS
↓
VICS 選局
↓
VICS 選局画面

［オート］にタッチ。

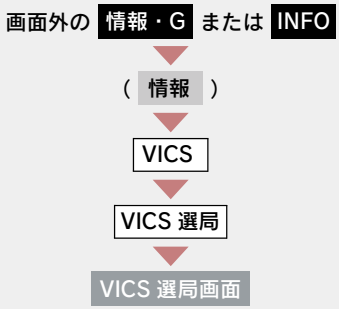
手動選択

エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。



1 ［マニュアル］にタッチ。

2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。
周波数選択時は、［TUNE ▲］・［TUNE ▼］にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。

- 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

3 ［完了］にタッチ。

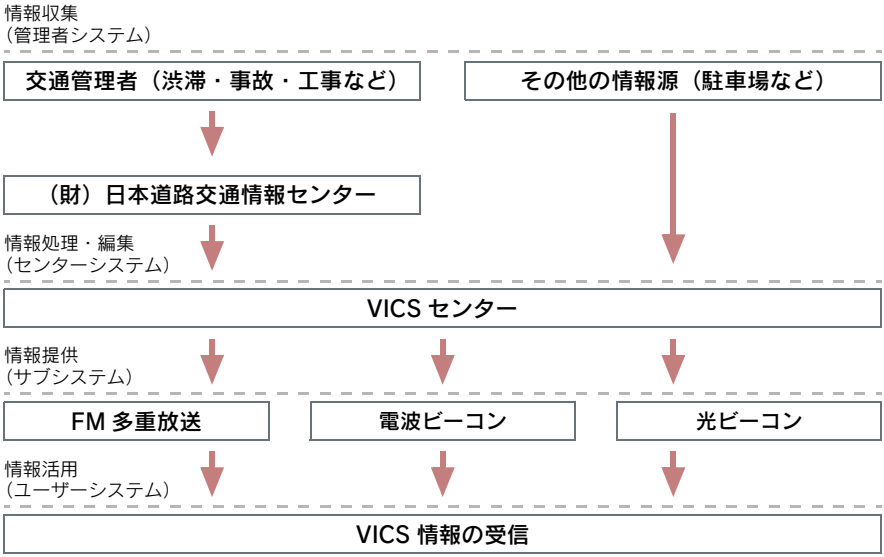
4. VICS の概要

VICS について

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS サービスの仕組み

VICS は大きく分けて「情報収集」、「情報処理・編集」、「情報提供」、「情報活用」の 4 つのブロックから成り立っています。



VICS リンクデータベースの著作権は、財団法人 日本デジタル道路地図協会・財団法人 日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された VICS のロゴマークは財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS のメディア

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン・光ビーコン の 3 つのメディアを受信することができます。

- 3 つのメディアはそれぞれ特長が異なります。

FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

電波ビーコン

電波ビーコンは、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両に VICS 情報の提供が行われます。

光ビーコン

光ビーコンは、おもに一般道路の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両に VICS 情報の提供が行われます。

VICS の運用時間

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、第 1・第 3 月曜日の AM1：00 ～ 5：00 の間はメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送の「お知らせ」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

この車載機は、以下のようなとき VICS FM 多重放送の情報を受信できません。

- VICS FM 多重放送以外の FM 多重放送をご覧になっているとき
- オーディオネットワークフォローが作動中のとき
- オーディオの電源が OFF のとき
  - ・VICS FM 多重放送を受信できない状態から、VICS 情報を表示できる地図画面、VICS 図形情報、VICS 文字情報を表示させようとした場合、VICS 情報が表示されない、または地図画面上の VICS タイムスタンプが更新されない状態になります。

知っておいていただきたいこと

- 提供されるVICS情報はあくまでも参考としてください。(提供されるVICS情報は、最新ではないことがあります。)
- 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報が発信されている地域により、情報の内容は異なります。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

FM 多重放送特有の事項

- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・高層ビルの谷間にいるとき
  - ・高架道路の下にいるとき
  - ・盆地にいるとき
  - ・大型車とすれちがったとき

電波ビーコン特有の事項

- 電波ビーコンは、直線的にしか電波が届きません。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
  - ・電波ビーコンを発信する路側に街路樹が茂っているとき
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・高架道路の下にいるとき
  - ・大型車と並んで走行しているとき
  - ・アンテナ付近に障害物があるとき
  - ・高速道路の下の一般道路を走行しているとき、高速道路の電波ビーコンが受信されることがあります。

光ビーコン特有の事項

- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
  - ・太陽と重なったとき
  - ・雪が積もっているときやフロントガラスがよごれているとき
  - ・アンテナ付近に障害物があるとき

VICS の用語

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

緊急情報

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

交通情報関連の用語

（1）渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
（2）混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

駐車場・SA・PA 関連の用語

（1）空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
（2）混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
（3）満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
（4）不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
（5）閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS の問い合わせ先

以下の内容は、レクサス販売店にご相談ください。

- VICS 車載機の調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- VICS 情報の表示に関するもの
- VICS のサービスエリアに関するもの
- その他上記に類するもの

以下の内容は、VICS センターにご相談ください。

- VICS 文字情報・VICS 図形情報に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの

VICS センター
電話番号（受け付け時間…9：30 ～ 17：45、土曜・日曜・祝日を除く）
0570ー 00ー 8831（全国共通）（PHS を除く）
03ー 3592ー 2033（東京）（PHS 専用）
06ー 6209ー 2033（大阪）（PHS 専用）
FAX 番号（受け付け時間…24 時間）
03ー 3592ー 5494

VICS 記号・表示について

表 示	道路の種類
	VICS 対象道
	VICS 非対象道
※	通行止めの区間
	渋滞している道路
	混雑している道路
	すいている道路

※夜画のときは白色で表示されます。

記 号	駐車場・SA・PA 情報
	駐車場（空車）
	駐車場（混雑）
	駐車場（満車）
	駐車場（不明）
	駐車場（閉鎖）
	SA・PA（空車）
	SA・PA（混雑）
	SA・PA（満車）
	SA・PA（不明）
	SA・PA（閉鎖）

記 号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	地震警戒宣言
	工事
	火災

記 号	規制情報
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
30	速度規制
	イベント

- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

3

オーディオ＆ビジュアル

1 基本操作

1. はじめに 171
   - 使用できるディスクについて 171
   - プレーヤーについて 173
   - 文字情報の表示について 173
2. 基本操作 174
   - 操作スイッチ 174
   - 電源を入れるには 175
   - 音量を調節するには 175
   - 操作画面を表示するには 175
   - モードの切り替え 176
   - 音の設定をする 177

2 ラジオ

1. ラジオの使い方 180
   - ラジオを聞くには 180
   - 放送局を選ぶには 181
   - 放送局を記憶する 182
   - 自動で放送局を記憶する 182
   - エリアスイッチについて 183
   - 交通情報放送を受信する 184

3 DVDチェンジャー

1. CD・DVDの出し入れ 185
   - セットするには 185
   - 取り出すには 186
   - ディスクの切り替え方 187
2. 音楽CDの操作 188
   - CD を聞く 189
   - 聞きたい曲を選ぶ 189
   - 早送り、早戻しする 190
   - 同じ曲を繰り返し聞く 190
   - 同じディスクを繰り返し聞くには 190
   - 再生中の CD の中から ランダムに聞く 191
   - チェンジャー内の 全音楽 CD の中から ランダム（無作為）に聞く 191
   - 再生中の CD の中から曲を探す 191
   - チェンジャー内の 全音楽 CD の中から曲を探す 191
3. MP3/WMAディスクの操作 192
   - MP3/WMA ディスクを聞く 193
   - 聞きたいフォルダを選ぶ 193
   - 聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 194
   - 早送り、早戻しする 194
   - 同じ曲 (ファイル) を 繰り返し聞く 195
   - 同じフォルダを繰り返し聞く 195
   - フォルダの中からランダムに聞く 195
   - 全フォルダの中から ランダムに聞く 195
   - フォルダの中から 曲（ファイル）を探す 196
   - フォルダを探す 196
   - MP3/WMA について 196

4. DVD（DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-VR）の操作 200
DVD を再生する..... 202
映像を一時停止する 204
映像を止める..... 204
早送り、早戻しする 204
スロー再生する..... 205
静止画を切り替える 205
同じトラックを繰り返し再生する 205
トラックの順番をランダムに再生する 206
トラックを探す 206
見たい場所を選ぶ..... 207
メニュー画面を操作する 208
メニュー番号を選ぶ 208
音声を切り替える 209
字幕を切り替える 209
アングルを切り替える 210
音声モードを切り替える 211
再生モードを切り替える 211
ディスクで指定された位置まで戻って見る..... 212
画面モードを切り替える 212
プレーヤーの設定をする 213

5. ビデオCDの操作 222
映像を一時停止する 225
映像を止める..... 225
早送り、早戻しする 225
スロー再生する..... 226
見たい場所を選ぶ..... 226
メニュー番号を選ぶ 227
メニュー画面を表示する 227
音声モードを切り替える 228
画面モードを切り替える 228

6. 知っておいていただきたいこと.. 229
DVD ビデオ・DVD オーディオ・ビデオ CD 再生中の操作について..... 229
DVD ビデオ・DVD オーディオについて..... 229

4 サウンドライブラリ

1. お使いになる前に 234
サウンドライブラリの概要..... 234
データベースについて 234

2. サウンドライブラリに録音する 237
録音についての注意 237
録音する..... 237
録音を中止する 238
録音設定..... 239

3. サウンドライブラリを聞く 241
サウンドライブラリを聞く..... 242
聞きたいアルバムを選ぶ 242
聞きたい曲（トラック）を選ぶ..... 243
早送り、早戻しする 244
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く 245
同じアルバムを繰り返し聞く..... 245
アルバムの中からランダムに聞く.... 245
全アルバムの中からランダムに聞く 246
アルバムの中から曲（トラック）を探す 246
アルバムを探す 246

4. サウンドライブラリの編集 247
サウンドライブラリ編集メニュー画面について 247
お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する..... 248

マイベストを編集する 249
アルバム情報を編集する 254
アルバムを削除する 261
曲（トラック）を削除する 262
HDD 詳細情報の表示 263

5 デジタルテレビ

1. 地上デジタルテレビの操作 264
地上デジタルテレビを見る 266
チャンネルを選ぶ 267
画面モードを切り替える 269
チャンネルを記憶する 269
自動でチャンネルを記憶する 270
エリアスイッチについて 271
ワンセグ放送に自動で切り替える 271
音声多重放送の音声モードを切り替える 272
EPG(電子番組表) を見る 272
データ放送を見る 274
データ放送を操作する 275
画面表示・音声の切り替え 277
放送局からのお知らせについて 279
緊急警報放送（EWS) について 279
初期設定をする 280

2. 知っておいていただきたいこと.. 287

6 AUX

1. AUXの操作 288
再生する 289

7 USB

1. はじめに 290

2. iPod®の操作 292
再生する 292
プレイモードを選ぶ 292
聞きたい曲（トラック）を選ぶ 292
早送り、早戻しする 293
同じ曲（トラック）を繰り返し聞く 293
アルバムの中からランダムに聞く 293
全アルバムの中からランダムに聞く 294
iPod® について 294

3. USBメモリーの操作 295
再生する 295
聞きたいフォルダを選ぶ 295
聞きたい曲 (ファイル) を選ぶ 296
早送り、早戻しする 296
同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 296
同じフォルダを繰り返し聞く 297
フォルダの中からランダムに聞く 297
全フォルダの中からランダムに聞く 297
フォルダの中から曲（ファイル）を探す 298
フォルダを探す 298
USB メモリーについて 298
MP3/WMA について 299

8 Bluetoothオーディオ

1. はじめに 301
Bluetooth オーディオとは..... 301
各種表示について 302
Bluetooth 機器使用上の注意事項 304

2. Bluetoothオーディオの操作..... 305
Bluetooth オーディオを聞く 306
一時停止する..... 306
聞きたいアルバムを選ぶ 307
聞きたい曲を選ぶ..... 307
早送り、早戻しする 307
同じ曲を繰り返し聞く 308
曲の順番をランダムに聞く 308

3. Bluetoothオーディオの設定..... 309
ポータブル機を登録する 309
ポータブル機を接続する 311
使用するポータブル機を選択する.... 315
ポータブル機の詳細情報を
表示する 316
車載機の Bluetooth 設定を
変更する 319
ポータブル機の登録を削除する 321

9 ステアリングオーディオスイッチ

1. ステアリングスイッチでの
操作 322
ステアリングオーディオスイッチ.... 322
電源を入れる..... 322
音量を調整する..... 322
モードを切り替える 323
ラジオ・デジタルテレビ受信時に
放送局を選ぶ..... 323
DVD チェンジャーを
操作するには..... 324
サウンドライブラリ再生時に
選曲する 324
iPod® 再生時に選曲する 324
USB メモリー再生時に選曲する..... 325
Bluetooth オーディオ再生時に
選曲する..... 325

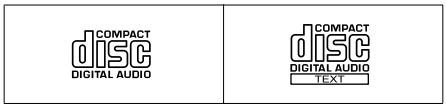
1. はじめに

使用できるディスクについて

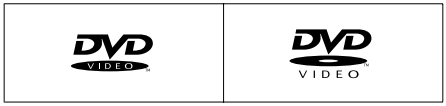
CD・DVD について

以下のマークのついたディスクが再生できます。

■ 音楽 CD



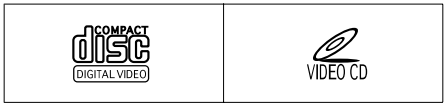
■ DVD ビデオ



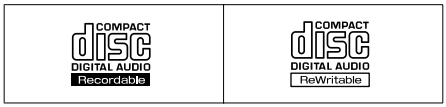
■ DVD オーディオ



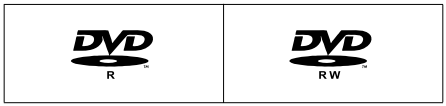
■ ビデオ CD



■ CD-R/RW



■ DVD-R/RW

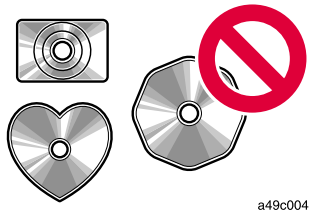


- ビデオフォーマットまたは VR フォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記憶された DVD-R/RW の再生に対応しています。また、CPRM 対応の DVD-R/RW の再生にも対応しています。
- コピーコントロール CD などの正式な CD 規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。

- CD-R/RW、DVD-R/RW は、記録状態、記録方法やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。

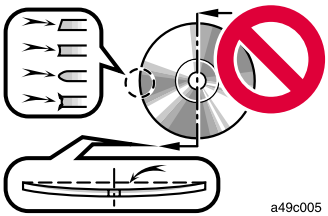
⚠ 注意

- ディスクには指紋、よごれ、キズ等をつけないように取り扱ってください。
- ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持つか、両端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスク取り出しスイッチを押して、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。
- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。



a49c004

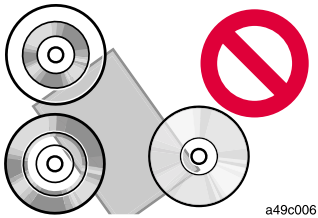
- 直径12cmまたは8cmの円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



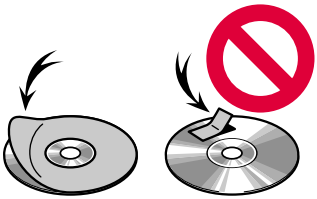
a49c005

- 低品質または変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

⚠ 注意



- 記録部分に透明または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。



- セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。

プレーヤーについて

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでレクサス販売店で点検を受けてください。
- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

2. 基本操作

操作スイッチ

以下の状態のときに使用できます。

- GS460 / GS350 :“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードのとき
- GS450h :“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき



電源を入れるには

パワースイッチを押す。

- スイッチを押すごとに、電源が ON と OFF に切り替わります。
- オーディオモードスイッチを押しても電源が ON になります。

携帯電話の使用について

- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル式携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

音量を調節するには

音量調整ツマミをまわす。

- 大きくするとき ➡ 右へまわす。
- 小さくするとき ➡ 左へまわす。

⚠ 注意

安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

操作画面を表示するには

オーディオやデジタルテレビの操作は、おもに操作画面を表示させて行います。

画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す。

- 選択されているモードの操作画面が表示されます。
- 操作画面を表示したとき、約 20 秒以上操作しないと自動的に操作画面を表示する前の画面に戻りますが、自動的に画面が切り替わらないように設定することもできます。（→ P.29）

モードの切り替え

オーディオモードスイッチで選択します。

● オーディオの電源が OFF のときにスイッチを押すと電源が ON になります。

AM・FM …… ラジオを受信する
● スイッチを押すごとに、AM・FM が切り替わります。

DISC・AUX … ディスク・サウンドライブラリ・外部機器を再生する
● スイッチを押すごとに、DVD チェンジャー・サウンドライブラリ・外部機器が切り替わります。

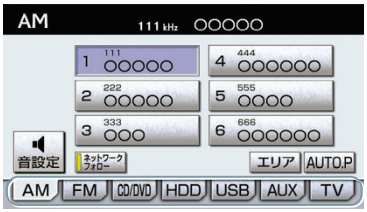
TV …… デジタルテレビを受信する

…… 交通情報を受信する

操作画面で切り替える

操作画面を表示しているときは、画面内のタッチスイッチで選択することもできます。

1 画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す。



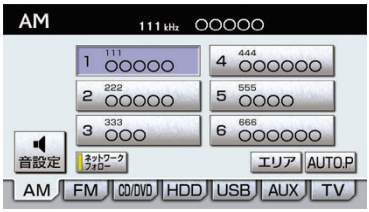
2 希望のモードを選択する。

[AM] …… AM ラジオを受信する
[FM] …… FM ラジオを受信する
[CD/DVD] … CD または DVD を再生する
[HDD] …… サウンドライブラリを再生する
[USB] …… 外部機器を再生する
[AUX] …… 外部機器を再生する
[TV] …… デジタルテレビを受信する

● 次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。
・ディスクが挿入されていないとき（DVD・CD モード）
・再生するデータのない（録音されていない）とき（サウンドライブラリモード）
・Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤーが登録されていない、および AUX 端子、USB 端子に機器が接続されていないとき（AUX・USB モード）

音の設定をする

1 画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す。



2 **［音設定］**にタッチ。

3 各項目を設定する。

- 音設定画面には 2 つの画面があります。
  ・画面を切り替えるとき
  ➡ **音設定 1** または **音設定 2** にタッチ。
- 音質の調整（→ P.177）
- 音量バランスの調整（→ P.178）
- 音場調整（SURROUND）の設定（→ P.178）
- 音量補正（ASL）の設定（→ P.179）

4 設定が終わったら、**［完了］**にタッチ。

音質の調整

TREB（高音）、MID（中音）、BASS（低音）の調整をすることができます。

各オーディオ操作画面（→ P.175）
▼
音設定
▼
音設定 1 画面

［+］…… 強調する
［−］…… 弱める

- 各オーディオモードごとに独立して調整することができます。

音量バランスの調整

前後左右の音量バランスの調整をすることができます。

各オーディオ操作画面（→ P.175）

音設定

音設定 1 画面

■ 前後音量バランス

[FRONT]…… 前側音量を強調する

[REAR] …… うしろ側音量を強調する

■ 左右音量バランス

[R] …… 右側音量を強調する

[L] …… 左側音量を強調する

音場調整（SURROUND）の設定

臨場感のある音質に切り替えることができます。

各オーディオ操作画面（→ P.175）

音設定

音設定 2

音設定 2 画面

[ON] …… 調整する

[OFF] …… 調整しない

音量補正（ASL※）の設定

走行時の騒音に応じて音質や音量を自動的に補正し、走行時でも停車時と同様な音質・音量感で音楽を聞くことができます。

※ ASL は Automatic Sound Levelizer の略

各オーディオ操作画面（→ P.175）

▼

音設定

▼

音設定 2

▼

音設定 2 画面

[ON] …… 補正する

[OFF] …… 補正しない

1. ラジオの使い方

ラジオを聞くには

AM・FM を押します。

- ラジオを聞いているときにスイッチを押すと、AM・FM の切り替えをすることができます。
- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。
- ラジオを聞いているときに、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押すと、操作画面が表示されます。



放送局を選ぶには

プリセットスイッチに記憶されている放送局から選ぶ

プリセットスイッチから選ぶ

ラジオ操作画面表示中（→ P.180）

希望の放送局が記憶されているプリセットスイッチを選択。

CH スイッチで選ぶ

画面外の CH スイッチを押す。

- プリセットスイッチの番号の大きい方へ選択するとき
  ➡ ^ を押す。
- プリセットスイッチの番号の小さい方へ選択するとき
  ➡ v を押す。
- プリセットスイッチに放送局を記憶させたいときや、記憶されている放送局を変更したいとき
  ➡「放送局を記憶する」（→ P.182）

手動で選ぶ

TUNE ツマミをまわす。

- 周波数を高い方へ選択するとき
  ➡ 右側にまわす。
- 周波数を低い方へ選択するとき
  ➡ 左側にまわす。

自動で選ぶ

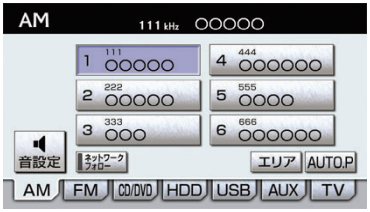
受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。

画面外の SEEK スイッチを押す。

- 周波数を高い方へ選択するとき
  ➡ ^ を押す。
- 周波数を低い方へ選択するとき
  ➡ v を押す。
- 途中で止めるとき ➡ 再度スイッチを押す。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

ネットワーク フォローで選ぶ

この機能を選んでいると、現在聞いている周波数の放送地域外に移動したとき、その周波数で放送されていた番組が一番良好な状態で受信することができる別の周波数に自動的に切り替わります。



操作画面で[ネットワーク フォロー]にタッチする。

- もう一度スイッチを押すと、解除されます。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに周波数をあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチで選局することができます。

- 自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局を記憶させておくと便利です。

ラジオ操作画面表示中（→ P.180）

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。（→ P.181）

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。

自動で放送局を記憶する

自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。

- 旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。

ラジオ操作画面表示中（→ P.180）

[AUTO.P]を“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 画面に「AUTO.P」の表示が出ます。
- 周波数の記憶操作が終了すると、“ピッピッ”と音がして記憶した中で一番低い周波数を受信します。
- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度[AUTO.P]にタッチ。

AUTO.P スイッチで記憶させた周波数を変更するには

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。(→ P.181)

2 変更したい周波数が記憶されているプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。
- 自動で周波数を記憶させても、**[AUTO.P]** にタッチする前(「AUTO.P」の表示が出ていないとき)に記憶させた周波数は消去されません。
- 受信感度の良い周波数を低い順に 6 局まで自動的に記憶します。受信周波数が 6 局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、TUNE ツマミまたは SEEK スイッチで選択し、記憶させた周波数と AUTO.P スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

エリアスイッチについて

あらかじめナビゲーションがエリアごとに記憶している放送局を表示させることができます。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。)

- 旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。

ラジオ操作画面表示中(→ P.180)

[エリア] にタッチ。

- 画面に「エリア .P」の表示が出ます。
- 解除するとき ➡ 再度 **[エリア]** にタッチ。
- プリセットスイッチにタッチし続けても、周波数を記憶させることはできません。
- AM 放送の場合、昼画表示(ライト消灯時)と夜画表示(ライト点灯時)で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

交通情報放送を受信する

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめ記憶されている交通情報放送局を受信することができます。

画面外の を押す。

- 解除するとき ➡ 再度 を押す。

記憶されている周波数を変更するには

1 AM 放送を選択する。(→ P.180)

2 記憶したい放送局の周波数を選択する。(→ P.181)

3 画面外の を“ピッ”と音がするまで押し続ける。

- 新車時には 1620kHz にセットしてあります。
- 画面外の を押して、ラジオを受信しているときは、TUNE ツマミ・SEEK スイッチを操作しても、周波数は切り替わりません。

1. CD・DVD の出し入れ



セットするには

● ディスクがセットされると自動的に再生します。

1 枚だけ挿入するとき（単独挿入モード）

1 LOAD を押し、すぐ手を離す。

2 インジケーターがアンバー色の点滅から緑色の点灯にかわり、挿入口のドアが開いてからディスクを挿入する。

数枚続けて挿入するとき（連続挿入モード）

1 LOAD を「ピッ」と音がするまで押す。

2 インジケーターがアンバー色の点滅から緑色の点灯にかわり、挿入口のドアが開いてから、ディスクを挿入する。

3 挿入後、点滅中のインジケーター（アンバー色）が点灯（緑色）にかわり、挿入口のドアが開いてから、次のディスクを挿入する。

4 LOAD を押して、すぐ手を離す、または約 15 秒以上操作しなかったときは、「ピッピッ」と音がして最後に挿入したディスクが再生されます。

● DVDチェンジャー内に6枚目のディスクがセットされると、最後にセットしたディスクが再生されます。

⚠ 注意

- ディスクを挿入するときは、LOAD を押し、必ずインジケーターが緑色に点灯しているのを確認してから挿入してください。
- ディスクを挿入するときは、インジケーターが緑色に点灯し、挿入口のドアが開いているのを確認してから挿入してください。LOAD を押さずに挿入したり、インジケーターがアンバー色で点滅しているときに、ディスクを挿入すると、機器の故障の原因となるおそれがあります。
- 8 cm CD を使用するときは、「レクサス純正 8 cm ディスクアダプター」が必要です。レクサス純正品以外の 8 cm ディスクアダプターを使用すると、故障の原因になります。レクサス純正 8 cm ディスクアダプターについては、レクサス販売店にご相談ください。

取り出すには

選択中のディスクを取り出すとき（単独取り出しモード）

1 ⏏ を押す。

- インジケーター（アンバー色）が点滅し、ディスクが排出されます。

2 点滅中のインジケーター（アンバー色）が点灯にかわったら、ディスクを取り出します。

すべてのディスクを取り出すとき（連続取り出しモード）

1 ⏏ を「ピッ」と音がするまで押し続けます。

- インジケーター（アンバー色）が点滅し、ディスクが排出されます。

2 点滅中のインジケーター（アンバー色）が点灯にかわったら、ディスクを取り出します。

- 点灯中のインジケーター（アンバー色）が点滅し、次のディスクが排出されます。
- 約 15 秒以内にディスクを取り出さないと、連続取り出しモードが解除されます。

ディスクの切り替え方

ディスクを再生しているときに、**オーディオ** または **AUDIO** スイッチを押すと、操作画面が表示されます。



DISC スイッチの ▲ ・ ▼ を押すか、または［**DISC 選択**］にタッチし、DISC 選択画面を表示して、再生したいディスクにタッチする。

- ディスクを切り替えるときに、ディスクの種類を判別するために、切り替えに時間がかかることがあります。
- 操作画面の表示の継続は、「する」・「しない」に設定することができます（→ P.29）。

2. 音楽 CD の操作

CD を聞いているときに、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押すと、CD 操作画面が表示されます。

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



CD を聞く

CD が挿入されていないとき

CD を挿入する。(→ P.185)

CD が挿入されているとき

画面外の DISC・AUX を押す。

- チェンジャー内の希望のディスク以外が再生されたときは、ディスクを切り替えます。(→ P.187)
- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。(→ P.176)
- 再生している CD にアーティスト名などの情報が収録されていなくても、本機のデータベースに該当する情報がある場合は表示されます。
- ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。
- **[録音開始]** にタッチすると、現在再生中の CD をサウンドライブラリに録音します。(→ P.237)
- CD を再生したとき、自動的に録音を開始するように設定することもできます。(→ P.239)

聞きたい曲を選ぶ

TRACK スイッチで選ぶ

画面外の TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ を押す。
- 前にあるとき ➡ を押す。

リスト画面で選ぶ

CD 操作画面表示中（→ P.188）

1 [LIST] にタッチ。



2 聞きたい曲にタッチ。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。
- ハードディスクに録音されている曲には録音済みアイコンが表示されます。

早送り、早戻しする

画面外の TRACK スイッチを押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ を押し続ける。

- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

CD 操作画面表示中（→ P.188）

［RPT］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RPT］にタッチ。

同じディスクを繰り返し聞くには

CD 操作画面表示中（→ P.188）

［RPT］に「ピー」と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RPT］にタッチ。

再生中の CD の中からランダムに聞く

再生中の CD の中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

CD 操作画面表示中（→ P.188）

［RAND］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

チェンジャー内の全音楽 CD の中からランダム（無作為）に聞く

CD 操作画面表示中（→ P.188）

［RAND］に「ピー」と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

再生中の CD の中から曲を探す

再生中のCDの中から曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生することができます。

CD 操作画面表示中（→ P.188）

［SCAN］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望の曲になったら、再度［SCAN］にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

チェンジャー内の全音楽 CD の中から曲を探す

CD 操作画面表示中（→ P.188）

［SCAN］に「ピー」と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望の曲になったら、再度［SCAN］にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

3. MP3/WMA ディスクの操作

MP3/WMA ディスクを聞いているときに、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押すと、MP3/WMA 操作画面が表示されます。

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



MP3/WMA ディスクを聞く

ディスクが挿入されていないとき

ディスクを挿入する。(→ P.185)

ディスクが挿入されているとき

画面外の DISC・AUX を押す。

- チェンジャー内の希望のディスク以外が再生されたときは、ディスクを切り替えます。(→ P.187)
- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。(→ P.176)
- ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

聞きたいフォルダを選ぶ

操作画面で選ぶ

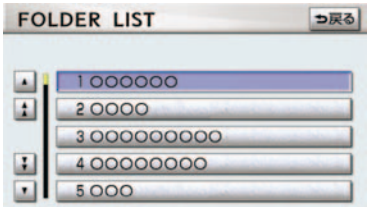
MP3/WMA 操作画面表示中（→ P.192）

- うしろにあるとき
  ➡ FOLDER の［▲］にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ FOLDER の［▼］にタッチ。

リスト画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中（→ P.192）

1 FOLDER の［LIST］にタッチ。



2 聞きたいフォルダにタッチ。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

TRACK スイッチで選ぶ

画面外の TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ^ を押す。
- 前にあるとき ➡ v を押す。

FILE ツマミで選ぶ

FILE ツマミをまわす。

- うしろにあるとき ➡ 右側にまわす。
- 前にあるとき ➡ 左側にまわす。

リスト画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中（→ P.192）

1 FILE の［LIST］にタッチ。



2 聞きたい曲にタッチ。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

早送り、早戻しする

画面外の TRACK スイッチを押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ^ を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ v を押し続ける。

- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲 (ファイル) を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ P.192）

［RPT］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RPT］にタッチ。

同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ P.192）

［RPT］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RPT］にタッチ。

フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ P.192）

［RAND］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

全フォルダの中からランダムに聞く

全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ P.192）

［RAND］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

フォルダの中から曲（ファイル）を探す

選択しているフォルダの全曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ P.192）

［SCAN］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望の曲になったら、再度［SCAN］にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダを探す

全フォルダの先頭の曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ P.192）

［SCAN］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望のフォルダになったら、再度［SCAN］にタッチすると、そのフォルダの再生を続けます。
- 全フォルダの先頭の曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

MP3/WMA について

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media™ Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

再生可能な MP3 ファイルの規格について

■ 対応規格

MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3）

■ 対応サンプリング周波数

MPEG1 LAYER3　　：32、44.1、48（kHz）
MPEG2 LSF LAYER3 ：16、22.05、24（kHz）

■ 対応ビットレート

MPEG1 LAYER3　　：64、80、96、112、128、160、192、224、256、320（kbps）
MPEG2 LSF LAYER3 ：64、80、96、112、128、144、160（kbps）
※ VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。

■ 対応チャンネルモード

ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能な WMA ファイルの規格について

■ 対応規格

WMA Ver.7、8、9

■ 対応サンプリング周波数

32、44.1、48（kHz）

■ 対応ビットレート

Ver.7、8 ：CBR（Constant Bit Rate）48、64、80、96、128、160、192（kbps）
Ver.9　　：CBR（Constant Bit Rate）48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）
※ 2ch 再生のみ対応しています。

ID3 タグ /WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3 の ID3 タグに対応しています。（文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します。）

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMA の再生に使用できるメディアは CD-ROM および CD-R、CD-RW です。

なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

一部の CD-R､CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

- ディスクフォーマット ：CD-ROM Mode1
  ：CD-ROM XA Mode2 Form1
- ファイルフォーマット ：ISO9660 レベル 1、レベル 2（ joliet Romeo ）

上記フォーマット以外で書き込まれた MP3/WMA ファイルは正常に再生できなかったり､ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 ：8 階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 ：全角 16 文字。半角のみのときは 32 文字。
- 最大フォルダ数 ：192（ルート含む）
- ディスク内最大ファイル数 ：255

ファイル名について

MP3/WMA と認識し再生するファイルは MP3/WMA の拡張子 “.mp3” / “.wma” がついたものだけです。

MP3/WMA ファイルには、“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

MP3/WMA の再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA ファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データと MP3 または WMA 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

⚠ 注意

MP3/WMA 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけないでください。

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、CD-RW はディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

4. DVD（DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-VR）の操作

次の状態で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみディスクの映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードのとき
・GS450h：“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

● ディスクの映像が表示されないとき ➡ 画面外の DISC・AUX を押す。（→ P.202）

この項目では、DVD ビデオ（ビデオフォーマットで記録した DVD-R/RW 含む）・DVD オーディオ・DVD-VR（ビデオレコーディングフォーマットで記録した DVD-R/RW）の操作方法を説明しています。

DVD を操作する画面には、操作画面と各種切替画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

● 本体（画面外）のスイッチは、操作画面や各種切替画面が表示されていないときでも操作することができます。

● 画面のスイッチにタッチしたとき、画面に ⃠ が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

■操作画面

ディスクを再生しているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す、またはディスクの映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。

［映像］にタッチすると映像を全画面で表示します。



［メニュー］は、DVD ビデオ再生時のみ表示されます。

［トップメニュー］、［選択］は、DVD ビデオ・DVD オーディオ再生時に表示されます。

■各種切替画面

操作画面で、**[各種切替]** にタッチすると表示されます。

[映像] にタッチすると映像を全画面で表示します。

DVD ビデオ再生時



DVD を再生する

ディスクが挿入されていないとき

ディスクを挿入する。(→ P.185)

ディスクが挿入されているとき

画面外の DISC・AUX を押す。

- チェンジャー内の希望の DVD 以外が再生されたときは、ディスクを切り替えます。(→ P.187)
- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。(→ P.176)

ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときに DVD モードにすると、ディスク読込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。

メニュー画面が表示されたとき

〈DVD ビデオ、DVD オーディオ〉

メニュー表示の画面例



[⬇]・[⬆]・[⬅]・[➡] にタッチして、メニュー項目を選択し、**[決定]** にタッチ。

- ディスクによっては、メニュー項目を直接タッチして選択できるものもあります。
- 選択したメニュー項目が再生されます。

- オートスタートの設定（→ P.218）がされているときは、走行を開始すると自動的に再生されます。
- 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（画面は一例です。）

暗証番号入力画面が表示されたとき

〈DVD ビデオ〉



暗証番号を入力する。

- 暗証番号については「視聴制限レベルを設定する」（→ P.217）をご覧ください。

- 間違えたとき ➡ **［修正］**にタッチ。

キー番号入力画面が表示されたとき

〈DVD オーディオ〉

キー番号を入力する。

- キー番号についてはディスクに付属の取扱書などをご覧ください。
- 間違えたとき ➡ **［修正］**にタッチ。

⚠ 警告

DVD ビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや DVD ビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎることがありますので、注意してください。
音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。
- ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。
- メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。
- DVDオーディオには映像が収録されていない場合があります。その場合は青色画面が表示されます。

映像を一時停止する

DVD 操作画面表示中（→ P.201）

［❚❚］にタッチ。

- 通常再生するとき ➡ ［▶］にタッチ。

映像を止める

DVD 操作画面表示中（→ P.201）

［■］にタッチ。

- 通常再生するとき ➡ ［▶］にタッチ。

早送り、早戻しする

操作画面で操作する

DVD 操作画面表示中（→ P.201）

- 早送りするとき
  ➡ ［▶▶］にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ［◀◀］にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

TRACK スイッチで操作する

〈DVD ビデオ、DVD オーディオ〉

画面外の TRACK スイッチを押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

スロー再生する

DVD 操作画面表示中（→ P.201）

1 ［⏸］にタッチ。

2 ［⏭］にタッチ。

- スイッチにタッチしている間、スロー再生されます。

静止画を切り替える

〈DVD オーディオ、DVD-VR〉

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
各種切替画面

- 前へ進めるとき
  ➡［ページ送り］にタッチ。
- うしろへ戻すとき
  ➡［ページ戻し］にタッチ。
- タッチするごとに静止画が切り替わります。
- ［ページ戻し］は DVD オーディオ再生時のみ表示されます。

同じトラックを繰り返し再生する

タッチしているトラックを繰り返し再生することができます。

〈DVD オーディオ〉

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
各種切替画面

［RPT］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度 ［RPT］にタッチ。

トラックの順番をランダムに再生する

ランダム（無作為）にトラックにタッチし再生することができます。

〈DVD オーディオ〉

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
各種切替画面

［RAND］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度 ［RAND］にタッチ。

トラックを探す

全トラックの始めの部分を約 10 秒間つぎつぎに再生することができます。

〈DVD オーディオ〉

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
各種切替画面

［SCAN］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望のトラックになったら、再度［SCAN］にタッチすると、そのトラックの再生を続けます。
- 全トラックの再生が終わったら、自動的に解除されます。

見たい場所を選ぶ

タイトルを選ぶ

DVD 操作画面（→ P.201）
▼
各種切替
▼
各種切替画面

1 ［サーチ］にタッチ。



2 タイトル番号を入力する。

- 間違えたとき ➡ ［修正］にタッチ。

3 ［完了］にタッチ。

チャプターを選ぶ

画面外の TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ⏶を押す。
- 前にあるとき ➡ ⏷を押す。
- ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

プログラム（プレイリスト）を選ぶ

〈DVD-VR〉

画面外の TRACK スイッチを押し続ける。

- うしろにあるとき
  ➡ ⏶を押し続ける。
- 前にあるとき
  ➡ ⏷を押し続ける。
- ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

メニュー画面を操作する

〈DVD ビデオ、DVD オーディオ〉

ディスク独自のメニュー項目を操作することができます。

DVD 操作画面表示中（→ P.201）

1 ［メニュー］または［トップメニュー］にタッチ。

- メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないとき
  ➡［✥選択］にタッチ。

メニュー表示の画面例



2 ［⬇］・［⬆］・［⬅］・［➡］にタッチして、メニュー項目を選択し、［決定］にタッチ。

- ディスクによっては、メニュー項目を直接タッチして選択できるものもあります。
- 選択したメニュー項目が再生されます。

- 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（上の画面は一例です。）

メニュー番号を選ぶ

〈DVD オーディオ〉

DVD 操作画面（→ P.201）
▼
各種切替
▼
各種切替画面

1 ［番号］にタッチ。

2 メニュー番号を入力する。

- 間違えたとき ➡ ［修正］にタッチ。

3 ［完了］にタッチ。

● ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

音声を切り替える

音声が複数収録されているディスクの場合、音声を切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ P.201）

▼

各種切替

▼

各種切替画面

1 ［音声］にタッチ。



2 ［音声切替］にタッチ。

● タッチするごとに、音声言語が切り替わります。

● 現在選択中の音声は DVD ビデオ・DVD オーディオ再生時のみ表示されます。

字幕を切り替える

字幕が複数収録されているディスクの場合、字幕を切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ P.201）

▼

各種切替

▼

各種切替画面

1 ［字幕］にタッチ。



2 **［字幕切替］**にタッチ。

- タッチするごとに、字幕言語が切り替わります。
- **［字幕消し］**にタッチすると、字幕を表示させないようにすることができます。
  再び表示するとき
  ➡ 再度 **［字幕消し］**にタッチ。

- **［字幕消し］**および現在選択中の字幕は DVD ビデオ･DVD オーディオ再生時のみ表示されます。

アングルを切り替える

〈DVD ビデオ、DVD オーディオ〉

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、カメラアングルを切り替えることができます。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマーク（→ P.216）が表示されます。

DVD 操作画面（→ P.201）
▼
各種切替
▼
各種切替画面

1 **［アングル］**にタッチ。



2 **［アングル切替］**にタッチ。

- タッチするごとに、アングルが切り替わります。

音声モードを切り替える

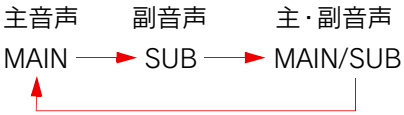
〈DVD-VR〉

音声多重で収録されているディスクの場合、主音声 / 副音声を切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
各種切替画面

［MAIN/SUB］にタッチ。

- タッチするごとに、以下の順に切り替わります。



再生モードを切り替える

〈DVD-VR〉

ディスク内にプレイリストが作成されているときにプレイリストを再生することができます。

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
各種切替画面

1 ［再生モード］にタッチ。



2 ［プレイリスト］にタッチ。

- プログラムを再生するとき
  ➡［プログラム］にタッチ。
- ディスク内にプレイリストがないときは［再生モード］は表示されません。

ディスクで指定された位置まで戻って見る

〈DVD ビデオ、DVD オーディオ〉

ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
各種切替画面

［リターン］にタッチ。

- ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

画面モードを切り替える

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
各種切替画面

1 ［Wide］にタッチ。



2 [Normal]・[Wide 1]・[Wide 2] のいずれかにタッチ。

3 [完了] にタッチ。

- 画面の表示については「画面モードについて」(→ P.27) をご覧ください。

プレーヤーの設定をする

あらかじめお好みの設定にしておけば、ディスクを再生するたびに設定する必要がありません。

DVD 操作画面 (→ P.201)
↓
各種切替
↓
各種切替画面

1 [DVD 初期設定] にタッチ。

初期設定画面



2 各項目を設定する。

- 音声言語の設定※1※2 (→ P.214)
- 字幕言語の設定※2 (→ P.215)
- ソフトメニュー言語の設定※2 (→ P.215)
- マルチアングルマーク表示の設定※2 (→ P.216)
- 視聴制限レベルの設定※1※2 (→ P.217)
- オートスタートの設定※2 (→ P.218)
- 音声ダイナミックレンジの設定※1 (→ P.218)

※1 DVD オーディオでは設定することができません。
※2 DVD-VR には反映されません。

3 設定が終わったら、[完了] にタッチ。

- [初期状態] にタッチすると、視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。(→ P.221)

音声言語を設定する

〈DVD ビデオ〉

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます。

DVD 操作画面（→ P.201）

▼

各種切替

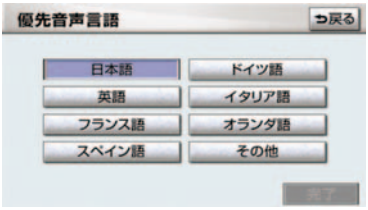
▼

DVD 初期設定

▼

初期設定画面

1 ［音声］にタッチ。



2 出力させる音声言語にタッチ。

- ［その他］にタッチしたとき
  ➡「言語コードの入力」（→ P.219）

3 ［完了］にタッチ。

字幕言語を設定する

〈DVD ビデオ、DVD オーディオ〉

優先して表示したい字幕の言語を設定することができます。

DVD 操作画面（→ P.201）

▼

各種切替

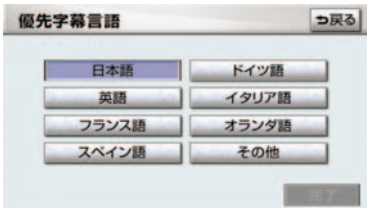
▼

DVD 初期設定

▼

初期設定画面

1 ［字幕］にタッチ。



2 表示させる字幕言語にタッチ。

- ［その他］にタッチしたとき
  ➡「言語コードの入力」（→ P.219）

3 ［完了］にタッチ。

ソフトメニュー言語を設定する

〈DVD ビデオ、DVD オーディオ〉

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定することができます。

DVD 操作画面（→ P.201）

▼

各種切替

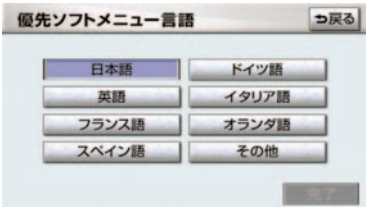
▼

DVD 初期設定

▼

初期設定画面

1 ［ソフトメニュー］にタッチ。



2 表示させるソフトメニュー言語にタッチ。

- ［**その他**］にタッチしたとき
  ➡「言語コードの入力」（→ P.219）

3 ［完了］にタッチ。

マルチアングルマーク表示の設定をする

〈DVD ビデオ、DVD オーディオ〉

マルチアングル（→ P.232）で記憶されているディスクを再生させているときに表示されるマルチアングルマークを「表示」または「非表示」に切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ P.201）
▼
各種切替
▼
DVD 初期設定
▼
初期設定画面



マルチアングルマーク

［**マルチアングル**］にタッチ。

- タッチするたびに**表示** ⇄ **非表示**と切り替わります。

視聴制限レベルを設定する

〈DVD ビデオ〉

視聴制限レベル（→ P.232）の設定をすることができます。

DVD 操作画面（→ P.201）

▼

各種切替

▼

DVD 初期設定

▼

初期設定画面

1 ［視聴制限］にタッチ。



2 暗証番号を入力する。

- 暗証番号が未設定のとき（「ーーーー」が表示されているとき）は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
- 間違えたとき ➡ ［修正］にタッチ。

3 ［完了］にタッチ。

4 設定したい視聴制限レベルにタッチ。

5 ［完了］にタッチ。

- 暗証番号入力時、［修正］に連続して 10 回タッチすると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

オートスタートの設定をする

〈DVD ビデオ、DVD オーディオ〉

メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目を自動的に再生するように設定することができます。

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
DVD 初期設定
↓
初期設定画面

［オートスタート］にタッチ。

- タッチするたびに ON ⇄ OFF と切り替わります。

- ディスクにより自動的に再生することができないことがあります。

音声ダイナミックレンジの設定をする

〈DVD ビデオ、DVD-VR〉

音声の最大値と最小値の比を設定することができます。

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
DVD 初期設定
↓
初期設定画面

［音声ダイナミックレンジ］にタッチ。

- タッチするたびに MAX → STD → MIN → MAX と切り替わります。

MAX：最大ダイナミックレンジ
STD：標準ダイナミックレンジ
MIN：最小ダイナミックレンジ

言語コードの入力

音声言語・字幕言語・ソフトメニュー言語の初期設定で、［**その他**］にタッチしたときは、言語コードを入力することにより、言語を選択することができます。

DVD 操作画面（→ P.201）
↓
各種切替
↓
DVD 初期設定
↓
音声 （ 字幕 、ソフトメニュー ）
↓
その他
↓
言語コード入力画面

「字幕言語」のコード入力画面



● 間違えたとき ➡ ［**修正**］にタッチ。

1 言語コードを入力する。

2 ［**完了**］にタッチ。

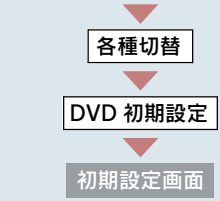
■ 言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバック語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	シスワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	セストゥ語
1115	韓国語	0712	ガルシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グアラニ語	1318	マラータ語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マライ語	1923	スワヒリ語
0102	アブハジア語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフラカーンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	チグリス語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	ツルキ語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	セツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	アフガニスタン語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタール語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レートロマン語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	キルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	キニヤルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カンナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ボラピュク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンド語	2408	コーサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルボアクロアチア語	2515	ユルバ語
0515	エスペラント語	1201	ラテン語	1909	セイロン語	2621	ズールー語

プレーヤーの設定を初期化する

各項目の設定を初期設定の状態にもどすことができます。

DVD 操作画面（→ P.201）



1 ［初期状態］にタッチ。

2 ［はい］にタッチ。

- 視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。

5. ビデオ CD の操作

次の状態で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみディスクの映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードのとき
・GS450h：“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

- ディスクの映像が表示されないとき ➡ 画面外の DISC・AUX を押す。（→ P.224）

ビデオ CD を操作する画面には、操作画面と各種切替画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面や各種切替画面が表示されていないときでも操作することができます。
- 画面のスイッチにタッチしたとき、画面に ⃠ が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

■操作画面

ディスクを再生しているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す、またはディスクの映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。

［映像］にタッチすると映像を全画面で表示します。



■各種切替画面

操作画面で、**［各種切替］**にタッチすると表示されます。

［映像］にタッチすると映像を全画面で表示します。



ビデオ CD を再生する

ディスクが挿入されていないとき

ディスクを挿入する。（→ P.185）

ディスクが挿入されているとき

画面外の DISC・AUX を押す。

- チェンジャー内の希望のディスク以外が再生されたときは、ディスクを切り替えます。（→ P.187）
- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。（→ P.176）

ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときにビデオ CD モードにすると、ディスク読込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。

- ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。
- ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。
- メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。
- PBC 機能は ON 固定になります。
- PBC とは Play Back Control（プレイバックコントロール）の略で、PBC が内蔵されているディスクを再生させているときに、ディスク独自のメニュー項目を表示させ、操作することができます。

映像を一時停止する

ビデオ CD 操作画面表示中（→ P.223）

［❚❚］にタッチ。

- 通常再生するとき ➡ ［▶］にタッチ。

映像を止める

ビデオ CD 操作画面表示中（→ P.223）

［■］にタッチ。

- 通常再生するとき ➡ ［▶］にタッチ。

早送り、早戻しする

操作画面で操作する

ビデオ CD 操作画面表示中（→ P.223）

- 早送りするとき
  ➡ ［▶▶］にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ［◀◀］にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

TRACK スイッチで操作する

画面外の TRACK スイッチを押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ⌃を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ⌄を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

スロー再生する

ビデオ CD 操作画面表示中（→ P.223）

1 ［⏸］にタッチ。

2 ［⏭］にタッチ。

- スイッチにタッチしている間、スロー再生されます。

見たい場所を選ぶ

トラックを選択することができます。

画面で選ぶ

ビデオ CD 操作画面（→ P.223）

▼

各種切替

▼

各種切替画面

- うしろにあるとき
  ➡ **［ページ送り］**にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ **［ページ戻し］**にタッチ。
- ディスクによっては、メニュー画面を表示したり、メニュー画面のページを切り替えることがあります。

TRACK スイッチで選ぶ

画面外の TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ⏭を押す。
- 前にあるとき ➡ ⏮を押す。
- ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

メニュー番号を選ぶ

ビデオ CD 操作画面（→ P.223）

各種切替

各種切替画面

1 ［番号］にタッチ。



2 メニュー番号を入力する。

- 間違えたとき ➡ ［修正］にタッチ。

3 ［完了］にタッチ。

- ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

メニュー画面を表示する

ビデオ CD 操作画面（→ P.223）

各種切替

各種切替画面

［リターン］にタッチ。

- ディスクによっては、［ページ送り］、［ページ戻し］を操作することにより、メニュー画面を表示したり、メニュー画面のページを切り替えることがあります。
- 操作方法は、再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。

音声モードを切り替える

ビデオ CD 操作画面（→ P.223）

各種切替

各種切替画面

［MAIN/SUB］にタッチ。

- タッチするごとに、以下の順に切り替わります。

主音声　副音声　主・副音声

MAIN → SUB → MAIN/SUB

画面モードを切り替える

ビデオ CD 操作画面（→ P.223）

各種切替

各種切替画面

1 ［Wide］にタッチ。



2 ［Normal］・［Wide 1］・［Wide 2］のいずれかにタッチ。

3 ［完了］にタッチ。

- 画面の表示については「画面モードについて」（→ P.27）をご覧ください。

6. 知っておいていただきたいこと

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
“Dolby” and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「ドルビー」、「Dolby」及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



Manufactured under license under U.S. Patent #’ s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Surround are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

DVD ビデオ・DVD オーディオ・ビデオ CD 再生中の操作について

DVD ビデオ・DVD オーディオ・ビデオ CD ではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD チェンジャーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。

DVD ビデオ・DVD オーディオについて

- NTSC カラーテレビ方式に対応しています。
  NTSC 方式以外のカラーテレビ方式（PAL・SECAM）対応のディスクは再生させることができません。
- ドルビーデジタル／ DTS デジタルサラウンドデコーダーをアンプに内蔵していて、DVD ビデオのマルチチャンネル再生に対応しています。

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号（次ページ）が表示されているものがあります。

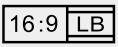
地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（日本を示す番号）が含まれていない、または「ALL」（全世界向け）と表示されていないディスクは、この DVD チェンジャーで再生させることができません。

このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD チェンジャーで再生させることができないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク		意　味
NTSC		カラーテレビの方式。
		音声のトラック数。 • 数字が収録されている音声数。
		字幕の言語数。 • 数字が収録されている言語数。
		アングルの数。 • 数字が収録されているアングル数。
		選択することができる画面モード。 •「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面。
		再生可能な地域番号。 • ALL は全世界向け、数字は地域番号。（「2」は日本を示します。）

ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

DVD ビデオ

タイトル 1		タイトル 2			タイトル 3
チャプター 1	チャプター 2	チャプター 1	チャプター 2	チャプター 3	チャプター 1

DVD オーディオ

グループ 1		グループ 2			グループ 3
トラック 1	トラック 2	トラック 1	トラック 2	トラック 3	トラック 1

タイトル、グループ

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚（あるいは 1 曲）にあたります。それぞれのタイトル･グループに順につけられた番号をいいます。

チャプター、トラック

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトル・グループより小さい単位。1 つのタイトル・グループは、複数のチャプター・トラックで構成され、それぞれのチャプター・トラックに順につけられた番号をいいます。

- ディスクによっては、再生中にタイトル・グループ番号、チャプター・トラック番号、再生時間が表示されないものもあります。

DVD ビデオ・DVD オーディオの用語

より正しく有効に DVD ビデオ・DVD オーディオを利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

DVD ビデオ

動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」（エムペグ 2）が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

DVD オーディオ

最大 CD の約 1000 倍もの情報量を持ち、マルチチャンネル音楽にも対応した、高音質オーディオ信号を再生可能な DVD。

また、DVD オーディオは高音質なだけではなく、動画、静止画にも対応したマルチメディアエンターテイメントを最高の音質で楽しむことができます。

視聴制限や地域番号指定はありません。

視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオの機能の 1 つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

- レベル 1..... 子ども向けのディスクのみを再生させることができます。（一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 2 ～ 7 ....子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。（成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 8..... すべてのディスクを再生させることができます。

マルチアングル

DVD ビデオ・DVD オーディオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

マルチランゲージ（多言語）

DVD ビデオ・DVD オーディオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

地域番号（リージョンコード）

DVD チェンジャーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられています。

再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について」をご覧ください。（→ P.230）

音声について

この DVD チェンジャーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・パックド PCM・ドルビーデジタル・DTS・MPEG オーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6ch に分解して記録、再生する（ウーハー ch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

ドルビーサラウンド（ドルビープロロジック）

2ch で記録された信号をドルビープロロジックデコーダーにより 4ch に出力する方式です。

（サラウンドチャンネルの出力はモノラルとなります。）

DTS

Digital Theater Systems 社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ドルビーデジタルと同様の音声分割をする方式ですが、圧縮率が低いため、より高品位なサラウンド再生をする事ができます。

サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1 秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

リニア PCM

音楽 CD に用いられている信号記録方式です。

音楽 CD では 44.1kHz ／ 16bit で記録されているのに対し、DVD ビデオでは 48kHz ／ 16bit ～ 96kHz ／ 24bit、DVD オーディオでは 44.1kHz ／ 16bit ～ 192kHz ／ 24bit で記録されているので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

サウンドライブラリの概要

音楽 CD を内蔵のハードディスクに録音することができます。また、録音したアルバムにアルバム名やアーティスト名、ジャンル名などの情報を自動で付けるので、聞きたいアルバムをアルバム名やアーティスト名、ジャンルなどから簡単に探し出し再生することができます。

- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、音楽 CD などをデジタル録音した CD-R などから録音することはできません。
- サウンドライブラリには、最大 2000 曲※録音することができます。(1 曲約 5 分換算)

※ 録音時間や録音音質、ハードディスクの空き容量によって、2000 曲録音できないことがあります。
より多くの曲を録音するには、次の操作をする必要があります。
・ 録音音質を「普通」に設定して録音する。(→ P.239)
・ ハードディスクに保存されている G-SOUND の楽曲を削除する。(→ P.604)

データベースについて

CD アルバムを再生または録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

Gracenote®メディアデータベースについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com

Gracenote からの CD および音楽関連データ：Copyright © 2000 - 2007 Gracenote. Gracenote Software：Copyright 2000 - 2007 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります：

#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe,Inc. から提供されました。

Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。

Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：
www.gracenote.com/corporate



- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenote®メディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。
お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。

お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。

お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。
Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。

Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

2. サウンドライブラリに録音する

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音する

1 録音したいCDを挿入する。

2 画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す。



3 **［録音開始］**にタッチ。

- 再生しているCDの録音を開始します。

自動で録音する

CDを再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

1 録音設定の自動録音を「する」に設定する。(→P.239)

2 録音したいCDを挿入する。

- 再生と同時に、自動的に録音を開始します。

曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

1 録音設定の自動録音を「しない」、選んで録音を「する」に設定する。(→P.239)

2 録音したいCDを挿入する。

3 画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す。



4 **［録音開始］**にタッチ。

5 録音したい曲にタッチ。

- 走行中は曲を選択することはできません。
- リストにあるすべての曲を録音するとき
  ➡ **［全選択］**にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ **［全解除］**にタッチ。

6 **［完了］**にタッチ。

録音を中止する

1 画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す。



2 **［録音停止］**にタッチ。

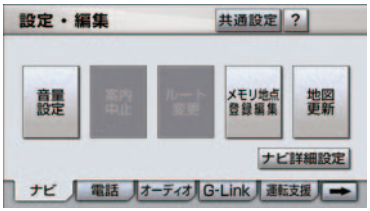
- 通常の速さで再生しながら、最大 4 倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- 録音中は、操作画面に「REC」と赤字で表示されます。
- 録音中は、**［RPT］**、**［RAND］**、**［SCAN］**、**［LIST］**の各スイッチは操作できません。また、選曲、早送り・早戻しもできません。

- CD 以外のモードに切り替えても、録音は継続されます。ただし以下のときは、録音を中止または中断し、録音途中の曲を削除します。
  - ・“ エンジン スタート ストップ ”スイッチ／“ パワー ”スイッチを OFF にしたとき
  - ・オーディオの電源を OFF にしたとき
  - ・CD を取り出したとき
  - ・操作ガイドを操作したとき
  - ・録音した曲数が 2000 曲になったとき
  - ・HDD の容量がいっぱいになったとき
- CD を録音しながら再生しているときに、録音が終了すると、CD の再生が一瞬途切れる場合があります。

録音設定

CD の再生と同時に自動的に録音を開始する「自動録音」と、希望の曲を選んで録音する「選んで録音」の切り替えや録音音質を切り替えることができます。

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。



2 **オーディオ** にタッチ。

3 **［CD ⇒ HDD 録音設定］**にタッチ。

4 録音音質、録音方法を選択します。

5 **［完了］**にタッチ。

録音音質を切り替える

［高音質］…… 高音質
［普通］…… 標準音質

自動で録音する

自動録音の **［する］**にタッチ。

曲を選んで録音する

1 自動録音の［**しない**］にタッチ。

2 選んで録音の［**する**］にタッチ。

- 走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

3. サウンドライブラリを聞く

サウンドライブラリを聞いているときに、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押すと、サウンドライブラリ操作画面が表示されます。

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



サウンドライブラリを聞く

画面外の DISC・AUX を押す。

- サウンドライブラリ以外のモードが再生されたとき
  ➡ サウンドライブラリモードが選択されるまで DISC・AUX を押す。
- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。(→ P.176)
- 録音した CD の情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「NO DATA」、アルバムタイトルには録音した日時、トラックタイトルには TRACK1、TRACK2…と表示されます。
- **［タイトル入力］**は、マイベスト（オリジナルで作成した楽曲集）を再生しているときは表示されません。また、走行中および録音中は操作できません。

聞きたいアルバムを選ぶ

操作画面で選ぶ

サウンドライブラリ操作画面表示中（→ P.241）

- うしろにあるとき
  ➡ ALBUM の［▲］にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ ALBUM の［▼］にタッチ。

リスト画面で選ぶ

サウンドライブラリ操作画面表示中（→ P.241）

1 ALBUM の **［選択］**にタッチ。

録音日順のリスト画面

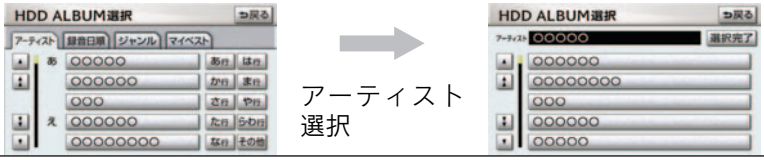
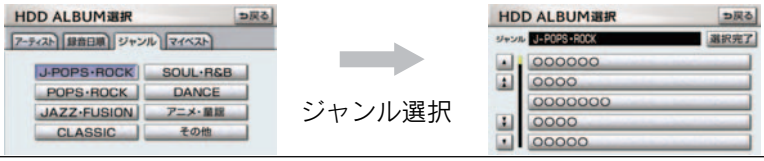


2 アルバムリスト画面で、聞きたいアルバムを選択する。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

アルバムリスト画面について

アルバムリストはアーティストやジャンルでグループ分けして表示したり、録音日順に表示することができます。また、お気に入りの楽曲集を作成しているときはマイベストから表示、選択します。

	アルバムリスト画面
アーティスト	
録音日順	
ジャンル	
マイベスト	

- **マイベスト** は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。(→P.248)
- アルバムはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（**アーティスト**、**録音日順**、**ジャンル**）を変更すると再生順が変わります。

聞きたい曲（トラック）を選ぶ

TRACK スイッチで選ぶ

画面外の TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ⌃を押す。
- 前にあるとき ➡ ⌄を押す。

FILE ツマミで選ぶ

FILE ツマミをまわす。

- うしろにあるとき ➡ 右側にまわす。
- 前にあるとき ➡ 左側にまわす。

リスト画面で選ぶ

サウンドライブラリ操作画面表示中（→ P.241）

1 TRACK の［**選択**］にタッチ。



2 聞きたい曲にタッチ。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。
- 録音中に音跳びが発生したときはそのトラックの録音をやり直しますが、再び音跳びが発生したときはそのままの状態で録音されます。音跳び状態のまま録音されたトラックには、音跳び録音アイコンが表示されます。

早送り、早戻しする

画面外の TRACK スイッチを押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ を押し続ける。

- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

サウンドライブラリ操作画面表示中（→ P.241）

［RPT］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RPT］にタッチ。

同じアルバムを繰り返し聞く

選択しているアルバムを繰り返し再生することができます。

サウンドライブラリ操作画面表示中（→ P.241）

［RPT］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RPT］にタッチ。

アルバムの中からランダムに聞く

選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

サウンドライブラリ操作画面表示中（→ P.241）

［RAND］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

全アルバムの中からランダムに聞く

全アルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

サウンドライブラリ操作画面表示中（→ P.241）

［RAND］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

アルバムの中から曲（トラック）を探す

選択しているアルバムの全曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生することができます。

サウンドライブラリ操作画面表示中（→ P.241）

［SCAN］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望の曲になったら、再度［SCAN］にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

アルバムを探す

全アルバムの先頭の曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生することができます。

サウンドライブラリ操作画面表示中（→ P.241）

［SCAN］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望のアルバムになったら、再度［SCAN］にタッチすると、そのアルバムの再生を続けます。
- 全アルバムの先頭の曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

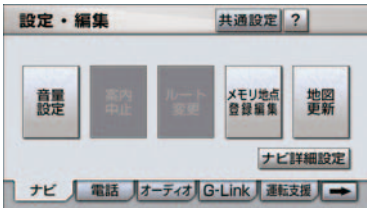
4. サウンドライブラリの編集

サウンドライブラリに録音すると、アーティスト名やジャンルなどの情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などをすることができます。

サウンドライブラリ編集メニュー画面について

サウンドライブラリの編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

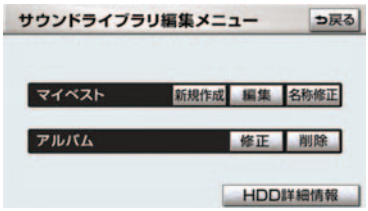
1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。



2 **オーディオ** にタッチ。

3 **［サウンドライブラリ編集］**にタッチ。

サウンドライブラリ編集メニュー画面



サウンドライブラリ編集メニュー画面から以下のことができます。

- マイベストの作成（→ P.248）
- マイベストの編集（→ P.249）
  - ・マイベストの名称修正（→ P.249）
  - ・トラックの追加（→ P.250）
  - ・トラックの並び替え（→ P.251）
  - ・トラックの削除（→ P.252）
  - ・マイベストの削除（→ P.253）

- アルバム情報の編集（→ P.254）
  - ・アルバムタイトル、アルバム読み修正（→ P.255）
  - ・アーティスト名、アーティスト読み修正（→ P.256）
  - ・ジャンル修正（→ P.258）
  - ・トラックタイトル、トラック読み修正（→ P.259）
  - ・タイトル情報の再取得（→ P.260）
  - ・アルバムの削除（→ P.261）
  - ・トラックの削除（→ P.262）
- HDD 詳細情報の表示（→ P.263）

- 走行中および録音中は、サウンドライブラリの編集をすることができません。

お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する

お気に入りの曲を集めた楽曲集（マイベスト）を作成することができます。作成した楽曲集は、アルバムリスト画面のマイベストから簡単に呼び出すことができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
オーディオ
↓
サウンドライブラリ編集
↓
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの［**新規作成**］にタッチ。



2 マイベストの名称を入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。

3 登録したい曲の含まれているアルバムのアーティストを選択する。

- アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
- 録音日順のリストから選択するとき
  - ➡ **録音日順** にタッチ。

- ジャンルで絞り込み選択するとき
  ➡ **ジャンル** にタッチ。
- マイベストから選択するとき
  ➡ **マイベスト** にタッチ。

4 登録したい曲の含まれているアルバムを選択する。

5 登録したい曲にタッチ。

- リストにあるすべての曲を登録するとき
  ➡ **［全選択］** にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ **［全解除］** にタッチ。

6 **［登録］** にタッチ。

7 **［完了］** にタッチ。

- 続けて曲を追加するとき
  ➡ **［追加］** にタッチ。（手順 **3** へ）
  ・同様の手順で追加できます。
- 同じ名称は重複して登録できません。
- マイベストは999個作成できます。また、1つのマイベストには99曲まで登録できます。

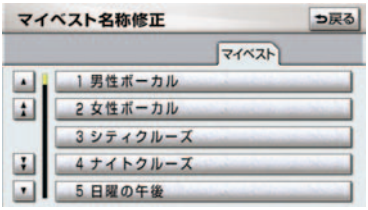
マイベストを編集する

マイベストの名称を修正したり、曲の追加や順番の並べ替え、削除をすることができます。また、マイベスト自体を削除することができます。

マイベストの名称を修正する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
サウンドライブラリ編集
▼
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの［**名称修正**］にタッチ。



2 修正したいマイベストにタッチ。

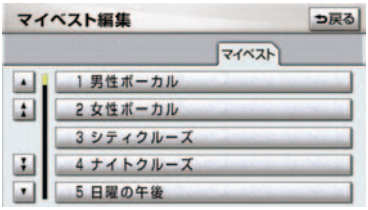
3 名称を入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。
- 同じ名称は重複して登録できません。

曲を追加する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
オーディオ
↓
サウンドライブラリ編集
↓
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの［**編集**］にタッチ。



2 曲を追加したいマイベストにタッチ。

3 ［**トラックを追加**］にタッチ。

4 追加したい曲が含まれているアルバムのアーティストを選択する。

- アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
- 録音日順のリストから選択するとき
  ➡ **録音日順** にタッチ。
- ジャンルで絞り込み選択するとき
  ➡ **ジャンル** にタッチ。
- マイベストから選択するとき
  ➡ **マイベスト** にタッチ。

5 追加したい曲が含まれているアルバムを選択する。

6 追加したい曲にタッチ。

- すべての曲を追加するとき
  ➡ **［全選択］** にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ **［全解除］** にタッチ。

7 **［登録］** にタッチ。

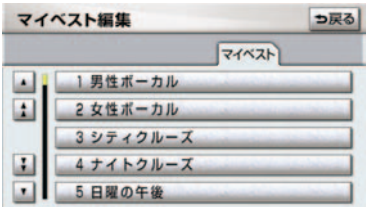
8 **［完了］** にタッチ。

- 続けて曲を追加するとき
  ➡ **［追加］** にタッチ。（手順 **4** へ）
- 同様の手順で追加できます。
- 1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

曲を並べ替える

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
サウンドライブラリ編集
▼
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの **［編集］** にタッチ。



2 並べ替えをしたいマイベストにタッチ。

3 ［**トラックを並替**］にタッチ。

4 移動したい曲にタッチ。

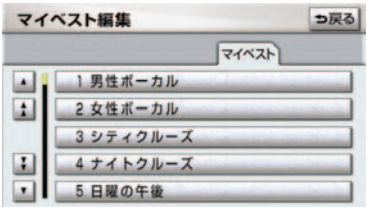
5 移動したい場所の［**並替**］にタッチ。

6 ［**完了**］にタッチ。

曲を削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
サウンドライブラリ編集
▼
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの［**編集**］にタッチ。



2 消去したい曲の含まれているマイベストにタッチ。

3 ［**トラックを削除**］にタッチ。

4 削除したい曲にタッチ。

- すべての曲を削除するとき
  ➡［**全選択**］にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡［**全解除**］にタッチ。

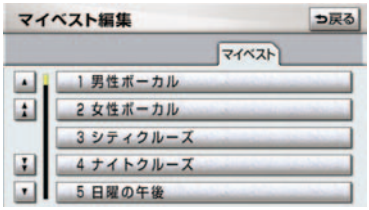
5［**削除**］にタッチ。

6［**はい**］にタッチ。

マイベストを削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
サウンドライブラリ編集
▼
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの［**編集**］にタッチ。



2 消去したいマイベストにタッチ。

3［**このマイベストを削除**］にタッチ。

4［**はい**］にタッチ。

アルバム情報を編集する

アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名などを変更することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
サウンドライブラリ編集
▼
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの［**修正**］にタッチ。



2 編集したいアルバムのアーティストを選択する。

- アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
- 録音日順のリストから選択するとき
  ➡ **録音日順** にタッチ。
- ジャンルで絞り込み選択するとき
  ➡ **ジャンル** にタッチ。

3 編集したいアルバムを選択する。

- 再生中のアルバムの情報を編集したいときは、サウンドライブラリ操作画面（→P.241）で、［**タイトル入力**］にタッチするとアルバム修正画面を表示することができます。
（［**タイトル入力**］は、マイベストを再生しているときは表示されません。）

アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
サウンドライブラリ編集
▼
アルバムの **修正**
▼
アルバムを選択
▼
アルバム修正画面

1 ［**アルバム**］または［**アルバム読み**］にタッチ。



2 アルバムまたはアルバム読みを入力する。

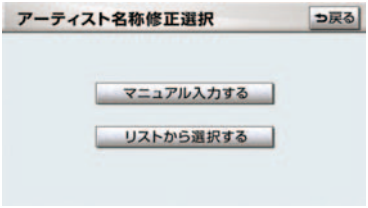
- ソフトウェアキーボードで入力する。
- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名、アーティスト読みを変更する

アーティスト名を変更する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
サウンドライブラリ編集
▼
アルバムの **修正**
▼
アルバムを選択
▼
アルバム修正画面

1 **［アルバムアーティスト］**にタッチ。



2 編集方法を選択する。

▶マニュアル入力するときは

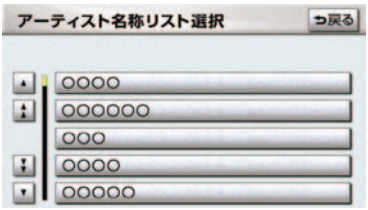
1 **［マニュアル入力する］**にタッチ。

2 アーティスト名を入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。

▶リストから選ぶときは

1 ［**リストから選択する**］にタッチ。



2 アーティスト名にタッチ。

- リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

アーティスト読みを変更する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
オーディオ
↓
サウンドライブラリ編集
↓
アルバムの 修正
↓
アルバムを選択
↓
アルバム修正画面

1 ［**アルバムアーティスト読み**］にタッチ。



2 アーティスト読みを入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。
- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

ジャンルを変更する

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
オーディオ
↓
サウンドライブラリ編集
↓
アルバムの 修正
↓
アルバムを選択
↓
アルバム修正画面

1 ［ジャンル］にタッチ。



2 ジャンルにタッチ。

3 ［完了］にタッチ。

トラックタイトル、トラック読みを変更する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
オーディオ
↓
サウンドライブラリ編集
↓
アルバムの **修正**
↓
アルバムを選択
↓
アルバム修正画面

1 ［**トラック名を修正**］にタッチ。



2 修正したいトラックにタッチ。

3 ［**トラック**］または［**トラック読み**］にタッチ。

4 トラックまたはトラック読みを入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。
- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

タイトル情報を再取得する

録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用したCD のタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
オーディオ
↓
サウンドライブラリ編集
↓
アルバムの **修正**
↓
アルバムを選択
↓
アルバム修正画面



1 **［HDD で検索］**にタッチ。

- CD タイトル検索画面が表示されます。
- **［G で検索］**は、G-Link を利用されているときに使用することができます。G-Link を利用すると、最新の CD タイトル情報を G-BOOK センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。（→ P.609）

2 複数候補があるときは、タイトルにタッチ。

- CD タイトル検索画面が表示されます。

3 **［登録］**にタッチ。

- 再生している曲の録音に使用した CD のタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

CD タイトル検索画面

CD タイトルを検索しているときに表示されます。

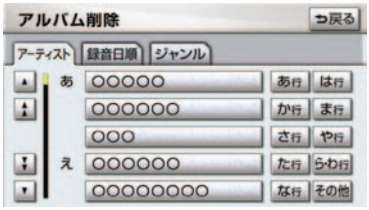


- 検索が終わると自動的に画面が切り替わります。
- 中止するとき ➡ **［中止］**にタッチ。

アルバムを削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
サウンドライブラリ編集
▼
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの**［削除］**にタッチ。



2 削除したいアルバムのアーティストを選択する。

- アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
- 録音日順のリストから選択するとき
  ➡ **録音日順** にタッチ。
- ジャンルで絞り込み選択するとき
  ➡ **ジャンル** にタッチ。

3 削除したいアルバムを選択する。

4 **［このアルバムを削除］**にタッチ。

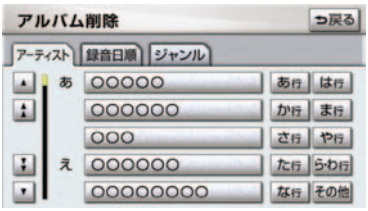
5 **［はい］**にタッチ。

- 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

曲（トラック）を削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
➡ **オーディオ**
➡ **サウンドライブラリ編集**
➡ サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの**［削除］**にタッチ。



2 削除したい曲の含まれているアルバムのアーティストを選択する。

- アルバムはアーティストで絞り込む他に、次の方法で選択することができます。
- 録音日順のリストから選択するとき
  ➡ **録音日順** にタッチ。
- ジャンルで絞り込み選択するとき
  ➡ **ジャンル** にタッチ。

3 削除したい曲の含まれているアルバムを選択する。

4 **［トラックを削除］**にタッチ。

5 削除したい曲にタッチ。

- すべての曲を削除するとき
  ➡ **［全選択］**にタッチ。

- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ **［全解除］**にタッチ。

6 **［削除］**にタッチ。

7 **［はい］**にタッチ。

- 削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

HDD 詳細情報の表示

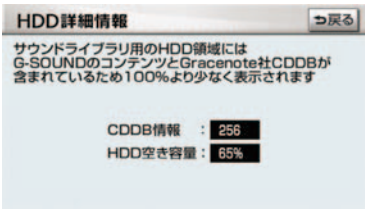
CDDB のバージョン情報や HDD の空き容量を確認することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
サウンドライブラリ編集
▼
サウンドライブラリ編集メニュー画面

［HDD 詳細情報］にタッチ。

- HDD 詳細情報画面が表示されます。

HDD 詳細情報画面



1. 地上デジタルテレビの操作

本機には、地上デジタルテレビ放送の著作権保護方式に対応するため、B-CASカードが内蔵されています。このカードの所有権は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「B-CAS 社」）に帰属しており、その使用に関する事項は「使用許諾契約約款」によります。より詳しい情報は、B-CAS社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）をご覧ください。

なお、この B-CAS カードを取りはずすことはできません。

次の状態で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードのとき
・GS450h：“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

● 地上デジタルテレビ放送が表示されないとき ➡ 画面外の TV を押す。（→ P.266）

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面と放送局名画面から行います。

目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

● 本体（画面外）のスイッチは、操作画面や放送局名画面が表示されていないときでも操作することができます。
● すべてのプリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていない場合、チャンネル設定が行われていません。初期スキャンを行ってください。（→ P.281）
● デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 操作画面

地上デジタルテレビをご覧になっているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す、または映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。

［**全画面**］または映像にタッチすると操作画面が解除されます。



■ 放送局名画面

操作画面で、［**放送局名**］にタッチすると表示されます。



- プリセットスイッチにチャンネルを記憶した地域から移動した場合に、放送局名とチャンネル番号が一致しない場合があります。
- 放送局名は車載機内のデータを使用して表示しています。データと実際の受信状態が一致しない場合、放送を受信できても放送局名が表示されないことがあります。車載機内のデータは地図データを全更新することで更新することができます。(→ P.538)

地上デジタルテレビを見る

画面外の **TV** を押す。

- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。(→ P.176)
- 車載機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
  この関係の主な例を次に説明します。
  ・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  ・ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  ・電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
  ・トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  ・一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
  また、双方向通信には対応していません。

チャンネルを選ぶ

プリセットスイッチに記憶されているチャンネルから選ぶ

CH スイッチで選ぶ

画面外の CH スイッチを押す。

- チャンネルが記憶されているプリセットスイッチの番号の大きい方へ選択するとき
  ➡ ∧を押す。
- チャンネルが記憶されているプリセットスイッチの番号の小さい方へ選択するとき
  ➡ ∨を押す。

プリセットスイッチから選ぶ

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.265）または放送局名画面表示中（→ P.266）

希望のチャンネルが記憶されているプリセットスイッチにタッチ。

- プリセットスイッチにチャンネルを記憶させたいときや、記憶されているチャンネルを変更したいとき
  ➡「チャンネルを記憶する」（→ P.269）

手動で選ぶ

TUNE ツマミをまわす。

- 左右にまわしてチャンネルを選びます。

自動で選ぶ

受信感度が良く、現在受信しているチャンネルに一番近いチャンネルを自動で選択します。

画面外の SEEK スイッチを押す。

- ∧または∨を押してチャンネルを選びます。
- 途中で止めるとき ➡ 再度スイッチを押す。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべてのチャンネルの受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。
- チャンネルを選んだ直後は、周波数を表すチャンネル番号が画面上部に灰色で表示されますが、数秒後にプリセットスイッチに表示されているチャンネル番号が表示されます。
- SEEK スイッチでチャンネルを選んだ場合、プリセットスイッチの番号順にチャンネルは切り替わりません。

番組を選ぶ

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.265）

1 ［番組］にタッチ。

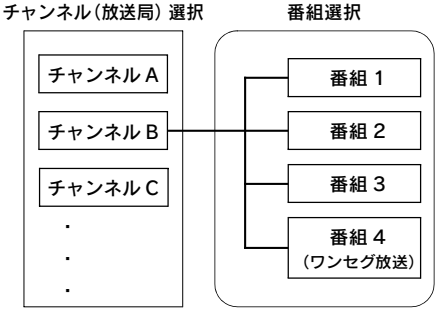


2 見たい番組にタッチ。

- 選択している番組の映像が画面右側に表示されます。

3 ［完了］にタッチ。

- ワンセグ放送のサービス番号は、611 ～ 728 に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
- ワンセグ自動切替が ＯＮ（する）に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送にもどります。（→ P.271）
- 地上デジタルテレビ放送では 1 つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。
  違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- 1 つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。



画面モードを切り替える

デジタルテレビの映像を通常の映像とディスプレイの画面サイズに合わせた映像に切り替えることができます。

データ放送操作画面表示中（→ P.275）



［Wide］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯してワイド画モードになります。
- 標準画モードに戻すとき
  ➡ 再度［Wide］にタッチ。

■ 標準画モード

たて 9：よこ 16、またはたて 3：よこ 4 の割合の画面（デジタルテレビ画面の大きさ）で表示されます。

■ ワイド画モード

ディスプレイの画面サイズに合わせ、拡大して表示されます。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルをあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチで選択することができます。

- 自宅付近などで日頃よくご覧になるチャンネルを記憶させておくと便利です。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.265）または放送局名画面表示中（→ P.266）

1 記憶したいチャンネルを選択する。（→ P.267）

- 映像が表示されている状態にしてください。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶されたチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

自動でチャンネルを記憶する

自動で受信可能なチャンネルを、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。

- 旅先などで放送局のチャンネルがわからないときなどに便利です。

放送局名画面表示中（→ P.266）

［AUTO.P］を“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 画面に「AUTO.P」の表示が出ます。
- チャンネルの記憶操作が終了すると、“ピッピッ”と音がして記憶した中で一番小さいチャンネルを受信します。
- 記憶されたチャンネルがプリセットスイッチに表示され、画面の「AUTO.P」表示が点滅から点灯に切り替わります。
- 解除するとき ➡ 再度［AUTO.P］にタッチ。

AUTO.P スイッチで記憶させたチャンネルを変更するには

1 記憶したいチャンネルを選択する。（→ P.267）

- 映像が表示されている状態にしてください。

2 変更したいチャンネルが記憶されているプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶されたチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。
- 自動でチャンネルを記憶させても、［AUTO.P］にタッチする前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させたチャンネルは消去されません。
- 「AUTO.P」を解除すると、［AUTO.P］にタッチする前のチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。
- 受信感度の良いチャンネルをチャンネル番号の低い順に 8 局まで自動的に記憶します。受信チャンネルが 8 局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべてのチャンネルの受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、TUNE ツマミまたは SEEK スイッチで選択し記憶させたチャンネルと AUTO.P スイッチで記憶させたチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチによるチャンネルの記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- AUTO.P スイッチによるチャンネル記憶操作を行った場合、複数の中継局から電波を受信したときは、同一のチャンネル番号が複数登録されることがあります。
- AUTO.P スイッチでチャンネルを記憶した地域から移動して、放送局名とチャンネル番号が一致しない場合は、再度 AUTO.P スイッチで記憶し直してください。

エリアスイッチについて

あらかじめナビゲーションがエリアごとに記憶しているチャンネルを表示させることができます。
(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名とチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。)

- 旅先などで放送局のチャンネルがわからないときなどに便利です。

放送局名画面表示中（→ P.266）

［**エリア**］にタッチ。

- 画面に「エリア .P」の表示が出ます。
- 解除するとき ➡ 再度［**エリア**］にタッチ。
- プリセットスイッチにタッチし続けても、チャンネルを記憶させることはできません。

ワンセグ放送に自動で切り替える

通常の地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ放送の受信に切り替えることができます。(ワンセグ自動切替)
通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.265）

［**ワンセグ自動**］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき
  ➡ 再度［**ワンセグ自動**］にタッチ。



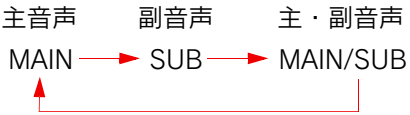
- ワンセグ放送を受信しているときは、画面左上に「ワンセグ」と表示されます。
- 放送が切り替わるとき、一時的に画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替をON（する）にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

音声多重放送の音声モードを切り替える

放送局名画面表示中（→ P.266）

［MAIN/SUB］にタッチ。

- タッチするごとに、以下の順に切り替わります。



- 副音声または主・副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声がひんぱんに切り替わることがあります。

EPG(電子番組表) を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.265）

1 ［d 操作］にタッチ。



2 ［番組表］にタッチ。

- 番組リスト画面が表示されます。
- 番組リスト画面からお好みの地上デジタルテレビ映像（番組）に切り替えることはできません。
- 番組リスト画面は現在から最大 3 日分表示することができます。

見たい番組を探す（別のサービスの番組表に切り替える）

表示しているサービスの番組表を別のサービスの番組表に切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面（→ P.265）
▼
d 操作
▼
番組表
▼
番組リスト画面

［◀］または［▶］にタッチ。

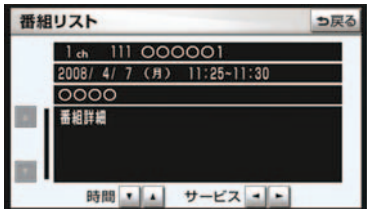
- サービスを大きい方へ選択するとき
  ➡［▶］にタッチ。
- サービスを小さい方へ選択するとき
  ➡［◀］にタッチ。

番組の情報を見る

デジタルテレビ操作画面（→ P.265）
▼
d 操作
▼
番組表
▼
番組リスト画面

情報が見たい番組にタッチ。

- 番組の情報が表示されます。



前後の時間帯の番組情報に切り替える

時間の［▲］または［▼］にタッチ。

- 前の放送時間帯の番組を表示するとき
  ➡［▲］にタッチ。
- 次の放送時間帯の番組を表示するとき
  ➡［▼］にタッチ。

サービスを切り替える

サービスの［◀］または［▶］にタッチ。

- サービスを大きい方へ選択するとき
  ➡［▶］にタッチ。
- サービスを小さい方へ選択するとき
  ➡［◀］にタッチ。

データ放送を見る

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.265）

1 ［d 操作］にタッチ。



2 ［d］にタッチ。

- データ放送画面が表示されます。
- 本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に d が表示されます。

データ放送を操作する

データ放送操作画面を表示する

データ放送を操作するときは、データ放送操作画面を表示して行います。

データ放送画面表示中（→ P.274）

1 画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す、または映像（画面）にタッチ。



2 ［d 操作］にタッチ。

- データ放送操作画面が表示されます。
- スイッチを消すとき
  ➡［ボタン消］にタッチ。
- データ放送画面を解除するとき
  ➡［d］にタッチ。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。
操作方法は受信したデータ放送により異なります。

色ボタン、カーソルの操作

データ放送を操作するときに、色ボタンとカーソルを使用します。

データ放送画面表示中（→ P.274）

1 表示 にタッチ。



2 色ボタンまたはカーソル（[△]・[▽]・[◁]・[▷]）にタッチ。

- **[<< 移動]**（または **[移動 >>]**）にタッチすると、色ボタン・カーソルの表示位置を左（または右）に移動することができます。

3 カーソル（[△]・[▽]・[◁]・[▷]）を操作して選択するときは、**[決定]** にタッチ。

10 キー（テンキー）の操作

数字を入力するときに使用します。

データ放送操作画面表示中（→ P.274）

1 **[数字]** にタッチ。



2 数字を入力する。

- **[<< 移動]**（または **[移動 >>]**）にタッチすると、10 キーの表示位置を左（または右）に移動することができます。

3 **[決定]** にタッチ。

- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。
- データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングなどに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組がありますが、本機は対応していません。

前の画面に戻る操作

データ放送画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻したいときに使用します。

データ放送操作画面表示中（→ P.274）

［戻る］にタッチ。

画面表示・音声の切り替え

ご覧になっている番組が提供している映像・音声・字幕をお好みに合わせて切り替えることができます。

映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供するマルチビュー放送をおこなっている場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.265）

1 ［d 操作］にタッチ。



2 ［映像］にタッチ。

- タッチするごとに、映像および映像表示が切り替わります。

- ご覧になっている番組が複数の映像を提供している場合、デジタルテレビ操作画面に MV が表示されます。
- 映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.265）

1 ［d 操作］にタッチ。



2 ［音声］にタッチ。

- タッチするごとに、音声および音声表示が切り替わります。

- ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、デジタルテレビ操作画面に 音多 が表示されます。

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕（日本語、英語）を提供している場合、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ P.265）

1 ［d 操作］にタッチ。



2 ［字幕］にタッチ。

- タッチするごとに、字幕および字幕言語が以下の順に切り替わります。

字幕 OFF → 日本語 → 英語

- ご覧になっている番組が字幕を提供している場合、デジタルテレビ操作画面に 字 が表示されます。

放送局からのお知らせについて

番組をご覧になっているときに放送局からお知らせを受信することがあります。

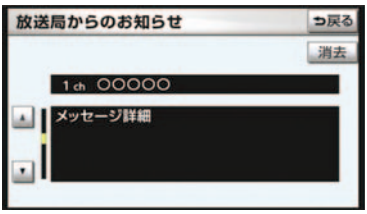
放送局からお知らせを受信すると、画面にメッセージが表示されます。



［**表示**］にタッチ。

- お知らせの内容が表示されます。

お知らせ画面



- もとの映像にもどすとき
  ➡［**消去**］にタッチ。
- 受信したお知らせによっては消去できないことがあります。

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組にもどります。

初期設定をする

各種機能設定やメールの閲覧などを行うことができます。

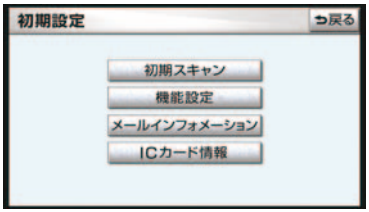
放送局名画面表示中（→ P.266）



［**初期設定**］にタッチ。

- 初期設定画面が表示されます。

初期設定画面



初期設定画面から以下の項目を設定することができます。

- チャンネルの設定（→ P.281）
- 文字スーパーの設定（→ P.281）
- 居住地域の登録（→ P.282）
- イベントリレーの設定（→ P.284）
- メールの閲覧（→ P.284）
- IC（B-CAS）カードの情報の閲覧（→ P.286）
- IC（B-CAS）カードの動作テスト（→ P.286）

チャンネルを設定する

プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていないときや、地域を移動したとき、現在地で受信可能なチャンネルを自動で設定することができます。

［初期スキャン］にタッチ。

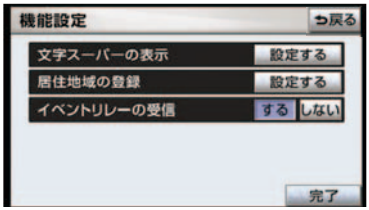
- チャンネルの設定を開始します。
- 設定が終了すると初期設定画面に戻ります。
- 初期スキャンによるチャンネル設定を行った場合、複数の中継局から電波を受信したときは、同一のチャンネルが複数登録されることがあります。

文字スーパーを設定する

地上デジタルテレビ放送では、映像や音声などとは別に、放送と独立した文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）をおこなっています。
文字スーパーは日本語または英語で表示することができます。また、表示しないように設定することもできます。

放送局名画面（→ P.266）
▼
［初期設定］
▼
初期設定画面

1 ［機能設定］にタッチ。



2 文字スーパーの表示の［設定する］にタッチ。

3 お好みの言語にタッチ。

- 表示しないとき
  ➡［表示しない］にタッチ。

4 ［完了］にタッチ。

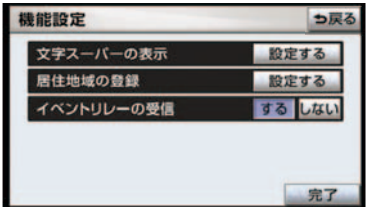
居住地域を設定する

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。
初めて起動したときや、引越したときは必ず設定してください。

県域から設定する

放送局名画面（→ P.266）
▼
初期設定
▼
初期設定画面

1 ［**機能設定**］にタッチ。



2 居住地域の登録の［**設定する**］にタッチ。

3 ［**県域設定**］にタッチ。

4 地域を選択する。

5 都道府県を選択する。

郵便番号から設定する

放送局名画面（→ P.266）

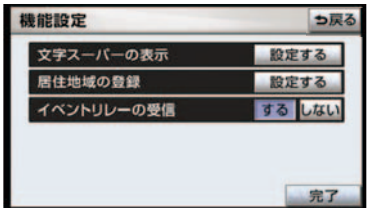
▼

初期設定

▼

初期設定画面

1 ［機能設定］にタッチ。



2 居住地域の登録の［設定する］にタッチ。

3 ［郵便番号設定］にタッチ。

4 郵便番号を入力する。

- 間違えたとき ➡ ［修正］にタッチ。

5 ［完了］にタッチ。

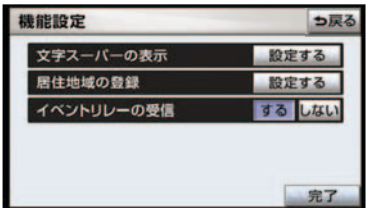
- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）または鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの場合は、［沖縄地方・その他］にタッチしてください。
- 郵便番号は 7 桁で入力してください。

イベントリレーを設定する

イベントリレーとは、視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替える機能です。
例えば、野球の延長放送を、視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動で切り替えます。

放送局名画面（→ P.266）
▼
初期設定
▼
初期設定画面

1 ［機能設定］にタッチ。



2 イベントリレーの受信の［**する**］または［**しない**］にタッチ。

3 ［完了］にタッチ。

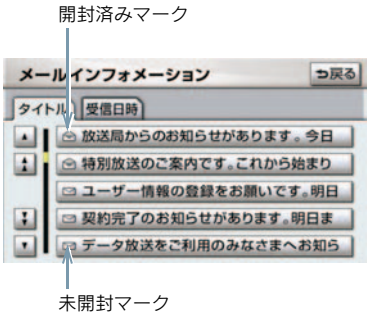
- 地域によっては、同じ番組を放送している放送局に切り替わらない場合があります。
- 受信電波の弱い地域では放送局が切り替わらない場合があります。
- 山を境に放送区域が変わる所では、トンネルを出ても放送局が切り替わらない場合があります。
- ご覧になっている放送局と移動先の放送局の受信状態が同じようなときは、頻繁に切り替わることがあります。

受信したメールを見る

放送局から受信したメールを見ることができます。

放送局名画面（→ P.266）
▼
初期設定
▼
初期設定画面

1 ［メールインフォメーション］にタッチ。



2 見たいメールにタッチ。

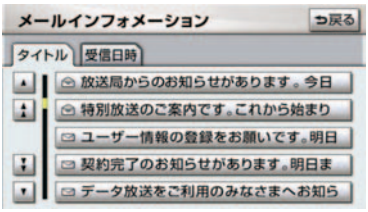
- メール詳細画面が表示されます。

メールリストの表示について

リストはタイトル名と受信日時の 2 種類の表示をさせることができます。

タイトル名でリストを表示したいときは［**タイトル**］、受信した日時で表示したいときは［**受信日時**］にタッチします。

タイトル画面



受信日時画面



- 受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角 18 文字（メール詳細画面では 14 文字）をタイトルとして表示します。
- メールの保存件数は最大 7 件です。7 件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます。（未読メール含む）
- メールを見たかどうかは、開封済みマーク、未開封マークの表示で確認することができます。

IC（B-CAS）カードの情報を見る

放送局名画面（→ P.266）
▼
初期設定
▼
初期設定画面

［IC カード情報］にタッチ。

- IC カード情報画面が表示されます。

IC（B-CAS）カードの動作確認をする

放送局名画面（→ P.266）
▼
初期設定
▼
初期設定画面

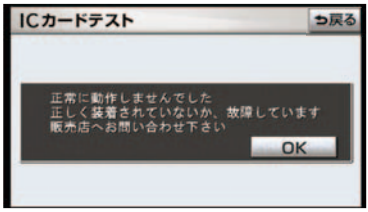
1 ［IC カード情報］にタッチ。



2 ［カードテスト］にタッチ。

3 ［OK］にタッチ。

異常時の画面



- 異常を検出したときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

2. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原　因	処　置
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、故障しています 販売店へお問い合わせ下さい	IC（B-CAS）カードの動作確認（→ P.286）で、異常を検出したため。受信機の故障が考えられます。	レクサス販売店で点検を受けてください。
IC カードが正常に動作しませんでした 販売店へお問い合わせ下さい	IC（B-CAS）カードとの通信で異常を検出したため。受信機の故障が考えられます。	レクサス販売店で点検を受けてください。
放送を受信できません	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
データを受信できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
データを表示できませんでした	本機で対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、次の表に基づき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症　状	考えられること	処　置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用していませんか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっていませんか。	音量を大きくしてください。（→ P.175）
映像が止まって、音が出ない。	地上デジタル放送の受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。（→ P.266） 受信できる場所に移動してください。
画面上部のチャンネル番号の表示が13～62のままで、プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されない。		

1. AUX の操作

AUX 端子（→ P.13）に接続したポータブルオーディオプレーヤーを再生することができます。

次の状態で、使用することができます。

- GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードのとき
- GS450h：“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

再生しているときに、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押すと、AUX 画面が表示されます。

[BT] にタッチすると Bluetooth オーディオモードに切り替ります。(Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー登録時のみスイッチを操作できます。)



再生する

1 市販のミニプラグケーブルを使用して接続する。

2 接続した機器の電源をいれる。

3 画面外の DISC・AUX を押す。

- AUX 以外のモードが再生されたとき
  ➡ AUX モードが選択されるまで DISC・AUX を押す。
- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。(→ P.176)
- AUXモード中にAUX端子側のミニプラグを抜いたり､接続する機器側のミニプラグを抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。

1. はじめに

USB 端子（→ P.13）に接続した USB メモリーや、iPod® を再生することができます。

次の状態で、使用することができます。

- GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードのとき
- GS450h：“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

再生しているときに、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押すと、USB 画面が表示されます。



- 例として、iPod® の画面を使用しています。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に USB メモリーまたは iPod® を操作しないでください。

⚠ 注意

- USB メモリーまたは iPod® を車室内放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USBメモリーまたはiPod®が接続されているときに、USBメモリーまたはiPod®の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- USBメモリーまたはiPod®端末の差込口にUSBメモリーまたはiPod®端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

2. iPod® の操作

再生する

1 iPod® を接続する。

2 画面外の DISC・AUX を押す。

- USB 以外のモードが再生されたとき
  ➡ USB モードが選択されるまで DISC・AUX を押す。
- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。(→ P.176)
  ➡ USB モード中に USB 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- 曲を一時停止することもできます。
  ➡ オーディオ操作画面の［ ⏸ ］を押す。［▶］を押すと、再度再生します。
- iPod® が接続されている状態で、他モードより iPod® モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

プレイモードを選ぶ

1 ［Menu］にタッチ。

2 リスト画面で、プレイモードを選択する。

聞きたい曲（トラック）を選ぶ

TRACK スイッチで選ぶ

画面外の TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ⏭ を押す。
- 前にあるとき ➡ ⏮ を押す。

FILE ツマミで選ぶ

FILE ツマミをまわす。

- うしろにあるとき ➡ 右側にまわす。
- 前にあるとき ➡ 左側にまわす。

リスト画面で選ぶ

iPod® 操作画面表示中（→ P.290）

1 TRACK の［選択］にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

早送り、早戻しする

画面外の TRACK スイッチを押し続ける。

- 早送りするとき ➡ を押し続ける。
- 早戻しするとき ➡ を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

iPod® 操作画面表示中（→ P.290）

［RPT］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RPT］にタッチ。

アルバムの中からランダムに聞く

選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

iPod® 操作画面表示中（→ P.290）

［RAND］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

全アルバムの中からランダムに聞く

全アルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

iPod® 操作画面表示中（→ P.290）

［RAND］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

iPod® について

- 「Made for iPod®」とは、iPod® 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPod® は、米国およびその他の国々で登録された Apple, Inc. の登録商標です。

iPod は Apple,Inc. の登録商標です。

使用できる iPod® のモデルは下記のとおりです。

- iPod® 第 5 世代 Ver. 1.2 以降
- iPod nano® 第 3 世代 Ver. 1.0 以降
- iPod nano® 第 2 世代 Ver. 1.1.2 以降
- iPod nano® Ver. 1.3 以降
- iPod touch® Ver. 1.1 以降
- iPod classic® Ver. 1.0 以降

iPhone™、iPod® mini、iPod shuffle®、iPod® photo と第 4 世代以前のモデルには互換性がありません。

3. USB メモリーの操作

再生する

1 USB 端子を接続する。

2 画面外の DISC・AUX を押す。

- USB 以外のモードが再生されたとき
  ➡ USB モードが選択されるまで DISC・AUX を押す。
- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。(→ P.176)
  ➡ USB モード中に USB 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USBメモリーが接続されている状態で、他モードよりUSBメモリーモードに切り替えたとき、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

聞きたいフォルダを選ぶ

操作画面で選ぶ

USB メモリー操作画面表示中

- うしろにあるとき ➡ FOLDER の［▲］にタッチ。
- 前にあるとき ➡ FOLDER の［▼］にタッチ。

リスト画面で選ぶ

USB メモリー操作画面表示中

1 FOLDER の［**選択**］にタッチ。

2 聞きたいフォルダにタッチ。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

聞きたい曲 (ファイル) を選ぶ

TRACK スイッチで選ぶ

画面外の TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ を押す。
- 前にあるとき ➡ を押す。

FILE ツマミで選ぶ

FILE ツマミをまわす。

- うしろにあるとき ➡ 右側にまわす。
- 前にあるとき ➡ 左側にまわす。

リスト画面で選ぶ

USB メモリー操作画面表示中

1 TRACK の［選択］にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

早送り、早戻しする

画面外の TRACK スイッチを押し続ける。

- 早送りするとき ➡ を押し続ける。
- 早戻しするとき ➡ を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

USB メモリー操作画面表示中

［RPT］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。

● 解除するとき ➡ 再度［RPT］にタッチ。

同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

USB メモリー操作画面表示中

［RPT］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

● スイッチの作動表示灯が点灯します。
● 解除するとき ➡ 再度［RPT］にタッチ。

フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

USB メモリー操作画面表示中

［RAND］にタッチ。

● スイッチの作動表示灯が点灯します。
● 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

全フォルダの中からランダムに聞く

全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

USB メモリー操作画面表示中

［RAND］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

● スイッチの作動表示灯が点灯します。
● 解除するとき ➡ 再度［RAND］にタッチ。

フォルダの中から曲（ファイル）を探す

選択しているフォルダの全曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生することができます。

USB メモリー操作画面表示中

［SCAN］にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望の曲になったら、再度［SCAN］にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダを探す

全フォルダの先頭の曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生することができます。

USB メモリー操作画面表示中

［SCAN］に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望の曲になったら、再度［SCAN］にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

USB メモリーについて

使用できる USB メモリーのフォーマットについて

使用できる USB メモリーのフォーマットは下記のとおりです。

- USB コミュニケーションフォーマット：USB 2.0FS (12 MBPS)
- ファイルフォーマット：FAT 16/32 (Windows®)
- 通信クラス：Mass storage class

上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ数：999（ルート含む）
- 最大ファイル数：65,025（1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）

MP3/WMA について

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media™ Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

MP3 ファイルの規格について

■ 対応規格

MP3（MPEG1 AUDIO LAYER2、MPEG1 AUDIO LAYER 3、MPEG2 AUDIO LAYER2、MPEG2 AUDIO LAYER3、MPEG 2.5）

■ 対応サンプリング周波数

MPEG1 AUDIO LAYER2、3 ：32、44.1、48（kHz）

MPEG2 AUDIO LAYER2、3 ：16、22.05、24（kHz）

MPEG 2.5 ：8、11.025、12（kHz）

■ 対応ビットレート

MPEG1 AUDIO LAYER2、3 ：32、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320（kbps）

MPEG2 AUDIO LAYER2、3 ：32、64、80、96、112、128、144、160（kbps）

MPEG 2.5 ：32、64、80、96、112、128、144、160（kbps）

WMA ファイルの規格について

■ 対応規格

WMA Ver. 9

■ 対応サンプリング周波数

HIGH PROFILE 32、44.1、48（kHz）

■ 対応ビットレート

HIGH PROFILE 32、48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）、VBR（Variable Bit Rate）

ID3 タグ /WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3、2.4 の ID3 タグに対応しています。（文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します。）

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

ファイル名について

- MP3/WMA と認識し再生するファイルは MP3/WMA の拡張子 “.mp3” / “.wma” がついたものだけです。
- MP3/WMA ファイルには、“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけて保存してください。

MP3/WMA の再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA ファイルを再生します。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データと MP3 または WMA 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

⚠ 注意

MP3/WMA 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” の拡張子をつけないでください。

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、CD-RW はディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

1. はじめに

Bluetooth オーディオとは

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を車載機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。
Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp でご確認ください。

本システムに接続するポータブル機は、次の仕様に対応している必要があります。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

対応 Bluetooth 仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.1.2 以上を推奨）

対応 Profile

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
  Ver.1.0 以上（Ver.1.2 準拠）
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）
  Ver.1.0 以上（Ver.1.3 準拠）

※ Bluetooth は Bluetooth SIG,Inc. の登録商標です。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

⚠ 注意

- ポータブル機は車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ポータブル機を車載機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。

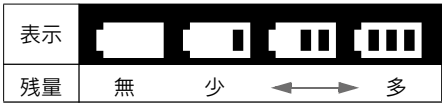
各種表示について

電池残量表示

ポータブル機の電池残量の目安を表示します。

- 接続した機器によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 電池残量表示はポータブル機の表示と一致しないことがあります。





- 外部電源が接続されているときは残量表示は  で表示されます。

Bluetooth 接続状態表示

ポータブル機の Bluetooth 接続状態を表示します。



表示	接続状態
	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態でご使用ください。
	この状態では再生時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、ポータブル機を移動してご使用ください。

表示	接続状態
	Bluetooth 接続されていない状態を示しています。 この状態では使用できませんので、再度、ポータブル機の選択をご確認ください。(→ P.315) ポータブル機の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.309)

- Bluetooth　通信用の車両側アンテナがインストルメントパネル内に内蔵されています。
  次のような場所や状態でポータブル機を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  ・インストルメントパネルから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
  ・金属製のものに接したり、覆われているとき
- ポータブル機を使用するときは、青色の表示が出るように、ポータブル機の場所を移動させてください。

Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。
  シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ハンズフリーと同時に使用するとき

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を使用するときは、次のようになります。
  ・ポータブル機の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  ・ポータブル機の再生音声にノイズが発生することがあります。
  ・ポータブル機の動作が遅くなることがあります。
- 再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- ハンズフリーの電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されます。
  この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。

2. Bluetooth オーディオの操作

ポータブル機を接続したときに、接続した機器を再生することができます。

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず車載機にポータブル機を登録することが必要です。(→ P.309)

Bluetooth オーディオモードを選択しているときに、画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押すと、Bluetooth オーディオ操作画面が表示されます。

- 本体(画面外)のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

[AUX] にタッチすると AUX モードに切り替わります。(AUX 端子に機器が接続されているときのみスイッチが表示されます。)



■ 操作画面について

接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名、電池残量などの表示や ALBUM の［▲］・［▼］などのスイッチが表示されない画面が表示されることがあります。



Bluetooth オーディオを聞く

1 車載機にポータブル機を登録する。（→ P.309）

2 画面外の DISC・AUX を押す。

- Bluetooth オーディオ以外のモードが再生されたとき
  ➡ Bluetooth オーディオモードが選択されるまで DISC・AUX を押す。
- オーディオ操作画面からモードを選択することもできます。（→ P.176）
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
  ・車載機で操作できない。
  ・動作や音量が異なる。
  ・車載機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
  ・再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。（→ P.313）
- 車載機との接続状態によっては、車載機で操作できない場合があります。そのときは、接続状態表示が良好であることを確認してから再度操作してください。（→ P.302）

一時停止する

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.305）

［❚❚］にタッチ。

- 通常再生するとき ➡ ［▶］にタッチ。
- 接続した機器によっては、一時停止時に［❚❚］にタッチすることで、再生する場合があります。また、再生中に［▶］にタッチすることで、一時停止する場合があります。

聞きたいアルバムを選ぶ

操作画面で選ぶ

〈対応ポータブル機接続時〉

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.305）

- うしろにあるとき
  ➡ ALBUM の［▲］にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ ALBUM の［▲］にタッチ。
- 接続した機器によっては機能に対応していないため、スイッチが表示されない場合があります。

聞きたい曲を選ぶ

〈対応ポータブル機接続時〉

画面外の TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ を押す。
- 前にあるとき ➡ を押す。

早送り、早戻しする

〈対応ポータブル機接続時〉

画面外の TRACK スイッチを押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。
- 接続した機器によっては、手を離したあとも早送り、早戻しが継続される場合があります。
  この場合、再度画面外の TRACK スイッチを押すことで、再生が再開されます。

同じ曲を繰り返し聞く

〈対応ポータブル機接続時〉

選択している曲を繰り返し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.305）

［RPT］にタッチ。

- 画面上部に「RPT」と表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度**［RPT］**にタッチ。

曲の順番をランダムに聞く

〈対応ポータブル機接続時〉

ランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.305）

［RAND］にタッチ。

- 画面上部に「RAND」と表示されます。
- 解除するとき ➡ 再度**［RAND］**にタッチ。

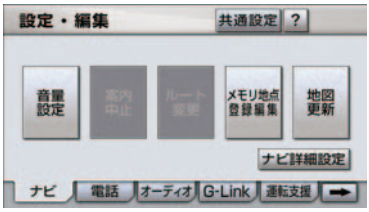
3. Bluetooth オーディオの設定

ポータブル機を登録する

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず次の手順で車載機にポータブル機を登録することが必要です。

- ポータブル機は、車載機に最大 2 台まで登録することができます。
- ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。



2 **オーディオ** にタッチ。

3 **［Bluetooth オーディオ設定］**にタッチ。

4 Bluetooth オーディオ設定の**［登録］**にタッチ。

- 他のポータブル機が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**［はい］**にタッチします。
- すでに 2 台登録されているときは、いずれかの登録を削除してから登録してください。



5 ポータブル機を登録する。

- ポータブル機本体で車載機に表示されている機器名称を選択し、パスキーを入力する。

- ポータブル機側の登録操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき ➡ **［中止］**にタッチ。

ポータブル機でパスキー入力できないとき

操作スイッチがないなど、パスキーを入力することのできないポータブル機の場合は、あらかじめ車載機のパスキーをポータブル機のパスキーに変更し **1** ～ **4** の操作を行ってください。

- パスキーの変更について
  ➡「車載機の Bluetooth 設定を変更する」（→ P.319）
- ポータブル機のパスキーについては、ポータブル機に添付の取扱説明書をご確認ください。

6 登録が完了したとき

➡ メッセージが表示され、ポータブル機の登録が完了する。

- 使用するポータブル機を追加する場合は、同様に登録します。
- 一番新しく登録したポータブル機が車載機で使用するポータブル機として選択されます。
- パスキーとは、ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→ P.319）
- 登録操作と接続操作が分かれているポータブル機の場合、パスキー入力後にポータブル機からの接続操作が必要になる場合があります。

登録失敗画面が表示されたとき

「登録が出来ませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



ポータブル機を接続する

ポータブル機の車載機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

- ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

自動で接続する

次の操作をするたびに、車載機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

- GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする
- GS450h：“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにする

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
Bluetooth オーディオ設定
▼
Bluetooth オーディオ設定画面



1 自動 Bluetooth 接続の **[する]** にタッチ。

- 解除するとき ➡ **[しない]** にタッチ。

2 **[完了]** にタッチ。

- 通常は自動接続「する」の状態で使用してください。
- ポータブル機は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

Bluetooth 接続確認表示

Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。
使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認表示



- Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。(→ P.302)
- 「接続方法を変更する」(→ P.318) で「ポータブル機から接続」に設定している場合は、自動 Bluetooth 接続の設定はできません。
- 接続完了の表示は、次の操作をしたあと、初めて Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
  - ・GS460/GS350 :“ エンジン スタート ストップ ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする
  - ・GS450h :“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにする
- ポータブル機の機種によっては、次のような場合があります。
  - ・自動接続しない。
    この場合、手動で接続してください。(→ P.313)
  - ・次のときに表示部の照明がついたままになる。
    GS460/GS350 :“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードのとき
    GS450h :“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき
    この場合、ポータブル機本体で照明を OFF に設定してください。
    (設定については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。)
  - ・「外部からの接続」、「ポータブル機からの接続」などの切り替え設定がある場合があります。ポータブル機の設定をご確認ください。

自動接続できなかった場合

自動接続動作は約 60 秒行います。
その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.313)

手動で接続する

自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.305）

1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。



2 ［接続］にタッチ。

- Bluetooth 接続状態表示を確認します。良好な状態であれば使用できます。

- ポータブル機の状態によっては、一度で接続できないことがあります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき（→ P.318）は、ポータブル機を操作して接続します。



- ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき ➡ ［中止］にタッチ。

Bluetooth 接続の再接続について

次のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードのとき
・GS450h：“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

- 再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ P.313）ポータブル機の機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

ポータブル機側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。
この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

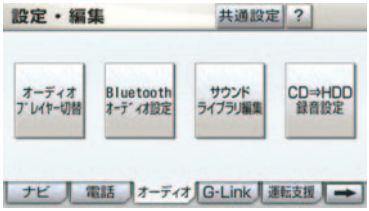
- 手動で接続する（→ P.313）
- 改めてポータブル機を選択する（→ P.315）

使用するポータブル機を選択する

一番新しく登録したポータブル機が車載機で使用する機器として選択されます。
複数のポータブル機を使用するときは、必要に応じて機器を選択します。

- ポータブル機の登録について
  ➡「ポータブル機を登録する」(→ P.309)
- ポータブル機は車載機に最大 2 台まで登録することができますが、本機で使用できるのはオーディオプレイヤー切替で選択された機器のみです。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
設定・編集画面



1 **［オーディオプレイヤー切替］**にタッチ。

2 ポータブル機を Bluetooth 接続可能状態にする。



3 使用するポータブル機を選択しタッチ。

- Bluetooth 接続中のポータブル機には、Bluetooth マークが表示されます。

4 **［完了］**にタッチ。

- Bluetooth 接続中のポータブル機がある場合は、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**［はい］**にタッチします。

ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき（→P.318）は、ポータブル機を操作して接続します。



- ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき ➡ ［中止］にタッチ。

ポータブル機の詳細情報を表示する

車載機に登録されているポータブル機に関する情報の表示と機器名称や、車載機との接続方法を変更することができます。

情報は、次の項目が表示されます。

機器名称

車載機に表示されるポータブル機の名称です。任意の名称に変更することができます。

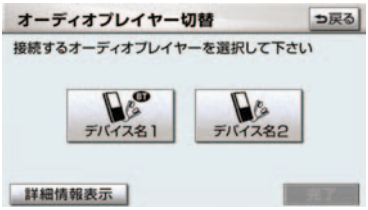
機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。

接続方法

ポータブル機と車載機との接続方法で、「車載機から接続」と「ポータブル機から接続」を切り替えることができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
オーディオ
▼
オーディオプレイヤー切替
▼
オーディオプレイヤー切替画面



1 詳細情報を表示したいポータブル機を選択し、［**詳細情報表示**］にタッチ。



2 各項目を確認する。

- この画面で、以下の変更を行うことができます。
  - ・機器名称の変更（→ P.317）
  - ・接続方法の変更（→ P.318）

3 確認および変更が終わったら、［**完了**］にタッチ。

ポータブル機の名称を変更する

車載機に表示されるポータブル機の名称を、任意の名称に変更することができます。

- 車載機で機器名称を変更しても、ポータブル機に登録されている機器名称は変更されません。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
オーディオ
↓
オーディオプレイヤー切替
↓
名称を変更したいポータブル機器名称
↓
詳細情報表示
↓
Bluetooth オーディオ設定画面



1 ［変更］にタッチ。

2 名称を入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。

接続方法を変更する

車載機にポータブル機を接続するときの方法を選択することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
オーディオ
↓
オーディオプレイヤー切替
↓
接続方法を変更したいポータブル機器名称
↓
詳細情報表示
↓
Bluetooth オーディオ設定画面



1 ［車載機から接続］または
［ポータブル機から接続］にタッチ。

2 ［完了］にタッチ。

- 「車載機から接続」か「ポータブル機から接続」のどちらで接続すればいいかは、接続するポータブル機により異なります。
接続方向についてはポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

● 接続方法を「ポータブル機から接続」に設定した場合、「自動で接続する」(→ P.311) で「する」にしていても自動接続は行いません。

車載機の Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、車載機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

情報は、次の項目が表示されます。

機器名称

Bluetooth ネットワーク内での車載機の名称です。任意の名称に変更することができます。

パスキー

ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

機器アドレス

車載機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。
機器名称やパスキーを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での車載機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

機器名称またはパスキーを変更したいときは、次の手順で行ってください。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
オーディオ
↓
Bluetooth オーディオ設定
↓
Bluetooth オーディオ設定画面



1 機器名称またはパスキーの［**変更**］にタッチ。

● この画面で Bluetooth 設定情報が確認できます。

2 各項目を変更する。

■機器名称

ソフトウェアキーボードで入力する。

■パスキー

4 ～ 8 桁の範囲で任意の数字を入力し、［完了］にタッチ。

- 修正するとき ➡ ［修正］にタッチ。

3 設定が終わったら、［完了］にタッチ。

- 機器名称を変更した場合、ハンズフリーの Bluetooth 設定の機器名称も同時に変更されます。
  パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

Bluetooth 設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
オーディオ
↓
Bluetooth オーディオ設定
↓
Bluetooth オーディオ設定画面



1 ［初期状態］にタッチ。

2 ［はい］にタッチ。

ポータブル機の登録を削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**

↓

オーディオ

↓

Bluetooth オーディオ設定

↓

Bluetooth オーディオ設定画面



1 Bluetooth オーディオ設定の［**削除**］にタッチ。

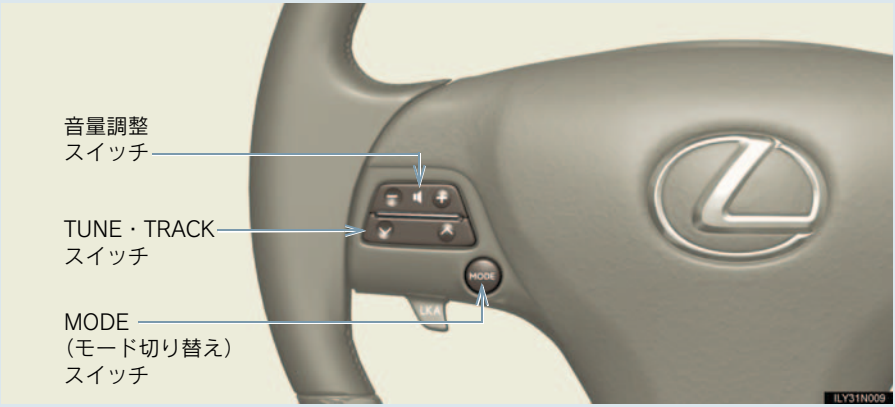
2 削除するポータブル機を選択し、［**完了**］にタッチ。

3 ［**はい**］にタッチ。

- 削除するポータブル機が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、［**はい**］にタッチします。

1. ステアリングスイッチでの操作

ステアリングオーディオスイッチ



電源を入れる

MODE（モード切り替え）スイッチを押す。

- 電源が ON のときは、スイッチを “ピッ” と音がするまで押し続けると電源が OFF になります。

音量を調整する

音量調整スイッチを押す。

- 大きくするとき ➡ ＋側を押す。
- 小さくするとき ➡ －側を押す。

- スイッチを 1 秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。

⚠ 注意

安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

モードを切り替える

MODE（モード切り替え）スイッチを押す。

- スイッチを押すごとに、「FM → （DVD チェンジャー）→（サウンドライブラリ）→（USB）→（Bluetooth オーディオ）→（AUX）→ デジタル TV → AM → FM」の順にモードが切り替わります。

- （ ）内のモードは、次のようなときは選択できません。
  - ・ディスクが挿入されていないとき（DVD チェンジャーモード）
  - ・再生するデータがない（録音されていない）とき（サウンドライブラリモード）
  - ・Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤーが登録されていないとき（Bluetooth オーディオモード）
  - ・AUX 端子、USB 端子に機器が接続されていないとき（AUX・USB モード）

ラジオ・デジタルテレビ受信時に放送局を選ぶ

放送局の周波数（チャンネル）にタッチすることができます。

プリセットスイッチに登録されている放送局から選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを押す。

- 高い（大きい）方へ選択するとき
  ➡ ∧側を押す。
- 低い（小さい）方へ選択するとき
  ➡ ∨側を押す。

自動で選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続ける。

- ∧側または∨側を押し続け選びます。
- 受信感度が良く、現在受信している周波数（チャンネル）に一番近い周波数（チャンネル）を自動で選択します。
- 途中で止めるとき ➡ 再度スイッチを押す。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数（チャンネル）の受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

DVD チェンジャーを操作するには

曲／ファイル、チャプター／トラックを選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ∧側を押す。
- 前にあるとき ➡ ∨側を押す。

ディスクを選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続ける。

- うしろにあるとき
  ➡ ∧側を押し続ける。
- 前にあるとき
  ➡ ∨側を押し続ける。

サウンドライブラリ再生時に選曲する

聞きたい曲を選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ∧側を押す。
- 前にあるとき ➡ ∨側を押す。

聞きたいアルバムを選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続ける。

- うしろにあるとき
  ➡ ∧側を押し続ける。
- 前にあるとき
  ➡ ∨側を押し続ける。

iPod® 再生時に選曲する

聞きたい曲 (トラック) を選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ∧側を押す。
- 前にあるとき ➡ ∨側を押す。

USB メモリー再生時に選曲する

聞きたい曲 (ファイル) を選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ∧側を押す。
- 前にあるとき ➡ ∨側を押す。

聞きたいフォルダを選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続ける。

- うしろにあるとき ➡ ∧側を押す。
- 前にあるとき ➡ ∨側を押す。

Bluetooth オーディオ再生時に選曲する

聞きたい曲を選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを押す。

- うしろにあるとき ➡ ∧側を押す。
- 前にあるとき ➡ ∨側を押す。

聞きたいアルバムを選ぶ

TUNE・TRACK スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続ける。

- うしろにあるとき
  ➡ ∧側を押し続ける。
- 前にあるとき
  ➡ ∨側を押し続ける。
- 接続した機器により、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

4

エアコン・デフォッガー

1 エアコン・デフォッガー

1. オートエアコン 328

操作スイッチ..... 328
オート設定を使うとき 328
お好みの設定で使うとき 329
風向きの調整・吹き出し口の開閉 ... 331
エアコンの作動について 332
エアフィルターについて 334

2. プラズマクラスター ® 336

プラズマクラスター ® の使い方 336

3. リヤウィンドウデフォッガー＆ミラーヒーター 337

リヤウィンドウデフォッガー＆ミラーヒーターの使い方 337

4. 熱線入りフロントウィンドウガラス 338

熱線入りフロントウィンドウガラスの使い方 338

1. オートエアコン

操作スイッチ

画面外の **エアコン** または **CLIMATE** を押すと、エアコン操作画面が表示されます。



オート設定を使うとき

1 画面外の **AUTO** を押す。

- エアコンが作動し、吹き出し口と風量を自動で調整します。

2 AUTO モードになるまで  を押す。

- 外気導入と内気循環を自動で切り替えます。

3 TEMP スイッチの（温度を上げる）または（温度を下げる）を押して温度を調整する。

- 運転席と助手席の温度を別々に調整できます。

お好みの設定で使うとき

設定温度をかえるには

TEMP スイッチのまたはを押す。

- PASSENGER TEMP スイッチのまたはを押すと、運転席と助手席の温度を別々に設定できます（独立モード）。
- 再び運転席と助手席の温度を同じにするには
  ➡ 操作画面で［DUAL］にタッチ（連動モード）
- ［DUAL］にタッチするごとに、独立モードと連動モードが切り替わります。

風量をかえるには

操作画面で［LO］［・］［・］［M］［・］［・］［HI］（風量弱⇔風量強）のいずれかにタッチする。

- 送風を止めるには、OFF を押します。

フロントガラスの曇りを取るには

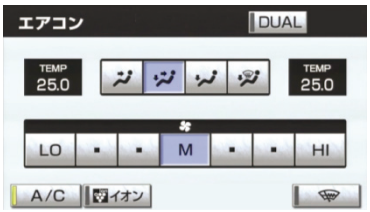
1 画面外の FRONT を押す。

- ファンとエアコンが作動します。

2 （外気導入）になるまで を押す。

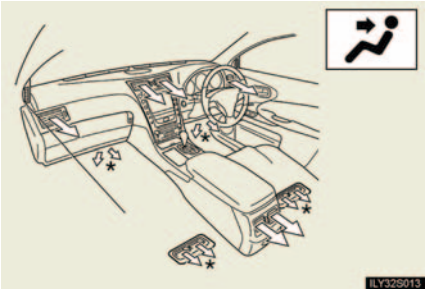
- 外気温が低いときは、自動的に （外気導入）に切り替わります。

吹き出し口を切り替えるには

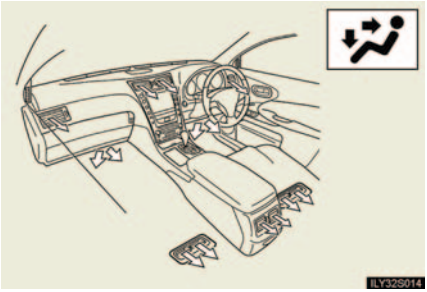


エアコン操作画面でいずれかのモードにタッチする。

■ 上半身に送風

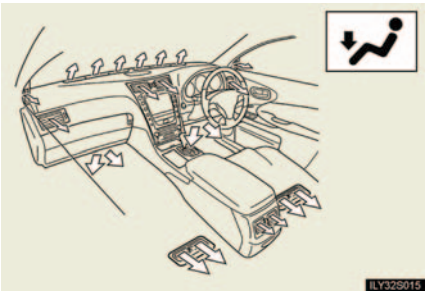


■ 上半身と足元に送風

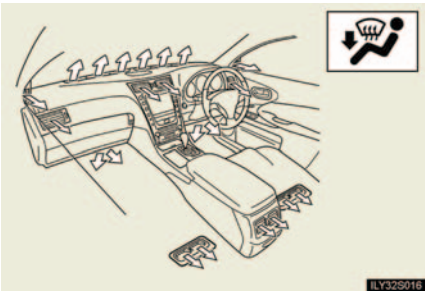


*:AUTO 設定のとき

■ 足元に送風



■ 足元に送風・ガラスの曇りを取る



- オート設定が ON のときは、吹き出し口が自動的に切り替わります。
- [ ] にタッチしたとき、次のような機能があります。
  - ・オート設定が ON で、吹き出し口が [ ] のときに [ ] にタッチすると窓ガラスへの送風が止まります。
  - ・オート設定が ON で、吹き出し口が [ ] 以外のときに [ ] にタッチすると足元へ送風しながら窓ガラスへも送風し、ガラスを曇りにくくします。窓ガラスへの送風をとめたいときはもう一度に [ ] タッチします。

外気導入／内気循環を切り替えるには

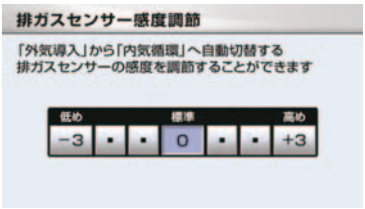


を押すごとに（内気循環）→ AUTO →（外気導入）に切り替わる。

センサーの感度調整

内外気切り替えの AUTO は、センサーにより外気導入と内気循環の切り替えを自動で行います。センサーの感度は調整できます。

1 停車時に、排ガスセンサー感度調節画面が表示されるまで  を押し続ける。



2 [−3] [・] [・] [0] [・] [・] [+3] のいずれかを選ぶ。

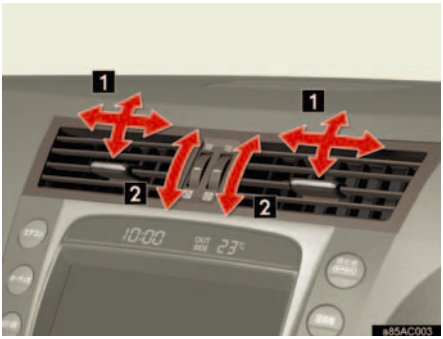
花粉除去モード



 を押す。

-  （内気循環）に切り替わり、上半身付近に送風して花粉を除去します。
- 通常約 3 分後に、外気温が低いときは約 1 分後に自動的に元の状態に戻ります。
- 途中で作動を解除するときは ➡ もう一度  を押す。

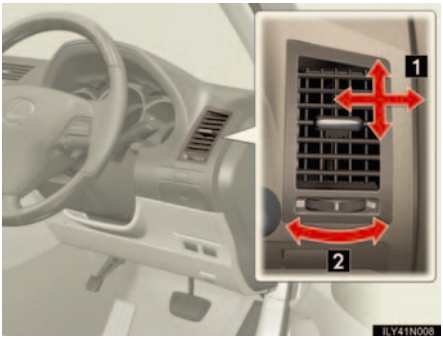
風向きの調整・吹き出し口の開閉



中央吹き出し口

1 風向きの調整

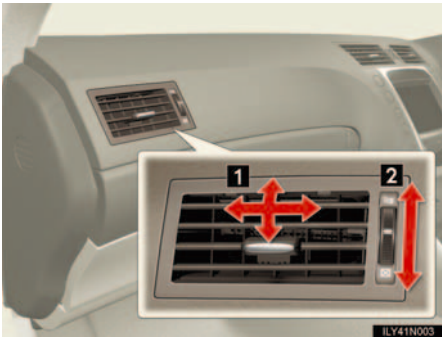
2 吹き出し口の開閉



■ 右吹き出し口

1 風向きの調整

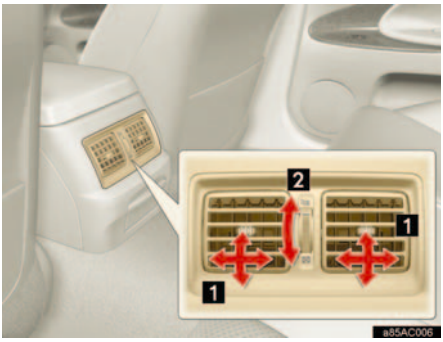
2 吹き出し口の開閉



■ 左吹き出し口

1 風向きの調整

2 吹き出し口の開閉



■ 後席吹き出し口

1 風向きの調整

2 吹き出し口の開閉

エアコンの作動について

■ オート設定の作動について

設定温度や周囲の状況に合わせて風量などが調整されるため、以下のようなことがあります。

- 作動直後、温風または冷風が準備できるまでしばらくの間ファンが停止する
- 暖房時、冷風を上半身付近に送風する

■ 長時間、（内気循環）にするとガラスが曇りやすくなります。

■ 内外気切り替えの AUTO モードについて

AUTO モードでは排気ガスなどの有害成分を検知し、自動で外気導入と内気循環を切り替えます。

- エアコンが OFF でファンが作動中に AUTO モードにすると、エアコンが ON になります。

■ ガラス曇り防止機能

ガラス曇り防止が必要な状態になると、自動的に（外気導入）に切り替わることがあります。

■ 外気温が 0 ℃近くまで下がったとき

[A/C] にタッチしてもエアコンが作動しないことがあります。

■ [A/C] の表示灯が点滅したとき（GS350）

[A/C] にタッチしてエアコンの作動をいったん停止し、もう一度 [A/C] にタッチしてください。点滅が続くときは、システムの異常が考えられます。エアコンの作動を停止し、レクサス販売店で点検を受けてください。

■ 花粉除去モードについて

- 外気温が低いときは、以下のようなことがあります。
  - ・（内気循環）に切り替わらない。
  - ・エアコンが自動で作動する。
- 雨天に使ったとき、ウィンドウが曇ることがあります。画面外の を押してください。

⚠ 警告

■ フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

- 湿度が非常に高いときにエアコンを作動させているときは、画面外の を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界を妨げることがあります。

⚠ 注意

■ 12V バッテリーあがりを防止するために

- エンジン／ハイブリッドシステムが停止中は必要以上にエアコンを作動させないでください。

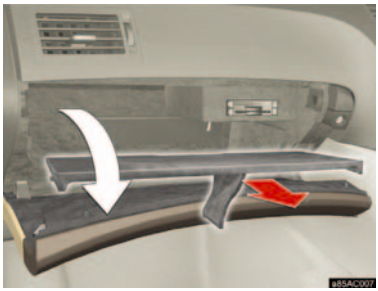
エアフィルターについて

快適にお使いいただくためエアフィルターの定期的な清掃・交換を行ってください。
清掃の目安 ・・・・・15,000 km（多じん地区のとき 7,500 km）ごと
交換の目安 ・・・・・30,000 km（多じん地区のとき 15,000 km）ごと

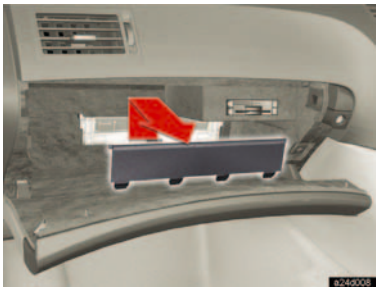
エアフィルターの脱着

1 

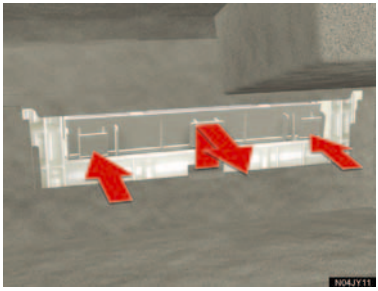
を押して、  （内気循環）にし、“ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／ “ パワー ” スイッチを OFF にする。



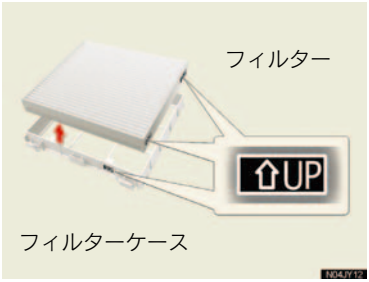
2 グローブボックスを開き、仕切り板をはずす。



3 フィルターカバーを取りはずす。



4 ツメ（2ヶ所）を押してロックをはずし、フィルターケースを取りはずす。



5 〈フィルター交換するとき〉
フィルターケースからフィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する。

- フィルターは、「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。

⚠ 注意

■ エアコンを使用するとき

- 必ずエアフィルターを取り付けてください。フィルターをはずしてエアコンを使用すると、故障の原因になります。
- エアコンの風量が著しく減少したときは、エアフィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを清掃、または交換してください。

■ フィルターを清掃・交換するとき

- エアフィルターについてはレクサス販売店にご相談ください。
- エアフィルターはお客さまご自身で清掃・交換できますが、脱着の際に破損のおそれがあるため、レクサス販売店での実施をおすすめします。
- エアフィルターの脱着は、“ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／“ パワー ” スイッチを OFF にしてからおこなってください。
- エアフィルターの清掃は必ず下面側から、エアを吹き付けておこなってください。水洗いやブラシでこすっての清掃はしないでください。
- エアフィルターの上と下を間違えないように、フィルターケースに確実に取り付けてください。

2. プラズマクラスター®

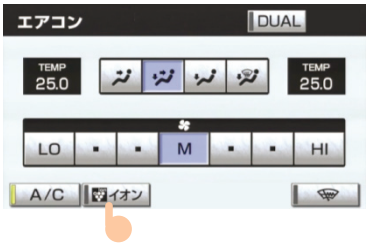
プラズマクラスター® の使い方

プラズマクラスター® イオンとマイナスイオンを自動的に切り替えて発生させることにより、車室内を清潔に保ちつつ、自然に近いイオンバランスに整えます。

1 画面外の エアコン または CLIMATE を押し、エアコン操作画面を表示する。

2 エアコン操作画面の［ **イオン**］にタッチする。

■ **エアコン操作画面**



■ **表示灯**



プラズマクラスター® について

モードの切り替えは自動で行われます。 マークがプラズマクラスター® イオンモードのときは青（表示灯は CLEAN）、マイナスイオンモードのときは緑（表示灯は ION）で表示されます。

- 中央吹き出し口付近で静電気を感じたり、小さな作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- プラズマクラスター、プラズマクラスターイオンおよび Plasmacluster はシャープ株式会社の商標です。

⚠ 警告

- プラズマクラスター® は、高電圧を利用しています。感電の危険がありますので、修理などは必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 中央吹き出し口付近にスプレーを噴霧したり、棒などの異物を挿入したりしないでください。故障や感電の原因となります。

3. リヤウィンドウデフォッガー＆ミラーヒーター

リヤウィンドウデフォッガー＆ミラーヒーターの使い方

リヤウィンドウの曇りや、ドアミラーの霜、露、雨滴などを取り除きます。



画面外の  を押す。

- 押すごとに ON・OFF する。
- 約 15 分後、自動的に OFF になります。

⚠ 警告

■ 作動中の警告

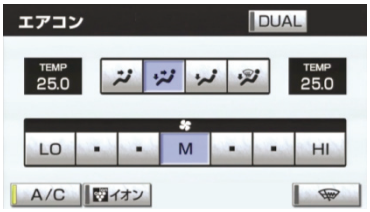
- ドアミラーの鏡面が熱くなっています。やけどをするおそれがあるため触れないでください。

4. 熱線入りフロントウィンドウガラス*

熱線入りフロントウィンドウガラスの使い方

フロントウィンドウガラスの下部を暖め、ワイパーとの凍結を防ぎます。

1 画面外の エアコン または CLIMATE を押し、エアコン操作画面を表示する。



2 エアコン操作画面の にタッチする。

- 以下の状態のときに使用できます。
  - ・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがイグニッション ON モードのとき
  - ・GS460h：“ パワー ” スイッチが ON モードのとき
- 約 15 分後、自動的に OFF になります。

⚠ 警告

■ 作動中の警告

- フロントウィンドウガラスの下部、およびフロントピラー横の表面が熱くなっています。やけどをするおそれがあるため触れないでください。

*：車両型式などで異なる装備やオプション装備

5

音声操作システム

1 音声操作システムについて

1. はじめに 340
   音声操作システムについて 340
2. 各部の名称 341
   各部の名称 341
   音声操作画面 341

2 基本操作

1. 基本操作を覚える 342
   音声認識モードを開始する 342
   音声認識モードを中止する 343

3 代表的な音声操作

1. 音声操作の使用例 344
   使用例の見方 344
   自宅を目的地に設定する 344
   色々な方法で目的地を設定する 344
   最寄の施設を目的地に設定する 348
   My リクエストを使う 348
   サウンドライブラリの楽曲を検索する 349
   電話をかける 350
   その他のコマンドリストのコマンドを実行する 352

4 音声認識コマンド一覧

1. 音声認識コマンド一覧 353
   音声認識コマンド一覧について 353
   音声認識コマンド一覧 353

1. はじめに

音声操作システムについて

音声操作システム（音声認識用マイク＆トークスイッチ）を使用することにより、音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやオーディオなどの操作を行うことができます。

音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。

- 音声操作を開始するときは、必ずトークスイッチを短く押してください。
- “ピッ”という音の後にお話しください。“ピッ”という音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。
- ハッキリと発声してください。
- 声色によっては、認識されづらいこともあります。
- 騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓やルーフを閉めておいてください。また、エアコンのファンの音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
- 方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
- 地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。

2. 各部の名称

各部の名称

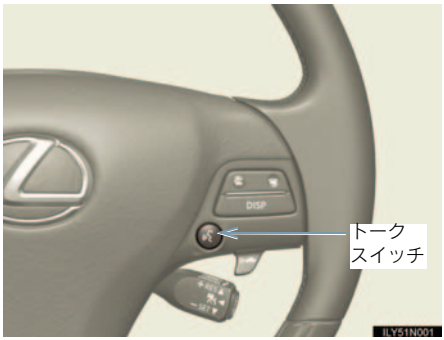
■ 音声認識用マイク

音声認識コマンドを発声するときに使用します。

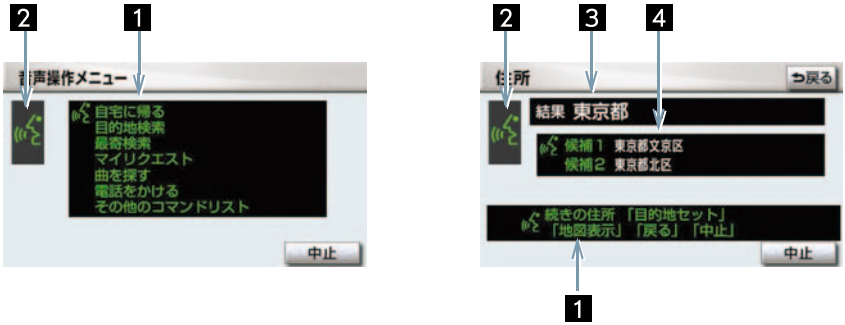


■ トークスイッチ

スイッチを操作することにより、音声認識モードの開始／中止ができます。



音声操作画面



1 コマンドリスト	発声可能なコマンドが、認識中アイコンと同じ緑色で表示される。 •「その他のコマンドリスト」では、「音声認識コマンド一覧」（→ P.353）のコマンドが使用できます。
2 認識中アイコン	音声認識中に表示される。
3 認識結果	認識結果が表示される。
4 候補	認識結果に他の候補がある場合に表示される。

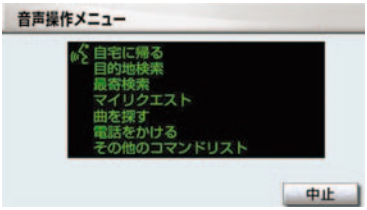
1. 基本操作を覚える

音声認識モードを開始する

基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

1 トークスイッチを押し、すぐにスイッチから指を離す。

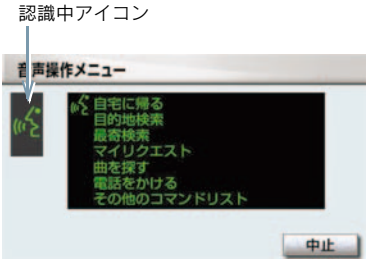
▶音声操作画面に切り替わり、「ピッと鳴ったら、お話しください」という音声ガイドのあと、<ピッ>と音がします。



● トークスイッチを押した後の音声ガイドは、上記と異なる音声ガイドが出力されることがあります。

2 認識中アイコンが表示されたら、希望のコマンドを発声する。

▶<ピッ>と音がしてから約 10 秒以内に発声してください。



▶コマンドが認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

認識結果が違うとき

表示された画面により、次の操作をします。

▶候補に希望の結果が表示されているとき
➡「候補 1」または「候補 2」と発声する。

▶候補に希望の結果が表示されていないとき、候補が表示されないとき
➡「戻る」と発声する、または［戻る］にタッチ。

連続して音声操作をする

目的地検索など、連続して音声操作をする場合があります。(→ P.344)

音声操作を再開する

次のような場合は、音声認識モードを中断します。

▶コマンドを認識できなかったとき。

▶［▲］または［▼］にタッチしたとき。
この場合、トークスイッチを押すと再開できます。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時にトークスイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をする。

▶トークスイッチを押し続ける。

▶コマンドリストに「中止」が表示されているとき
➡「中止」と発声する、または［中止］にタッチ。

1. 音声操作の使用例

使用例の見方

ここでは、音声操作の具体的な使い方を説明します。
例にしたがって、同じように操作してみてください。
文中の表記は次のようになっています。

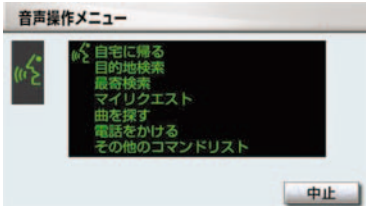
- (○○○) ……スイッチの操作
- 「○○○」 ……車載機から出力される音声ガイド
- ＜○○○＞ …車載機から出力される操作音
- 「○○○」 ……発声するコマンド

▶ここで紹介するのは、主に連続して音声操作をする場合の例です。
説明にないコマンドの使い方は、「音声認識コマンド一覧」（→ P.353）をご覧ください。

自宅を目的地に設定する

自宅を目的地に設定して、ルートを探索してみましょう。

お客様 ：（トークスイッチを押す）
車載機 ：「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「自宅に帰る」



車載機 ：「自宅を表示します」
車載機 ：「新規目的地とお話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「新規目的地」
車載機 ：「新規で自宅を目的地にセットします」

以上で、自宅を目的地に設定して、ルートが探索されます。

- 自宅が登録されていない場合は、使用することができません。自宅を登録してから使用してください。（→ P.113）

色々な方法で目的地を設定する

目的地を設定するときは、色々な検索方法を使うことができます。
ここでは代表して、「住所」から探す場合で説明します。

住所から探す

▶検索できる住所は、画面操作の住所検索（→ P.77）から検索できる住所です。

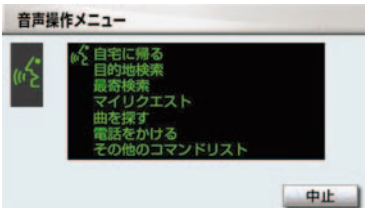
▶コマンドを発声するときは、次の点に注意して発声してください。

- 住所は、すべての地名を一度に発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。
- 郡・大字・字・番地・号は省略して発声してください。
- 「ー」は「の」または「はいふん」と発声してください。

例）「東京都文京区後楽ー丁目1ー2」を目的地に設定します。

お客様 ：（トークスイッチを押す）
車載機 ：「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞

お客様 ：「目的地検索」



車載機 ：「目的地を探します」

車載機 ：「検索方法をお話しください」＜ピッ＞

お客様 ：「住所」

車載機 ：「住所から探します」

車載機 ：「住所を都道府県からお話しください」＜ピッ＞

お客様 ：「東京都」

車載機 ：「東京都」

車載機 ：「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞

お客様 ：「文京区」

車載機 ：「東京都文京区」

車載機 ：「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞

お客様 ：「後楽」

車載機 ：「東京都文京区後楽」

車載機 ：「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞

お客様 ：「一丁目」

車載機 ：「東京都文京区後楽一丁目」

車載機 ：「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞

お客様 ：「1ー2」

車載機 ：「東京都文京区後楽一丁目1ー2」

車載機 ：「地図表示、または目的地セットとお話しください」＜ピッ＞

お客様 ：「目的地セット」

車載機 ：「新規でここを目的地にセットします」

以上で、この住所を目的地に設定して、ルートが探索されます。

■ 地図を表示させたいとき

住所で検索中、コマンドリストに「地図表示」が表示されているときは、最後に発声した地名の広域図を表示させることができます。

「地図表示」と発声する。

■ コマンドを言いなおすとき

直前に発声した内容によって言いなおす範囲が異なります。

例）住所検索で、東京都文京区を検索したとき

▶都道府県名と市区町村名を一度に発声した場合

「東京都文京区」と都道府県名から言いなおす。

▶都道府県名と市区町村名を分けて発声し、直前に発声したのが市区町村名の場合

「文京区」と市区町村名のみ言いなおす。

目的地設定について

設定した目的地の条件により、設定方法を選択する必要があります。

▶音声操作・スイッチのどちらでも操作できます。

すでに目的地が設定されているとき

追加目的地…… 検索結果を一番手前の目的地として追加

新規目的地…… 設定済みの目的地を削除して、検索結果を新規に目的地に設定

▶目的地は最大5カ所まで設定できます。

高速道路などの付近を目的地に設定したとき

セット…… 高速道路などを目的地に設定する

他の道路…… 他の場所を目的地に設定する

その他の検索方法について

検索方法を発声するときに次のコマンドを発声すると、希望の方法で検索できます。
操作方法は「住所」と同様です。ここでは、それぞれの検索方法を使用するときの注意点を説明します。

検索方法 / コマンド	機能
施設名で探す 「施設」	施設名から目的地を検索する（→ P.346）
電話番号で探す 「電話番号」	電話番号から目的地を検索する（→ P.347）
特別メモリで探す 「特別メモリ」	特別メモリから目的地を検索する（→ P.347）
検索履歴で探す 「履歴」	検索した履歴から目的地を検索する（→ P.347）

施設名で探す

▶検索できる施設は、画面操作の施設検索（→ P.78）から検索できる施設です。

▶原則として「都道府県名＋施設名」を発声します。

- 都道府県名と施設名は、都道府県名・施設名の順に続けて発声しても、都道府県名だけ発声して、次の音声ガイドの後に施設名を発声するというように分けて発声してもかまいません。
- 次の施設は、都道府県名が分からないとき、他の名称で指定することもできます。

〈販売店、レンタリース、ジェームス〉

系列名＋店名

例）レクサス＋△△店

※ ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。

〈駅〉

鉄道会社名＋路線名＋駅名

例）JR　東海道新幹線　東京駅

〈高速 IC・SA・PA、有料 IC〉

道路名＋施設名

例）東名高速道路　東京インター

- 現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。
- 都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名は、施設名のみで認識されます。また、施設名の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市）名が一致しなくても、認識されます。

  例）千葉県にある東京ディズニーランドは、「東京ディズニーランド」と発声すれば認識され、“千葉県”を発声する必要はありません。
- 音声操作で検索できる施設は、次の操作で表示することができる施設になります。
  ・「立体ランドマークの表示」（→ P.59）
  ・「施設で地図を呼び出す」（→ P.78）
- 発声する施設名は、上記方法で表示される施設名をそのまま発声してください。

電話番号で探す

▶数字は一度にすべて発声しても、分けて発声してもかまいません。
発声するときは、以下の例を参照の上、局番単位の区切る位置に注意して発声してください。

例）「03 − 1234 − 5678」を発声する場合

- 一度にすべて発声するとき
  「ゼロ、サン、イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
- 分けて発声するとき
  「ゼロ、サン」＋「イチ、ニ、サン、ヨン」＋「ゴ、ロク、ナナ、ハチ」

▶市内局番については、桁読みで発声することができます。

例）「03 − 1234 − 5678」の市内局番を桁読みで発声する場合
「センニヒャクサンジュウヨン」

▶「−」は「の」または「はいふん」と発声しても、省略してもかまいません。

特別メモリで探す

▶検索できる施設は、特別メモリ（→ P.113）に登録してある施設です。

▶特別メモリを指定するときは、コマンドリストに表示されている「番号」を発声します。

- 特別メモリが登録されていない番号は、コマンドリストに表示されません。

履歴で探す

▶検索できる施設は、履歴（→ P.81）に登録されている施設です。

▶目的地履歴を指定するときは、コマンドリストに表示されている「番号」を発声します。

最寄の施設を目的地に設定する

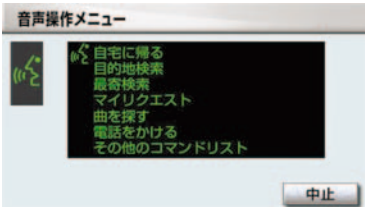
走行中呼出ジャンル（→ P.58）に表示される施設を最大5件まで検索し、目的地に設定できます。

▶ジャンルを選択するときは、「ジャンル名」または「番号」を発声します。

- 走行中呼出ジャンルの設定を変更すると、利用できる施設を変更できます。

例）最寄の「コンビニエンスストア」を目的地に設定します。

お客様 ：（トークスイッチを押す）
車載機 ：「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「最寄検索」



車載機 ：「最寄の施設を探します」
車載機 ：「表示されているジャンル名、または番号をお話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「コンビニ」
車載機 ：「周辺の施設を目的地にセットできます」
車載機 ：「施設の番号を選択してお話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「2」
車載機 ：「最寄の施設 2 を表示します」
車載機 ：「新規目的地とお話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「新規目的地」
車載機 ：「新規でここを目的地にセットします」

以上で、最寄のコンビニエンスストアを目的地に設定して、ルートが探索されます。

My リクエストを使う

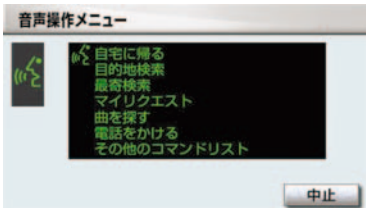
〈G-Link 利用時〉

My リクエストに登録されているコンテンツをリクエストできます。

▶コンテンツを選択するときは、「コンテンツ名」または「番号」を発声します。

例）「道路交通情報：一般道」をリクエストします。

お客様 ：（トークスイッチを押す）
車載機 ：「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「マイリクエスト」



車載機 ：「マイリクエストを表示します」
車載機 ：「表示されているコンテンツ名、または番号をお話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「道路交通情報一般道」

車載機 ：「交通情報一般をリクエストします」

他のページのコンテンツをリクエストする

他のページに登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、次のいずれかの操作を行います。

音声操作でページを切り替える

1 「前のページ」または「次のページ」と発声する。

2 「コンテンツ名」または「番号」を発声する。

スイッチでページを切り替える

1 [▲]または[▼]にタッチ。

2 トークスイッチを押し、「コンテンツ名」または「番号」を発声する。

サウンドライブラリの楽曲を検索する

サウンドライブラリ内の楽曲を、音声認識で検索して再生できます。

▶アーティスト名と曲名は、サウンドライブラリ画面で表示される読みを発声します。

- アーティスト名 … アーティスト読み
- 曲名 …… トラック読み

▶アーティスト名と曲名は、一度に発声しても、分けて発声してもかまいません。

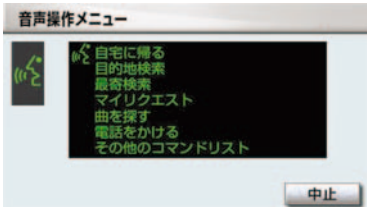
例）○○○（アーティスト名）の△△△（曲名）を再生します。

ここではアーティスト名と曲名を別々に発声する場合で説明します。

お客様 ：（トークスイッチを押す）

車載機 ：「ピッと鳴ったら、お話しください」<ピッ>

お客様 ：「曲を探す」



車載機 ：「ハードディスクの曲を探します」

車載機 ：「アーティスト名と曲名をお話しください」<ピッ>

お客様 ：「○○○（アーティスト名）」※

車載機 ：「○○○（アーティスト名）の曲を探します」

車載機 ：「曲名をお話しください」<ピッ>
お客様 ：「△△△（曲名）」
車載機 ：「○○○（アーティスト名）の△△△（曲名）が検索されました」
車載機 ：「この曲を聴く場合は曲を聴くとお話しください」<ピッ>
お客様 ：「曲を聴く」
車載機 ：「この曲を再生します」

アーティスト名と曲名を続けて発声するとき

※で「○○○（アーティスト名）の△△△（曲名）」と発声する。

検索したアーティストの曲をすべて聴きたいとき

「△△△（曲名）」を発声する代わりに、「曲を聴く」と発声する。

- 一部の楽曲では、アーティスト読み（アーティスト名）、トラック読み（曲名）が付与されなかったり、表示用のアーティスト、トラックの名称と読みが異なることがあります。
この場合、サウンドライブラリ画面で表示されるアーティスト名、トラック名を発声しても読みが異なるため、音声操作で楽曲の検索ができません。
サウンドライブラリ画面で、それぞれの読みをご確認ください。
- サウンドライブラリ画面を確認し、ご希望のアーティスト読み（アーティスト名）、トラック読み（曲名）でない場合は、次のいずれかの操作をしてください。
・「タイトル情報を再取得する」（→P.260）の操作で、再度、該当する情報を付与し、情報が更新されないか確認する。
・「アーティスト名、アーティスト読みを変更する」（→P.256）の操作で、希望の読みに変更する。
・「トラックタイトル、トラック読みを変更する」（→P.259）の操作で、希望の読みに変更する。

電話をかける

いろいろな方法で電話をかけることができます。
ここでは代表して、「番号でかける（ダイヤル発信）」場合で説明します。

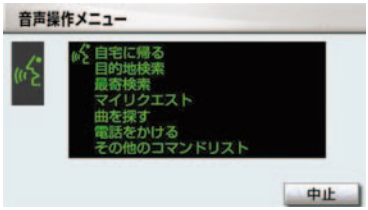
- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

番号でかける（ダイヤル発信）

▶電話番号を発声するときの注意点については、「電話番号で探す」（→P.347）と同様です。

例）「03－1234－5678」に電話をかけます。

お客様 ：（トークスイッチを押す）
車載機 ：「ピッと鳴ったら、お話しください」<ピッ>
お客様 ：「電話をかける」



車載機 ：「電話をかけます」
車載機 ：「電話をかける方法をお話しください」<ピッ>
お客様 ：「番号」

車載機 ：「番号でかけます」
車載機 ：「電話番号を市外局番からお話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「03 − 1234 − 5678」
車載機 ：「03 − 1234 − 5678」
車載機 ：「続きの番号、または発信とお話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「発信」
車載機 ：「発信します」

その他の発信方法について

電話をかける方法を発声するときに次のコマンドを発声すると、希望の方法で発信できます。操作方法は「番号」と同様です。
ここでは、それぞれの発信方法を使用するときの注意点を説明します。

発信方法 / コマンド	機能
ワンタッチ発信 「ワンタッチダイヤル」	ワンタッチダイヤルで電話をかける（→ P.351）
電話帳発信 「電話帳」	車載機の電話帳から電話をかける（→ P.351）
着信履歴発信 「着信履歴」	着信履歴から電話をかける（→ P.351）
発信履歴発信 「発信履歴」	発信履歴から電話をかける（→ P.351）

ワンタッチ発信

▶発信できる電話番号は、ワンタッチダイヤル（→ P.461）の 1 ページ目に登録してある電話番号です。

▶ワンタッチダイヤルを指定するときは、コマンドリストに表示されている「番号」を発声します。

- ワンタッチダイヤルが登録されていない番号は、コマンドリストに表示されません。

電話帳発信

▶発信できる電話番号は、電話帳（→ P.472）に登録してある電話番号の内、次の設定をしてある電話番号です。

- 認識読み（→ P.475）
- 音声認識の設定（→ P.476）

▶電話帳に登録されている名称は、「認識読み」を発声します。

着信履歴発信／発信履歴発信

▶発信できる電話番号は、着信履歴・発信履歴（→ P.459）に記憶されている電話番号です。

▶履歴を指定するときは、コマンドリストに表示されている「番号」を発声します。

その他のコマンドリストのコマンドを実行する

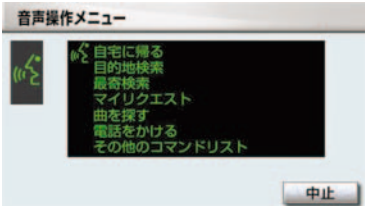
その他のコマンドリストでは、これまで説明した以外のコマンドを使用できます。
ここでは、その他のコマンドリストのコマンドの使い方を説明します。

▶コマンドを発声したときの動作については、「音声認識コマンド一覧」（→ P.353）をご覧ください。

▶オーディオの操作に関するコマンドは、該当のモードに切り替わっていないと使用できません。

例）オーディオの電源がOFFのときに、電源を ON にします。

お客様 ：（トークスイッチを押す）
車載機 ：「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「その他のコマンドリスト」



車載機 ：「コマンドリストを表示します」
車載機 ：「コマンドを直接お話しください」＜ピッ＞
お客様 ：「オーディオ」
車載機 ：「オーディオをオンします」

コマンドリストを切り替える

その他のコマンドリストは、複数ページにわたります。
他のページのコマンドを発声するときは、次の操作を行います。

1 ［▲］または［▼］にタッチ。

2 トークスイッチを押し、コマンドを発声する。

1. 音声認識コマンド一覧

音声認識コマンド一覧について

その他のコマンドリストで表示されるコマンドについて、発声する認識語とそのときの動作をまとめてあります。

- 表はコマンドリストに合わせて作成してあります。
- 表ではすべてのコマンドを紹介しています。
- 次のコマンドは使用することができないため、コマンドリストには表示されません。
  - ・車両に装着されていない機器のコマンド
  - ・現在利用できないコマンド

  例）AM ラジオの放送局コマンドは、オーディオが AM ラジオモードになっていないと表示されません。

音声認識コマンド一覧のコマンドは、画面にコマンドリストを表示させなくても、使用することができます。

「音声認識モードを開始する」（→ P.342）の手順で、コマンドを発声します。

音声認識コマンド一覧

施設表示コマンドは、走行中呼出ジャンルの施設のみ対応しています。表示する施設を変更したい場合は、走行中呼出ジャンルの設定を変更してください。

オーディオ操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
ラジオ	らじお	ラジオに切り替える。
AM（エイエム）ラジオ	えーえむらじお	AM ラジオに切り替える。
FM（エフエム）ラジオ	えふえむらじお	FM ラジオに切り替える。
交通情報	こーつーじょーほー	（OFF 時）交通情報に切り替える。
		（ON 時）交通情報を終了する。
CD（シーディー）	しーでぃー	DVDチェンジャーに切り替える。
DVD（ディーブイディー）	でぃーぶいでぃー	DVDチェンジャーに切り替える。
DVD チェンジャー	でぃーぶいでぃーちぇんじゃー	DVDチェンジャーに切り替える。
TV（テレビ）	てれび	デジタルテレビに切り替える。
デジタル TV（テレビ）	でじたるてれび	

コマンド名称	認識語	動作
HDD（ハードディスク）オーディオ	• はーどでぃすくおーでぃお	サウンドライブラリに切り替える。
	• さうんどらいぶらり	
AUX（エーユーエックス）	えーゆーえっくす	外部機器に切り替える。
iPod（アイポッド）	あいぽっど	iPod® に切り替える。
USB（ユーエスビー）オーディオ	ゆーえすびーおーでぃお	USB メモリーに切り替える。
前の曲	• まえのきょく	前の曲を頭出しする。
	• いっきょくまえ	
トラックアップ	• とらっくあっぷ	次の曲を頭出しする。
	• つぎのきょく	
トラックダウン	• とらっくだうん	再生中の曲を頭出しする。
	• あたまだし	
ディスクアップ	• でぃすくあっぷ	次のディスクに切り替える。
	• つぎのでぃすく	
ディスクダウン	• でぃすくだうん	前のディスクに切り替える。
	• まえのでぃすく	
シークアップ	しーくあっぷ	周波数またはチャンネルが高い方へ、自動で受信可能な放送局を選局する。
シークダウン	しーくだうん	周波数またはチャンネルが低い方へ、自動で受信可能な放送局を選局する。
オーディオ	おーでぃお	（OFF 時）オーディオを ON にする。
		（ON 時）オーディオを OFF にする。

■ エアコン操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
温度○○℃ (○○は 18 ～ 32)	おんど○○ど	エアコンの設定温度を○○℃にする。
温度○○ . ○℃ (○○は 18.5 ～ 31.5)	おんど○○てん○ど	エアコンの設定温度を○○ . ○℃にする。
温度を上げる	おんどおあげる	エアコンの設定温度を 2 ℃上げる。
温度を下げる	おんどおさげる	エアコンの設定温度を 2 ℃下げる。
温度を少し上げる	おんどおすこしあげる	エアコンの設定温度を 1 ℃上げる。
温度を少し下げる	おんどおすこしさげる	エアコンの設定温度を 1 ℃下げる。
エアコン	えあこん	(OFF 時) オートエアコンを ON にする
		(ON 時) オートエアコンを OFF にする

■ G-Link コマンド

G-BOOK センターから設定されたコマンドを利用できます。

■ 放送局 (AM ラジオ) コマンド

コマンド名称	認識語	動作
○○○ (AMラジオ局のリスト)	○○○ (放送局名称)	○○○を選局する。

■ 放送局 (FM ラジオ) コマンド

コマンド名称	認識語	動作
○○○ (FMラジオ局のリスト)	○○○ (放送局名称)	○○○を選局する。

■ 放送局 (テレビ) コマンド

コマンド名称	認識語	動作
○○○ (テレビ局のリスト)	○○○ (放送局名称)	○○○を選局する。

周辺施設表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
○○○(施設ジャンル)	○○○（施設ジャンル）	指定されたジャンルの施設の記号を地図上に表示する。

地図操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
現在地	げんざいち	現在地の地図画面を呼び出す。
市街図	しがいず	地図を市街図に切り替える。
リアル市街図	• りあるしがいず • すりーでぃーしがいず	地図をリアル市街図に切り替える。
2 画面表示	にがめんひょーじ	地図を 2 画面表示に切り替える。
2 画面表示解除	にがめんひょーじかいじょ	地図を 1 画面表示に切り替える。
1 画面表示	いちがめんひょーじ	
2D（ツーディー）	つーでぃー	地図を 2D 表示に切り替える。
3D（スリーディー）	すりーでぃー	地図を 3D 表示に切り替える。
2D（ツーディー）ツイン	つーでぃーついん	地図を 2D ツイン表示に切り替える。
3D（スリーディー）ツイン	すりーでぃーついん	地図を 3D ツイン表示に切り替える。
ノースアップ	のーすあっぷ	地図の向きをノースアップに切り替える。
北向き	きたむき	
ヘディングアップ	へでぃんぐあっぷ	地図の向きをヘディングアップに切り替える。
進行方向	しんこーほーこー	
地図向き変更	ちずむきへんこー	地図の向きを切り替える。
右画面 2D（ツーディー）	みぎがめんつーでぃー	右画面地図を 2D 表示に切り替える。
右画面 3D 解除	みぎがめんすりーでぃーかいじょ	
右画面 3D（スリーディー）	みぎがめんすりーでぃー	右画面地図を 3D 表示に切り替える。

コマンド名称	認識語	動作
右画面市街図	みぎがめんしがいず	右画面地図を市街図に切り替える。
右画面リアル市街図	• みぎがめんりあるしがいず • みぎがめんすりーでぃーしがいず	右画面地図をリアル市街図に切り替える。
右画面ノースアップ	みぎがめんのーすあっぷ	右画面地図の向きをノースアップに切り替える。
右画面北向き	みぎがめんきたむき	
右画面ヘディングアップ	みぎがめんへでぃんぐあっぷ	右画面地図の向きをヘディングアップに切り替える。
右画面進行方向	みぎがめんしんこーほーこー	
右画面地図向き変更	みぎがめんちずむきへんこー	右画面地図の向きを切り替える。

■縮尺操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
広域	こーいき	地図を 1 段階広域に切り替える。
詳細	しょーさい	地図を 1 段階詳細に切り替える。
右画面広域	みぎがめんこーいき	右画面地図を1段階広域に切り替える。
右画面詳細	みぎがめんしょーさい	右画面地図を1段階詳細に切り替える。
○メートルスケール（○は 50，100，200，400，800）	○めーとるすけーる	地図を○ m スケールに切り替える。
○キロメートルスケール（○は 1.6，3，7，13，26，50，100，200）	○きろめーとるすけーる	地図を○ km スケールに切り替える。
右画面○メートルスケール（○は 50，100，200，400，800）	みぎがめん○めーとるすけーる	右画面地図を○ m スケールに切り替える。

コマンド名称	認識語	動作
右画面○キロメートルスケール（○は 1.6，3，7，13，26，50，100，200）	みぎがめん○きろめーとるすけーる	右画面地図を○ km スケールに切り替える。

ルート探索コマンド

コマンド名称	認識語	動作
推奨ルート	• すいしょーるーと • すいしょー	推奨ルートでルートを探索する。
距離優先	きょりゆーせん	距離優先でルートを探索する。
有料優先	• ゆうりょーゆーせん • こーそくゆーせん	有料道優先でルートを探索する。
一般優先	いっぱんゆーせん	一般道優先でルートを探索する。
別ルート	べつるーと	別ルートでルートを探索する。

案内設定コマンド

コマンド名称	認識語	動作
高速略図表示	こーそくりゃくずひょーじ	ハイウェイモードを表示する。
都市高マップ表示	としこーまっぷひょーじ	都市高速マップ表示モードにする。
都市高マップ表示解除	としこーまっぷひょーじかいじょ	都市高速マップ表示モードを解除する。
ターンリスト	たーんりすと	ターンリスト図を表示する。
全ルート図	ぜんるーとず	全ルート図を表示する。
ルート全体図	るーとぜんたいず	

目的地設定コマンド

コマンド名称	認識語	動作
目的地○（○は 1 ～ 5）	もくてきち○	○番目に設定されている目的地を表示する。
次の目的地	つぎのもくてきち	次の目的地を表示する。
最終目的地	さいしゅーもくてきち	最終目的地を表示する。

コマンド名称	認識語	動作
次の目的地削除	つぎのもくてきちさくじょ	次の目的地を削除する。
最終目的地削除	さいしゅーもくてきち さくじょ	最終目的地を削除する。
全ての目的地削除	すべてのもくてきち さくじょ	すべての目的地を削除する。
○○○（メモリ地点名称）	○○○（メモリ地点名称読み）	登録されたメモリ地点を検索する。

案内中止・再開コマンド

コマンド名称	認識語	動作
案内中止	あんないちゅーし	ルート案内を中止する。
案内再開	あんないさいかい	ルート案内を再開する。

地点登録コマンド

コマンド名称	認識語	動作
方向付きメモリ地点	ほーこーつきめもりちてん	地図画面の中心位置に、方向付きメモリ地点を登録する。
音声付きメモリ地点	おんせーつきめもりちてん	地図画面の中心位置に、音声付きメモリ地点を登録する。
地点登録	ちてんとーろく	地図画面の中心位置に、メモリ地点を登録する。
メモリ地点	めもりちてん	
ここを登録	ここおとーろく	

音声操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
ナビ音量アップ	• なびおんりょーあっぷ	ナビゲーションのナビ音量設定を１段階アップする。
	• なびぼりゅーむあっぷ	
ナビ音量ダウン	• なびおんりょーだうん	ナビゲーションのナビ音量設定を１段階ダウンする。
	• なびぼりゅーむだうん	
案内音声	あんないおんせー	案内音声を出力する。

VICS 設定コマンド

コマンド名称	認識語	動作
VICS（ビックス）表示	びっくすひょーじ	地図上に VICS レベル 3 情報を表示するよう設定を切り替える。
VICS（ビックス）表示消去	びっくすひょーじ しょーきょ	地図上に表示している VICS レベル 3 情報を消去する。
VICS（ビックス）全て表示	びっくすすべてひょーじ	地図上に VICS レベル 3 情報を全道路に表示するよう設定を切り替える。
VICS（ビックス）高速道表示	びっくすこーそくどー ひょーじ	地図上に VICS レベル 3 情報を高速道のみ表示するよう設定を切り替える。
VICS（ビックス）一般道表示	びっくすいっぱんどー ひょーじ	地図上に VICS レベル 3 情報を一般道のみ表示するよう設定を切り替える。
割込情報	わりこみじょーほー	最新の割り込み図形表示画面に切り替える。
ビーコン文字情報	びーこんもじじょーほー	VICS 割込設定の“ビーコン文字情報自動割込”を“する”に切り替える。
ビーコン文字情報解除	びーこんもじじょーほー かいじょ	VICS 割込設定の“ビーコン文字情報自動割込”を“しない”に切り替える。
ビーコン図形情報	びーこんずけーじょーほー	VICS 割込設定の“ビーコン図形情報自動割込”を“する”に切り替える。
ビーコン図形情報解除	びーこんずけーじょーほー かいじょ	VICS 割込設定の“ビーコン図形情報自動割込”を“しない”に切り替える。
注意警戒情報	ちゅーいけーかい じょーほー	VICS 割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“する”に切り替える。
注意警戒情報解除	ちゅーいけーかい じょーほーかいじょ	VICS 割込設定の“注意警戒情報自動割込”を“しない”に切り替える。
FM 文字	えふえむもじ	VICS FM 文字情報表示画面に切り替える。
FM 図形	えふえむずけー	VICS FM 図形情報表示画面に切り替える。

コマンド名称	認識語	動作
渋滞考慮探索	じゅーたいこーりょたんさく	渋滞考慮探索設定の“渋滞考慮探索”を“する”に切り替える。
渋滞考慮探索解除	じゅーたいこーりょたんさくかいじょ	渋滞考慮探索設定の“渋滞考慮探索”を“しない”に切り替える。
右画面VICS(ビックス)表示	みぎがめんびっくすひょーじ	右画面地図上にVICSレベル3情報を表示するよう設定を切り替える。
右画面VICS(ビックス)表示消去	みぎがめんびっくすひょーじしょーきょ	右画面地図上に表示しているVICSレベル3情報を消去する。
VICS（ビックス）渋滞混雑表示	びっくすじゅーたいこんざつひょーじ	表示設定の“渋滞・混雑”を“ON”に切り替える。
VICS（ビックス）渋滞混雑表示解除	びっくすじゅーたいこんざつひょーじかいじょ	表示設定の“渋滞・混雑”を“OFF”に切り替える。
VICS（ビックス）空き道表示	びっくすあきみちひょーじ	表示設定の“空き道”を“ON”に切り替える。
VICS（ビックス）空き道表示解除	びっくすあきみちひょーじかいじょ	表示設定の“空き道”を“OFF”に切り替える。
VICS（ビックス）規制情報表示	びっくすきせーじょーほーひょーじ	表示設定の“規制情報”を“ON”に切り替える。
VICS（ビックス）規制情報表示解除	びっくすきせーじょーほーひょーじかいじょ	表示設定の“規制情報”を“OFF”に切り替える。
VICS（ビックス）駐車場表示	びっくすちゅーしゃじょーひょーじ	表示設定の“駐車場”を“ON”に切り替える。
VICS（ビックス）駐車場表示解除	びっくすちゅーしゃじょーひょーじかいじょ	表示設定の“駐車場”を“OFF”に切り替える。

■施設表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
施設表示消去	しせつひょーじしょーきょ	地図画面上の周辺施設表示を消去する。
右画面施設表示	みぎがめんしせつひょーじ	右画面地図上に周辺施設を表示する。
右画面施設表示消去	みぎがめんしせつひょーじしょーきょ	右画面地図上の周辺施設表示を消去する。

知りたインフォコマンド

コマンド名称	認識語	動作
今日は何日？	きょーわなんにち	今日の日付を音声で案内する。
今日は何曜日？	きょーわなんよーび	
今日は何の日？	きょーわなんのひ	地図データベースに登録されている今日の記念日を音声で案内する。
今走っている道路は？	いまはしっているどーろわ	現在走っている道路名を音声で案内する。
どっち向いているの？	どっちむいているの	現在走っている方向を音声で案内する。
あとどれくらい？	あとどれくらい	現在地から最終目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
あと何キロ？	あとなんきろ	現在地から最終目的地までの残距離を音声で案内する。
あと何分？	あとなんぷん	現在地から最終目的地までの到着予想残り時間を音声で案内する。
あと何時間？	あとなんじかん	
何時に着くの？	• なんじにつくの	最終目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
	• なんじにつきますか	
次の目的地まであとどれくらい？	つぎのもくてきちまであとどれくらい	現在地から次の目的地までの残距離と到着予想残り時間を音声で案内する。
次の目的地まであと何キロ？	つぎのもくてきちまであとなんきろ	現在地から次の目的地までの残距離を音声で案内する。
次の目的地まであと何分？	つぎのもくてきちまであとなんぷん	現在地から次の目的地までの到着予想残り時間を音声で案内する。
次の目的地まであと何時間？	つぎのもくてきちまであとなんじかん	
次の目的地に何時に着くの？	• つぎのもくてきちになんじにつくの	次の目的地の到着予想時刻を音声で案内する。
	• つぎのもくてきちにいつつきますか	

コマンド名称	認識語	動作
どこから乗るの？	どこからのるの	現在地が高速道路以外のときに、目的地までのルート上にある次に乗る高速道路の IC 名と、IC までの到着予想残り時間および残距離を音声で案内する。
どこのインターチェンジから乗るの？	どこのいんたーちぇんじからのるの	
どこで降りるの？	どこでおりるの	目的地までのルート上にある次に降りる高速道路の IC 名と、IC までの到着予想残り時間および残距離を音声で案内する。
どこのインターチェンジで降りるの？	どこのいんたーちぇんじでおりるの	
この先の渋滞情報は？	このさきのじゅーたいじょーほわ	現在地から目的地までのルート上の渋滞・規制情報を音声で案内する。
この先の規制情報は？	このさきのきせーじょーほわ	
次に通る施設は？	つぎにとおるしせつわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経由する SA/PA/IC までの残距離を、次々に音声で案内する。
次のサービスエリアは？	つぎのさーびすえりあわ	現在地から目的地までのルート上にある、次に経由する SA/PA 名と、SA/PA までの残距離を、次々に音声で案内する。
次のパーキングエリアは？	つぎのぱーきんぐえりあわ	

6

情報

1 情報

1. 情報画面 366

情報画面の表示 366

2. エコ情報 367

燃費画面の表示（GS460/GS350） 367

燃費画面・エネルギーモニター画面の表示（GS450h） 368

3. 交通・ナビ関連情報 369

交通・ナビ関連情報の表示 369

4. FM多重放送 370

FM 多重放送について 370

FM 多重画面の表示 370

放送局を切り替えるには 370

番組を切り替えるには 371

独立情報番組のページ送りのしかた 371

連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには 372

文字情報の記録・呼び出し・消去 ... 372

5. カレンダー機能 373

カレンダー画面 373

1. 情報画面

情報画面の表示



1 画面外の **情報・G** または **INFO** を押す。

▶G-Link 画面が表示されたとき

➡ **情報** にタッチ。

情報画面から次の操作を行うことができます。

表示順序／項目（スイッチ）		機　能	ページ
1	電話	交通・ナビ関連情報の表示	369
		ハンズフリー画面の表示	458
2	エコ情報	燃費画面、エネルギーモニター画面の表示	367、368
3	渋滞予測※	渋滞予測情報の表示	559
4	VICS	VICS 図形情報、文字情報の表示	155
		割込情報の表示	155
		VICS 提供放送局の選択	159
5	FM 多重	FM 多重放送の表示	370
6	ETC	ETC 画面の表示	431
7	カレンダー	カレンダーの表示	373
8	操作ガイド	アプリケーションの操作説明の表示	14

※　G-Link を利用されているときに操作することができます。

2. エコ情報

燃費画面の表示（GS460/GS350）

エコ情報画面として、燃費画面を表示することができます。

画面外の **情報・G** または **INFO**

（ **情報** ）

情報画面

［**エコ情報**］にタッチ

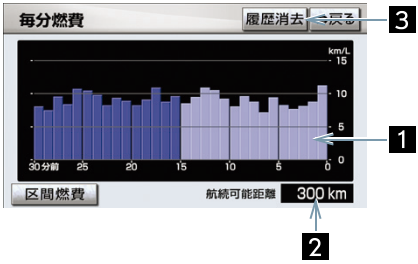
▶毎分燃費に切り替えるとき

➡［**毎分燃費**］にタッチすると毎分燃費画面を表示します。

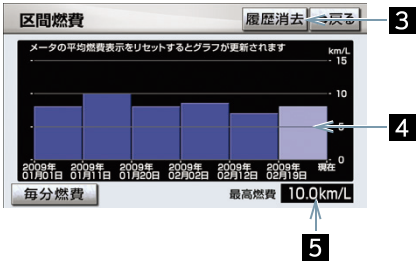
▶区間燃費に切り替えるとき

➡［**区間燃費**］にタッチすると区間燃費画面を表示します。

■ 毎分燃費画面



■ 区間燃費画面



1	過去 30 分間の 1 分ごとの燃費（平均燃費）
2	航続可能距離
3	履歴消去
4	平均燃費
5	最高燃費

- 燃費の履歴を消去するには
  - ・［**履歴消去**］にタッチすると毎分燃費画面では平均燃費がリセットされ、区間燃費画面では平均燃費、最高燃費、日付表示が消去されます。
    それぞれの画面で履歴を消去することができます。
- 平均燃費について
  - ・毎分燃費画面では“エンジン スタート ストップ”スイッチをイグニッション ON モードにしてから現在までと、それ以前の平均燃費を色分けして表示します。
  - ・区間燃費画面では平均燃費のリセット後から現在までと、それ以前にリセットするごとの履歴を色分けして表示します。
  - ・平均燃費のリセットについては、「GS460/GS350 取扱説明書」をご覧ください。
- 最高燃費について
  - ・区間燃費の履歴を消去してから現在までの過去最高区間燃費を表示します。
- 航続可能距離について
  現在の燃費残量で走行できるおよその距離を表示します。
  - ・表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。

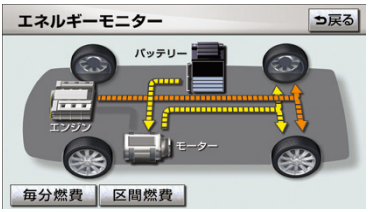
燃費画面・エネルギーモニター画面の表示（GS450h）

エコ情報画面として、燃費画面を表示することができます。

画面外の 情報・G または INFO
↓
（ 情報 ）
↓
情報画面

1 ［エコ情報］にタッチ。

2 エコ情報画面が表示される。



- 画面についての詳細は、別冊「GS450h 取扱説明書」をご覧ください。

3. 交通・ナビ関連情報

交通・ナビ関連情報の表示

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。
また、登録されているメモリ地点（→P.113）や設定されている目的地（→P.85）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

画面外の **情報・G** または **INFO**
▼
（ **情報** ）
▼
情報画面

1 **［電話］**にタッチ。

2 **［交通・ナビ］**にタッチ。



3 項目にタッチ。

- 目的地が 1 カ所のみ設定されているとき
  ➡ **［目的地］**にタッチすると、名称と電話番号を表示する。

4 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

■［JAF］または［道路交通情報センター］を選択したとき

都道府県名 → 施設名称の順にタッチ。

■［メモリ地点］を選択したとき

メモリ地点にタッチ。

- 地図を表示するとき
  ➡ **［地図］**にタッチ。
- リストの並べ方をかえるとき
  ➡「設定・編集画面からの修正方法」（→ P.114）手順 **2** へ。

■［目的地］を選択したとき

• 目的地が複数設定されているとき

目的地にタッチ。

4. FM 多重放送

FM 多重放送について

FM 多重放送は 1 つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

■ 連動情報番組

FM 音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

■ 独立情報番組

FM音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

- 走行中は表示させることができない番組もあります。また、FM 多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。

FM 多重画面の表示

FM モードで選ばれている放送局の連動情報番組を表示します。

画面外の **情報・G** または **INFO**

↓

（ **情報** ）

↓

情報画面

1 ［FM 多重］にタッチ。

2 FM 多重画面が表示される。



- AM 放送（交通情報放送を含む）を受信しているときは、FM 多重放送を表示することができません。
- FM多重放送を表示しているときに、FM多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。（放送局側にて緊急情報を連続して更新しているときは、次ページに送ることができません。）
- FM 多重放送を表示しているときは、そのFM多重放送局の番組の音声のみ聞くことができます。（文字情報を表示させているFM 多重放送局とは別の FM 放送局の番組の音声を聞くことはできません。）
- テレビの音声を聞いているときに、FM 多重放送を表示すると、テレビの音声に雑音がはいることがあります。

放送局を切り替えるには

画面外の **情報・G** または **INFO**

↓

（ **情報** ）

↓

FM 多重

↓

FM 多重画面

［自動選局］にタッチ。

- FM多重放送を表示させている放送局の音声を聞いているときは、オーディオのスイッチでも、切り替えることができます。

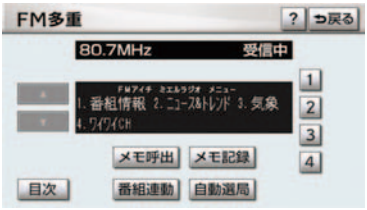
番組を切り替えるには

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
FM 多重
↓
FM 多重画面

1 ［目次］にタッチ。

- 連動情報番組に切り替えるとき
  ➡［**番組連動**］にタッチ。

2 番組の番号にタッチ。



独立情報番組のページ送りのしかた

連動情報番組の文字情報のページは、情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など 1 回の発信で何ページにもわたる情報が発信される独立情報番組では、受信側でページを送ることができます。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
FM 多重
↓
FM 多重画面

［▲］・［▼］または［**自動送り**］にタッチ。



- ［▲］・［▼］にタッチすると、文字情報を 1 ページずつ送ります。
- ［**自動送り**］にタッチすると、文字情報が自動で送られます。
  すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
- 文字情報の自動送りを中止するとき
  ➡［**停止**］にタッチ。
- 自動送り中に［▲］・［▼］にタッチしたとき、自動送りは中止されます。
- 走行中および緊急情報を受信しているときは、自動送りはできません。

連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは、情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
FM 多重
↓
FM 多重画面

［▲］・［▼］にタッチ。



- 情報をもう一度見るとき
  ➡［▲］にタッチ。
- ［▲］・［▼］にタッチすると、文字情報の自動切り替えを中止します。
- もとの状態にもどすとき
  ➡［最新情報］にタッチ。

文字情報の記録・呼び出し・消去

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
FM 多重
↓
FM 多重画面

記録するには

記録する文字情報を表示させ、［メモ記録］にタッチ。

- 記録項目は最大 20 個です。
- 記録する内容によっては、20 個記録できないことがあります。

呼び出すには

1 ［メモ呼出］にタッチ。

- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

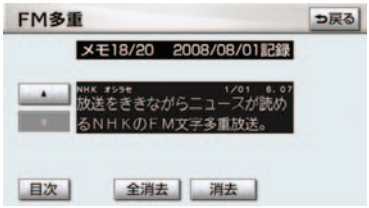
2 ［▲］・［▼］にタッチ。

- 表示させる文字情報を切り替えます。

消去するには

1 ［メモ呼出］にタッチし、消去する文字情報を表示する。

2 ［消去］にタッチ。



- すべての文字情報を消去するとき
  ➡［全消去］にタッチ

3 ［はい］にタッチ。

5. カレンダー機能

カレンダー画面

カレンダーは、2007 年から 2026 年まで表示することができます。また、GPS（→P.138）の時刻情報（GPS 時計）を利用して、日時を表示します。

画面外の **情報・G** または **INFO**
▼
（ **情報** ）
▼
情報画面

1 **［カレンダー］**にタッチ。

2 カレンダー画面が表示される。



- **［▲月］**・**［▼月］**にタッチすると、月が切り替わります。
- **［▲▲年］**・**［▼▼年］**にタッチすると、年が切り替わります。
- 月または年を切り替えたときに **［今月］**にタッチすると、今月のカレンダーを表示します。
- GPS からの時刻情報を受信しているときは、「GPS」が表示されます。
- 表示される時刻は、数秒程度の誤差が生じることがあります。

7

周辺監視

1 バックガイドモニター

1. バックガイドモニターとは 376
バックガイドモニターとは 376
並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき 378
縦列駐車時に使用するとき 380

2. 並列駐車のしかた（進路表示モード） 382
画面の見方 382
操作のしかた 383

3. 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 385
画面の見方 385
操作のしかた 386

4. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード） 387
車の動きと画面・音声案内の流れ ... 387
操作のしかた 389

5. 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 395
画面の見方 395
操作のしかた 396

6. バックガイドモニターの注意点 397
運転時の注意 397
画面に映る範囲 398
カメラ 399
画面と実際の路面との誤差 400
立体物が近くにあるとき 401
システム初期化中画面が表示されたときは 402

2 クリアランスソナー

1. クリアランスソナーとは 404
クリアランスソナーとは 404

2. クリアランスソナーが作動したとき 408
距離表示・ブザー 408
ステアリング・ガイドマーク表示 412
音声案内 413
障害物を感知する範囲 414

3. クリアランスソナーの設定 415
モニター表示・ブザーの設定 415

4. 異常時の画面表示 416
クリアランスソナー異常時の画面表示 416

5. クリアランスソナーの注意点 419
使用時の警告と注意 419

1. バックガイドモニターとは

バックガイドモニターとは

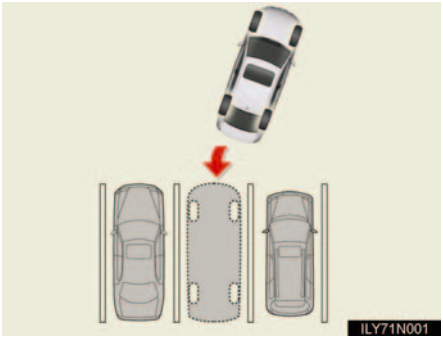
車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線や音声案内で、駐車時の後退操作を補助する装置です。

バックガイドモニターは、以下の 2 通りの駐車方法について補助します。

- 車庫入れのような並列駐車。進路表示モードか駐車ガイド線表示モードを使います。
- 路側などに止める縦列駐車。縦列ガイドモードか駐車ガイド線表示モードを使います。

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

並列駐車



進路表示モード（→ P.382）

ハンドル操作に連動した予想進路線が表示されるモードです。

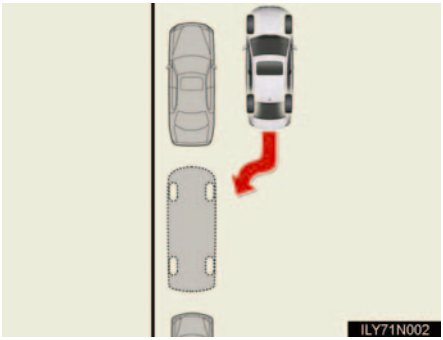
駐車ガイド線表示モード（→ P.385）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。車両感覚になれた方や、進路表示モードを必要とせずに駐車できる方はご使用ください。

距離目安線表示モード

距離目安線のみ表示されるモードです。

縦列駐車



縦列ガイドモード（→ P.387）

画面表示と音声案内により縦列駐車を補助するモードです。

駐車ガイド線表示モード（→ P.395）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）のみが表示されるモードです。車両感覚になれた方や、縦列ガイドモードが使用できないときにご使用ください。

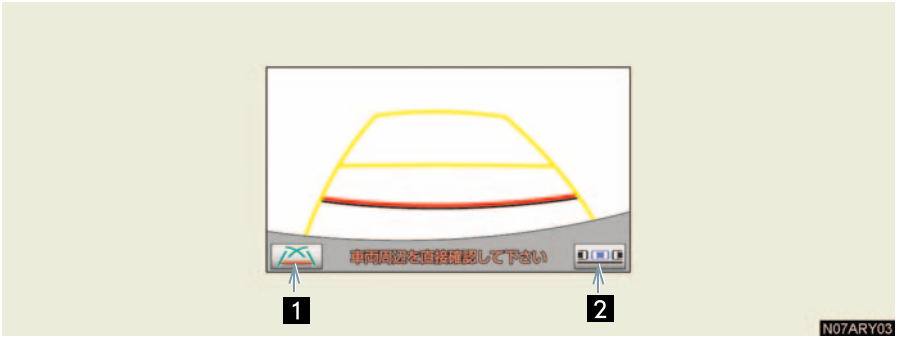
距離目安線表示モード

距離目安線のみ表示されるモードです。

ガイド画面の出し方

以下の状態のとき、シフトレバーを R にすると、バックガイドモニターの画面になります。

- GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがイグニッション ON モードのとき
- GS450h：“ パワー ” スイッチが ON モードのとき



スイッチ	内容
1 表示モード切り替えスイッチ	表示モードを切り替える。
2 駐車モード切り替えスイッチ	駐車モードを切り替える。

- **音量設定について**
  音声案内の音量はナビの音量設定に連動しています。
  ・音量を調整したいとき ➡ 「音量設定」（→ P.70）

バックガイドモニターの解除

シフトレバーを R 以外にすると、バックガイドモニターは解除されます。

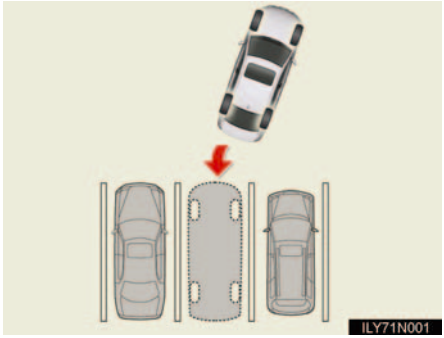
- シフトレバーを R にして、**現在地** などの各モードのスイッチを押したときは
  ➡ バックガイドモニターは解除され、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

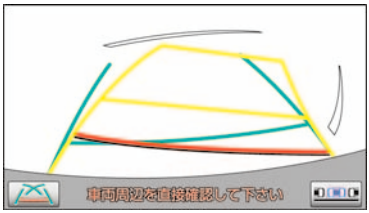
クリアランスソナー装着車は

クリアランスソナーが障害物を感知すると、ガイド画面右上に割り込み表示がされます（→ P.407）。

並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき

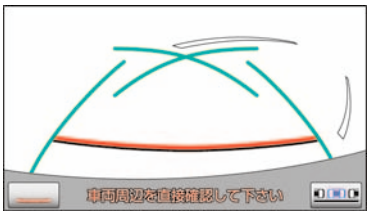
車庫入れなど並列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。





■ 進路表示モード（→ P.382）

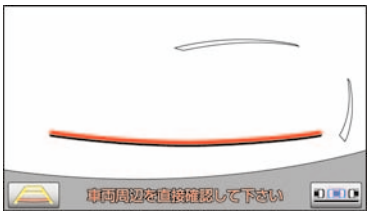
ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。



■ 駐車ガイド線表示モード（→ P.385）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

- 車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。



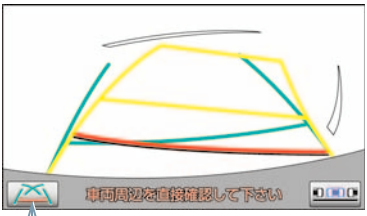
■ 距離目安線表示モード

距離目安線のみ表示されるモードです。

- ガイドを必要としない方はご使用ください。

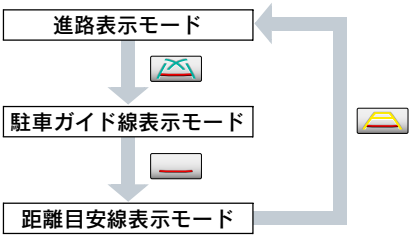
モードの切り替え方

表示モード切り替えスイッチにタッチ。



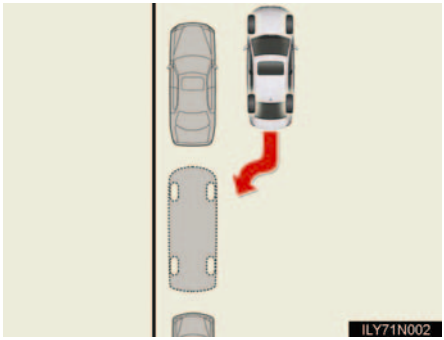
表示モード切り替えスイッチ

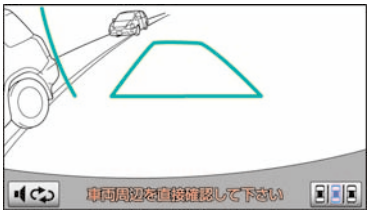
● タッチするごとに、次のようにモードが切り替わります。



縦列駐車時に使用するとき

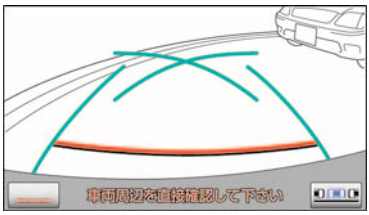
縦列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。





■ 縦列ガイドモード（→ P.387）

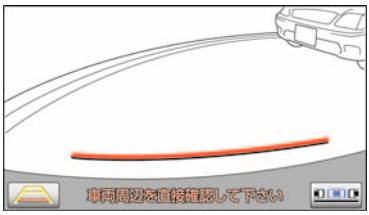
画面表示と音声案内により、縦列駐車を補助するモードです。



■ 駐車ガイド線表示モード（→ P.395）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

- 縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や、縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

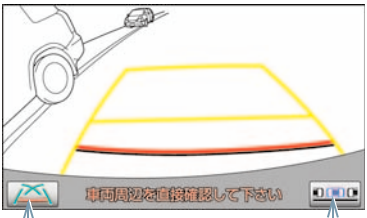


■ 距離目安線表示モード

距離目安線のみ表示されるモードです。

- ガイドを必要としない方はご使用ください。

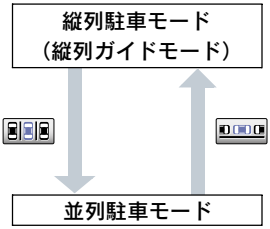
モードの切り替え方



縦列ガイドモードへの切り替え

駐車モード切り替えスイッチにタッチ。

- タッチするごとに、次のようにモードが切り替わります。



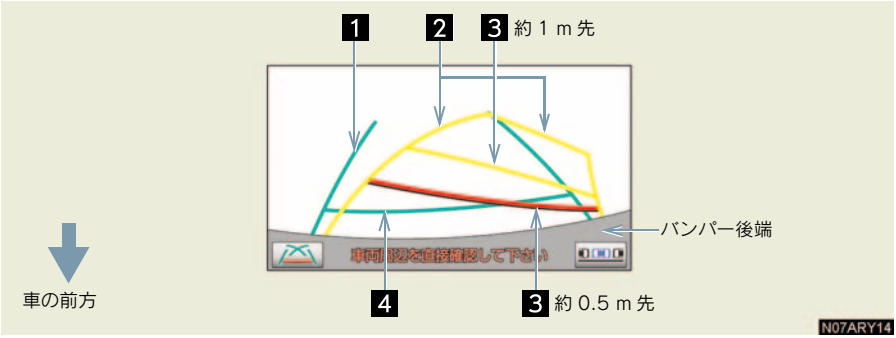
駐車ガイド線表示モード、距離目安線表示モードへの切り替え

1 並列駐車モードにする。

2 表示モード切り替えスイッチにタッチし、希望のモードにする。

2. 並列駐車のしかた（進路表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 **車幅延長線**	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示。 • 直進状態になっているときは、予想進路線と重なる。
2 **予想進路線**	ハンドル操作と連動して、進路の目安を示す。
3 **距離目安線**	ハンドル操作と連動して、車の後方の距離を示す。 • 予想進路線と連動する。 • バンパー後端の中心位置から約 0.5 m 先（赤色）・約 1 m 先（黄色）を示す。
4 **距離目安線**	車の後方の距離を示す。 • バンパー後端から約 0.5 m 先を示す。

⚠ 警告

■ **後退するときは**

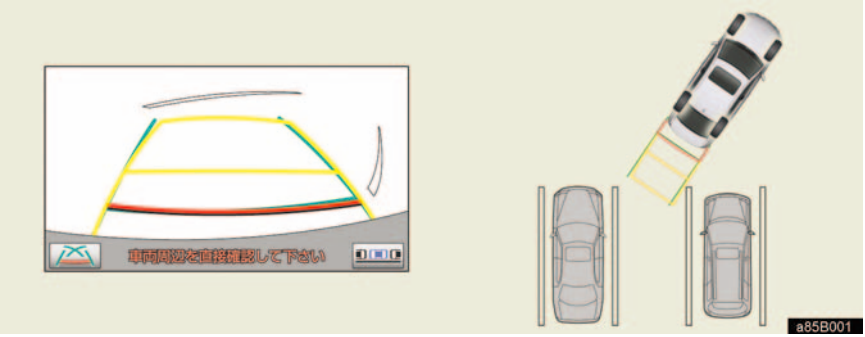
必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。

■ **直進状態で車幅延長線と予想進路線がずれているときは**

約 5 分以上直進してください。直進しても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

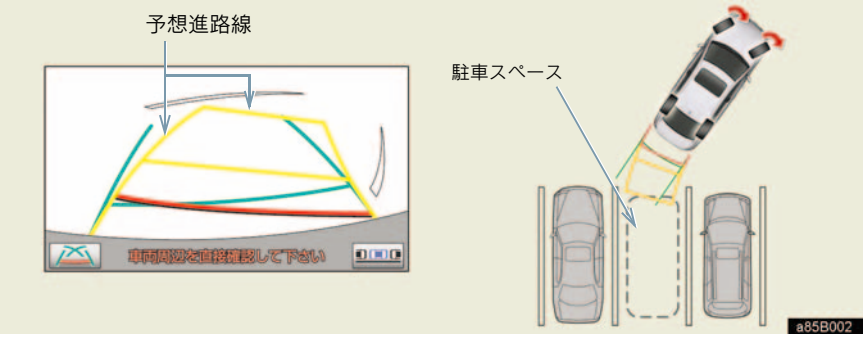
操作のしかた

1 シフトレバーをＲにする。

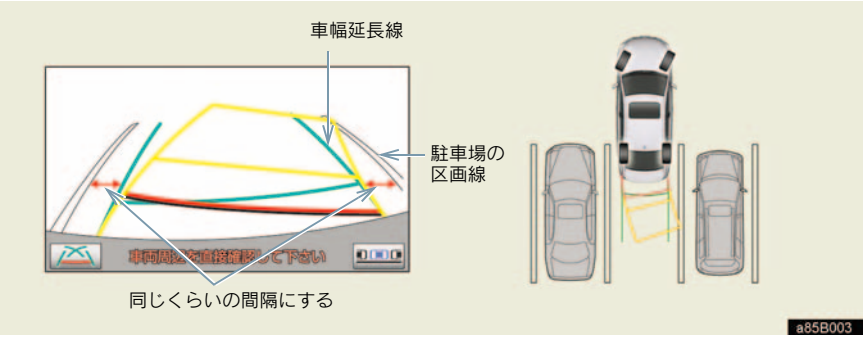


● 進路表示モードになっていないときは、進路表示モードにします（→ P.378）。

2 予想進路線が駐車スペースの中に入るように、ゆっくり後退する。



3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、同じくらいになるようにハンドルを操作する。



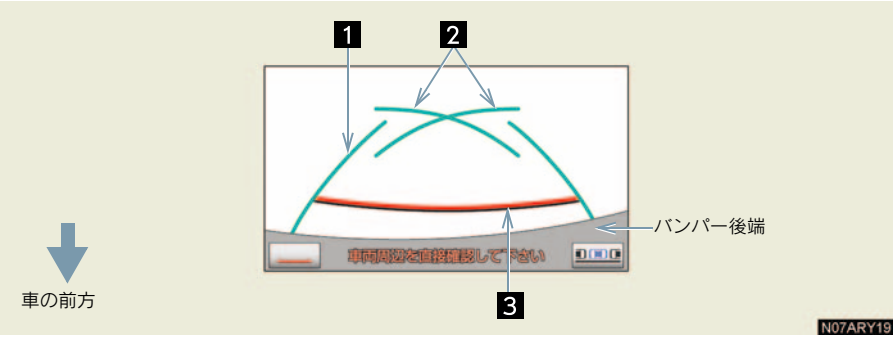
4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

駐車するときは

- 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても、実際は平行でないことがあります。必ず直接確かめてください。

3. 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示。
2 駐車ガイド線	もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示す。 • 駐車時にハンドルを操作する位置の目安。
3 距離目安線	車の後方の距離を示す。 • バンパー後端から約 0.5 m 先を示す。

⚠ 警告

■ **後退するときは**

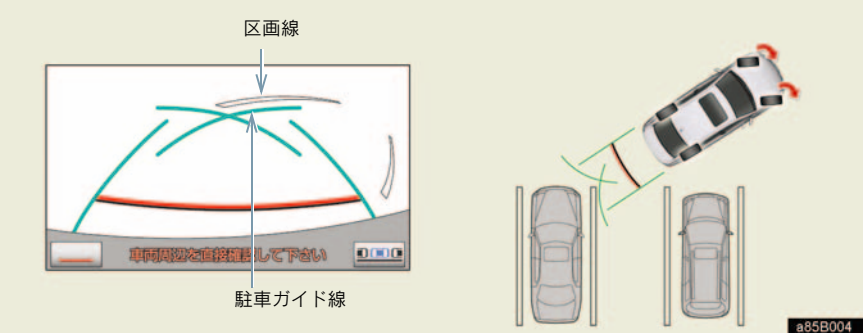
必ず後方や周囲の安全を直接確かめてください。乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。

操作のしかた

1 シフトレバーを R にする。

- 駐車ガイド線表示モードになっていないときは、駐車ガイド線表示モードにします（→ P.378）。

2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。



- 駐車スペースの幅が約 2.2 m のときを基準にしています。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

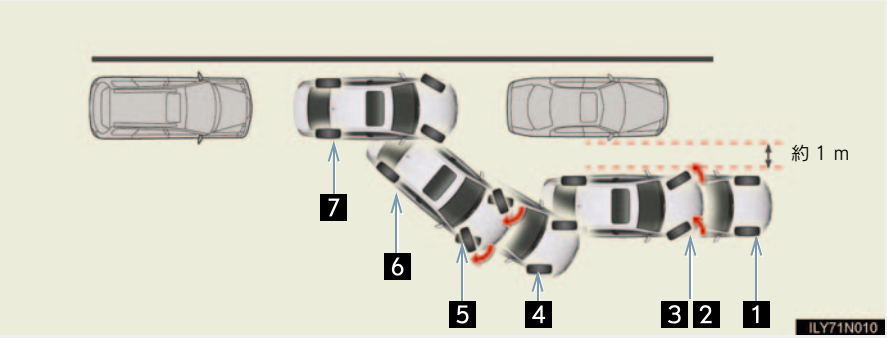
- 逆方向から駐車するときは、ハンドル操作が逆になります。

4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

4. 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

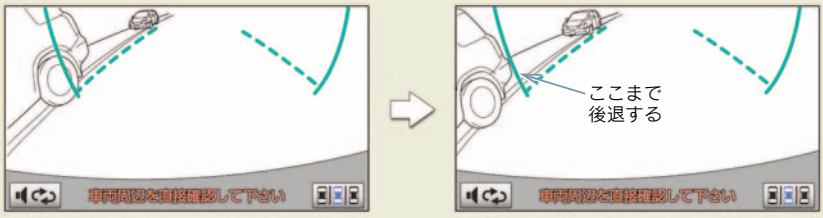
車の動きと画面・音声案内の流れ

操作と画面・音声案内の流れは、手順の **1** ～ **7** をご覧ください。



1 道路と平行で、駐車している車との間隔が約 1 m の位置で止まる。

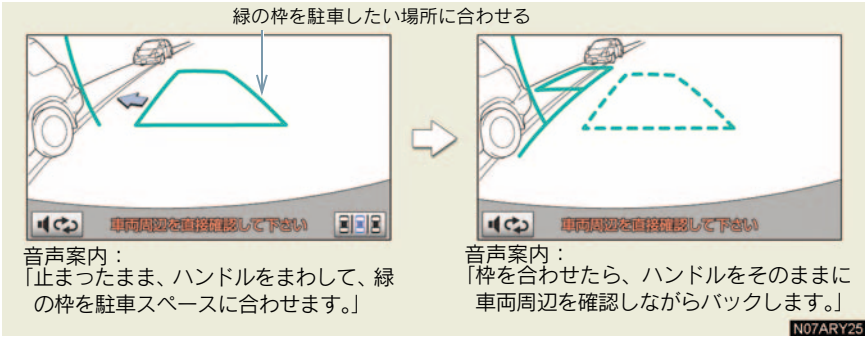
2 緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。



音声案内：「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」

N07ARY24

3 車を止めたまま、ハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。



音声案内：
「止まったまま、ハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」

音声案内：
「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

4 緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。

5 駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。

音声案内：
「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

6 ハンドルをそのままにして距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確かめ後退する。

音声案内：
「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

7 車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了する。

音声案内を中止するには

にタッチします。シフトレバーを R にしたときの画面に戻ります。

- 音声案内をもう一度聞きたいときは ➡ にタッチ

クリアランスソナー装着車は

- 縦列ガイド音声出力中にクリアランスソナーが障害物を感知したとき、クリアランスソナーの音声案内（→ P.413）を優先して出力します。

⚠ 警告

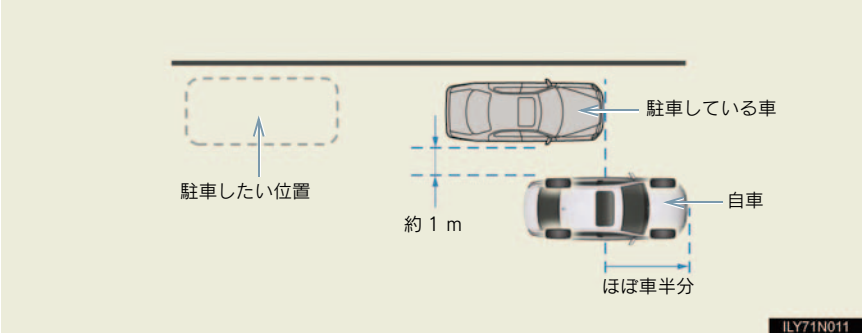
■ 縦列ガイドモードを使うときは

- カーブや坂道など平坦・まっすぐでない道路では正しく表示されないため、使わないでください。
- 必ず車を止めてハンドル操作をしてください。

操作のしかた

1 以下の位置に車を止め、ハンドルをまっすぐにする。

- 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約 1 m の位置
- 駐車している車より車半分ほど前の位置

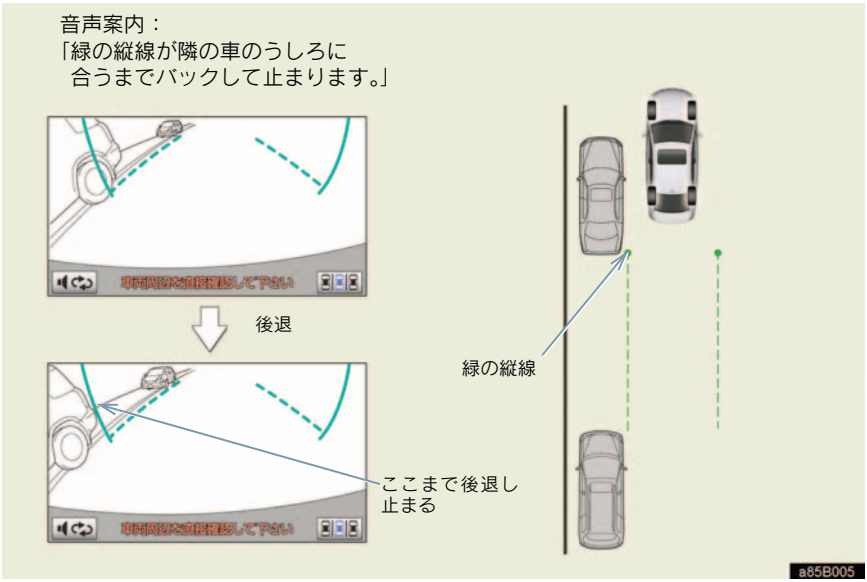


2 シフトレバーを R にする。

3 駐車している車のリヤタイヤより後方が映っていることを確かめ、[DISP] にタッチする。

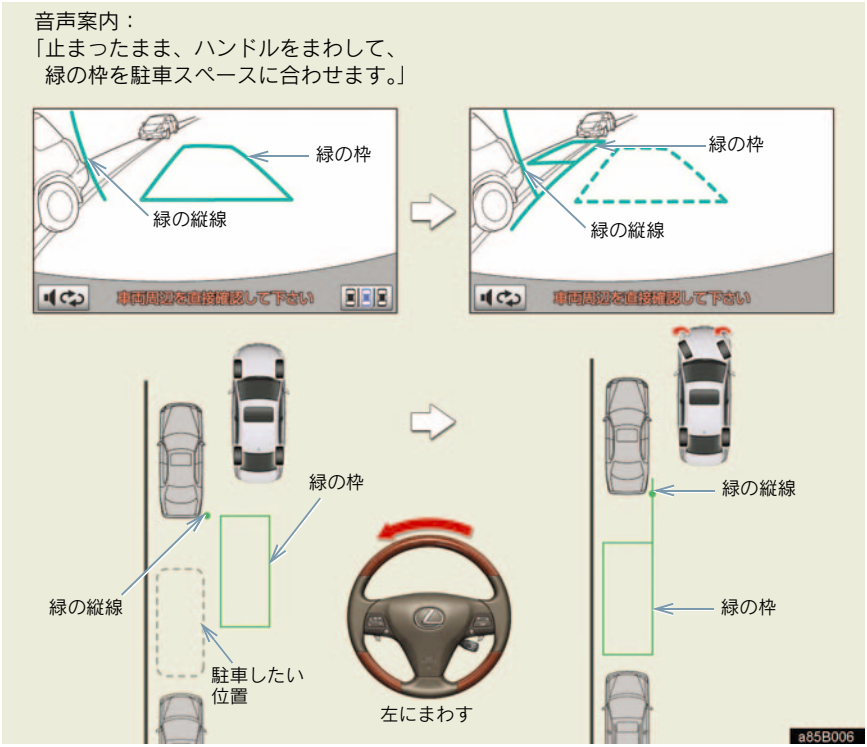
- 映っていないときは車を前進させ位置を調整します。

4 ハンドルをまっすぐにしたまま、音声案内にしたがい緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まる。



- ハンドルをまっすぐにしないで後退すると、次の音声案内まで進むことがあります。そのときは、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、操作しなおしてください。

5 緑の枠が表示されます。音声案内にしたがい、止まったまま、ハンドルをまわして緑の枠を駐車したい位置に合わせる。

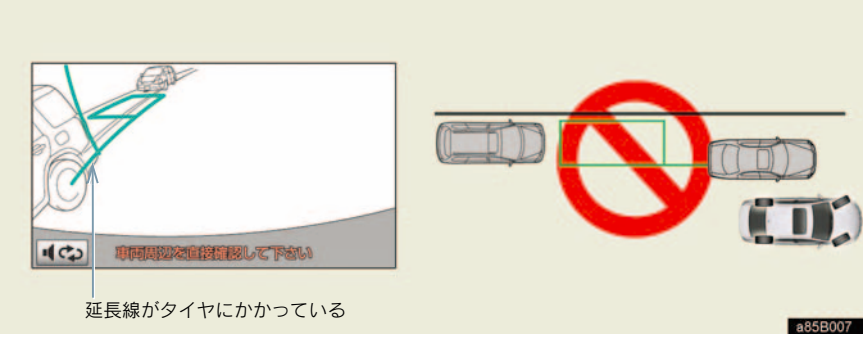


- 左側の駐車スペースに駐車するときは左へ、右側の駐車スペースに駐車するときは右へハンドルをまわします。

⚠ 注意

■ **緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは**

- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確かめてください。緑の枠の中に障害物があるときは、縦列ガイドモードを使うことはできません。
- 必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると、前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。



6 音声案内にしたがい、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

音声案内：
「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

- 後退中にハンドルを操作すると、ガイドが中断します。シフトレバーを R 以外にして、最初から操作しなおしてください。

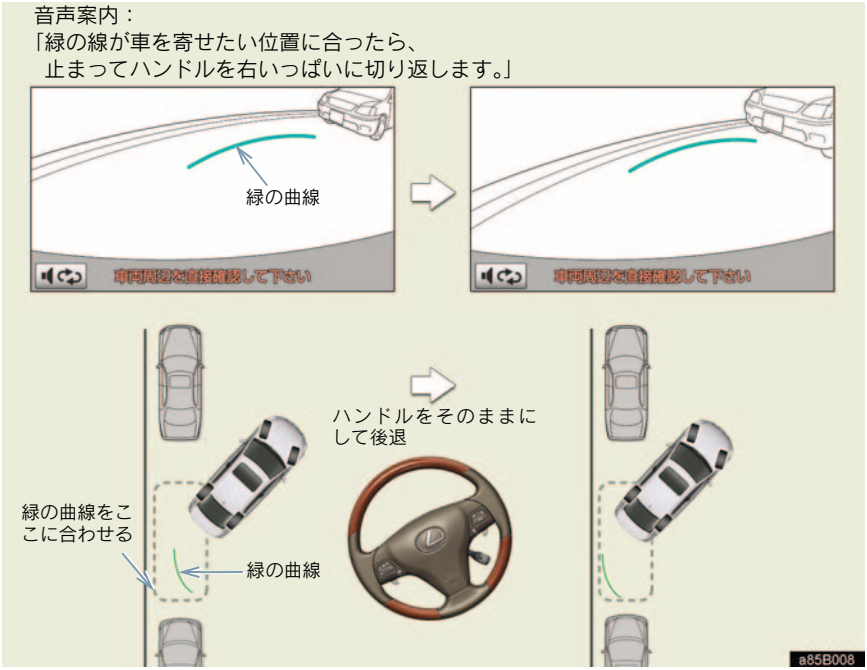
⚠ 注意

■ **後退するときは**

車の前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

7 緑の曲線が表示されたら、音声案内にしたがい、ハンドルをそのままの状態にして、後退する。緑の曲線が駐車したい位置に合ったら止まる。

音声案内：
「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、
止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」



- 左側の駐車スペースに駐車するときは左端の地点へ、右側の駐車スペースに駐車するときは右端の地点に合わせます。

8 車を止めたまま、ハンドルをいっぱいまでまわす。

- 左側の駐車スペースに駐車するときは右へ、右側の駐車スペースに駐車するときは左へハンドルをまわします。

9 画面が切り替わったら、音声案内にしたがいハンドルをそのままの状態にして、後退する。
音声案内：
「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠ 注意

■ 後退するときは

車の前端を前方に駐車している車に接触しないよう注意して、ゆっくり後退してください。

10 車が道路（または路肩）と平行になったらハンドルをまっすぐに戻します。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確かめてゆっくり後退し止まります。
音声案内：
「縦列ガイドを終了します。」

- 車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了します。

クリアランスソナー装着車は

右側の駐車スペースに駐車するときに、クリアランスソナーが障害物を感知すると、緑の縦線がクリアランスソナーの画面表示に隠されてしまうことがあります。このようなときはクリアランスソナースイッチを OFF にし(→P.405)、周囲の安全を直接確かめながら車を操作してください。操作終了後、スイッチを ON にしてください。

「ガイドできません　ハンドルを戻して下さい」が表示されたときは

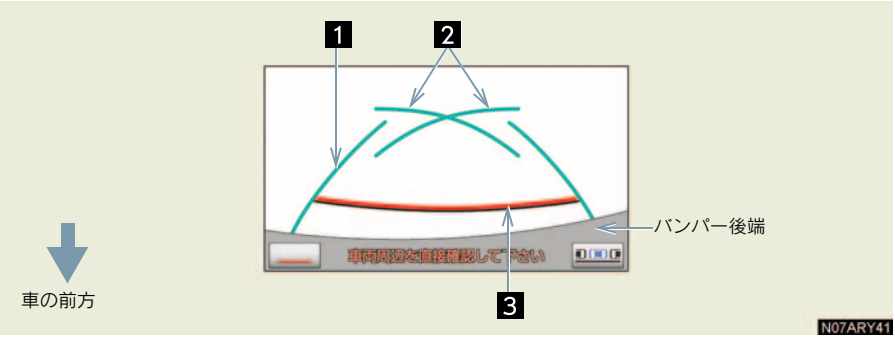
- 縦列ガイドが中断されます。ハンドルを戻してください。
- 枠が正しい駐車位置に合っているにもかかわらず、メッセージが表示されたとき、車が路肩より離れすぎていることが考えられます。隣に駐車している車との間隔（約 1 m）を確認してください。

後退するときは

- ごく低速で後退すると、縦列ガイドの案内がないことがあります。
- 後退を始めると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確かめながら運転してください。
- 後退の速度が速すぎると、縦列ガイドの案内が間に合わないことがあります。

5. 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示。
2 駐車ガイド線	もっとも後方へ小回りしたときの進路の目安を示す。 • 駐車時にハンドルを操作する位置の目安。
3 距離目安線	車の後方の距離を示す。 • バンパー後端から約 0.5 m 先を示す。

⚠ 警告

■ **後退するときは**

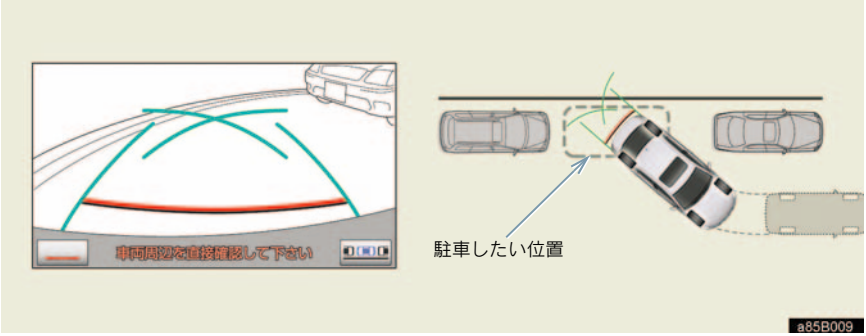
必ず後方や周囲の安全を直接確かめてください。乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。

操作のしかた

1 シフトレバーを R にする。

- 駐車ガイド線表示モードになっていないときは、駐車ガイド線モードにします（→ P.380）。

2 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる。



- 右側の駐車スペースへ駐車するときは、右端に合わせます。

3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

- 右側の駐車スペースへ駐車するときは、左へまわします。

⚠ 注意

■ 後退するときは

車の左前端を、前方に駐車している車に接触しないよう注意してください。

4 車が路肩と平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、最適な位置までゆっくり後退し、駐車を終える。

6. バックガイドモニターの注意点

運転時の注意

後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

バックガイドモニターを使用するときは以下のことをお守りください。

⚠ 警告

■ バックガイドモニターを使用してはいけない状況

- 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
- タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- トランクが完全に閉まっていないとき
- 坂道など平坦でない道路

■ バックガイドモニターを使用するときは

- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例です。道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるか確認してから操作してください。
- バックガイドモニターを過信しないでください。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあります。必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。

■ 外気温が低いときは

画面が以下のようになることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認してください。

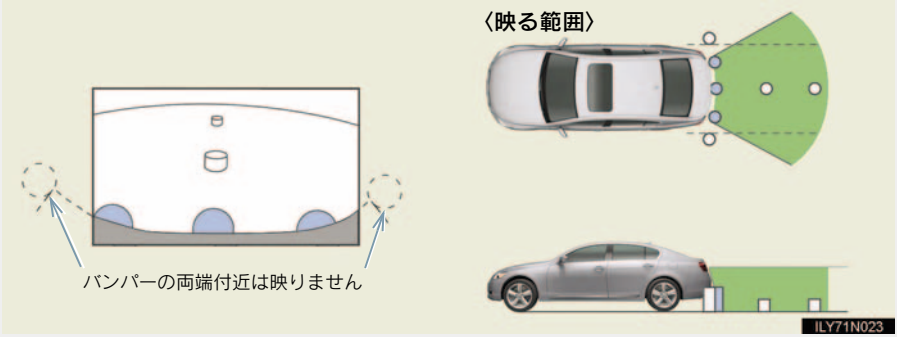
- 画面が暗くなる、映像が薄くなる
- 動いているものの映像が歪む、見えなくなる

■ タイヤを交換するときは

画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがありますので、レクサス販売店にご相談ください。

画面に映る範囲

バックガイドモニターは、バンパー後端から車の後方が映ります。

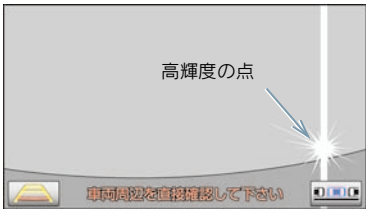


画面に映る範囲について

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

画面について

- 以下のような状況では画面が見にくいことがありますが、故障ではありません。
  - ・夜間など暗いところ
  - ・レンズ付近の温度が高い、または低い
  - ・カメラに水滴がついた
  - ・カメラにすり傷がついた
  - ・雨天時など湿度が高い
  - ・カメラ付近に泥などの異物がついた
  - ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たった



・高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、その点の上下（縦方向）に尾を引く現象が発生することがあります

- バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです（→ P.25）。

カメラ



バックガイドモニターのカメラはナンバープレートの上側にあります。

カメラのお手入れ

カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像を見ることができません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い流してください。

⚠ 注意

■ カメラの取り扱いについて

バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことを必ずお守りください。

- カメラ部に強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりしないでください。レンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラカバーは樹脂でできています。カメラのカバーに有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。

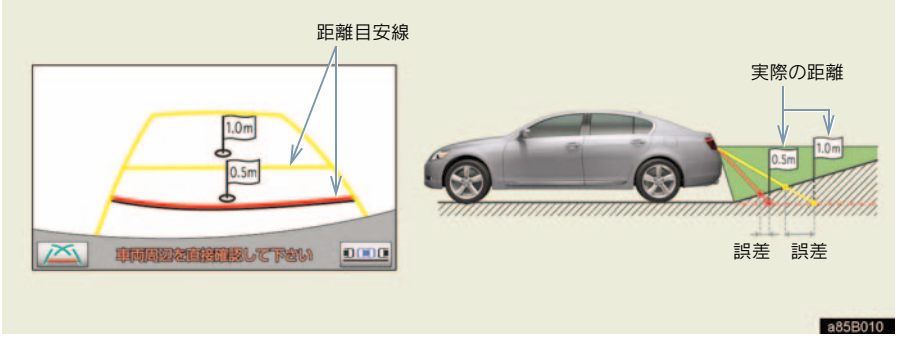
カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障のおそれがあります。お早めにレクサス販売店で点検を受けてください。

画面と実際の路面との誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

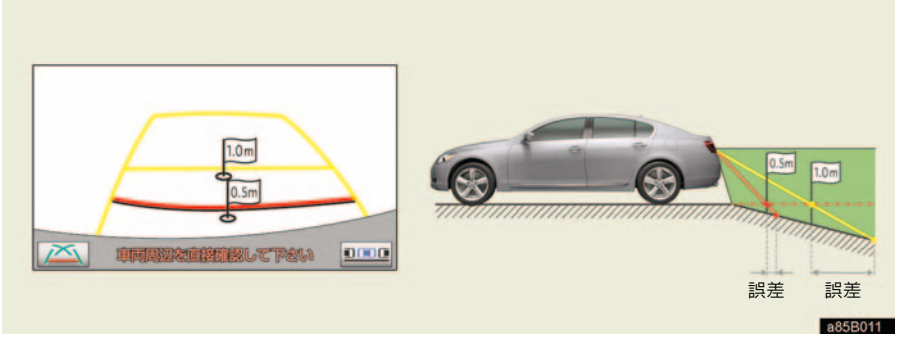
急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



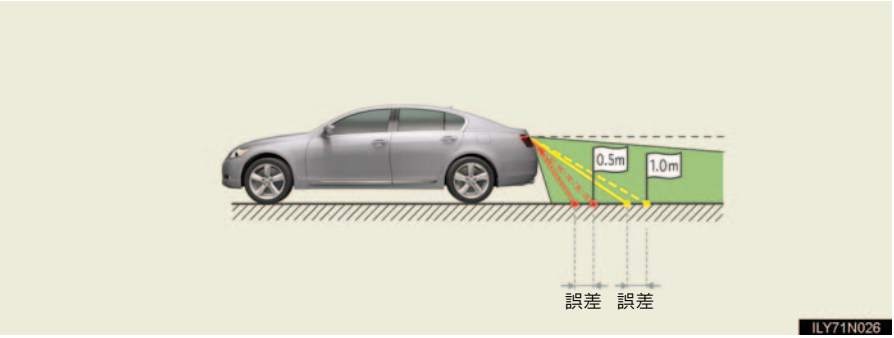
急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

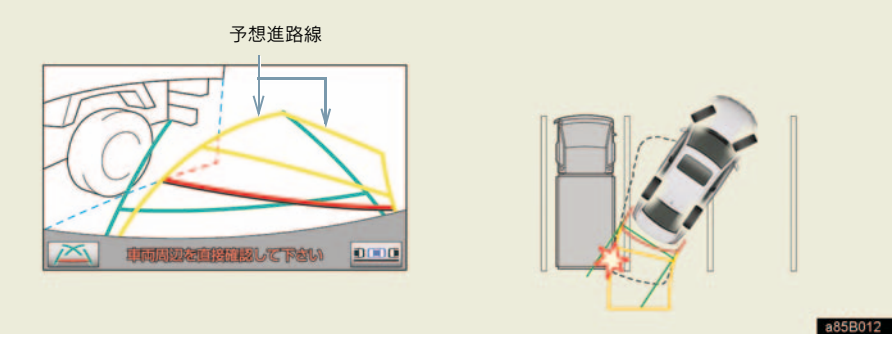


立体物が近くにあるとき

予想進路線・距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

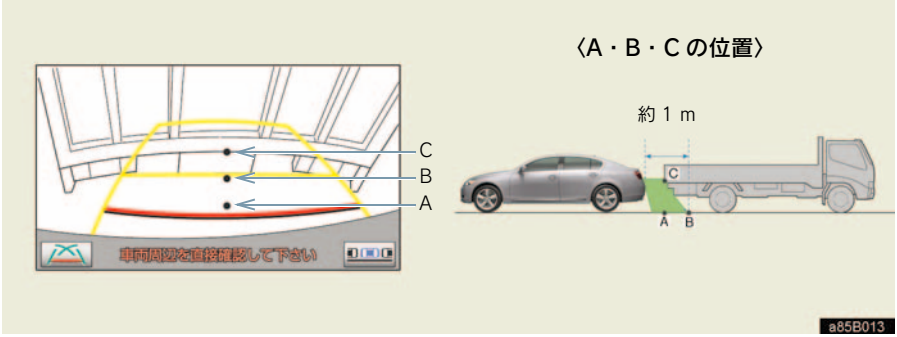
予想進路線が障害物の近くを通るときは

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。

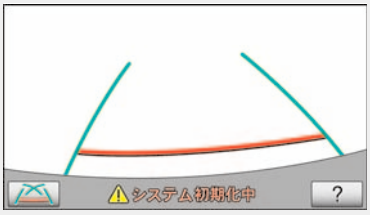


距離目安線が障害物の近くにあるときは

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線により B の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A と C より遠い距離にあります。



システム初期化中画面が表示されたときは

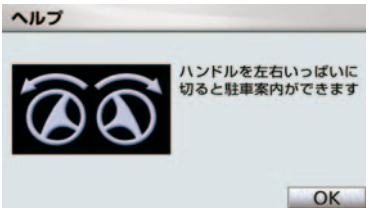


12V バッテリーの取りはずし・取り付け作業・12V バッテリー能力が低下したときなどに「システム初期化中」が表示されます。このとき、以下の処置が必要です。

以下のいずれかの操作をしてください。

- 車を止め、ハンドルを左（または右）いっぱいにまわしたあと、右（または左）にまわす。
- 曲り角・カーブのない道路を前進で約 5 分以上走行する。
  操作終了後通常の画面に戻れば、設定完了です。システム初期化中画面が表示されたままのときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

ヘルプ画面



- システム初期化中画面で、[?] にタッチすると
  ➡ ヘルプ画面が表示されます。画面に表示されている操作終了後、通常の画面に戻れば、設定完了です。ヘルプ画面が表示されたままのときは、レクサス販売店で点検を受けてください。
- [OK] にタッチすると
  ➡ もとの画面に戻ります。

1. クリアランスソナーとは

クリアランスソナーとは

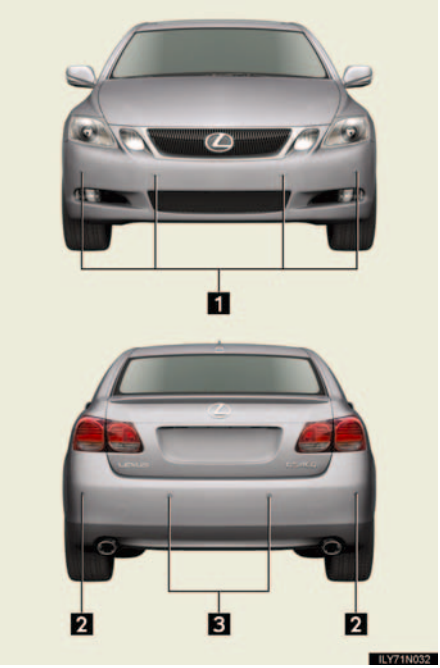
クリアランスソナーは、車両前後のソナーで測定した障害物とお車の距離を、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイとモニター画面の表示、音声案内、ブザー音でお知らせします。

お車の速度が 10 km/h 以下のときにご使用になれます。

必ず周囲の安全を確かめ正しくお使いください。

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

クリアランスソナーの種類



1 デュアルソナー

- 中央 2 個のソナーはフロント正面周辺の、左右のソナーはフロントコーナー部周辺の障害物を感知します。
- デュアルソナーは前方の障害物を感知し、障害物との距離やハンドルの状態により、障害物回避の動作の要否（約 25 cm 以内に障害物が接近するおそれの有無）を判定します。
  それによって画面表示、音声案内やブザーの作動がかわります。

2 リヤコーナーソナー

- リヤコーナー部周辺の障害物を感知します。

3 バックソナー

- リヤバンパー後方の障害物を感知します。

*：グレードなどで異なる装備やオプション装備

クリアランスソナースイッチ



スイッチボックス内のスイッチを押すごとに ON・OFF が切り替わります。

作動中はメーター内にインジケーターが点灯します。

- 以下の状態のときに使用できます。
  - ・GS460 / GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがイグニッション ON モードのとき
  - ・GS450h：“ パワー ” スイッチが ON モードのとき
- クリアランスソナーがONで以下の条件のときに作動します。
  - ・デュアルソナー（フロント正面用）はシフトレバーが P、R 以外の位置で、作動します。
  - ・デュアルソナー（フロントコーナー用）はシフトレバーが P 以外の位置で作動します。
  - ・リヤコーナーソナー、バックソナーはシフトレバーが R の位置で作動します。

GS460/GS350



GS450h



⚠ 警告

■ 走行中の警告

スイッチボックスのふたは必ず閉めてください。
事故や急ブレーキの際に、思わぬけがをするおそれがあります。

マルチディスプレイとモニター画面の表示

センサーが障害物を感知すると、メーター内のマルチディスプレイに表示します。障害物と接触のおそれがあるときは、モニター画面にも表示します。

マルチディスプレイの表示

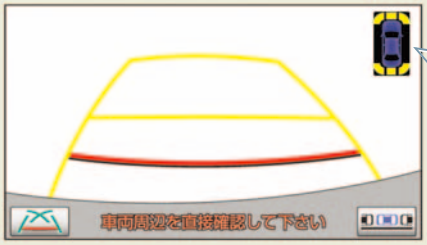


モニター画面の表示



- タイヤマーク表示は、ステアリングをセンター位置から90°以上操作したときにタイヤの操舵方向を表示します。

〈割り込み表示〉





バックガイドモニター表示中にクリアランスソナーが作動すると、モニター画面の右上に割り込み表示します。

- バックガイドモニター表示中の割り込み表示は、タイヤマーク表示とステアリング・ガイドマーク表示を表示しません。

2. クリアランスソナーが作動したとき

距離表示・ブザー

クリアランスソナー作動中は、障害物とのおおよその距離が表示されます。
また、接触のおそれのある障害物を感知したときは、ブザーでお知らせします。

デュアルソナー（フロント、コーナー）

障害物が約 1m 以内に感知されると、作動が開始されます。

- シフトレバーが R のときは、コーナーのみ作動します。

接触の危険性がある場合

障害物までのおおよその距離	マルチインフォメーションディスプレイ表示	画面表示	割り込み表示	ブザー
約 1m ～ 50cm	 （点灯）	 （点灯）	 （遅い点滅）	“ピッ、ピッ、ピッ” （遅い断続音）
約 50cm ～ 37.5cm	 （点灯）	 （点灯）	 （点滅）	“ピッピッピッ” （断続音）
約 37.5cm ～ 25cm	 （点灯）	 （点灯）	 （速い点滅）	“ピピピ” （速い断続音）
約 25cm 以内	 （点滅）	 （点灯）	 （点灯）	“ピー” （連続音）

接触の危険性がない場合

障害物までのおおよその距離	マルチインフォメーションディスプレイ表示	画面表示	割り込み表示	ブザー
約 1m ～ 50cm	 （点灯）	 （点灯）	 （点灯）	—
約 50cm ～ 37.5cm	 （点灯）	 （点灯）	 （点灯）	—
約 37.5cm ～ 25cm	 （点灯）	 （点灯）	 （点灯）	—

リヤコーナーソナー

障害物が約 50cm 以内に感知されると、作動が開始されます。

障害物までのおおよその距離	マルチインフォメーションディスプレイ表示	画面表示	割り込み表示	ブザー
約 50cm ～ 37.5cm	 （点灯）	 （点灯）	 （点滅）	“ピッピッピッ” （断続音）
約 37.5cm ～ 25cm	 （点灯）	 （点灯）	 （速い点滅）	“ピピピ” （速い断続音）
約 25cm 以内	 （点滅）	 （点灯）	 （点灯）	“ピー” （連続音）

⚠ 警告

リヤコーナーソナーは障害物と約 25cm 以内に接近するおそれの有無、ハンドル操作による回避可能の判断を行っていません。後退するときは、必ず車両の後方や周囲の安全を直接確認しながらゆっくり運転してください。

バックソナー

障害物が約 1.5m 以内に感知されると、作動が開始されます。

障害物までのおおよその距離	マルチインフォメーションディスプレイ表示	画面表示	割り込み表示	ブザー
約 1.5m ～ 60cm	 （点灯）	 （点灯）	 （遅い点滅）	“ピッ、ピッ、ピッ” （遅い断続音）
約 60cm ～ 45cm	 （点灯）	 （点灯）	 （点滅）	“ピッピッピッ” （断続音）
約 45cm ～ 35cm	 （点灯）	 （点灯）	 （速い点滅）	“ピピピ” （速い断続音）
約 35cm 以内	 （点滅）	 （点灯）	 （点灯）	“ピー” （連続音）

⚠ 警告

バックソナーは障害物と約 25cm 以内に接近するおそれの有無、ハンドル操作による回避可能の判断を行っていません。後退するときは、必ず車両の後方や周囲の安全を直接確認しながらゆっくり運転してください。

ブザーについて

- 障害物を車両前後の複数カ所で同時に感知したときは、以下のようにブザーがかわります。
  - ・すでに、車両前方または後方で障害物を約25 cm以内に感知している状態(「ピー」:連続音)で、もう一方の部位で新たに障害物を感知すると、ブザーが「ピピピピピピ ピー」(断続音 6 回+連続音)にかわり、繰り返し鳴り続けます。
  - ・すでに、車両前方または後方で障害物を約25 cm以内に感知している状態(「ピー」:連続音)で、もう一方の部位も約 25 cm 以内に障害物を感知すると、ブザーが「ピピ ピー」(断続音 2 回+連続音)にかわり、繰り返し鳴り続けます。
- ブザーの音量は変更することができます。(→ P.415)

ステアリング・ガイドマーク表示

ハンドル操作によって障害物を回避できるとき、画面とマルチインフォメーションディスプレイにステアリング・ガイドマークが表示されます。
矢印の方向へハンドルをまわしてください。

〈マルチディスプレイ〉



〈モニター画面〉



- ステアリング・ガイドマーク表示は、ハンドル操作で障害物を回避できるときのみ表示されます。
- タイヤマーク表示は、ハンドルをセンター位置から 90° 以上まわしたときに、タイヤの操舵方向を表示します。

⚠ 警告

ステアリング・ガイドマーク表示（矢印）は、障害物に対するおよその目安を示したものであり、指示ではありません。前進・後退するときは、必ず車両の周囲の安全を直接確認しながらゆっくり運転してください。

音声案内

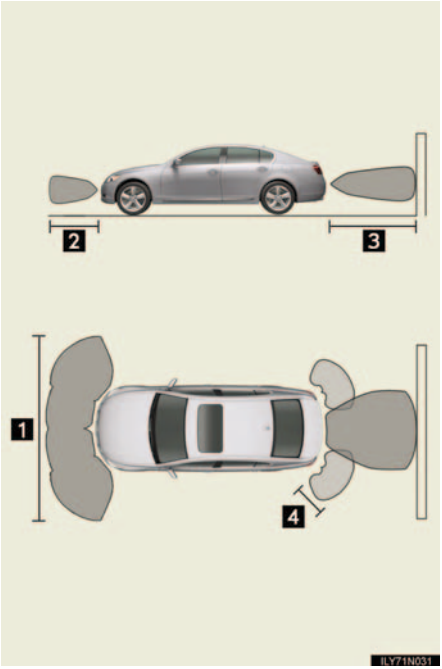
障害物を感知すると、障害物の位置が音声案内されます。

障害物を感知したセンサー	音声案内
右前 1ヵ所（デュアルソナー右側）	「右前です」
左前 1ヵ所（デュアルソナー左側）	「左前です」
右後 1ヵ所（リヤコーナーソナー右側）	「右後です」
左後 1ヵ所（リヤコーナーソナー左側）	「左後です」
正面 1ヵ所（デュアルソナー前側）、または 前 2ヵ所以上（デュアルソナー 2ヵ所）	「前です」
バックソナー 1ヵ所、または 後 2ヵ所以上（リヤコーナーソナー、バックソナー 2ヵ所以上）	「後です」
右前後 2ヵ所（デュアルソナー右側とリヤコーナーソナー右側）	「右前後です」
左前後 2ヵ所（デュアルソナー左側とリヤコーナーソナー左側）	「左前後です」
• 対角 2ヵ所（デュアルソナー右側とリヤコーナーソナー左側、またはデュアルソナー左側とリヤコーナーソナー右側） • シフトレバーが R の位置でコーナー部 3ヵ所以上	「前後です」

- 障害物を回避する動作が必要なとき（約25 cm以内に障害物が接近するおそれのある場合）のみ音声案内を行ないます。
- 音声案内の音量は変更、または消すことができます（→ P.70）。
- 障害物の感知箇所が増えたときは、増えた状態で音声案内されます。たとえば、右前に障害物が感知されているときに、あらたに左前に障害物を感知したときには「前です」と案内します。感知箇所が減ったときには、音声案内されません。
- 音声案内は障害物を感知し始めたときに 1 回案内します。（障害物・条件によっては何度か案内することがあります）。

障害物を感知する範囲

各センサーの感知範囲



1 約 300 cm（3 m）

2 約 100 cm（1 m）

3 約 150 cm（1.5 m）

4 約 50 cm（0.5 m）

- センサーが感知できる範囲は左図の範囲のみです。障害物がセンサーに近づきすぎると感知できません。
- 異常画面が表示されているときは、デュアルソナーの感知範囲が約 100 cm（1 m）から約 50 cm（0.5 m）に短縮されます。

3. クリアランスソナーの設定

モニター表示・ブザーの設定

ブザーの音量と、モニター表示の作動条件をかえることができます。

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **運転支援** にタッチ。

3 **［クリアランスソナー設定］** にタッチ。

ブザーの音量を変更するには

ブザー音量設定の **［小］**・**［■］**・**［中］**・**［■］**・**［大］** にタッチ。



表示設定

障害物が感知されたとき、自動的にクリアランスソナー画面が表示されるかどうか設定することができます。

［すべて表示］
…… ソナーが障害物を感知したとき、画面表示を行う

［ガイド表示］
…… 回避動作が必要なとき（約 25 cm 以内に接近するおそれのあるとき）、画面表示を行う

［ソナー表示なし］
…… クリアランス画面の表示を行わない（マルチディスプレイの表示、音声案内は行う）

4. 異常時の画面表示

クリアランスソナー異常時の画面表示

- 障害物を感知していないときに、ソナーの異常が発生した場合は、表示と同時に異常を知らせるブザーが約 7 秒間鳴ります。
  ・障害物を感知しているときや、続けて別のソナーの異常が発生したときにはブザーは鳴りません。
- 異常を知らせる表示が出ていても、以下のときは表示されなくなります。
  ・他のモードに画面を切り替えたとき
  ・クリアランスソナーのメインスイッチを OFF にしたとき
  ・車速が約 15 km/h 以上になったとき。車速が約 8 km/h 以下になると再び表示されます。
- 異常画面が表示されているときは、デュアルソナーの感知距離が短くなります。このとき、障害物回避の動作の要否（約 25 cm 以内に障害物が接近するおそれの有無）は行いません。

センサー部に雪氷や泥などが付着しているとき

〈マルチディスプレイ〉



〈モニター画面〉

● 通常表示



● 割り込み表示



- 障害物を正常に感知することができないソナーの位置が表示されます。ソナー部に付着している異物を取り除いてください（画面は左前側のときです）。
- ソナー部の汚れを取り除いても表示が出るとき、ソナー部が汚れていなくても表示が出るときはソナーの異常が考えられます。レクサス販売店で点検を受けてください。

センサーが故障しているとき

〈マルチディスプレイ〉



〈モニター画面〉

● 通常表示



● 割り込み表示



a85c005

● 異常のあるソナーの位置が表示されます。レクサス販売店で点検を受けてください（画面は左前側のときです）。

ステアリング・ガイドマーク表示機能に異常があるとき

ステアリング中立位置が不明のとき（ステアリング・ガイドマーク表示点灯）

12V バッテリーの交換などで 12V バッテリー端子を再接続したときは、ステアリング・ガイドマーク表示の矢印が両方向とも表示されます。このとき、ステアリングセンサーを初期化する必要があります。

〈マルチディスプレイ〉



〈モニター画面〉



a85c006

● 以下のどちらかの方法でステアリングセンサーの初期化を行なってください。
・お車を止めた状態で、ステアリングを左へいっぱいにまわしたあと、右いっぱいにまわします（左右どちらが先でも可能です）。
・できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約 5 分間以上走行します。

● ステアリング・ガイドマーク表示が消えれば、ステアリングセンサーの初期化は終了です。

● ステアリング・ガイドマーク表示が消えないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

ステアリング情報が正常に受信できないとき（ステアリング・ガイドマーク表示点滅）

ステアリングセンサーや VGRS（バリアブルギヤレシオステアリング）からのステアリング情報を正しく受信できないときは、ステアリング・ガイドマーク表示が点滅します。

表示されたときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

〈マルチディスプレイ〉



〈モニター画面〉



- ステアリング・ガイドマーク表示が点灯、または点滅しているときはデュアルソナーの最大感知範囲が約 100 cm から約 50 cm へと短くなります。
- ステアリングセンサー異常時の表示はクリアランスソナー感知表示、またはクリアランスソナー異常時に合わせて表示します。

5. クリアランスソナーの注意点

使用時の警告と注意

⚠ 警告

■ 使用時の警告

- ● ソナーの感知範囲、作動速度には限界があります。車を前進・後進するときは、必ず車両周辺（特に車両側面など）ソナー感知範囲外の安全を確認し、ブレーキで車速を十分に制御し、ゆっくり運転してください。
- ・ ソナーの感知範囲は車両前部と後部のバンパー周辺に限られます。
- ・ 障害物の形状・条件によっては感知できる距離が短くなることや、感知できないことがあります。
- ・ 障害物を感知してから、表示やブザーが出るまでに多少時間がかかります。低速走行時の場合でも表示やブザーが出る前に、障害物まで約 25 cm 以内に接近するおそれがあります。
- ・ 路面状況（雨、砂利など）により、制動距離が変化します。
- ● ソナーが感知する範囲にはアクセサリー用品などを取り付けないでください。クリアランスソナーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ● 以下のとき、クリアランスソナーが正常に作動しないことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。注意して運転してください。
- ・ ソナーに氷、雪、泥などが付着したとき（取り除けば、正常に復帰します）。
- ・ ソナー部が凍結したとき（溶ければ、正常に復帰します）。
  とくに低温時には凍結などにより異常表示が出る、障害物があっても感知しないことがあります。
- ・ ソナーを手などでふさいだとき
- ・ 車両姿勢が大きく傾いたとき
- ・ 炎天下や寒冷時
- ・ 凸凹道、坂道、砂利道、草むら走行時など
- ・ 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、他車のクリアランスソナーなどの超音波を発生するものが近づいたとき
- ・ どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
- ・ 市販のフェンダーポール、無線機アンテナを車につけたとき
- ・ 背の高い縁石や直角の縁石に向かって進んだとき
- ・ 標識等の物体によっては感知距離が短くなります
- ・ バンパー真下付近は感知しません
  センサーより低い物体や細い杭などは、一度感知しても接近すると突然感知しなくなることがあります。
- ・ ソナーに障害物が近づきすぎたとき
- ・ レクサス純正品以外のサスペンションを取り付けたとき
- ・ 字光式ナンバープレートを取り付けたとき

⚠ 警告

■ 正確に感知できないことがある障害物

● 以下のような物は感知しないことがあります。注意して運転してください。
・ 針金、フェンス、ロープなどの細いもの
・ 綿、雪などの音波を吸収しやすいもの
・ 鋭角的な形のもの
・ 背が高く上部が張り出しているもの
・ 背の低いもの

⚠ 注意

■ 使用時の注意

● 以下のとき、ソナーの異常などにより装置が正常に作動しなくなっているおそれがあります。レクサス販売店で点検を受けてください。
・ スイッチを ON にしてもブザーが鳴らないとき
・ 障害物を感知していない状態で、クリアランスソナーの作動表示が点滅し、ブザーが鳴ったとき
・ ソナー部付近に物をぶつけたときや、たたくなどの強い衝撃を与えたとき
・ バンパーをぶつけたとき
・ ブザー音がしないのに表示が点灯したままのとき
● タイヤをメーカー指定以外のサイズにかえると、ハンドル操作を正しく感知できなくなります。必ずメーカー指定のサイズをご使用ください。

■ 洗車時の注意

● 高圧洗車機を使用して洗車するときは、ソナー部に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、正常に作動しなくなるおそれがあります。
● スチームを使用した洗車機などで洗車するときは、スチームをソナー部に近づけすぎないようにしてください。スチームにより、正常に作動しなくなるおそれがあります。

8

ETC システム

1 ETC システム

1. ETC システムについて 422

ETC システムの概要 422
ETC を利用する前に 423

2. ETC ユニットの使い方 424

ETC ユニット 424
ETC カード 425
ETC カードを挿入するには 425
ETC カードを抜くには 426
有効期限切れ通知 427
車両走行中の ETC ユニットの表示と音声案内について 427
ETC ユニットでの利用履歴の確認 ... 429
ETC ユニットの音量調整 429

3. ETC 画面の使い方 431

ETC 画面の表示 431
ETC 割込表示 432
ETC マーク表示 432
履歴表示 432
統一エラーコードの表示 433
ETC 登録情報の表示 433
ETC の通知設定 433

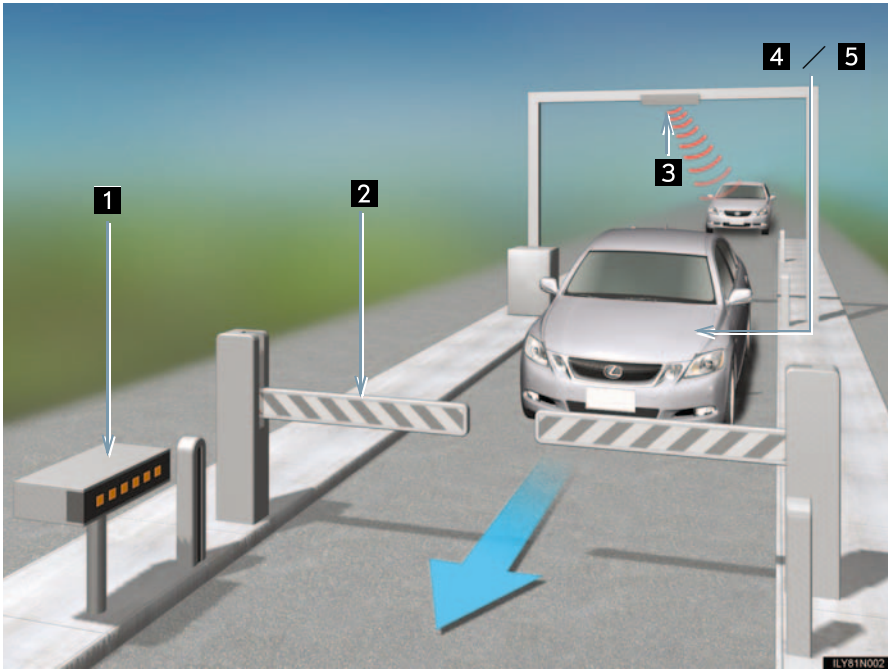
4. エラーコードについて 435

統一エラーコード一覧 435
記録されている統一エラーコードの確認方法 437

1. ETC システムについて

ETC システムの概要

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置と車両の ETC ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。



1 路側表示器	料金所の ETC レーンに設置されている。 • 進入車両に対し、メッセージを表示します。
2 発進制御装置（開閉バー）	料金所の ETC レーンに必要に応じて設置されている。 • 通過車両の発進・停止を制御するもので、通信が正常に行われると開きます。
3 路側無線装置	料金所の ETC レーンに設置されている。 • 料金精算のため、車両の ETC ユニットとの通信を行うためのアンテナです。
4 ETC ユニット	ETC カードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器。
5 ETC カード	ETC ユニットに装着する IC チップを搭載した ETC ユニット用カード。 • IC チップに料金精算に必要なデータを保持します。

ETC を利用する前に

ETC システムを利用する際には、次の点に注意してください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に　ETC カードの抜き差し、および ETC ユニットの操作を極力しないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。
- 以下のとき、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  ・ETC カードが挿入されていないとき
  ・ETC カードの有効期限が切れているとき
  ・ETC レーンへの進入速度が速すぎるとき

⚠ 注意

その他、ETC ユニットを用いたサービス（スマート IC など）には、様々な制約があります。サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。

ETC カードを挿入する前

⚠ 警告

ETC カードの有効期限切れにご注意ください。ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。お手持ちの ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。

ETC カードを挿入した後

⚠ 警告

- ETC を利用する際は、あらかじめ ETC カードが確実に ETC ユニットに挿入されていることと、ETC ユニットが正常に作動していることを確認してください。開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ユニットが ETC カードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前での ETC カードの挿入はエラーの原因となる場合があります。

料金所を通過するときは

⚠ 警告

- ETC レーンの進入は、十分な車間距離をとり、約 20km/h 以下の安全な速度で進入してください。
- ETC レーンに設置されている開閉バーは、ETC ユニットと路側無線装置の間の通信、あるいは ETC ユニットと ETC カードとの通信が正常に行われなかった場合は、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC レーンを通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。

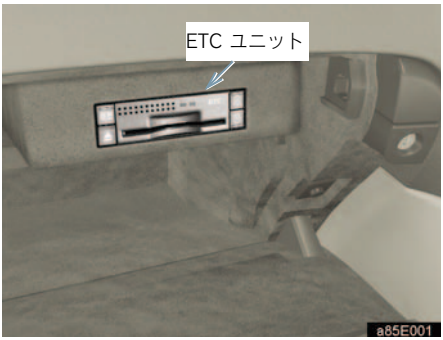
2. ETC ユニットの使い方

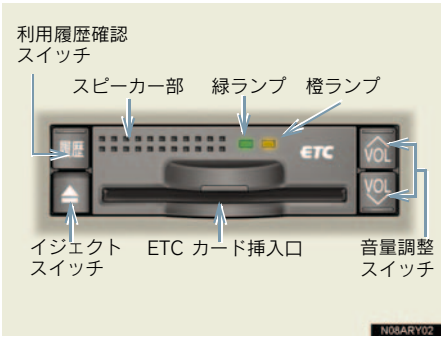
ETC ユニット

グローブボックスの中にあります。以下のようにすると、ETC ユニットの電源が入ります。

- GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ”スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする
- GS450h：“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにする

- 初めてETCシステムをご利用される前に、ETC ユニットのセットアップ手続きが必要です。レクサス販売店にご相談ください。（セットアップ手続きには別途費用が発生します。）





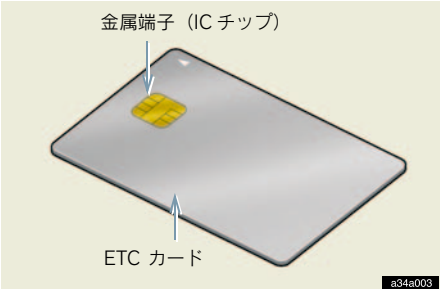
⚠ 注意

- 路側無線装置との通信の妨げにならないよう、ETC ユニットのアンテナ（インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。）上方には物を置かないでください。
- ETC ユニットの内部に異物などを入れないでください。ETC ユニットが故障するおそれがあります。
- ETC ユニットに衝撃を与えないでください。ETC ユニットが、故障・破損するおそれがあります。
- 濡れた手で ETC ユニットに触れたり、水（液体など）を付着させないでください。ETC ユニット内部に水が入り、故障・破損するおそれがあります。
- よごれたときは、柔らかい乾いた布でよごれをふき取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどは絶対に使用しないでください。ETC ユニットが変形・故障する場合があります。
- 車両 1 台に対して複数の ETC ユニットを取りつけると、ゲートの開閉バーが開かないことがあります。

- 本製品は電波法の基準に適合しています。製品に貼りつけられているシールはその証明ですので、はがさないでください。また、本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- お車のナンバープレートが変更になった場合は、再度 ETC ユニットのセットアップ手続きが必要になりますので、レクサス販売店にご相談ください。
- フロントガラスのよごれや積雪がひどい場合は、それらを取り除いてください。

ETC カード

ETC カードはお客様にて、別途お申し込みが必要です。



警告

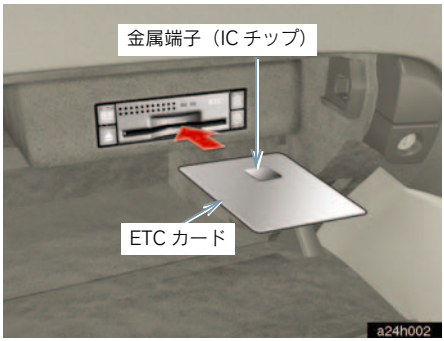
- ETCカードの取り扱いについては、ETCカード発行会社の提示する注意事項にしたがってください。
- ETC カードには有効期限があります。有効期限内の ETC カードをご利用ください。
- セロハンテープ・シールなどが貼ってある ETC カードや金属端子（IC チップ）がよごれている ETC カードは使用しないでください。
  ETC ユニットが正常に作動しなくなったり、ETC カードが取り出せなくなるなど、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

ETC カードを挿入するには

1 エンジン／ハイブリッドシステムを始動する。

- ETC ユニットの電源が入り、緑ランプと橙ランプが同時に点灯し、しばらくすると消灯します。

2 グローブボックスを開け、図のように正しい挿入方向で、ETC カードを ETC ユニットにしっかり差し込む。



- 「ピッ」とブザー音が出力され、緑ランプが点滅します。

3 ETC カードが認証される。

▶正しく認証された場合

音声案内

「ポーン ETC カードが挿入されました」

画面表示

「ETC カードが挿入されました」

ETC ユニット

緑ランプが点灯したまま。

＊ ETC システムを利用するときは、この状態でご利用ください。
エンジン／ハイブリッドシステム始動後、すぐに ETC カードを挿入すると音声案内および画面表示がされないことがあります。

▶正しく認証されなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。（→ P.435）

4 グローブボックスを閉める。

⚠ 警告

- 緑ランプが点滅中は ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- ETC ユニットや ETC カードにエラーが発生した場合は、橙ランプが点滅します。ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。状況に応じて、次のように対応してください。
  - 統一エラーコード〔01 ～ 07〕が画面に表示された場合は、「統一エラーコード一覧」（→ P.435）に記載されている対応方法にしたがってください。
  - エンジン／ハイブリッドシステム始動時にエラーが発生した場合は、いったんエンジンを停止させ、再度始動してみてください。それでもエラー表示が続くときは、レクサス販売店で点検を受けてください。
  - ETC カード挿入時にエラーが発生した場合は、いったん ETC カードを抜き、挿入方向を確認して再度差し込んでみてください。それでもエラー表示が続くときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

- 橙ランプが点灯しているときは、ETC ユニットのセットアップ手続きができていないので使用できません。
- 有効期限切れや解約済みの ETC カードを ETC ユニットに挿入してもエラー表示はされませんが、開閉バーは開きません。
- ETC カードを挿入すると、情報画面・G-Link画面にETCマークが表示されます。（→ P.432）

ETC カードを抜くには

1 車を停車し、エンジンを停止させる前に ETC ユニットのイジェクトスイッチを押す。



- ETC カードを抜く前に、エンジンを停止すると、カード抜き忘れをお知らせする音声案内が、ETC ユニットより出力されます。（→ P.427）

2 ETC ユニットから ETC カードを抜く。

⚠ 注意

ETC カードを放置してお車から離れないでください。車内の温度上昇により、ETC カードが変形したり、ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

- ETC カードを放置してお車から離れないでください。ETC カードが盗難にあうおそれがあります。

■ カード抜き忘れ警告

ETC カードを抜く前に、エンジンを停止すると、ETC ユニットから「ピー カードが残っています」と音声が出力されます。

- ETC ユニットの音声案内を中止（音量 0）に設定した場合は、「ピー」とブザー音のみ出力されます。
- カード抜き忘れ警告は、する／しないを選択することができます。
- 設定する場合は、車を停車し、ETC ユニットに ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で、履歴 と VOL を同時に約 2 秒間押し続けます。操作をするごとにする／しないが切り替わり（ETC ユニットから「ピッピッ」と音がします）、以後選択した設定が保持されます。
- なお、この設定は通知設定画面（→P.433）でも行えます。

有効期限切れ通知

ETC カードを挿入したとき、または ETC カード挿入状態で以下の状態にすると、有効期限切れ通知が行われます。

- GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ”スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする
- GS450h：“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにする

▶有効期限まで 1ヶ月以内の場合

音声案内

「ポーン ETC カードの有効期限は今月末です　カードをお確かめください」

画面表示

「ETC カードの有効期限は今月末です　カードをお確かめください」

▶有効期限切れの場合

音声案内

「ポーン ETC カードの有効期限が切れています」

画面表示

「ETC カードの有効期限が切れています」

※ エンジン／ハイブリッドシステム始動後、すぐに ETC カードを挿入すると音声案内および画面表示がされない場合があります。

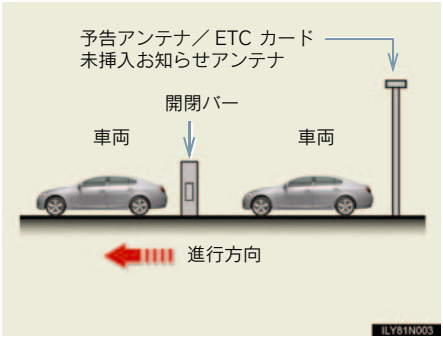
⚠ 警告

有効期限切れETCカードでは、開閉バーは開きません。有効期限内の ETC カードをご利用ください。

車両走行中の ETC ユニットの表示と音声案内について

走行中は、次のように ETC ユニットのランプ表示と通知が行われます。ただし、運転者は走行中にランプ表示を見ないでください。

■ ETC ゲート（入口）、検札所、予告アンテナ、ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したとき



▶通信が正常に行われた場合

■ ETC ユニット

ランプ表示　：緑ランプ点灯したまま

通知音※　　：「ピンポン」

※ ETC　カード未挿入お知らせアンテナを通過したときは通知されません。

▶通信が正常に行われなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。（→ P.435）

■ ETC ゲート（出口／精算用）を通過したとき



▶通信が正常に行われた場合

■ ETC ユニット

ランプ表示　：緑ランプ点灯したまま

通知音　　：「ピンポン」

通行料金が画面表示と音声で案内されます。

▶通信が正常に行われなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。（→ P.435）

⚠ 警告

- ETC ゲート進入時は、十分減速してください。進入速度が速すぎると、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ゲート通過時は、ETC ゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。
- ETC ゲートの開閉バーが開かない場合は、料金所係員の指示にしたがってください。
- その他、道路事業者の発行する利用方法にしたがってください。
- ETC ゲート、検札所、予告アンテナ、ETC カード未挿入お知らせアンテナ付近では、ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 必ず、ETC ゲート（入口）で使用した ETC カードで、ETC ゲート（出口／精算用）または検札所を通過してください。

- 道路側システムにより通信が正常に行われた場合、１つの ETC ゲートで２回通知されることがあります。
- 予告アンテナは、料金所の手前に設置され、ETC ユニットと通信し、ETC ゲートを利用できるかどうかを ETC ユニットを通じて運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
- ETC　カード未挿入お知らせアンテナは、料金所の手前に設置され、ETC ユニットと通信し、ETC ユニットに正しく ETC カードが挿入されていない場合に、ETC ユニットを通じて運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
- 予告アンテナ・ETC　カード未挿入お知らせアンテナは、道路側のシステムにより、設置されている場合と設置されていない場合があります。

- ETC カードを挿入していないときに予告アンテナや、ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過した場合は、橙ランプが点滅し、「ポーン ETC ゲートを通過できません」または「ポーン ETC カードが挿入されていません」と案内されます。
これは ETC システムが利用できないことをお知らせするもので、ETC ユニットが故障したわけではありません。
- 通行料金の画面表示・音声による案内は、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の画面表示・音声による案内は行われない場合があります。

ETC ユニットでの利用履歴の確認

有料道路の利用日および通行料金を音声で確認できます。
ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で停車中に利用できます。

利用履歴確認スイッチを押す。



- 最新の利用履歴が音声で案内されます。
- 押すごとに、古い利用履歴に切り替わります。なお、最も古い利用履歴の次は、最新の利用履歴に切り替わります。
- 案内終了後、約 1 秒以上たってからスイッチを押した場合は、最新の利用履歴から案内されます。

警告

ETC ゲート付近では、利用履歴の確認を行わないでください。路側無線装置と通信ができなくなるなど、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 利用履歴は ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）
- 利用履歴の最大記録件数を超えた場合は、最も古い利用履歴が消去されます。
- 利用履歴がない場合は、「利用履歴はありません」と案内されます。
- 利用日の情報が正しくない場合は、「利用日付は不明です」と案内されます。
- 通行料金の情報が正しくない場合は、「料金は不明です」と案内されます。
- 利用履歴は画面でも確認することができます。（→ P.432）

ETC ユニットの音量調整

ETC ユニットから出力される音声案内の音量を調整することができます。

音量調整スイッチを押す。

▶大きくするとき
➡ スイッチの VOL を押す。

▶小さくするとき
➡ スイッチの VOL を押す。



- 音量 1 ～ 8 に調整したとき
  音声案内 :「音量○○です」
- 音量 0（消音）に調整したとき
  音声案内 :「音声案内を中止します」
- ETC ユニットの音量調整は以下のような案内に有効です。
  ・未セットアップ状態の通知
  ・エラー発生時のブザー音
  ・カード抜き忘れ警告
  ・ETC ユニットでの利用履歴の確認
  ・ETC ユニットの音量調整時の案内
- 音声案内を中止（音量0）に設定してあっても、エラー発生時には音量1で出力されます。
- ETC ユニットが未セットアップ状態（セットアップ手続きをしていない状態）の通知は、ETC ユニットを消音（音量 0）にすると出力されません。

3. ETC 画面の使い方

ETC 画面の表示

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
情報画面

1 [ETC] にタッチ。



2 ETC 画面が表示される。



ETC カードメッセージ

現在の ETC システムの状態が表示されます。

メッセージ	状　態
ETC カード確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC システムに何らかの異常が発生しています。
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていません。
未セットアップ	ETC ユニットがセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC ユニットがセットアップされました。

ETC 割込表示

有料道路にある ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。



- 通知設定画面の ETC 割込表示(→ P.433)を「しない」に設定しても、ナビ詳細設定の料金案内(→ P.99)を「する」に設定してあると、料金所手前での料金案内は実施されてしまいます。
- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
  また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。

ETC マーク表示

ETC カードを挿入すると、スタート画面に ETC マークが表示されます。



- ETC マーク表示は、ETC ゲートを通過できることを表してはいません。また、有効期限切れのカードを挿入しても表示されます。

履歴表示

画面外の **情報・G** または **INFO**
↓
(**情報**)
↓
ETC
↓
ETC 画面

1 **[履歴情報表示]** にタッチ。

2 履歴表示を切り替える。

[最新]… 最新の履歴にもどる

[詳細]… 利用区間を表示する



⚠ 警告

ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができなくなるなど、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 表示させることができる履歴は、ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。(最大 100 件)
- 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

統一エラーコードの表示

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
ETC
↓
ETC 画面

エラー発生時、［登録情報表示］にタッチ。

ETC 登録情報の表示

お客様の車の ETC ユニットに登録された情報が表示されます。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(情報)
↓
ETC
↓
ETC 画面

［登録情報表示］にタッチ。

- エラー発生時は最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

ETC の通知設定

1 画面外の 設定・編集 または SET UP を押す。

2 ETC にタッチ。

3 ［通知設定］にタッチ。



4 各項目の［する］または［しない］にタッチし、［完了］にタッチ。

次の設定を変更することができます。

項　目	内　容
ETC 割込表示	「ETC 割込表示」 (→ P.432)
ETC 音声案内	ETC システムを利用するときに、音声が出力されます。
ACC オン時 警告表示	以下のようにしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。 • GS460 / GS350 :“ エンジン スタート ストップ ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする • GS450h :“ パワー ” スイッチをOFFからアクセサリーモードまたは ON モードにする
ACC オン時 警告音声案内	以下のようにしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。 • GS460 / GS350 :“ エンジン スタート ストップ ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする • GS450h :“ パワー ” スイッチをOFFからアクセサリーモードまたは ON モードにする
カード 抜き忘れ警告	“ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／“ パワー ” スイッチを OFF にしたとき、カードの抜き忘れを ETC ユニットからの音声で警告します。なお、ETC ユニットの音声案内の音量を0に設定したときは、「ピー」とブザー音だけで警告します。

● 通知設定画面で ETC 割込表示を「しない」に設定すると、エラー発生時に統一エラーコードが画面表示されません。
ETC 画面の **［登録情報表示］** で確認してください。(→ P.433)

4. エラーコードについて

統一エラーコード一覧

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。
この場合は、次の表にもとづき、処置をしてください。

（例）エラー 01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。
音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」または「ポーン ETC ゲートを通過できません」
画面表示：「ETC カードが挿入されていません〔01〕」または「ETC ゲートを通過できません〔01〕」

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処　置
01	ETC カード挿入異常	• ETC カードが通信時に挿入されていない • ETC カードの挿入状態が悪い	ETC カードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
02	データ処理異常	• ETC カードへの読出し、書込みエラー • ETC カードと ETC ユニットの接点不良（ETC カードアクセス中の瞬断） • 読出し中、書込み中カードのイジェクト	**[ETC カード挿入時]** 挿入された ETC カードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。 **[ETC ゲート通過前]** 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 **[ETC ゲート通過後]** 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般レーン（ETC/ 一般 共用レーンを含む）へ進入してください。
03	ETC カード異常	• ETC カードが故障している • IC カード以外のカードが挿入され、通信しない • ETC カードの誤挿入（裏面、挿入方向違い）	挿入されたカードが ETC カードであると認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
04	ETC ユニット故障	自己診断結果により、ETC ユニットが故障している	再度エンジンを始動してみてください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処　置
05	ETC カード情報の異常	• ETC カードとの認証エラー • ETC カード以外の IC カードが挿入 • 認証中 ETC カードのイジェクト • 未セットアップ状態での ETC カードの挿入	挿入されたカードが ETC カードであると認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
06	ETC ユニット情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ETC ユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。
07	通信異常	路側無線装置との通信が途中で終了	

- 以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC ユニットからブザー音のみが出力されます。
  ・通知設定画面で、ETC 音声案内（→ P.433）を「しない」に設定したとき
  ・ナビゲーションの音量設定画面（→ P.70）で、「消音」に設定したとき
- ETC カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔07〕と通知されることがありますが、ETC ユニットの故障ではありません。
- ETC ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・**［登録情報表示］**で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC ユニットの故障ではありません。
- ETC ゲート通過後にエラーが発生した場合、ETC カードを抜くとエラー音が停止します。
  この場合、再度 ETC カードを挿入すると、「ポーン　ETC カードが挿入されました」の音声と同時に緑ランプが点灯しますが、次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。

記録されている統一エラーコードの確認方法

ETC ユニットは、最後に発生した統一エラーコードを記録しています。

1 ETC カードが挿入されている場合は、ETC カードを抜く。

2 利用履歴確認スイッチを約 2 秒以上押す。



- 最後に案内された統一エラーコードが音声で案内されます。
  なお、統一エラーコードの確認は、ETC 画面でも行うことができます。
  (→ P.433)

9 ハンズフリー

1 お使いになる前に

1. ハンズフリーについて 441
ハンズフリーとは 441
各部の名称 443
音声について 444
各種表示について 444
お車を手放すとき 446
Bluetooth 機器使用上の注意事項 446

2 ハンズフリーの基本操作

1. ハンズフリーの準備をする 448
ハンズフリーの準備をする 448
携帯電話を登録する 448
携帯電話を接続する 449
Bluetooth 接続の再接続について 451
通信モジュールを選択する 451

2. ステアリングスイッチを使う 452
ステアリングスイッチを使う 452
電話スイッチを使う 452
音量の調整をする 453
音声認識を起動する 453

3. 電話をかける 454
ダイヤル発信する 454
電話を切る 455

4. 電話を受ける 456
電話を受ける 456
自動で電話を受ける 456

5. 通話中に操作する 457
通話中に 10 キー入力する 457
通話を終了する 457

3 ハンズフリーの便利な使い方

1. 電話をかける 458
電話をかける 458
電話帳発信する 458
履歴発信する 459
ワンタッチ発信する 461
音声認識発信する 461
ナビから発信する 462
携帯電話本体から発信する 462

2. 電話を受ける 463
着信中画面で操作する 463

3. 通話中に操作する 464
通話中画面で操作する 464

4. 簡易画面で操作する 466
簡易画面で操作する 466

4 ハンズフリーの設定

1. 設定・編集画面を表示する 467
設定・編集画面を表示する 467

2. 音量の設定をする 468
音量の設定をする 468

3. 通信機器を選択する 469
使用する通信機器を選択する 469
電話機詳細情報を表示する 470

4. 電話帳を編集する 472
電話帳について 472
電話帳を編集する 472
携帯電話の電話帳データを転送する 472

電話帳に新規データを追加する 474
電話帳のデータを修正する 476
電話帳のデータを削除する 477
ワンタッチダイヤルを登録する 478
ワンタッチダイヤルを削除する 478

5. Bluetoothの設定をする 480
Bluetooth の設定について 480
携帯電話を登録する 480
Bluetooth 電話機の登録を削除する 480
車載機の Bluetooth 設定を変更する 480

6. ハンズフリーの詳細設定をする 482
電話詳細設定画面を表示する 482
セキュリティの設定をする 482
自動着信応答 485
ACC ON 時の Bluetooth 接続確認表示 486
着信割り込み表示 486
自動電話機接続 487
電話詳細設定を初期化する 487

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店にご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書で使用している画面は、特に注記のない限り、携帯電話使用時の画面を使用しています。

1. ハンズフリーについて

ハンズフリーとは

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を車載機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

また、G-Link でオプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約された場合は、携帯電話がなくても、通信モジュールを使用してハンズフリー機能が利用できます。

※ Bluetooth アダプターを装着した携帯電話を含む。
本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店またはhttp://lexus.jpでご確認ください。

本システムに接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、**携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

対応 Bluetooth 仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.1.2 以上を推奨）

対応 Profile

- HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0 以上（Ver.1.5 準拠）
- OPP（Object Push Profile）Ver.1.1
- DUN（Dial-up Networking Profile）Ver.1.1

※ Bluetooth は Bluetooth SIG,Inc. の登録商標です。

⚠ 警告

- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

⚠ 注意

携帯電話は車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

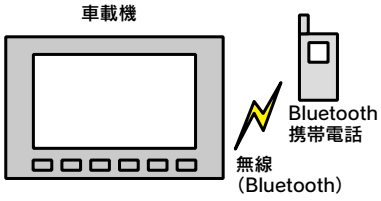
Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、車載機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth 携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

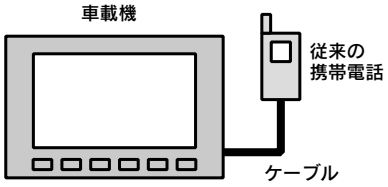
例えば、胸ポケットに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。

〈Bluetooth 接続の携帯電話〉



7CYJ002

〈有線（ケーブル）接続の携帯電話〉



7CYJ003

※ 本システムでは、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。

⚠ 注意

Bluetooth 携帯電話を車載機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

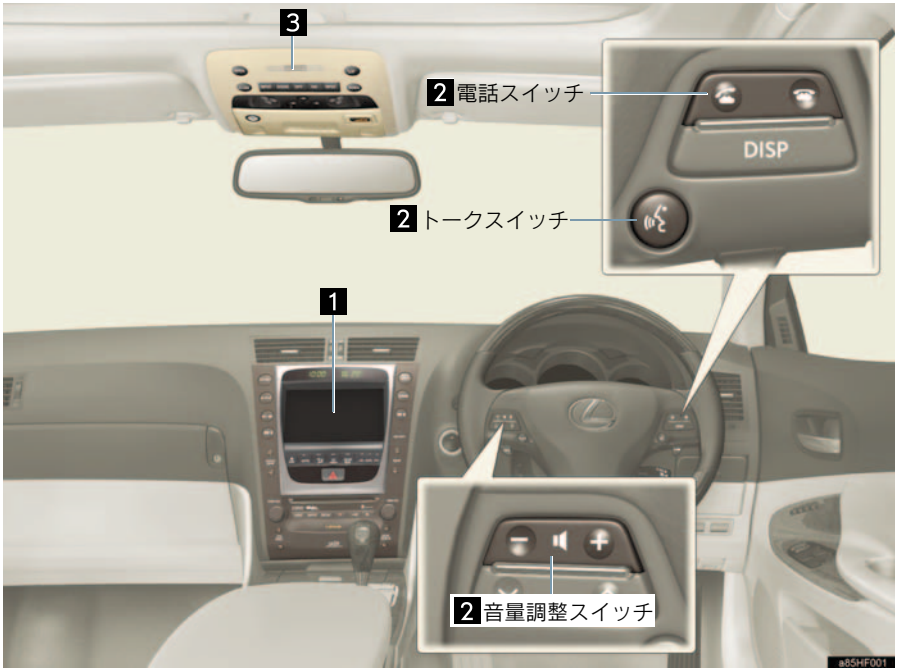
- Bluetooth携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- 通話エリア外のとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 緊急通報中のとき
  また、ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、次の場合もハンズフリーを使用することができません。
- 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が車載機に接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源が OFF のとき
- 車載機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき（切り替え中は車載機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。）
- その他、携帯電話自体が使えないとき
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。
- ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
  - ・ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
    また、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
  - ・着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

各部の名称



名　称	機　能
1 車載機	画面上のタッチスイッチにタッチすると、ハンズフリーのさまざまな操作ができます。
2 ステアリングスイッチ	• 電話スイッチ 「電話を受ける・切る」など、ハンズフリーの基本操作ができます。 • 音量調整スイッチ ハンズフリーの各音量を調整できます。 • トークスイッチ 音声操作で電話をかけることができます。
3 マイク	通話中の音声を認識します。

音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになることがあります。
  ・通話相手の音声が車外にもれる。
  ・通話相手側にエコーが聞こえる。
  また、音声は大きくはっきりとお話しください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時
  ・高速走行時
  ・窓やルーフを開けているとき
  ・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  ・エアコンのファンの音が大きいとき
  ・携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth 対応機器（ポータブル機）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

各種表示について

受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、携帯電話を使用する場合、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点にも注意してください。
  ・受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
  ・機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
  ・「未接続」の表示が出ているときは、携帯電話が車載機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth 接続してからご利用ください。

受信レベル表示



〈携帯電話使用時〉

表示	圏外					
レベル	圏外	弱	←	→	強	

〈通信モジュール使用時〉

表示	圏外 DCM DCM DCM DCM DCM
レベル	圏外　弱 ◄――► 強

電池残量表示

〈携帯電話使用時〉

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本システムには携帯電話の充電機能はありません。



表示	
残量	無　少 ◄――► 多

Bluetooth 接続状態表示

〈携帯電話使用時〉

携帯電話のBluetooth接続状態を表示します。



表示	接続状態
BT	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
BT	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。
BT	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。(→ P.469) 携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.448)

- Bluetooth通信用の車両側アンテナがインストルメントパネル内に内蔵されています。
  次のような場所や状態でBluetooth携帯電話を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  ・携帯電話がインストルメントパネルから隠れる場所にあるとき
  (携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
  ・携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

Bluetooth 携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。

- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ P.31)

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth 電話機の登録情報
- ロック No.
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

(上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します)

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。

変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。

想定与干渉距離は 10m 以下です。

この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

▶Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のようになります。

- 携帯電話のBluetooth接続が切断されることがあります。
- ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
- ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。

▶Bluetooth オーディオを再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。

▶電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されます。
この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

▶ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。

1. ハンズフリーの準備をする

ハンズフリーの準備をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。

初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧の上、操作してみてください。

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する通信機器の設定をします。

本システムは携帯電話を接続して使用しますが、G-Link でオプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約された場合は、通信モジュールを使用してハンズフリー機能が利用できます。

携帯電話を使用するとき…… →P.448

通信モジュールを使用するとき …… →P.451

携帯電話を登録する

Bluetooth 携帯電話を使用するためには、まず次の手順で車載機に登録をすることが必要です。

- 携帯電話は、車載機に最大 5 台まで登録することができます。
- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話をBluetoothオーディオとして使用するには、別途登録が必要です。(→P.309)

画面外の **設定・編集** または **SET UP**

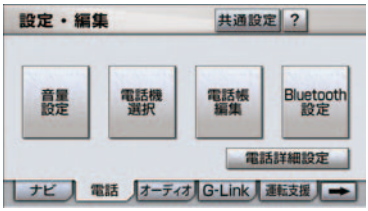
▼

電話

▼

設定・編集画面

1 ［Bluetooth 設定］にタッチ。



2 Bluetooth　電話設定の［登録］にタッチ。

- 複数の携帯電話を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

3 Bluetooth　接続画面が表示されたら、携帯電話から Bluetooth 登録する。



- 携帯電話側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき ➡ ［中止］にタッチ。

4 携帯電話本体で、車載機に表示されている機器名称を選択し、パスキーを入力する。

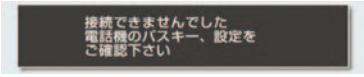
- パスキーとは、Bluetooth 携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(→P.480)

5 接続が完了したとき
➡ メッセージが表示され、携帯電話の登録が完了する。

● 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。

■ 接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



● 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。
● 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
● HFPに対応していない携帯電話は、車載機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPP のみのサービスは利用できません。
● 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
● Bluetoothオーディオ再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetooth オーディオの音声を一時停止します。この場合、登録終了後Bluetoothオーディオの音声を再開します。（機種によっては再開できないことがあります。）
● 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、車載機側の登録が完了しない場合があります。
その場合、携帯電話側から Bluetooth の接続を行ってください。

携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の車載機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

● 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
● Bluetoothオーディオの再生中に接続動作を行った場合、音声が途切れることがあります。また、接続に時間がかかる場合があります。
● Bluetoothオーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。

携帯電話を自動で接続する

電話詳細設定の自動電話機接続（→P.487）を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

次の操作をするたびに、車載機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

● GS460 / GS350：“ エンジン スタートストップ ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッションONモードにする
● GS450h：“ パワー ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたはONモードにする

■ Bluetooth 接続確認表示

電話詳細設定のACC ON時のBluetooth接続確認表示（→ P.486）で「する」を選択しているときは、Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認表示



- Bluetooth　接続状態表示でも確認できます。(→ P.445)
- 接続完了の表示は、次の操作をしたあと、初めてBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。
  - ・GS460/GS350：“ エンジン スタートストップ ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッションONモードにする
  - ・GS450h：“ パワー ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたはONモードにする

  (ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。)
- 携帯電話の機種によっては、次のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFF に設定してください。
  - ・GS460/GS350：“ エンジン スタートストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモードのとき
  - ・GS450h：“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたはONモードのとき

  (設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときにBluetooth　接続するときは、手動でBluetooth 接続操作をします。

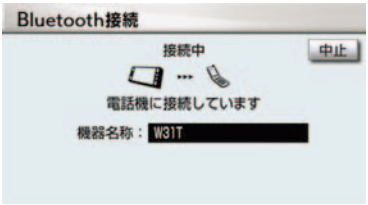
ダイヤル画面表示中 (→ P.458)

1 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 ［接続］にタッチ。



3 Bluetooth 接続画面が表示される。



- 中止するとき ➡ ［中止］にタッチ。

4 再びダイヤル画面が表示されたら、Bluetooth 接続状態表示を確認する。

- 良好な状態であれば携帯電話が使用できます。

- 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth 接続の再接続について

次のときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

- GS460 / GS350：“エンジン スタート ストップ”スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモードのとき
- GS450h：“パワー”スイッチがアクセサリーモードまたはONモードのとき

Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

携帯電話側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- 手動で接続する（→ P.450）
- 改めて携帯電話を選択する（→ P.469）

通信モジュールを選択する

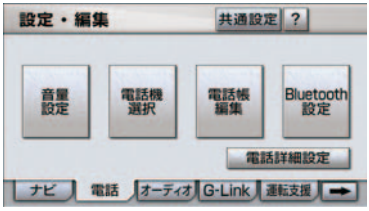
G-Linkでオプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約された場合は、通信モジュールを使用してハンズフリーを利用することができます。

- 通信モジュールでのハンズフリーを選択した場合は、次に電話機選択で携帯電話を選択するまで通信モジュールでのハンズフリーとなり、携帯電話でのハンズフリーが使用できなくなります。

通信モジュールを使用する場合は、次の手順で通信モジュールを選択します。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
設定・編集画面

1 **［電話機選択］**にタッチ。



2 **［通信モジュール］**にタッチ。

3 **［完了］**にタッチ。

- 携帯電話を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

2. ステアリングスイッチを使う

ステアリングスイッチを使う

ステアリングスイッチで操作できることは、画面のスイッチを使うよりもステアリングスイッチを使った方が便利です。

ハンズフリーを使用する前に、各スイッチの使い方を覚えておきましょう。

電話スイッチを使う

走行中などに画面を注視することなくハンズフリー機能が使用できるように、ステアリングスイッチの電話スイッチを操作するだけで、基本的な電話機能が使用できます。



着信時の機能

着信時、電話スイッチで次の操作ができます。

電話をとる	スイッチを押す、または応答保留画面でスイッチを押す
応答保留する	スイッチを押す
着信拒否する	スイッチを長押しする（約 2 秒間）、または応答保留画面でスイッチを押す

発信中、通話中の機能

電話を切る　：スイッチを押す

発信機能

電話をかける：スイッチを押す

- [ ] が表示される画面で、スイッチを押すと電話をかけることができます。

ハンズフリー画面表示機能

ハンズフリー以外の画面を表示しているときにスイッチを押すと、ハンズフリー画面に切り替わります。

音声認識中止機能

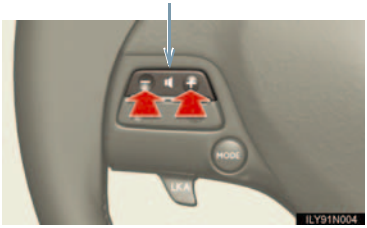
音声認識発信の操作をしているときにスイッチを押すと、音声認識発信が中止されます。

音量の調整をする

ステアリングスイッチの音量調整スイッチで、ハンズフリー音声の音量（受話音量、着信音量）が調整できます。

- スイッチを押し続けても、音量は連続して調整できません。

音量調整スイッチ

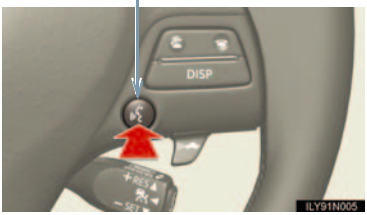


音声認識を起動する

ステアリングスイッチのトークスイッチで、音声認識の起動・中止をすることができます。

音声認識発信で使用します。

トークスイッチ



起動する	トークスイッチを押す
中止する	トークスイッチを長押しする（約 2 秒間）

3. 電話をかける

ダイヤル発信する

ここでは、基本操作としてダイヤル発信を説明します。

電話番号を入力して電話をかけることができます。

- ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10 キーが灰色になり、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。
- その他の電話のかけ方について
  ➡「電話をかける」（→ P.458）
- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
  ・Bluetooth 携帯電話は、車載機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（→ P.448）
  ・携帯電話はBluetooth機能を使用できる状態にしてご使用ください。
  携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
  ・Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、携帯電話でのハンズフリーはご使用になれません。

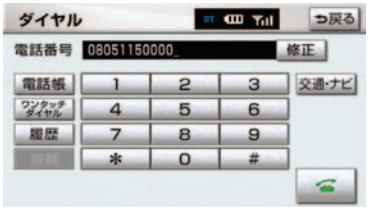
1 停車中に次のいずれかの操作をする。

▶電話スイッチの☎スイッチを押す。

▶画面外の 情報・G または INFO →（ 情報 ）→［電話］の順にタッチ。

- 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。
  ［はい］にタッチすると、携帯電話の登録（→ P.448）を開始します。

2 電話番号を入力する。



- 最後の 1 桁を消去するとき
  ➡［修正］にタッチ。
- 最後の 1 桁から続けて消去するとき
  ➡［修正］にタッチし続ける。

3 電話スイッチの☎スイッチを押す、または［☎］にタッチ。

4 発信できたとき
➡ 発信中画面が表示される。

- 発信音が出力された後、呼出音が出力されます。
- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  ・発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
  ・通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「通話中に 10 キー入力する」（→ P.457）をご覧ください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

5 相手が電話に出たとき
➡ 通話中画面が表示され、通話を開始する。

電話を切る

次のいずれかの操作をする。

- 電話スイッチの☎スイッチを押す。
- 発信中または通話中画面で［  ］にタッチ。
- 携帯電話本体で電話を切る。(携帯電話接続時)

電話が切れると発信画面に戻ります。

4. 電話を受ける

電話を受ける

● ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、スイッチでの操作ができなくなります。(→ P.466)

1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知する。



2 次のいずれかの操作をして、電話を受ける。

▶電話スイッチの☎スイッチを押す。

▶[☎]にタッチ。

● 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。

● ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
・ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
・携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
・着信音については、
①車両のスピーカーから聞こえる
②携帯電話から聞こえる
③両方から聞こえる
など、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が出力できないときは、車載機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
・機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
・携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
・携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、車載機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
・Bluetooth　オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

自動で電話を受ける

自動着信応答の設定により、自動で電話を受けることができます。(→ P.485)

5. 通話中に操作する

通話中に 10 キー入力する

通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。

- ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、スイッチでの操作ができなくなります。(→ P.466)

ハンズフリー通話中

1 ［トーン］にタッチ。



2 スイッチにタッチして入力する。

- 電話スイッチの☎スイッチを押す、または［☎］にタッチすると、電話が切れます。
- 走行中は 10 キーが灰色になり、操作できません。

通話を終了する

- ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、スイッチでの操作ができなくなります。(→ P.466)

次のいずれかの操作をする。

- 電話スイッチの☎スイッチを押す。
- 通話中画面で［☎］にタッチする。
- 携帯電話本体で電話を切る。(携帯電話接続時)

1. 電話をかける

電話をかける

ここでは、ダイヤル発信以外の電話のかけ方について説明します。

ダイヤル画面を表示する

停車中に次のいずれかの操作をする。

- 電話スイッチの スイッチを押す。
- 画面外の 情報・G または INFO →（ 情報 ）→［電話］の順にタッチ。

- 走行中に操作すると、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

ダイヤル画面



この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

ダイヤル発信 → P.454	電話番号を入力して電話をかける
電話帳発信 → P.458	車載機の電話帳から電話をかける
履歴発信 → P.459	発信履歴または着信履歴から電話をかける
ワンタッチ発信 → P.461	ワンタッチダイヤルから電話をかける

その他、次の方法で電話をかけることもできます。

音声認識発信 → P.461	音声認識で電話をかける
ナビからの発信 → P.462	ナビまたは G-Link のデータから電話をかける

- ハンズフリーを通信モジュールで使用する場合は、データ通信中に電話をかけようとすると、メッセージが表示されます。データ通信を終了しても良い場合は、**［はい］**にタッチしてください。データ通信を終了したくない場合は、**［いいえ］**にタッチし、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。

電話帳発信する

あらかじめ電話番号を車載機の電話帳に登録しておくことにより（→ P.472）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

ダイヤル画面表示中（→ P.458）

1 ［電話帳］にタッチ。

- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。
［はい］にタッチすると、電話帳編集画面（→ P.472）が表示されます。

2 希望の通話相手にタッチ。



- 必要に応じて、電話帳を切り替えます。（→ P.459）
- 次のいずれかにタッチすると、ショートカットスイッチが切り替わります。
  [その他]……英数字ショートカット
  [50 音]……50 音ショートカット
- 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
  （例）**[ABC]** を 2 回タッチすると、B で始まるデータのリストが先頭に表示されます。
- 音声認識の設定をしてあるデータは、名称の前に音声認識アイコンが表示されます。

3 電話番号が複数登録してあるときは、希望の電話番号にタッチ。

4 電話スイッチの スイッチを押す、または［ ］にタッチ。

■ 電話帳を切り替えるとき

ダイヤル画面（→ P.458）
↓
電話帳
↓
電話帳画面

1 **［電話帳選択］**にタッチ。

2 使用する電話帳にタッチ。



履歴発信する

発信履歴または着信履歴に登録されている電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

- 過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大 5 件記憶しています。
- それぞれの履歴が 5 件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。

ダイヤル画面表示中（→ P.458）

1 **［履歴］**にタッチ。



2 必要に応じて、**発信履歴** または **着信履歴** にタッチ。

発信履歴画面



着信履歴画面



● 着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。

3 希望の通話相手にタッチ。

4 電話スイッチの☎スイッチを押す、または［☎］にタッチ。

● 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
・車載機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
名称読みのみ登録されているときは、名称読みが発信履歴に登録されます。
・同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。

● 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
・車載機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
名称読みのみ登録されているときは、名称読みが着信履歴に登録されます。
・同一電話番号から着信した場合は、すべて着信履歴に登録されます。
・不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
・相手先電話番号の情報がない場合は、「通知不可」と着信履歴に登録されます。

履歴を削除する

発信履歴および着信履歴のデータは、それぞれ全削除できます。

● お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→ P.31）

ダイヤル画面（→ P.458）
↓
履歴
↓
発信履歴 または 着信履歴
↓
発信履歴画面または着信履歴画面

1 ［全削除］にタッチ。



2 ［はい］にタッチ。

ワンタッチ発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより（→ P.478）、簡単な操作で電話をかけることができます。

- ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

ダイヤル画面表示中（→ P.458）

1 ［ワンタッチダイヤル］にタッチ。

2 希望の電話番号にタッチ。



- 選択した電話番号に発信されます。
- ページを切り替えるとき
  ➡ ワンタッチ１ ・ ワンタッチ２ ・ ワンタッチ３ のいずれかにタッチ。

走行中に電話をかける場合

走行中に次のいずれかの操作をすると、ワンタッチダイヤル画面になり、ワンタッチで発信することができます。

▶電話スイッチの☎スイッチを押す。

▶画面外の 情報・G または INFO →（ 情報 ）→［電話］の順にタッチ。

- 走行中にワンタッチ発信する場合、スイッチに電話番号は表示されません。

音声認識発信する

音声認識で電話をかけることができます。

- 音声認識の設定について
  ➡「音声認識の設定をする」（→ P.476）
- 音声認識発信のしかたについて
  ➡「電話をかける」（→ P.350）

音声認識発信を中止する

「音声認識モードを中止する」（→ P.343）の方法、または電話スイッチの☎スイッチを押すと、音声認識発信を中止できます。

- 音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。
- 音声認識発信は走行中でも使用できます。
- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

ナビから発信する

ナビ画面で[ ]または[電話をかける]が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 [ ]または[電話をかける]が表示されている画面を表示する。

2 [ ]または[電話をかける]にタッチ。



ダイヤル画面の［交通・ナビ］の使い方

ダイヤル画面で[交通・ナビ]にタッチすると、ナビの交通・ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。(→ P.369)



携帯電話本体から発信する

〈携帯電話使用時〉

車載機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、ハンズフリー画面を表示することができます。

次のいずれかの操作をする。

▶電話スイッチの スイッチを押す。

▶画面外の 情報・G または INFO →（ 情報 ）→［電話］の順にタッチ。

- ［通話転送］以外のスイッチは、操作できません。
- スイッチを使用したいとき
  ➡ 通話転送の操作をする。(→ P.465)

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

- 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
  - ・携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
  - ・単独で通話中の携帯電話が車載機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

2. 電話を受ける

着信中画面で操作する

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

- ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、スイッチでの操作ができなくなります。(→ P.466)

電話を保留する（応答保留）

1 着信中、電話スイッチの☎スイッチを押す、または［☎］にタッチ。



2 応答保留を解除して通話するとき

➡ 電話スイッチの☎スイッチを押す、または［☎］にタッチ。

- 応答保留中に音量を調整するとき
  ➡ ［小］または［大］にタッチ。
- 応答保留中に電話を切るとき
  ➡ 電話スイッチの☎スイッチを押す、または［☎］にタッチ。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。
  - 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
  - 携帯電話の機種によっては、車載機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
  - Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

■通話を転送する

〈携帯電話使用時〉

Bluetooth 携帯電話では、応答保留中でも［**通話転送**］にタッチすると、通話を転送できます。(→ P.465)

着信音量を調整する

着信中、次のいずれかの方法で調整する。

- ［小］または［大］にタッチ。
- ステアリングスイッチの音量調整スイッチを押す。

・ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

着信拒否する

着信中画面で、着信拒否できます。

- 携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

次のいずれかの操作をする。

▶電話スイッチの☎スイッチを長押しする。

▶［☎］にタッチし続ける。

- 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

3. 通話中に操作する

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 送話音のミュート
- 通話の転送

通話中画面



- ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、スイッチでの操作ができなくなります。(→ P.466)
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。
  携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
  ・単独で通話中の携帯電話が車載機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中に次の操作をすると、機種によって、通話が切断される場合と携帯電話で継続される場合があります。
  ・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチを OFF にする、またはエンジンを始動する
  ・GS450h：“ パワー ” スイッチを OFF にする、またはハイブリッドシステムを始動する

  なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、次の状態であれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→ P.465)
  ・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモードのとき
  ・GS450h：“ パワー ” スイッチがアクセサリーモードまたはONモードのとき

受話音量を調整する

通話中、次のいずれかの方法で調整する。

- ［小］または［大］にタッチ。
- ステアリングスイッチの音量調整スイッチを押す。

送話音をミュート（消音）する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。

（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）

［ミュート］にタッチ。



- ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- ミュートを解除するとき
  ➡ 再度［ミュート］にタッチ。

通話を転送する

〈携帯電話使用時〉

Bluetooth 携帯電話では、車載機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

■ 画面で操作する

通話中画面または応答保留中画面で、［**通話転送**］にタッチ。

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

■ 携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、電話スイッチおよびスイッチでの操作ができます。

携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

- 応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで車載機には通話中画面が表示されます。この場合は、電話スイッチの スイッチを押すと、ハンズフリー通話を続けることができます。

4. 簡易画面で操作する

簡易画面で操作する

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

画面にスイッチは表示されませんが、電話スイッチや音量調整スイッチでの各操作は、通常通りすることができます。

- 電話が切れる、または電話を切ると、オンスクリーン表示や TEL 音声画面は解除されます。

オンスクリーン表示画面

電話詳細設定の着信割り込み表示（→P.486）で「簡易」を選択しているときに表示されます。



TEL 音声画面

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えようとした場合に表示されます。



通話中画面で操作したいときは

電話スイッチの スイッチを押す。

- 通話中画面が表示され、通話中画面での操作ができます。

1. 設定・編集画面を表示する

設定・編集画面を表示する

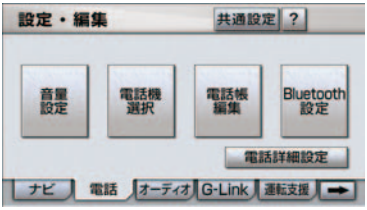
設定・編集画面から、ハンズフリーの各種設定をすることができます。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **電話** にタッチ。

設定・編集画面で、次の項目の設定ができます。

設定・編集画面



音量設定 …… →P.468

ハンズフリー各音の音量調整・設定

電話機選択 …… →P.469

使用する携帯電話または通信モジュールの選択

電話帳編集 …… →P.472

電話帳の転送・登録・編集・削除
ワンタッチダイヤルの登録・削除

Bluetooth 設定 …… →P.480

携帯電話の登録・削除、詳細設定

電話詳細設定 …… →P.482

セキュリティの設定
ハンズフリー画面の設定
Bluetooth 自動接続の設定

2. 音量の設定をする

音量の設定をする

画面外の **設定・編集** または **SET UP**

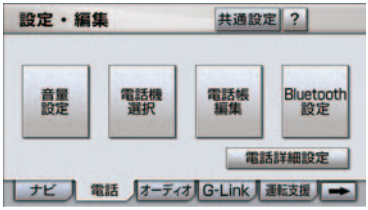
▼

電話

▼

設定・編集画面

1 **[音量設定]** にタッチ。



2 各設定をする。

- 音量調整（→ P.468）
- 高速時の自動音量切替（→ P.468）
- 音量設定の初期化（→ P.468）

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

音量の設定をする

各音量の **[小]** または **[大]** にタッチして調整する。

受話音量	通話相手の音声の音量を調整する。
着信音量	着信音の音量を調整する。

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音量は、着信中画面でも調整できます。

高速走行時の自動音量切替を設定する

高速時の自動音量切替を ON にすると、車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。（車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。）

[高速時の自動音量切替] にタッチし、ON（自動で上がる）と OFF（上がらない）を切り替える。

- ON にしたときは、作動表示灯が点灯します。

設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

音量設定画面で、**[初期状態]** にタッチ。

3. 通信機器を選択する

使用する通信機器を選択する

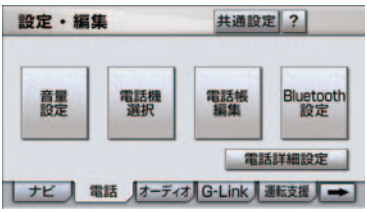
携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。

複数の携帯電話を使用するときや通信モジュールを使用するときは、必要に応じて通信機器を選択します。

- 携帯電話の登録について
  ➡「携帯電話を登録する」（→ P.448）
- 携帯電話は車載機に最大 5 台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
設定・編集画面

1 **［電話機選択］**にタッチ。



2 携帯電話を使用するときは、携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用する携帯電話または通信モジュールにタッチ。



- Bluetooth接続中の携帯電話は、Bluetoothマークが表示されます。

4 **［完了］**にタッチ。

- 通信モジュールを選択した場合は、これで使用できます。
- 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**［はい］**にタッチします。

▶設定・編集画面が表示されたら、携帯電話が使用できます。

- Bluetoothオーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。

■ データ通信中の場合

データ通信中に電話機選択をすると、メッセージが表示されます。

▶通信を終了するとき
➡ **［はい］**にタッチ。

▶通信を継続するとき
➡ **［いいえ］**にタッチ。

- **［いいえ］**にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 **3** からやり直します。
- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報は、車載機に登録されている携帯電話または通信モジュールに関する情報の表示と設定をすることができます。

情報は、次の項目が表示されます。

機器名称

車載機に表示される携帯電話または通信モジュールの名称です。携帯電話の場合は、任意の名称に変更することができます。

機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。通信モジュールの場合は、表示されません。

自局電話番号

携帯電話または通信モジュールの電話番号です。

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
電話
↓
電話機選択
↓
電話機選択画面

1 詳細情報を表示したい携帯電話または通信モジュールを選択し、［詳細情報表示］にタッチ。



2 各項目を確認する。

▶この画面で、次の操作を行うことができます。

- 機器名称の変更（携帯電話使用時）（→ P.470）
- 自動着信拒否の設定（通信モジュール使用時）（→ P.471）

携帯電話の名称を変更する

〈携帯電話使用時〉

車載機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。

- 車載機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
電話
↓
電話機選択
↓
（名称変更したい電話機）
↓
詳細情報表示
↓
電話機詳細情報画面

1 ［変更］にタッチ。



2 ソフトウェアキーボードで入力する。

2 ［完了］にタッチ。

自動で着信拒否する

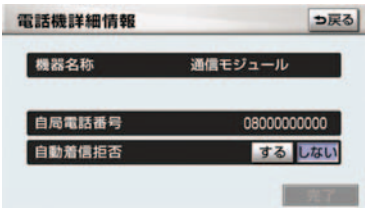
〈通信モジュール使用時〉

電話機選択で通信モジュールを選択している場合は、自動着信拒否の設定をすることができます。自動着信拒否を「する」に設定すると、通信モジュールの電話番号に電話がかかってきたとき、自動で着信拒否します。ただし、ヘルプネットの呼び返し待機状態の間のみ、一時的に自動着信拒否を解除します。

ハンズフリーを通信モジュールで使用しているとき、電話に出たくない場合に使用します。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
電話機選択
↓
通信モジュール
↓
詳細情報表示
↓
電話機詳細情報画面

1 自動着信拒否の［**する**］にタッチ。



● 解除するとき ➡ ［**しない**］にタッチ。

4. 電話帳を編集する

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- 携帯電話に登録してある電話帳を車載機の電話帳に転送する。…… →P.472
- 車載機の電話帳に新規登録する。…… →P.474
- 発信履歴または着信履歴から登録する。…… →P.475

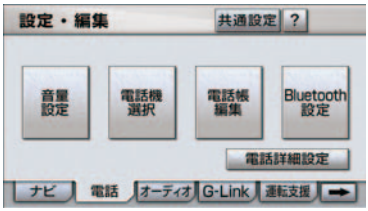
また、登録したデータは、車載機で編集することができます。

- 電話帳は最大 5 つ使用でき、5 つの電話帳すべて合わせて 1000 名分のデータを登録することができます。
- この電話帳は、1 名につき最大 3 件の電話番号が登録できます。
- 低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

電話帳を編集する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
設定・編集画面

1 ［電話帳編集］にタッチ。



2 電話帳の編集をする。

- 電話帳データの転送（→ P.472）
- 電話帳データの新規追加（→ P.474）
- 電話帳データの修正（→ P.476）
- 電話帳データの削除（→ P.477）
- ワンタッチダイヤルの登録（→ P.478）
- ワンタッチダイヤルの削除（→ P.478）

3 編集が終わったら、［完了］にタッチ。

携帯電話の電話帳データを転送する

〈携帯電話使用時〉

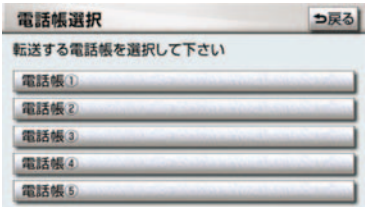
携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、車載機に転送することができます。

- 転送するときは、エンジン／ハイブリッドシステムを始動した状態で行ってください。
- **この機能は、OPP に対応していない携帯電話では使用できません。**また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を合わせてご覧ください。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
電話帳編集
▼
電話帳編集画面

1 ［電話帳転送］にタッチ。

2 転送先の電話帳を選択しタッチ。

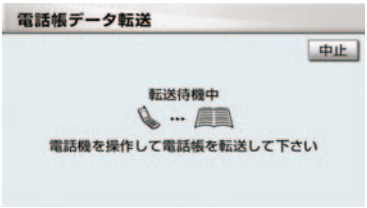


3 選択した電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選ぶ。

［追加］ … 現在のデータに追加する

［上書き］… 現在のデータに上書きする

4 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。



- 携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。
- 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままでお待ちください。
- 中止するとき ➡ ［中止］にタッチ。

5 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどる。

データ通信中の場合

データ通信中に電話帳転送をすると、メッセージが表示されます。

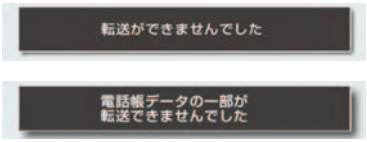
▶通信を終了するとき
➡［はい］にタッチ。

▶通信を継続するとき
➡［いいえ］にタッチ。

- ［いいえ］にタッチした場合は、データ通信終了後にやり直します。

転送失敗画面が表示されたとき

転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。



- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
  - 携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 4 件以上の電話番号が登録されている場合、車載機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
  - 電話番号と同時に名称･名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
  - 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります。）
  - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
  - 車載機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
  - 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
  - ・転送には 10 分程度かかる場合があります。
  - ・電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
  - ・電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。
    着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
  - ・電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
  - ・電話帳データ転送中に“エンジン スタート ストップ”スイッチ／“パワー”スイッチを OFF にしたとき、転送は中止されます。このときは、エンジン／ハイブリッドシステムを始動して、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは車載機の電話帳に保存されます。
  - ・車載機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
  - ・何らかの原因で転送が中断されたとき
- 車載機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetooth　オーディオの接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

電話帳に新規データを追加する

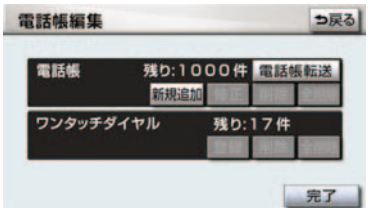
車載機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

電話帳には、1 名のデータにつき、次の項目が登録できます。

- 名称、名称読み、電話番号（最大 3 件）、電話番号アイコン（各電話番号にそれぞれ 1 つ）、登録先電話帳、音声認識、認識読み

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
電話帳編集
▼
電話帳編集画面

1 **［新規追加］**にタッチ。



2 各項目を編集する。
（→ P.475 ～ P.476）

3 編集が終わったら、**［完了］**にタッチ。

履歴内容画面（→ P.459）からも、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

［新規登録］にタッチ。



名称、名称読み、認識読みの編集をする

名称、名称読みは省略することができますが、その場合、電話帳画面には電話番号が表示されます。

認識読みは、音声認識発信をしたいときは必須入力項目です。

- 名称読みが入力されていないと、音声認識の対象にすることはできません。

1 編集する項目（［名称］、［名称読み］、［認識読み］）にタッチ。



- 認識読みは、音声認識の設定（→ P.476）がされているときのみ編集することができます。

2 ソフトウェアキーボードで入力する。

電話番号を編集する

電話番号は、電話番号 1 ～ 3 にそれぞれ 1 件ずつ登録でき、1 名につき最大 3 件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 ［電話番号 1］、［電話番号 2］または［電話番号 3］にタッチ。

2 電話番号を入力し、［完了］にタッチ。



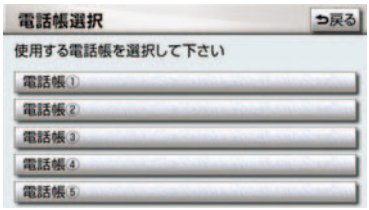
3 登録したいアイコンにタッチ。

電話帳の選択をする

登録する電話帳を、電話帳①～電話帳⑤の中から選択できます。

1 ［電話帳］にタッチ。

2 登録したい電話帳にタッチ。



音声認識の設定をする

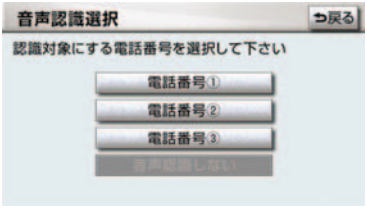
各データに対して、音声認識の対象にするかしないかを設定できます。

音声認識の対象に設定すると、各データの認識読みにより音声認識発信（→P.461）ができます。

- 音声認識の対象にできるのは、最大500件です。

1 ［音声認識］にタッチ。

2 音声認識の対象にする電話番号に選択する。



- 音声認識の対象からはずすとき
  ➡［音声認識しない］にタッチ。

3 音声認識で使用する読みを確認する。

- 読みを修正するとき
  ➡［認識読み修正］にタッチ。（→ P.475）

4 ［完了］にタッチ。

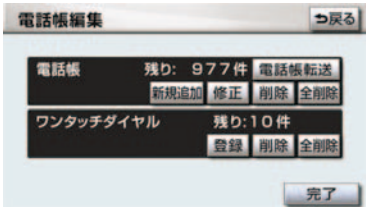
- 電話帳の名称読みが登録されていないと、音声認識の対象に設定することができません。音声認識発信で利用したい場合は、電話帳の名称読みを必ず登録しておいてください。
- 音声認識の対象に設定した電話番号を削除する、または電話帳の名称読みを削除すると、そのデータは音声認識の対象でなくなります。

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

画面外の［設定・編集］または［SET UP］
↓
［電話］
↓
［電話帳編集］
↓
電話帳編集画面

1 ［修正］にタッチ。



2 修正したいデータにタッチ。

- 必要に応じて、電話帳を切り替えます。（→ P.459）

3 各項目のスイッチにタッチして編集する。（→ P.475 ～ P.476）

4 ［完了］にタッチ。

電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

- お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ P.31)

電話帳のデータを個別に削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
電話帳編集
↓
電話帳編集画面

1 電話帳の［**削除**］にタッチ。

2 削除したいデータを選択しタッチ。



- 必要に応じて、電話帳を切り替えます。(→ P.459)

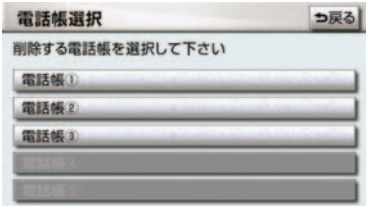
3 ［**はい**］にタッチ。

電話帳のデータをすべて削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
電話帳編集
↓
電話帳編集画面

1 電話帳の［**全削除**］にタッチ。

2 削除したい電話帳にタッチ。



3 ［**はい**］にタッチ。

ワンタッチダイヤルを登録する

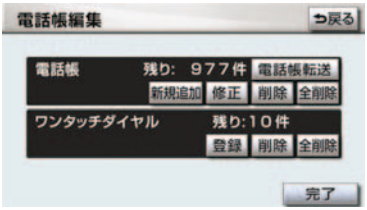
電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大 17 件までワンタッチダイヤルに登録することができます。

1 ページ目の 6 件目には、自動的に最新の発信履歴（リダイヤル）が登録されます。

ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておくと便利です。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
電話帳編集
▼
電話帳編集画面

1 **［登録］**にタッチ。



2 登録したいデータにタッチ。

- 必要に応じて、電話帳を切り替えます。（→ P.459）

3 登録したい電話番号にタッチ。

4 登録したいスイッチにタッチ。

- ページを切り替えるとき
  ➡ **ワンタッチ 1** ・ **ワンタッチ 2** ・ **ワンタッチ 3** のいずれかにタッチ。

5 登録済みのスイッチを選択したとき
  ➡ 置き換えてもよいときは **［はい］**にタッチ。

ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの 01 ～ 17 は、個別に選択して削除できます。

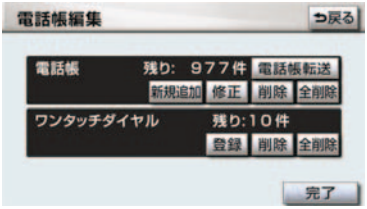
全削除すると、17 件すべてが削除できます。

- ワンタッチダイヤル01～17は、対応する電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。
- ワンタッチダイヤルのリダイヤルは、発信履歴をすべて削除した場合に削除されます。

ワンタッチダイヤルを個別に削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
電話帳編集
↓
電話帳編集画面

1 ワンタッチダイヤルの［**削除**］にタッチ。



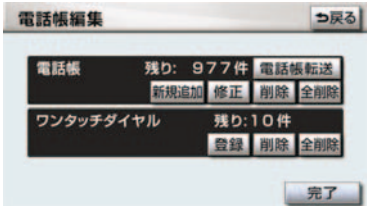
2 削除したいワンタッチダイヤルにタッチ。

3 ［**はい**］にタッチ。

ワンタッチダイヤルをすべて削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
電話帳編集
↓
電話帳編集画面

1 ワンタッチダイヤルの［**全削除**］にタッチ。



2 ［**はい**］にタッチ。

5. Bluetooth の設定をする

Bluetooth の設定について

ここでは、携帯電話と Bluetooth に関する次の設定の説明をしています。

- 携帯電話の登録・削除（→ P.480）
- 車載機の Bluetooth 設定の変更（→ P.480）

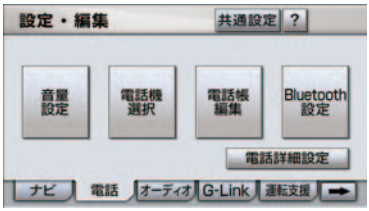
携帯電話を登録する

「携帯電話を登録する」（→ P.448）をご覧ください。

Bluetooth 電話機の登録を削除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
設定・編集画面

1 **[Bluetooth 設定]** にタッチ。



2 Bluetooth 電話設定の **[削除]** にタッチ。

3 削除する携帯電話を選択し、**[完了]** にタッチ。

- 電話機の詳細情報を確認するとき
  ➡ 確認したい電話機にタッチして、**[詳細情報表示]** にタッチ。（→ P.470）

4 **[はい]** にタッチ。

■ データ通信中の場合

データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。

▶通信を終了するとき
➡ **[はい]** にタッチ。

▶通信を継続するとき
➡ **[いいえ]** にタッチ。

- **[いいえ]** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 3 からやり直します。
- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

車載機の Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、車載機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

Bluetooth 設定画面で、次の情報を確認できます。

機器名称

Bluetooth ネットワーク内での車載機の名称です。任意の名称に変更することができます。

パスキー

携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

機器アドレス

車載機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での車載機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

機器名称またはパスキーを変更したいときは、次の手順で行ってください。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
Bluetooth 設定
↓
Bluetooth 設定画面

1 機器名称またはパスキーの［**変更**］にタッチ。



2 各項目を変更する。

■機器名称

ソフトウェアキーボードで入力する。

■パスキー

4 ～ 8 桁の範囲で任意の数字を入力し、［**完了**］にタッチ。

● 修正するとき ➡ ［**修正**］にタッチ。

3 設定が終わったら、［**完了**］にタッチ。

● 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称（→ P.317）も同時に変更されます。パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
Bluetooth 設定
↓
Bluetooth 設定画面

［**初期状態**］にタッチ。

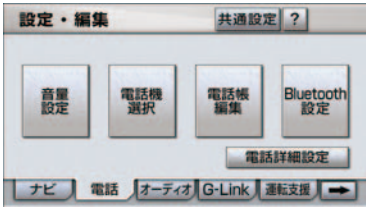


6. ハンズフリーの詳細設定をする

電話詳細設定画面を表示する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
設定・編集画面

1 ［電話詳細設定］にタッチ。



2 各設定をする。

- セキュリティ（→ P.482）
- 自動着信応答（→ P.485）
- ACC ON 時の Bluetooth 接続確認表示（→ P.486）
- 着信割り込み表示（→ P.486）
- 自動電話機接続（→ P.487）
- 電話詳細設定の初期化（→ P.487）

3 セキュリティ以外の項目の設定を変更したときは、**［完了］**にタッチ。

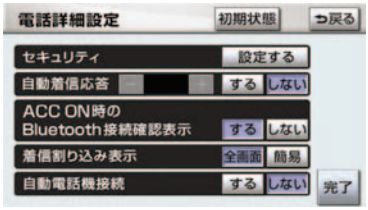
セキュリティの設定をする

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくすることができます。ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。

- セキュリティを使用するときは、必ずロック No. を変更してからご使用ください。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
電話詳細設定
▼
電話詳細設定画面

1 セキュリティの **［設定する］**にタッチ。



2 各設定をする。

- ロック No. の変更（→ P.483）
- 電話帳・発着信履歴制限（→ P.483）
- 通信モジュールの発信制限（→ P.484）
- セキュリティ設定の初期化（→ P.485）

ロック No. を変更する

セキュリティの設定および解除をするには、ロック No. の入力が必要です。

ロック No. は 4 桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。

セキュリティを使用するときは、必ずロック No. を変更してからご使用ください。

- ロック No. を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

> ⚠ 注意
>
> ロック No. を変更するときは、ロック No. を忘れないように管理してください。ロック No. を忘れると、レクサス販売店でもセキュリティ設定を解除することができません。
> 万一ロック No. を忘れてしまった場合は、セキュリティ設定の初期化を行ってください。(→ P.485) ただし、セキュリティ設定の初期化を行うと、電話帳データも削除されます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
電話詳細設定
↓
設定する
↓
セキュリティ設定画面

1 ロック No. 変更の**[変更]**にタッチ。



2 現在のロック No. を入力し、**[完了]**にタッチ。

- 間違えたとき ➡ **[修正]** にタッチ。

3 新しいロック No. を入力し、**[完了]**にタッチ。

4 **[はい]** にタッチ。

5 **[完了]** にタッチ。

電話帳・発着信履歴制限をする

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくすることができます。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロック No. の変更

- この機能を設定すると、走行中でもワンタッチ発信ができなくなります。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
電話詳細設定
↓
設定する
↓
セキュリティ設定画面

1 電話帳・発着信履歴制限の［**する**］にタッチし、［**完了**］にタッチ。



2 設定を変更したとき
➡ ロック No. を入力し、［**完了**］にタッチ。

設定を解除する

電話帳・発着信履歴制限の［**しない**］にタッチし、設定するときと同じ操作をする。

通信モジュールの発信制限をする

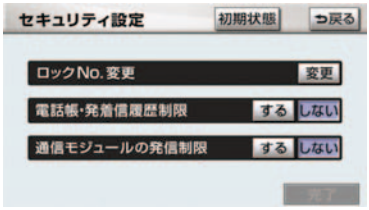
〈通信モジュール使用時〉

電話機選択で通信モジュールを選択している場合は、通信モジュールの発信制限を設定すると、次の機能を使用できなくすることができます。

- ダイヤル発信
- 電話帳発信
- 履歴発信
- ワンタッチ発信
- 音声認識発信
- ナビからの発信
- 電話機選択
  （携帯電話から通信モジュールへの変更をすることができなくなります。）

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
電話
↓
電話詳細設定
↓
設定する
↓
セキュリティ設定画面

1 通信モジュールの発信制限の［**する**］にタッチし、［**完了**］にタッチ。



2 設定を変更したとき
➡ ロック No. を入力し、[完了] にタッチ。

■ 設定を解除する

通信モジュールの発信制限の［しない］にタッチし、設定するときと同じ操作をする。

セキュリティ設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。
※ 初期状態にもどすと、すべての電話帳データも削除されます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
電話
▼
電話詳細設定
▼
設定する
▼
セキュリティ設定画面

1 ［初期状態］にタッチ。



2 ［はい］にタッチ。

3 ［完了］にタッチ。

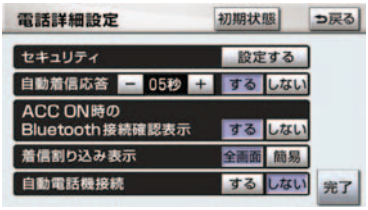
自動着信応答

自動着信応答を設定しておくと、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
電話
▼
電話詳細設定
▼
電話詳細設定画面

1 自動着信応答の［する］にタッチ。

2 ［−］または［+］にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を 1 ～ 60 秒の間で設定する。



● 解除するとき ➡ ［しない］にタッチ。

ACC ON 時の Bluetooth 接続確認表示

〈携帯電話使用時〉

以下の操作をして携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を表示する、しないを設定できます。

- GS460/GS350：“エンジン スタート ストップ”スイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする
- GS450h：“パワー”スイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにする

Bluetooth 接続確認表示



画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
電話詳細設定
▼
電話詳細設定画面

ACC ON 時の Bluetooth 接続確認表示の **［する］** にタッチ。

- 解除するとき ➡ **［しない］** にタッチ。

着信割り込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。

簡易表示



着信割り込み表示

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
電話詳細設定
▼
電話詳細設定画面

着信割り込み表示の **［全画面］** または **［簡易］** にタッチ。

全画面：着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、電話スイッチおよび画面のスイッチで操作ができます。

簡易　：着信中および応答保留中は着信割り込み表示が画面上部に表示されます。
電話スイッチで操作ができます。

自動電話機接続

次の操作をするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

- GS460/GS350：“ エンジン スタートストップ ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにしたとき
- GS450h：“ パワー ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにしたとき

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
電話詳細設定
▼
電話詳細設定画面

自動電話機接続の［**する**］にタッチ。

- 通常はこの状態で使用してください。
- 携帯電話はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。
- 解除するとき ➡ ［**しない**］にタッチ。

電話詳細設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
電話
▼
電話詳細設定
▼
電話詳細設定画面

［**初期状態**］にタッチ。



10

G-Link

※G-Link を利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。

1 はじめに

1. G-Linkについて 492
G-Link とは 492
G-Link について 493
G-Link 画面 494

2. ご利用にあたって 495
安全上の注意 495
掲載画面について 495
お車を手放す際は 495
G-Link コンテンツについて 495
通信機器について 496
データ通信時の留意事項 498

2 各種手続きをする

1. 利用手続きをする 500
利用手続きについて 500
利用手続きの手順 501
利用開始操作をする 502

2. 各種手続きについて 503
ユーザー画面について 503
サポートアドレスについて 504
継続手続きについて 504
有料コンテンツのご利用について ... 504
解約手続きについて 506
解約手続きをする 507

3 ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

1. はじめに 508
ヘルプネットについて 508
各部の名称とはたらき 509
安全のために 511

2. サービス開始操作をする 513
サービス開始操作をする 513

3. 緊急通報をする 515
エアバッグ作動による自動通報 515
ボタン操作による手動通報 517

4. 保守点検をする 520
自動保守点検 520
手動保守点検 520

5. 知っておいてください 523
表示灯について 523
緊急通報できない場合について 524
故障とお考えになる前に 526

4 G-Security（Gセキュリティ）

1. G-Securityについて 527
G-Security について 527
初期設定の確認・変更 527
サポートアドレスについて 529
アラーム通知 530
エンジン始動通知 532
うっかり通知 532
リモート確認 533
車両の位置確認 534
警備員の派遣 534
G 暗証番号ログインの登録 535

5 携帯電話での操作について

1. 携帯電話での操作について 536
G-Security..... 536
マイカーインフォメーション 537

6 マップオンデマンド（地図差分更新）

1. マップオンデマンド..... 538
マップオンデマンドについて 538
全更新と差分更新について 538
更新方法について 539
更新エリアと更新対象について 540
地図更新画面について 541

2. 地図を更新する 542
地図を更新する..... 542
通信（通信モジュール）で更新する 542
メディア（CD-R ／ DVD-R）で更新する 543
更新日の確認を行う 545

3. 知っておいていただきたいこと..... 546
知っておいていただきたいこと 546
故障とお考えになる前に 547

7 レクサスオーナーズデスク

1. レクサスオーナーズデスク 548
レクサスオーナーズデスクについて 548
レクサスオーナーズデスクを使う.... 548
手動で情報を取得する 550

8 レクサス緊急サポート24

1. レクサス緊急サポート24について 551
レクサス緊急サポート 24 について 551

9 リモートメンテナンスサービス

1. リモートメンテナンスサービス 552
リモートメンテナンスサービスについて..... 552

10 G-Linkとナビの連携機能

1. はじめに..... 554
ナビ連携機能について 554
携帯電話やパソコンでのご利用について 555

2. Gルート探索（プローブ情報付）..... 557
G ルート探索をする 557

3. 渋滞予測..... 559
渋滞予測情報を表示する 559

4. Gメモリ地点..... 563
G メモリ地点について 563
G メモリ地点を登録する 563
G メモリ地点を表示する 563

5. ドライブプラン 565
ドライブプランを利用する..... 565

6. Gで設定 567
G で設定について 567
G で設定画面を表示する 567

7. 施設情報表示 569
施設の情報を表示する 569

8. G情報マーク表示..... 570
G 情報マークを表示する 570

9. G情報マーク連動サービス 571
G 情報マーク連動サービスについて..... 571

11 メインメニュー

1. メインメニュー画面で操作する 572
メインメニュー画面の使い方 572

2. ブラウザを操作する 573
ブラウザ画面で操作する 573

3. 閲覧履歴からコンテンツを表示する 579
閲覧履歴について 579
閲覧履歴からコンテンツを表示する 579
閲覧履歴を削除する 579

4. ブックマークを使う 581
ブックマークについて 581
ブックマークに登録する 581
ブックマークしたコンテンツを見る 581
ブックマークの修正をする 582
ブックマークを削除する 583

5. G-Linkの設定をする 584
設定・編集画面を表示する 584
プライバシー設定をする 584
暗証番号を変更する 585
通信ロックを使う 588
G-Link 詳細設定をする 590

12 Myリクエスト

1. Myリクエスト 591
My リクエストについて 591
My リクエスト画面で操作する 591
My リクエストを使う 594
音声認識でリクエストをする 595
My リクエストの編集をする 596

13 G-SOUND

1. ご利用になる前に 597
G-SOUND について 597

2. G-SOUNDを利用する 600
G-SOUND 画面の使い方 600
楽曲を試聴する 601
利用手続きをする 603
G-SOUND 楽曲を再生する 604
G-SOUND 楽曲を削除する 604

3. G-SOUNDコピー 607
パッケージをコピーする 607

14 CDタイトル情報取得

1. CDタイトル情報取得 609
タイトル情報を取得する 609

15 知っておいていただきたいこと

1. こんなメッセージが表示されたときは 610
こんなメッセージが表示されたときは 610

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店または http://lexus.g-book.com/ でにご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書で使用しているコンテンツの画面は、実際の画面と異なることがあります。

1. G-Link について

G-Link とは



いつでも、どこでも、お客様のお車をネットワークでサポートするレクサス専用のテレマティクスサービスです。トヨタが開発した「G-BOOK」にレクサス専用サービスである「レクサス緊急サポート 24」をプラス。「レクサスオーナーズデスク」との連携により、最先端のサービスを提供致します。

G-BOOK

トヨタが開発したテレマティクスサービスです。G-BOOK センターに接続し、以下のようなサービスを提供します。

- G-Security
- ヘルプネット
- マップオンデマンド
- G ルート探索（プローブ情報付）
- 渋滞予測
- G-SOUND

レクサスオーナーズデスク

レクサスオーナー専用のコールセンターです。フリーダイヤルにお電話をしていただくと、レクサスケアコミュニケーターが G-BOOK と連携し、以下のようなご要望に 24 時間・365 日お応えします。

- ドライブサポート
  （ナビゲーションシステムの目的地設定や施設情報案内など）
- 予約サービス
- 各種問い合わせ

レクサス緊急サポート 24

レクサス専用のサービスです。事故や故障など、万一のトラブルに 24 時間対応します。故障の場合には、ドライバーと同乗者の帰宅や宿泊などの費用を、一定の条件で負担したり、以下のようなサービスを提供します。

- 現場緊急修理サポート
- レッカーサポート
- 故障時臨時費用サポート
  （臨時交通費・臨時宿泊費・修理後の搬送費）
- 保険会社取り次ぎサービス
- 緊急伝言サービス

G-Link について

ご利用の車載機では、次のようなサービスが利用できます。

- サービスメニューの詳細、有料オプションの価格は、パソコンや携帯電話のG-BOOK.comサイト（http://lexus.g-book.com/）でご確認ください。

主なサービス／機能		G-Link	ページ
通信機器		通信モジュール（DCM）	―
ヘルプネット		○	508
G-Security		○	527
マップオンデマンド		○	538
G ルート探索		○	557
渋滞予測		○	559
レクサスオーナーズデスク		○	548
レクサス緊急サポート 24		○	551
メインメニュー G-BOOK.com コンテンツ	無料コンテンツ	○	572
	有料コンテンツ	△	
G-SOUND	無料カプセル	○	597
	有料カプセル、単曲	△	
CD タイトル情報取得		○	609
ドライブプラン		○	565
自動車専用ハンズフリー電話		△	―

○ …… 利用できます

△ …… 有料オプション（コンテンツ購入が必要です。）

G-Link 画面

G-Link 画面から、G-Link の各アプリケーションを起動することができます。

画面外の 情報・G または INFO を押す。

▶情報画面が表示されたとき ➡ G-Link にタッチ。



この画面から、次の操作をすることができます。

スイッチ	機　能
1 メインメニュースイッチ	メインメニュー画面（→ P.572）を表示する。
2 G-SOUND スイッチ	G-SOUND 画面（→ P.600）を表示する。
3 My リクエストスイッチ	My リクエスト画面（→ P.591）を表示する。
4 オーナーズデスクスイッチ	レクサスオーナーズデスクを利用する。（→ P.548）
5 情報確認スイッチ	レクサスオーナーズデスクで取得した情報を確認する。（→ P.550）
6 ドライブプランスイッチ	ドライブプランをダウンロードする。（→ P.565）
7 地図更新スイッチ	地図更新画面（→ P.541）を表示する。

2. ご利用にあたって

安全上の注意

G-Link をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

⚠ 警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

走行中に G-Link をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。

このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

掲載画面について

本書で使用している画面の表示内容は、サンプル表示となっております。

お車を手放す際は

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、解約手続きをお願いします。（→ P.506）

G-Link コンテンツについて

詳しくは、http://lexus.g-book.com/ をご覧ください。

通信機器について

G-Link は、通信モジュール（DCM) を利用してデータ通信を行います。

また、サービスによっては、別途ハンズフリー通話が利用可能な環境が必要となります。

ハンズフリー通話に利用する通信機器は、Bluetooth 携帯電話※または通信モジュールから選択できます。下の表を参考にして、お客様のご利用状況に合わせて選択してください。

※ Bluetooth アダプターを装着した携帯電話を含む。
本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp/ でご確認ください。

サービス	通信機器	ヘルプネット及びレクサスオーナーズデスクの音声通話／全てのデータ通信	ハンズフリー通話
G-Link	**通信モジュールのみ**	通信モジュール	通信モジュール（自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ）
	携帯電話＆通信モジュール	通信モジュール	ハンズフリーの電話機選択で選択した通信機器（通信モジュールは、自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ選択可）

通信モジュールについて

通信モジュールは通信アンテナを使用します。（→ P.33）

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから 22cm 以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-Link をお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。
データ通信に伴う電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ライセンス契約など

この製品は下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、Qualcomm 社よりライセンスされています。

4,901,307　5,056,109　5,101,501
5,109,390　5,228,054　5,267,261
5,267,262　5,337,338　5,414,796
5,416,797　5,490,165　5,504,773
5,506,865　5,511,073　5,535,239
5,544,196　5,568,483　5,600,754
5,657,420　5,659,569　5,710,784
5,778,338

BREW™ および BREW™ に関連する商標は、Qualcomm 社の商標または登録商標です。

The word BREW® is a registered trademark of QUALCOMM Incorporated. The BREW Logo, which includes the interlocking circles design, is a trademark (TM) of QUALCOMM Incorporated.

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部について、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはなりません。

本製品を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはなりません。

U.S. law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries - Cuba, Iran, Iraq, Libya, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

データ通信時の留意事項

G-Link は、データ取得時に通信を行います。
次の点をご理解の上、正しくお使いください。

▶通信方式は、KDDI株式会社のCDMA方式の au 携帯電話と同一です。
CDMA 1X WIN サービスエリアでは、最大 2.4Mbps データ通信サービスがご利用いただけます。それ以外の CDMA 1X サービスエリアでは、最大 144kbps データ通信サービスとなります。同社サービスエリア図をご参照ください。
なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。

▶次のような通信環境では、データ通信できません。
- トンネルの中にいるとき
- 地下駐車場にいるとき
- 山奥などの通信圏外にいるとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

G-Link はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。

▶この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-Link が使用できなくなります。
（その場合には事前にご連絡します。）
- データ通信に関する通信料金は G-Link 利用料金に含まれています。
- データ取得までの時間は、車載機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

▶ヘルプネット（→ P.508）での緊急通報中は、G-BOOK センターに接続できません。

▶画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は**「接続中」**、コンテンツ読み込み中は**「しばらくお待ちください」**が表示されます。
また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。
（走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。）



▶通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、現在地画面などに通信中マークが表示されます。

通信中マーク



- 受信レベル表示が「圏外」と表示されている場合でも、本機はデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。
- GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、または 12V バッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（→ P.138）に車を移動し、画面外の **現在地** または **MAP** を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

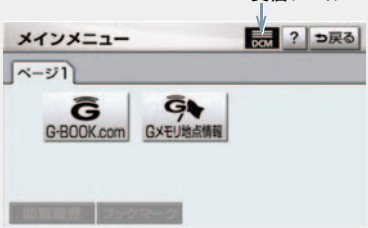


GPS マーク

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

受信レベル



表示	圏外 DCM	DCM	DCM	DCM	DCM
レベル	圏外	弱	←→		強

1. 利用手続きをする

利用手続きについて

G-Link の利用開始は、次の「利用手続きの手順」にしたがって実施してください。

⚠ 注意

手続きを行うときは、次の点に注意して、手続きが中断しないようにしてください。中断すると、最初からやり直さなければなりません。

- 通信が途中で切れないように、受信感度が良い場所で行ってください。
- 手続きの途中で、中止の操作をしないでください。また、エンジン／ハイブリッドシステムを再始動するなどの“エンジン スタート ストップ”スイッチ／“パワー”スイッチの操作をしないでください。

- 車両１台につき１つの契約IDが必要です。同じ契約IDを複数の車両で利用することはできません。

利用手続きの手順

下図にしたがって、利用手続きとそれに伴う各種設定を行ってください。

1 **レクサス販売店にて、「利用申込書」で申し込みをする**

↓

2 **利用開始操作をする**→ P.502

↓

3 **ヘルプネットサービス開始操作*をする**
（手動保守点検）→ P.513

ハンズフリー通話をご利用の場合、以下の操作をしてください。

4 **ハンズフリー通話機器を選択する**

- 携帯電話を利用する場合
  - 携帯電話の登録が済んでいない場合 → 携帯電話を登録する→ P.448
  - 携帯電話の登録が済んでいる場合 → 電話機選択で、使用する携帯電話を選択する→P.469
- 通信モジュールを利用する場合（自動車専用ハンズフリー電話契約時） → 電話機選択で、「通信モジュール」を選択する→ P.451

＊ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

利用開始操作をする

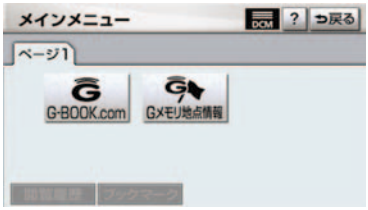
利用開始操作は、可能な限り見晴らしのよい場所で行ってください。

画面外の 情報・G または INFO
▼
(G-Link)
▼
G-Link 画面

1 ［メインメニュー］にタッチ。



2 ［G-BOOK.com］にタッチ。



- 画面が上記と異なる場合は、前ユーザーの解約手続きが完了していません。
- G-Link サポートセンターにご連絡ください。

G-Link サポートセンター
全国共通・フリーコール
0800-300-3388
受付時間　9:00 ～ 18:00
月曜～金曜（除く祝祭日）

- 中古車の場合、［G-BOOK.com］にタッチしたあとに、通信初期設定画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

3 本人確認の画面が表示されたら、画面の指示にしたがって、確認・操作する。

4 サービス内容などを確認し、画面の指示にしたがって操作する。

▶G 暗証番号の設定をしていない方
➡ G 暗証番号の設定が表示される。
画面の指示にしたがって、確認・操作する。

5 G-BOOK 利用手続き完了画面が表示されたら［はい］にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作＊（→ P.513）を行う。

- サービス開始操作が正常に完了しないと、ヘルプネットがご利用いただけません。

＊ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. 各種手続きについて

ユーザー画面について

登録内容の確認・変更やG暗証番号の変更、支払方法の設定などを行えます。

ユーザー画面を表示する

画面外の 情報・G または INFO
↓
（ G-Link ）
↓
メインメニュー
↓
メインメニュー画面

1 ［G-BOOK.com］にタッチ。



2 ［ユーザー］にタッチ。



※表示されているメニューは一例です。

ユーザー画面の使い方

ユーザー画面で行えるメニューは、次のようなものがあります。

状況に応じて、次の各スイッチにタッチし、画面の指示にしたがって操作してください。

①［会員情報／利用契約変更・解約］

■利用契約の解約

G-Link 利用契約を解約するときに使用します。

②［コンテンツ購入履歴／解約］

有料コンテンツの解約をするときに使用します。

■コンテンツ契約内容の確認

契約中コンテンツの確認および解約ができます。

③［ドライブプランのデータコピー］

他の ID で作成したドライブプランデータ（My ルート、G メモリ）を、現在利用中の ID へコピーできます。

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、G-Security やレクサス緊急サポート 24 などのコンテンツ利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。

G-Link 利用申込書に記入いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

連絡先に変更があった場合は、次の手順で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

サポートアドレスの確認・変更は、G-BOOK.com 画面で行います。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(G-Link)
↓
メインメニュー
↓
G-BOOK.com
↓
G-BOOK.com 画面

1 [サポートアドレスの登録・変更] にタッチ。



表示されているメニューは一例です。

2 表示される電話番号を確認した後、[メール] にタッチ。

3 E メールアドレスを確認する。

● E メールアドレスを変更するとき
➡ 変更する電話番号／ E メールアドレスにタッチし、入力する。

継続手続きについて

契約の更新日が近づくと、トヨタメディアサービス（株）より案内を送付します。

継続手続きについてはレクサス販売店にご相談ください。

有料コンテンツのご利用について

有料コンテンツの購入・解約

G-Link 有料コンテンツの購入・解約には、次の手続きが必要になります。

また、利用料金はコンテンツ毎に異なります。

有料コンテンツ購入手続き

有料コンテンツを購入する際、コンテンツ購入手続き案内が表示される場合には、当該コンテンツの購入がされておりません。

画面の指示にしたがって、「規約への同意」「購入方法と支払い方法の確認」「G 暗証番号の入力」を実行し、ご利用ください。

有料コンテンツ解約手続き



1 ［コンテンツ購入履歴／解約］にタッチ。

2 ［コンテンツ契約内容の確認］にタッチ。

3 申し込み時に登録した「G　暗証番号」を入力し、解約する。

- 「G 暗証番号」は、有料コンテンツを購入するときや、一部のサービスを車載機や携帯電話から利用するときに入力していただく 4 桁の番号です。

解約手続きについて

お車を手放すときなど、G-Link を解約するときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

＜車載機で解約するとき＞
解約手続きをする→ P.507

↓

＜お車を手放すとき＞
個人情報の初期化をする→ P.31

解約しないで車を手放したときなど

↓

G-Link サポートセンターに連絡して解約する

G-Link サポートセンター

全国共通・フリーコール

0800-300-3388

受付時間　9:00 ～ 18:00
月曜～金曜（除く祝祭日）

⚠ 注意

車載機に保存した情報は、車載機の個人情報の初期化を行うことで消去できます。
（→ P.31）
お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、車載機で解約手続きおよび初期化を必ず行ってください。

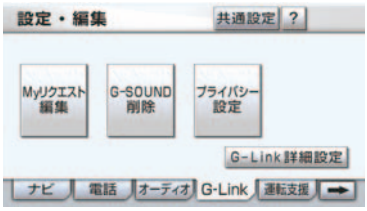
解約手続きをする

G-Link を解約するときは、次の手順で実施してください。

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **G-Link** にタッチ。

3 **［G-Link 詳細設定］**にタッチ。



4 契約解除の **［解除する］**にタッチ。



5 画面の指示にしたがって操作する。

- ユーザー画面からでも解約手続きができます。

お車を手放すとき

解約手続きをしただけでは、車載機に保存したお客様の情報は消去されません。

お車を手放すときは、個人情報の初期化（→ P.31）も合わせて必ず実施してください。

1. はじめに

ヘルプネットについて

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話し、車内からの通報を補助するシステムです。

ヘルプネットは、警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行えません。

サービス開始と解約について

ヘルプネットは、G-Link 利用手続後に手動保守点検によるサービス開始操作＊が完了すると利用できます（→ P.513）。

＊ サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

ヘルプネットを解約したいときは、G-Link 利用契約を解約すると、同時に解約されます。

- ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

緊急通報について

緊急通報は、サービス開始操作が完了すると利用できる機能です。

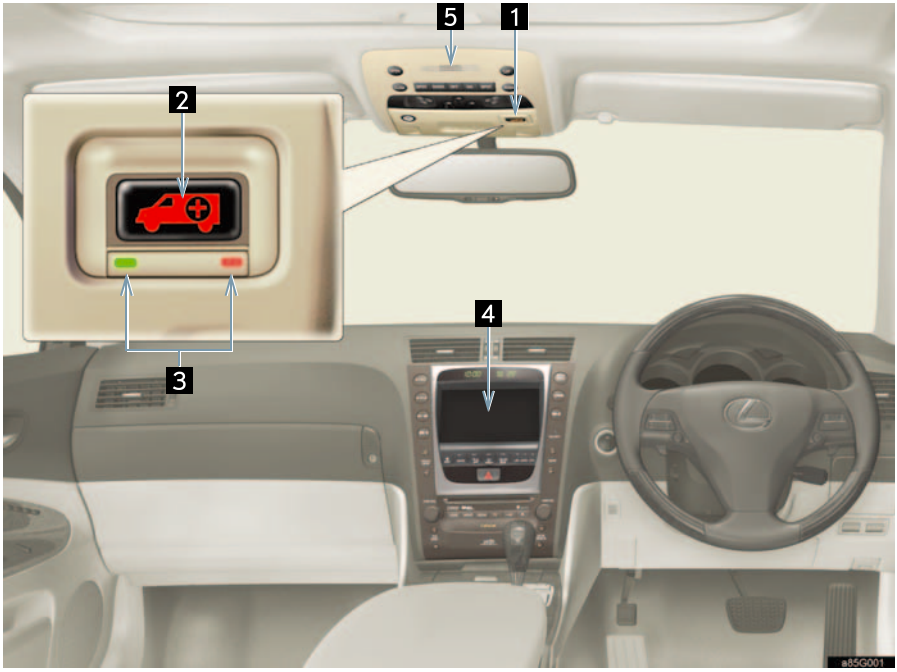
エアバッグ作動による自動通報

- 事故が発生し、エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

ボタン操作による手動通報

- 乗員がヘルプネットボタンを押すと、ヘルプネットセンターに通報します。

各部の名称とはたらき



名　称		機　能
1 ヘルプネット スイッチパネル	2 ヘルプネット ボタン	ボタン操作による手動通報をするとき、また、手動保守点検をするときに押します。
	3 表示灯（赤、緑）	赤、緑表示灯の点灯の組み合わせにより機器の故障、緊急通報中などシステムの動作をお知らせします。
4 ディスプレイ		緊急通報時や保守点検時にメッセージを表示します。
5 マイク		緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に、お客様の声をヘルプネットセンターに伝えます。

⚠ 注意

ヘルプネットスイッチパネルなどに液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

- ヘルプネットスイッチパネルなどが故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。

緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合等があると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。

安全のために

⚠ 警告

■ 安全運転を心がけてください。

- 安全運転を心がけてください。本機は、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- サービス開始操作*は契約者本人が行い、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを必ず確認してください。
- 本機は衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 12V バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 事故発生時、エアバッグが作動せず、車両へ強い衝撃が加わっていないときは自動通報されません。また、エアバッグが作動しても通報されないことがあります。このようなときにはボタン操作による手動通報をしてください。
- 以下のときは緊急通報できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

・ 携帯電話サービスエリア外で使用している
・ 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線など）に異常または損傷があり、故障している
・ G-Link 利用契約が未契約、または契約期限が切れている
・ サービス開始操作*を実施していないため、緊急通報可能状態になっていない

- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- G-Link利用契約を解約してもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しているときは、レクサス販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。

＊ サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してレクサス販売店にご相談ください。

⚠ 注意

■ **無理に分解しないでください。**

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにレクサス販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取りはずしをすると、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなることがあります。取りはずしが必要なときには、レクサス販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 以下の温度範囲以外では、緊急通報が正常に動作しないことがあります。そのときは、最寄りの公衆電話などを使用してください。
  動作温度範囲：-20 ℃～＋ 60 ℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合、および車外に避難するときは、パーキングブレーキをしっかりかけて、“ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／“ パワー ” スイッチを OFF にしてください。

- いたずらなどで緊急車両などが出動したとき、該当費用に関しての請求をされたり、関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないでください。
- 事故発生時以外でも、エアバッグが開いたときには自動通報します。このようなときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された通信モジュールを使用するときは、サービスの利用契約をしていない状態でも緊急通報可能状態として表示することがあります。

2. サービス開始操作をする

サービス開始操作をする

ヘルプネットは、サービス開始操作*を完了すると利用できます。

G-Link 利用手続後、以下の手順でサービス開始操作*をしてください。また、ヘルプネットスイッチパネルなどが正常に動作するか確かめてください。この確認をしないと、ヘルプネットサービスの利用ができません。

*** サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。**

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動する。

- ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

2「手動保守点検」を行い、以下の点を確かめる（→ P.520）。

- 通信が正常に始まる。
- 通報位置が正しい（ヘルプネットセンターとの通話で確認）。
- 通話ができる。

3 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯します。

- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないときは、再度、手動保守点検をしてください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくてもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯することがあります。このとき、緊急通報できないことがあるため、レクサス販売店にご相談ください。

⚠警告

■正常に動作しないとき、救援困難となる可能性があります。

●以下のように、関連機器が正常に動作しないとき、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。

・通信が始まらない。

・通報位置とヘルプネットセンターの位置表示が違う。

・通話できない。

●サービス開始操作*は途中で中断せず、最後まで完了してください。“エンジン スタート ストップ”スイッチ／“パワー”スイッチを OFF にして中断したときは、基本的にヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しません。それでも点灯したときはレクサス販売店にご相談ください。

●サービス開始操作*時の手動保守点検が正常に動作しなかったときは、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に関連機器が正常に動作しないときや、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しているが、通話ができないときには、レクサス販売店にご相談ください。

●手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないとき、緊急通報は動作しません。表示灯が正常に点灯しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリーなどが利用できません。このとき、手動保守点検が終了してからご利用ください。

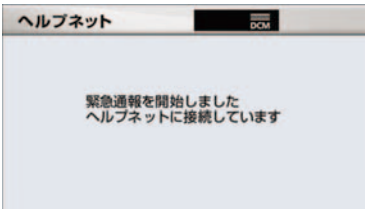
＊ サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

3. 緊急通報をする

エアバッグ作動による自動通報

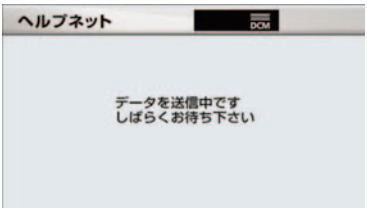
事故が発生し、エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報されます。

1 エアバッグが作動するような事故が発生すると、自動的に緊急通報が開始される。

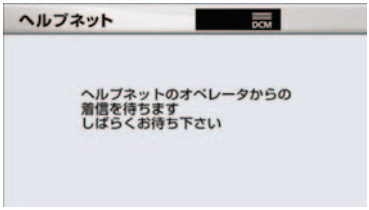


- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

2 ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信される。



3 データ通信完了後、通話モードになる。



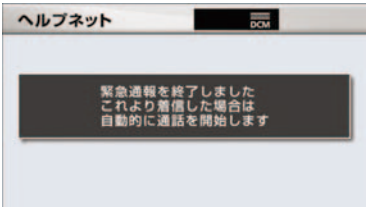
4 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報の要・不要を伝える。



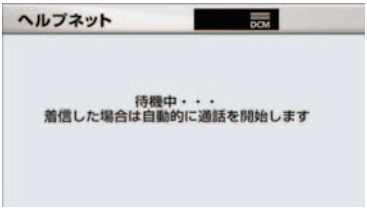
- お客様からの応答が無い場合には意識不明と判断し、オペレーターがお客様に代わって速やかに救急車の手配を要請します。

5 警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 に接続する。

6 通話が終了すると、ヘルプネットセンターが電話回線の切断を行う。



7 通話終了後、約 30 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。



⚠ 警告

- 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

8 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。



- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。
- 緊急通報終了後約 30 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 30 分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

9 車内および車外の状況に応じて二次災害を防ぎながら、最も安全な処置をして救援を待ちます。

⚠ 警告

緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除くG-Link サービスなどは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

ボタン操作による手動通報

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。実際に使用するときにあわてないために、流れを覚えておいてください。

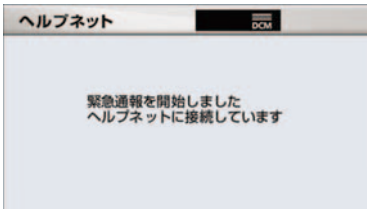
- 以下の状態のとき、ヘルプネットボタンを押すと緊急通報が始まります。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。
  - ・GS460/GS350：“エンジン スタート ストップ”スイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモードのとき
  - ・GS450h：“パワー”スイッチがアクセサリーモードまたはONモードのとき

1 ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめる。

2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開き、ヘルプネットボタンを押す。



3 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始される。

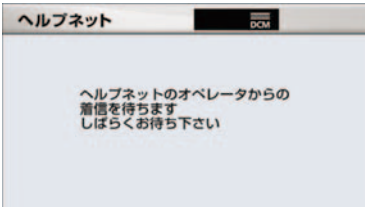


- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

4 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信される。



5 データ通信完了後、通話モードになる。



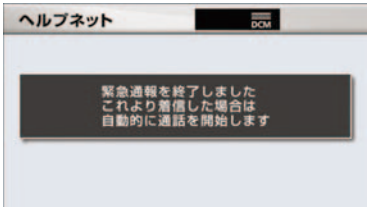
6 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報の要・不要を伝える。



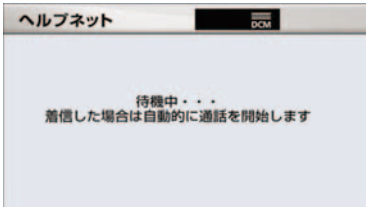
- 手動通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の要請に基づき警察、消防などに接続します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

7 警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 に接続する。

8 通話が終了すると、ヘルプネットセンターが電話回線の切断をする。



9 通話終了後、約 30 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。



⚠ 警告

- 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

10 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。



- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

⚠ 警告

緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除くG-Link サービスなどは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了するときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。
- 緊急通報終了後約 30 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 30 分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

4. 保守点検をする

自動保守点検

自動保守点検は、定期的に自動で実施される保守点検です。お客様が会員登録されているかを、ヘルプネットセンターが確かめます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。

- 点検時期
  ・（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
- 点検時間
  ・開始後 1 ～ 2 分で終了します。

注意

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、以下の操作をしたあとに再び自動保守点検を開始します。

- GS460 / GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする
- GS450h：“ パワー ” スイッチを OFF からアクセサリーモードまたは ON モードにする

何度も正常に終了しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

- 自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。

手動保守点検

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。

- 関連機器の保守点検（関連機器修理点検や車両修理後の保守点検）
- ヘルプネットセンターに会員登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

警告

手動保守点検の途中で、“ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／“ パワー ” スイッチを OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。“ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／“ パワー ” スイッチを OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやり直してください。

1 現在地画面で GPS の受信（GPS マークが表示されること）を確かめる。



GPS マーク

2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開く。

3 “ エンジン スタート ストップ ” スイッチ ／ “ パワー ” スイッチを OFF にする。

4 以下の状態にする。
GS460 / GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする。
GS450h：“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたはONモードにする。

5 ヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯がともに点灯したら、すぐにヘルプネットボタンを約 10 秒間押し続ける。

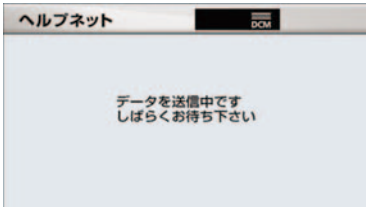


6 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

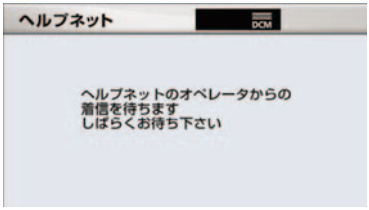
- 手動保守点検が開始されると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅し始めます。ボタンから指を離してください。
- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

7 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をする。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに会員登録されていること



8 データ通信完了後、通話モードになります。



9 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。



- ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。

10 通話の終了後に点検を終了します。

- 緑の表示灯は点滅を終了し、最新のシステム状態を表示します。

⚠ 警告

サービス開始操作*で手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。途中で中断したときは、基本的にはヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しません。ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯したときはレクサス販売店にご相談ください。

* サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠注意

手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅します。このときは“ エンジン スタート ストップ ”スイッチ／“ パワー ”スイッチを一度 OFF にして、赤の表示灯の点滅が終了してから手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されないときには、レクサス販売店にご相談ください。

- 手動保守点検開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

5. 知っておいてください

表示灯について

ヘルプネットシステムはシステムの作動状態をヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯でお知らせします。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	消灯	動作中のとき （携帯電話サービスエリア内）	緊急通報がご利用になれます。
消灯	点灯	動作中のとき （携帯電話サービスエリア外）	緊急通報ができません。携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		関連機器に異常があるとき （携帯電話サービスエリア内）	携帯電話サービスエリア内でいつまでもこの表示が続くときは機器の故障が考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
点滅	消灯	緊急通報中のとき	緊急通報が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
消灯	点滅	緊急通報に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		自動保守点検を何回も連続して失敗したとき （携帯電話サービスエリア外）	携帯電話サービスエリア内に移動して、手動保守点検をしてください（→ P.520）。それでも表示が続く場合は、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検に失敗したとき	携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。
		関連機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らないときは、機器に異常があることが考えられます。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
点灯	点灯	• GS460 / GS350 : “ エンジンスタート ストップ ” スイッチをイグニッションONモードにしたとき（約 5 秒間） • GS450h : “ パワー ” スイッチを ON モードにしたとき（約 5 秒間）	20 秒以上続くときは、機器に異常があることが考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
		関連機器に異常があるとき	

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
消灯	消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	G-Link サービスを契約してください。
		関連機器が動作していないとき	以下の状態にしてもこの状態が続くときは、レクサス販売店にご相談ください。 • GS460 / GS350：“ エンジン スタートストップ ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする • GS450h：“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにする
		サービス開始操作をしていないとき	サービス開始操作を行う。

⚠ 警告

- 表示灯が以下のときには、ヘルプネットシステムに異常があることをお知らせしています。これらの異常表示がされたとき、システムが正常作動せず緊急通報できないことがあります。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
  - ・ エンジン／ハイブリッドシステム始動後にヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯が約 5 秒間点灯したあと、赤の表示灯が点滅し続ける。
  - ・ エンジン／ハイブリッドシステム始動後、赤と緑の表示灯の点灯がいつまでも続く。
  - ・ 携帯電話サービス圏内にもかかわらず赤の表示灯がいつまでも続く。
  - ・ エンジン／ハイブリッドシステム始動後に赤と緑の表示灯が点灯しない。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された関連機器を使用するときは、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

G-Link 利用契約の不成立または消滅

- 未契約のとき
- 契約が締結できないとき
- 契約の解除が実施されたとき
- 契約が終了したとき

関連機器の異常による通信不能

- 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナおよびこれらを接続する電気配線など）の故障
- 12V バッテリーの電圧低下など、関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、関連機器の損傷

緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき
- ヘルプネットは、ナビゲーションシステムの GPS から位置情報を取得しています（→P.138）。

ヘルプネットセンター／ G-BOOK センターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置するとき
- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

その他の要因

- 手動通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、レクサス販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずレクサス販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 警告

緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

症　状	考えられること	処　置
緑の表示灯が点灯しない	サービス開始操作を完了していますか。	サービス開始操作をする。
緊急通報できない	以下の操作をした直後の点検中ではありませんか。 • GS460/GS350：“エンジン スタート ストップ”スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする • GS450h：“パワー”スイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにする	緑の表示灯が点灯するまで待ってから、ヘルプネットボタンを操作して通報してください（→ P.517）。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください（→ P.520）。
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください（→ P.520）。
“エンジン スタート ストップ”スイッチ／“パワー”スイッチを OFF にしても赤または、緑の表示灯が点滅し続けた	緊急通報中ではありませんか。	「緊急通報を、終了しました」という音声案内が流れてから約30分経過するまで待って、緑の表示灯の点滅が終了することを確かめてください。
エンジン／ハイブリッドシステム始動後、表示灯が両方共に点灯しない	G-Link 利用契約がされていますか。	G-Link 利用契約をする。

1. G-Security について

G-Security について

G-Security は、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

アラーム通知（→ P.530）

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。

エンジン始動通知（→ P.532）

エンジン／ハイブリッドシステムの始動を検知し、メールでお知らせします。

うっかり通知（→ P.532）

ドアロックの閉め忘れやハザードランプの消し忘れを、ご指定の E メールアドレスに通知します。

リモート確認（→ P.533）

ドア・トランクの開閉やドアロックの状態、ハザードランプの点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを携帯電話で確認できます。

車両の位置確認（→ P.534）

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

警備員の派遣（→ P.534）

車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

詳しくは、パソコンや携帯電話の G-BOOK.com サイト（http://lexus.g-book.com/）をご覧ください。

- G-Security では車両の位置情報を使用します。車載機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。
- また、E メールによる通知については遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。

初期設定の確認・変更

アラーム通知、エンジン始動通知、うっかり通知の設定の確認・変更について説明します。

通知設定の一覧

＊ 納車時の設定

サービス名	通知方法	設定		
アラーム通知	電話	設定中＊	解除中	－
	E メール	設定中＊	解除中	－
エンジン始動通知	E メール	設定中	解除中＊	－
うっかり通知	E メール	設定中＊	解除中	一時停止中

設定中 ・・・・・・・・・ 異常検知を通知します
解除中 ・・・・・・・・・ 異常が通知されません
一時停止中 ・・・・・ 通知を 2 時間停止します

- サポートアドレスにEメールアドレスの登録がない場合は、通知されません。

解除中→設定中へ切り替える

画面外の 情報・G または INFO
↓
（ G-Link ）
↓
G-Link 画面

1 ［メインメニュー］にタッチ。



2 ［セキュリティ］にタッチ。



3 設定したい項目にタッチ。



- 設定の説明画面が表示されるとき
  ➡ 内容を確認し、**［確認］**にタッチ。
- スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

設定中→解除中または一時停止中へ切り替える

- 一時停止は、「うっかり通知」のみの設定です。

画面外の 情報・G または INFO
↓
（ G-Link ）
↓
G-Link 画面

1 ［メインメニュー］にタッチ。



2 ［セキュリティ］にタッチ。



3 解除または一時停止したい項目にタッチ。



4 **G 暗証番号を登録している場合：**
G 暗証番号表示窓スイッチにタッチする。
G 暗証番号を登録していない場合：
パスワード表示窓スイッチにタッチする。



- 「G 暗証番号」は、G-Security の設定を解除するときや、一部のサービスを利用するときに入力していただく 4 桁の番号です。

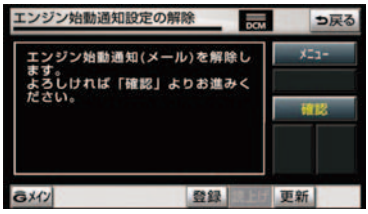
5 G 暗証番号またはパスワードを入力し、［**完了**］にタッチする。

6 解除するときは［**解除**］に、一時停止（2 時間）するときは［**停止**］にタッチする。



- ［**停止**］は、手順 **3** で「うっかり通知」にタッチすると表示されます。

7 ［**確認**］にタッチする。



- 設定が解除中にかわり、通知設定が切り替わります。

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、車両の異常を検知した場合に、お客様にご連絡するために必要となる大切な連絡先です。

G-Link 利用申込書に記入いただいた電話番号と E メールアドレスが、あらかじめ登録されています。

連絡先に追加・変更があった場合は、次の手順で追加・変更してください。

サポートアドレスの確認・追加・変更

画面外の **情報・G** または **INFO**
▼
（ **G-Link** ）
▼
G-Link 画面

1 ［**メインメニュー**］にタッチ。



2 ［セキュリティ］にタッチ。



3 ［通知先の設定］にタッチ。



4 追加・変更したい項目にタッチして入力する。

■ 電話番号登録画面



- Eメールアドレスを追加・変更するとき
  ➡［メール］にタッチ。

■ E メールアドレス登録画面



- 電話番号を追加・変更するとき
  ➡［TEL］にタッチ。

5 ［完了］にタッチ。

6 ［決定］にタッチ。

アラーム通知

ドアのこじ開けなどのオートアラーム作動※を検知した場合、サポートアドレスに登録してある E メールアドレスや電話番号に通知します。

※ 詳しくは、別冊「GS460/GS350 取扱説明書」または「GS450h 取扱説明書」をご覧ください。

アラーム通知の設定・解除を行うことができます。（→ P.527）

- 車外に出た後、ドア・ボンネットを閉め、全てのドアをロックした後、30 秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。
- アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。
- アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてレクサスケアコミュニケーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→ P.548）
- 12V バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。
- 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の配信が行われないことがあります。
- 通信環境の整わない状況等によりアラーム通知の配信が行われない場合、配信が完了されるまで継続されます。
- アラーム通知が未配信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。

- ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
- G-Link利用契約を解除した場合、アラーム通知は配信されません。

セキュリティカメラについて

＊セキュリティカメラ装着車のみ

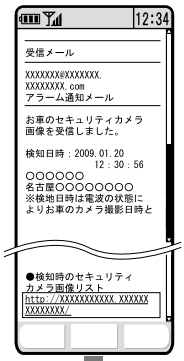
- 不正な侵入を検知し警報が作動すると、補助照明が点灯します。なお、G-Link 利用契約が解除されていても、補助照明は点灯します。ただし、画像は撮影しません。
- セキュリティカメラは、アラーム発生時とアラーム発生中に侵入者を検知したときに撮影します。
- 以下のとき、正常な画像が撮影できないことがあります。
  ・カメラのレンズや補助照明が汚れている。
  ・太陽の光などの強い光がカメラのレンズにあたっている。
- 受信メールからセキュリティカメラ画像を確認できるのは、メール受信から 24 時間までです。
  24 時間以上経過した場合は携帯サイトにログインしてご確認ください。
  詳しくは「携帯電話での操作」（→ P.536）をご覧ください。
- セキュリティカメラ画像の保持期限は撮影より 1ヶ月間です。

⚠ 注意

正常な画像を撮影できなくなるおそれがあるため、以下のことを必ずお守りください。

- レンズや補助照明に直接触れない、強い衝撃を与えない。
- レンズや補助照明を覆うようなシールなどを貼り付けない。

メールを受信



“URL”を選択



“該当日時”を選択



エンジン始動通知

エンジン／ハイブリッドシステム始動を検知し、ご指定の E メールアドレスに通知します。

お車から離れるとき、携帯電話などから設定しておけば第三者によるエンジン始動がわかります。

エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。（→ P.527）

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてレクサスケアコミュニケーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→ P.548）
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、“ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／“ パワー ” スイッチが OFF になったことを検知し、通知させることができます。
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、10 分間隔で通知させることができます。（24 時間経過後、自動解除されます。）

うっかり通知

ドアロックの閉め忘れやハザードランプの消し忘れを、ご指定の E メールアドレスに通知します。

うっかり通知の設定・解除を行うことができます（→ P.527）

- “ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／“ パワー ” スイッチを OFF にして数分後、以下の条件をすべて満たすとうっかり通知メールが配信されます。
  ・ドア・トランクがすべて閉まっている
  ・電子キーが車内未検知
  ・ドアロックが閉まっていない、ハザードランプが点滅している
  ・お車を駐車した場所やお客様の携帯電話が電波状態の悪い所にあるときは、配信されなかったり、配信が遅れたりすることがあります。
- うっかり通知はサポートアドレスに連絡されます。
- 12V バッテリー脱着後は、以下の状態にしないと、うっかり通知メールは配信されません。
  ・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモードにする
  ・GS450h：“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたはONモードにする
- 電子キーが車外にあっても、以下のよう場合では車内と判断されることがあります。その際には、うっかり通知が配信されない場合があります。
  ・ドアガラスに近い位置、またはルーフ上に電子キーがある場合。
  ・ウインドウから電子キーを車外に出した場合。
  ・リヤアームレスト上の後部に電子キーを置いた後に車外に出した場合。
  ・スマートエントリー＆スタートシステムをキャンセルしている場合。

● 電子キーが車内にあっても、以下のような場合では車外と判断されることがあります。その際には、うっかり通知が配信される場合があります。
・窓から電子キーを車内に入れた場合。
・電子キーの置き場所（インストルメントパネル上）、状況（電池切れ、金属製ケースなどの中）、また周囲の電波環境によってスマートエントリー＆スタートシステムが正常に働かないおそれがある場合。※

※ 詳しくは、別冊「GS460/GS350 取扱説明書」または「GS450h 取扱説明書」をご覧ください。

うっかり通知メールについて

● 携帯電話本体の操作方法は、機種によって異なります。
● 画面の内容は変更することがあります。
● 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。



● リモート確認については（→ P.533）

リモート確認

ドア・トランクの開閉やドアロックの状態、ハザードランプの点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを携帯電話で確認できます。

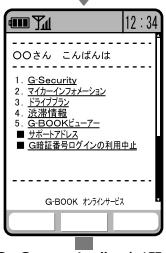
● 携帯電話でご覧いただける、リモート確認画面での情報は、センターの最新値で、アクセス時点での状態ではありません。お車が電波状態の悪い所に駐車してあるときなどは情報が更新できず、前回の情報が表示されることがあります。
・各車両の状態は“エンジン スタート ストップ”スイッチ／“パワー”スイッチ OFF 後、ドアの開閉などが一定時間なかったときに、また、お車の状態の項目は状態に変化が発生するごとに更新されます。
● 12V バッテリー脱着後は、以下の状態にしないと、リモート確認画面での情報は更新されません。
・GS460/GS350：“エンジン スタート ストップ”スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモードにする
・GS450h：“パワー”スイッチをアクセサリーモードまたはONモードにする

リモート確認をするには

● URL をブックマークとして登録しておくことをお勧めします。
● 携帯電話本体の操作方法は、機種により異なります。
● 画面の内容は変更することがあります。
● 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。

G-Link トップページへアクセスする (URL http://lexus.g-book.com)

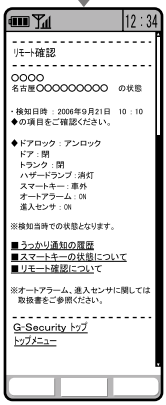
ログイン（→ P.536）
（G 暗証番号ログインについては→ P.535）



“G-Security” を選択



“リモート確認” を選択



車両の位置確認

お客様の要請により、レクサスケアコミュニケーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→ P.548）

警備員の派遣

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→ P.548）

- 警備員が出動してから 1 時間以内は無料です。その後 1 時間につき 10,500 円（税込）になります。1 時間を超える場合は、レクサスケアコミュニケーターから延長するかどうかの確認を行います。
- 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。

G 暗証番号ログインの登録

G-Security の設定・変更は、携帯電話のG-Linkサイトから行うこともできます。

G暗証番号ログインの登録を行うと、サイトに簡単にログインできます。

G-Link のトップページへアクセスする

▼

[G 暗証番号ログインの登録] を選択

▼

携帯電話情報を送信しますか？※ 1

[はい] を選択

▼

ID とパスワードを入力

[送信] を選択

▼

G 暗証番号を入力※ 2

▼

[登録する] を選択

▼

完了

※ 1　一部機種のみ表示
（メッセージは機種により異なります。）

※ 2　すでに登録しているときはスキップします。

1. 携帯電話での操作について

G-Security

G-Security の携帯電話での操作について簡単に説明します。

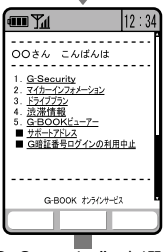
- 携帯電話本体の操作方法は、機種により異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。
- G-Link のトップページの URL をブックマークとして登録することをお勧めします。
- 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。

G-Link トップページへアクセスする
(URL http://lexus.g-book.com)

↓

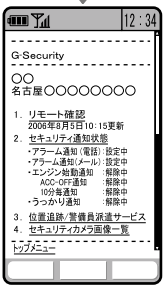
ログイン
(G 暗証番号ログインについては→ P.535)

↓



“G-Security” を選択

↓



マイカーインフォメーション

マイカーインフォメーションでは、以下の情報を確認することができます。

- 走行距離
- 航続可能距離
- 平均燃費
- 燃料残量

マイカーインフォメーションを携帯電話で確認するときの操作について簡単に説明します。

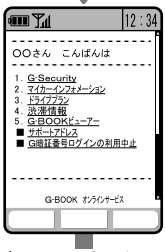
- 携帯電話でご覧いただける、マイカーインフォメーション画面での情報は、センターの最新値で、アクセス時点での状態ではありません。お車が電波状態の悪い所に駐車してあるときなどは情報が更新できず、前回の情報が表示されることがあります。
  ・各車両の状態は“エンジン スタート ストップ”スイッチ／“パワー”スイッチ OFF 後、ドアの開閉などが一定時間なかったときに更新されます。
- 携帯電話本体の操作方法は、機種により異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。
- G-Link のトップページの URL をブックマークとして登録することをお勧めします。
- 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。

G-Link トップページへアクセスする (URL http://lexus.g-book.com)

↓

ログイン
（G 暗証番号ログインについては→ P.535）

↓



“マイカーインフォメーション”を選択

↓



1. マップオンデマンド

マップオンデマンドについて

マップオンデマンドは、全国の高速道路・有料道路、ナビに登録した自宅および設定した目的地周辺の道路変更部分のみを、携帯電話網、インターネット網を通じてナビに配信するサービスです。

これにより、地図データを短期間で更新でき、更新された地図を使って、ナビのルート探索・案内を利用できます。

全更新と差分更新について

地図更新には、「全更新」と「差分更新」があります。

マップオンデマンドは「差分更新」になります。

■ 全更新

最新版地図ソフトで全国の地図データをすべて更新します。

差分更新を継続して利用するためには、レクサス販売店で最新版地図ソフトを購入いただき、更新していただく必要があります。

詳しくは、レクサス販売店にご相談ください。

※ 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了することがあります。

- 全更新するときは、それまでの差分更新のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。

■ 差分更新

通信またはメディア（CD-R ／ DVD-R）を使用して、部分的に地図データを更新します。

この場合、更新されるエリアは更新方法によって異なります。

- 更新方法により、通信にかかる実費などが別途必要です。（→ P.539）
- 差分更新の対象は、道路と道路に付随する案内情報、および立体ランドマーク相当の著名な施設に限定されます。コンビニなどの一般施設は更新されません。（→ P.540）

差分更新サービス期間と費用

■ サービス期間について

新車購入後、３年間サービスをご利用いただけます。

その後は、最新版地図ソフトを購入いただければ、２年間サービスをご利用いただけます。

※ 通信による自動更新のご利用には G-Link のお申し込みが必要です。お申し込みがない場合、メディア（CD-R ／ DVD-R）による地図更新のみご利用いただけます。

■ 更新にかかる費用について

サービス期間中は、差分更新時に次の費用がかかります。

更新方法	更新時の費用
通信で更新 **〈G-Link 利用時〉**	G-Link 基本利用料に含まれています。
メディア（CD-R ／ DVD-R）で更新（インターネットでダウンロード）	メディア（CD-R ／ DVD-R）代、パソコンの通信にかかる実費
地図更新 DVD を注文して更新	地図更新 DVD 代　1,800 円（税込・送料含）

更新方法について

更新方法は次の方法があります。

■ 通信で更新（→ P.542）

〈G-Link 利用時〉

通信モジュールを利用して自動更新します。

全国の高速道路・有料道路、自宅周辺、目的地周辺を更新できます。

■ メディア（CD-R ／ DVD-R）で更新（→ P.543）

ご希望の都道府県の最新データを、パソコンサイトの G-BOOK.com からパソコンにダウンロードし、メディア（CD-R ／ DVD-R）経由で車載機のデータを更新します。

1 回につき都道府県を 3 つまで選択して更新できます。

- この方法は G-Link を利用していないお客様もご利用いただけます。詳しくは、パソコンサイトの G-BOOK.com（http://lexus.g-book.com/）でご確認ください。
- メディア（CD-R ／ DVD-R）代、パソコンの通信にかかる実費はお客様にご負担いただきます。

■ 地図更新 DVD を注文して更新（→ P.543）

レクサスオーナーズデスクに電話していただければ、地図更新 DVD を注文することができます。この地図更新 DVD を使用して更新します。

- この方法は G-Link を利用していないお客様もご利用いただけます。
- 送料などの実費はお客様にご負担いただきます。

更新エリアと更新対象について

各更新方法の更新エリアおよび更新対象は、次のようになっています。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">地図データ</td><td colspan="3">更新エリア・更新対象</td></tr>
<tr><td colspan="2">マップオンデマンド（差分更新）</td><td rowspan="2">全更新</td></tr>
<tr><td>通信で更新</td><td>メディア（CD-R ／ DVD-R）で更新</td></tr>
<tr><td rowspan="3">道路データ</td><td>高速道路・有料道路</td><td>全国</td><td rowspan="3">全国
（ご希望の都道府県を選択できます。）</td><td rowspan="3">全て</td></tr>
<tr><td>主要国道</td><td>全国</td></tr>
<tr><td>一部国道、主要道、都道府県道、その他の道路、幅 5.5m 未満の道路</td><td>自宅周辺と目的地周辺
● 自宅周辺80km 四方（幅 5.5m 未満の道路 10km 四方）
● 目的地周辺 10km 四方</td></tr>
<tr><td colspan="2">施設情報</td><td colspan="2">● 全国の高速道路・有料道路施設
● 立体 ランドマーク相当の著名な施設</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">市街図、音声案内</td><td colspan="2">更新対象外</td><td></td></tr>
</table>

● 地図更新画面で確認することもできます。（→ P.541）

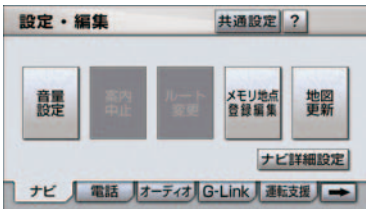
地図更新画面について

地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

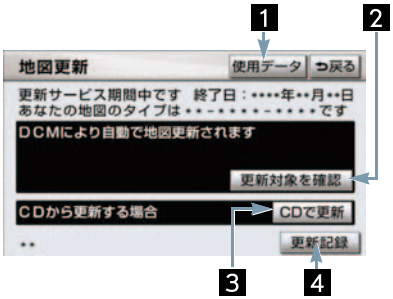
地図更新画面を表示する

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **［地図更新］**にタッチ。



地図更新画面の使い方



情報の確認

次の情報が確認できます。

- 更新サービス期間中かどうかと終了日
- 地図のタイプ ＊＊-＊＊＊＊＊-＊＊＊＊
- パソコンサイトからパソコンにデータをダウンロードするとき、および電話でDVDを注文するときに、地図のタイプの情報が必要になることがあります。（→ P.543）

各スイッチの使い方

1 使用データ

使用データ画面を表示する。

- ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報を確認できます。
- 使用データ画面に表示される**［地図更新］**は、全更新時に使用します。

2 更新対象を確認

更新エリアと更新対象を確認する。

3 CD で更新

メディア（CD-R ／ DVD-R）で更新をする。

- **［CD で更新］**と表示されますが、DVD も利用できます。

4 更新記録

最新の更新日を確認する。

2. 地図を更新する

地図を更新する

ご希望の更新方法で地図を更新します。

▶通信で更新する（→ P.542）

▶メディア（CD-R ／ DVD-R）で更新する（→ P.543）

- 各更新方法の更新エリアと更新対象について
  ➡「更新エリアと更新対象について」（→ P.540）
- 地図更新にかかる時間について
  ➡「地図更新にかかる時間の目安について」（→ P.546）

地図更新中の操作について

地図更新中でも、“ エンジン スタート ストップ ” スイッチ ／ “ パワー ” スイッチやナビ、オーディオなどの操作をすることができます。

- 更新の途中で “ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／ “ パワー ” スイッチを OFF にしても、以下の状態にすれば処理を再開します。
  ・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモードにする
  ・GS450h：“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたはONモードにする
- 差分データが車載機にダウンロードまたはコピーされ、地図更新の準備ができた後、地図画面の［地図更新］にタッチしないで “ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／ “ パワー ” スイッチを OFF にした場合は、以下の状態にしたときに、自動で新しい地図に更新します。
  ・GS460/GS350：“ エンジン スタート ストップ ” スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモードにしたとき
  ・GS450h：“ パワー ” スイッチをアクセサリーモードまたはONモードにしたとき
- 地図更新の準備ができた後、地図画面の［地図更新］にタッチしないで “ エンジン スタート ストップ ” スイッチ／ “ パワー ” スイッチを OFF にすると、次回、オープニング画面の表示時間が長くなることがあります。
- 差分データをダウンロードまたはコピー中、および地図更新準備中に、ナビ、オーディオなどの操作を行っても地図の更新は継続されます。ただし、音楽 CD をハードディスクに録音している間は、地図更新の処理を中断します。この場合は、録音終了後、地図更新の処理を再開します。

通信（通信モジュール）で更新する

差分データがあると自動でダウンロードし、更新準備まで行います。

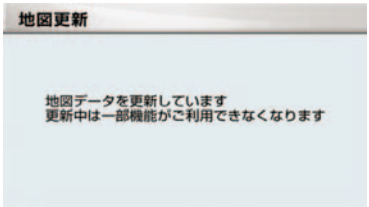
1 G-BOOK センターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされる。

- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

2 現在地画面の［地図更新］にタッチ。



3 地図が更新される。



● 地図更新情報画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。

メディア（CD-R ／ DVD-R）で更新する

メディア（CD-R ／ DVD-R）を使用して更新します。

● G-Link の利用契約をしていないお客様もご利用いただけます。

メディア（CD-R ／ DVD-R）を用意する

次のいずれかの方法でメディア（CD-R ／ DVD-R）を用意してください。

その際、地図のタイプの情報が必要になることがあります。あらかじめ、地図更新画面で確認しておいてください。（→ P.541）

インターネットから入手する

1 パソコンサイトの G-BOOK.com（http://lexus.g-book.com/）からデータをダウンロードする。

● G-Link　の利用契約をしていない場合は、GAZOO 会員 ID とパスワード、および車台番号が必要です。
● 初回の地図更新は時間が長くなる場合がありますので、3 都道府県程度のダウンロードをお奨めします。

2 データをメディア（CD-R ／ DVD-R）にコピーする。

注意

● メディア（CD-R ／ DVD-R）には地図データ以外の情報を入れないでください。
● ダウンロードしたデータのファイル名および拡張子を変更しないでください。変更すると地図更新できません。

● メディア（CD-R ／ DVD-R）代、パソコンの通信にかかる実費はお客様のご負担になります。

電話で注文する（有料）

レクサスオーナーズデスク（→ P.548）に電話して注文してください。

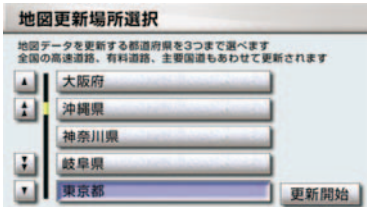
● G-Link の利用契約をしていないお客様もご利用いただけます。
● 送料などの実費はお客様のご負担になります。

地図を更新する

1 回の更新で 3 都道府県まで更新できます。

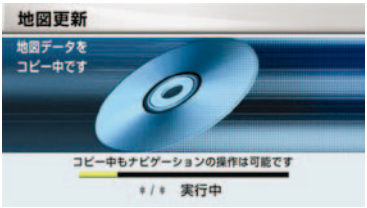
1 メディア（CD-R ／ DVD-R）を車載機に挿入する。

2 メディア（CD-R ／ DVD-R）に 4 都道府県以上の差分データがある場合
➡ 更新する都道府県を 3 つまで選択し、**［更新開始］**にタッチ。



● メディア（CD-R ／ DVD-R）の差分データが 3 都道府県以下の場合
➡ **3** の画面へ
● 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

3 データがコピーされ、地図更新の準備をする。

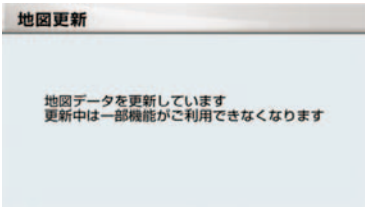


- コピーが完了したら、メディア（CD-R／DVD-R）を取り出すことができます。
- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

4 現在地画面の**[地図更新]**にタッチ。



5 地図が更新される。



- 地図更新情報画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。

■ 車載機にメディア（CD-R ／ DVD-R）が挿入されているとき

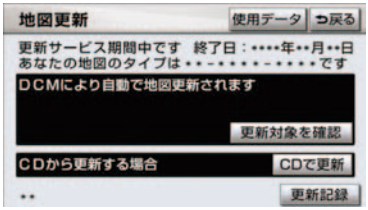
4都道府県以上続けて更新したい場合など、メディア（CD-R ／ DVD-R）が車載機に挿入された状態から地図を更新するときは、次の手順で行います。

1 画面外の **設定・編集** / **SET UP** または **情報・G** / **INFO** を押す。

- 画面外の **情報・G** または **INFO** を押して情報画面が表示されたとき
  ➡ **G-Link** にタッチ。

2 **[地図更新]**にタッチ。

3 **[CD で更新]**にタッチ。



- **[CD で更新]**と表示されますが、DVD も利用できます。

以後の操作は、「地図を更新する」（→P.542）の **2** 以降と同様です。

更新日の確認を行う

最新の更新日を確認できます。

画面外の 設定・編集 または SET UP
▼
地図更新
▼
地図更新画面

または

画面外の 情報・G または INFO
▼
(G-Link)
▼
地図更新
▼
地図更新画面

［更新記録］にタッチ。

3. 知っておいていただきたいこと

知っておいていただきたいこと

地図更新にかかる時間の目安について

地図更新にかかる時間は、大きく分けて次の２つあります。

●地図更新準備の時間

差分データをダウンロードまたはコピーし、地図更新準備をするまでの時間です。

初回更新や更新する差分データ量が多い場合は、地図更新準備までの時間が 1 時間以上かかることがあります。

●地図更新をする時間

車載機の地図データを書き換える時間です。

地図更新準備が完了後、現在地画面の［**地図更新**］にタッチしてからは、10 ～ 20 秒程度で地図更新が完了します。ただし、差分データ量が多い場合は数分程度かかることがあります。

なお、地図更新準備までの間および地図更新中にオーディオなどの操作を行った場合は、さらに時間がかかることがあります。

とくに、音楽 CD をハードディスクに録音している間は、一時的に更新処理を停止し、録音終了後に処理を再開するため、その分時間がかかります。

各道路の更新データ配信の目安について

- 高速道路は供用開始後、最短７日で配信します。
  ただし、年末年始などの長期休暇、開通道路状況、天候不良、システム保守などにより、配信までの期間に遅延が生じる場合があります。地図データの収集／整備状況によっては、配信までに約 3ヶ月ほどかかる場合もあります。
- 一般道路は開通後（変更後）、地図データとして収集・整備を行った後、順次配信されます。

配信されないデータについて

差分更新では、音声案内データは配信されません。

交差点、路線、方面名称、施設名称、目印などが新規に変更された場合、固有の音声案内は出力されません。

故障とお考えになる前に

症　状	考えられること	処　置
地図更新画面の終了日が「＊」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。 サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。	レクサス販売店で点検を受けてください。
	ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	画面外の **設定・編集** または **SET UP** →［**地図更新**］の順にタッチし、表示された画面で状態を確認してください。

1. レクサスオーナーズデスク

レクサスオーナーズデスクについて

レクサスオーナー専用のコールセンターです。フリーダイヤルにお電話していただくと、レクサスケアコミュニケーター（レクサス専用オペレーター）が 24 時間 365 日さまざまなご要望にお応えします。

- ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、レクサスオーナーズデスクを利用できません。
- レクサスオーナーズデスク接続中は、ヘルプネットおよびセキュリティ以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、レクサスオーナーズデスク接続を終了してからご使用ください。
- 電話機選択で携帯電話が選択されていても、レクサスオーナーズデスク接続中は一時的に Bluetooth 接続が中断されます。

車載機からレクサスオーナーズデスクへ接続する

レクサスオーナーズデスクは、ハンズフリー電話の設定不要で簡単に発信ができます。（通話料無料）

- レクサスオーナーズデスクへの発信のみ可能です。
  着信やレクサスオーナーズデスク以外への発信はできません。※

※ 車載機でレクサスオーナーズデスクからの着信や任意の番号への発信をご利用になるには、「自動車専用ハンズフリー電話」のオプション契約の申し込みが必要です。

レクサスオーナーズデスクを使う

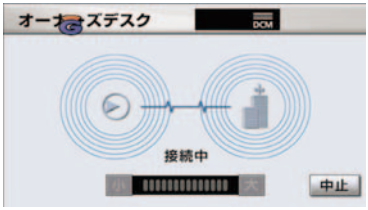
車内よりハンズフリーを利用する場合の使用例を紹介します。

画面外の **情報・G** または **INFO**
▼
（ **G-Link** ）
▼
G-Link 画面

1 ［**オーナーズデスク**］にタッチ。



2 レクサスオーナーズデスクに接続する。



- 中止するとき
  ➡ ［**中止**］にタッチ。

3 レクサスケアコミュニケーターと通話する。



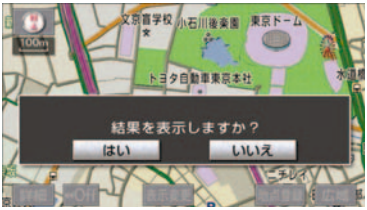
- 「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をレクサスケアコミュニケーターにお伝えください。

4 レクサスケアコミュニケーターとの通話が終了する。



- 自動的に回線が切断されます。

5 画面の指示にしたがって操作する。



- 「目的地設定」、「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-BOOKセンターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。

携帯電話・固定電話から利用する

いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

- ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。
- ご本人であることをレクサスケアコミュニケーターが確認させていただく場合があります。

1 レクサスオーナーズデスクに電話をかける。

2 利用したい内容を伝える。

- ドライブサポート
- 車両盗難などのトラブル

3 車載機を使用して、手動で受信する。

- 携帯電話や固定電話から利用すると、以下の状態にしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが車載機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。
  - ・GS460 / GS350：“エンジン スタートストップ”スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モードにする
  - ・GS450h：“パワー”スイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにする

  表示されない場合は、手動で情報を取得してください。(→ P.550)

手動で情報を取得する

自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(G-Link)
↓
G-Link 画面

1 ［情報確認］にタッチ。

2 メッセージが表示されたら、［はい］にタッチ。



メッセージが表示されないときは

［受信一覧］にタッチ。



- 過去に依頼した情報が表示されます。

1. レクサス緊急サポート 24 について

レクサス緊急サポート 24 について

- ガス欠などのトラブルが路上で発生した場合、現場での応急サービスを 24 時間 365 日無料で提供しています。
- お車が自走不可能な場合には、レッカー車による移動を無料で実施いたします。
- さらに故障の場合は、目的地までの交通費・宿泊費なども一定条件で補償いたします。

サービス内容

内　容		概　要	備　考
ロードサービス	**レッカーサポート**	レクサス販売店までの搬送手配と費用を負担	事故・故障を問わず
	現場緊急修理サポート	現場での 30 分程度の応急修理の手配と費用を負担	JAF 会員は油脂・燃料・部品代も費用負担
故障時臨時費用サポート		臨時交通費・臨時宿泊費・修理後搬送費用をサポート	故障時のみ
保険会社取り次ぎサービス		保険会社への事故報告のサポート (転送・番号案内など)	
緊急伝言サービス		ご家族・勤務先等にメッセージを伝言	

1. リモートメンテナンスサービス

リモートメンテナンスサービスについて

リモートメンテナンスサービスは、点検・メンテナンスの案内を「リモートメンテナンスメール」でお知らせするサービスです。

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やオイル交換・タイヤ交換などのメンテナンス内容を、お車にメールでご連絡します。

また、電話やネット予約により、その場でレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

ウォーニング通知

お車のエンジン・ブレーキ関係・オイルなどの項目について、メーター内の警告灯が点灯し G-BOOK センターが異常を検知すると、その内容を車載機にてお客様にご連絡します。

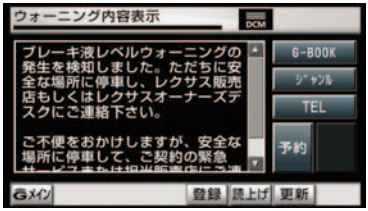
また、電話やネット予約により、レッカー車の手配（電話のみ）やレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

- すべてのウォーニングランプの点灯に対し、ウォーニング通知を配信するわけではありません。

ウォーニング点灯時の操作

1 ［内容表示］にタッチし、ウォーニング内容表示画面を表示させる。

〈ブレーキ液の不足時の例〉



2 ［TEL］または［予約］にタッチし、対処方法を選ぶ。

▶電話をかけるときは

1 ［TEL］にタッチし、連絡先選択画面を表示する。

2 連絡先を選びハンズフリー通話する。

▶ネット予約するときは

1 ［**予約**］にタッチし、ネット予約画面を表示する。

2 ［**車検・点検・メンテナンス入庫予約**］にタッチし、入庫予約をおこなう。

1. はじめに

ナビ連携機能について

ナビ連携機能は、ナビゲーションとG-BOOK センターとを通信でつなぐことにより、リアルタイムな情報を提供し、ナビゲーションを更に有効に活用できる機能です。

ナビ連携機能には、次の機能があります。

G ルート探索（プローブ情報付） ……→ P.557

VICS とトヨタ独自のプローブコミュニケーション交通情報で最適ルートを案内する。

渋滞予測 ……→ P.559

渋滞予測情報を表示する

G メモリ地点 ……→ P.563

パソコンや携帯電話のG-BOOK.comサイトで登録したG メモリを、車載機で G メモリ地点として利用する

ドライブプラン ……→ P.565

パソコンや携帯電話のG-BOOK.comサイトで作成したドライブプランを車載機で利用する

G で設定 ……→ P.567

パソコンや携帯電話のG-BOOK.comサイトで作成したドライブプランやGメモリを車載機で利用する

施設情報表示 ……→ P.569

施設の情報を表示する

G 情報マーク表示 ……→ P.570

G 情報マークを表示する

G 情報マーク連動サービス ……→ P.571

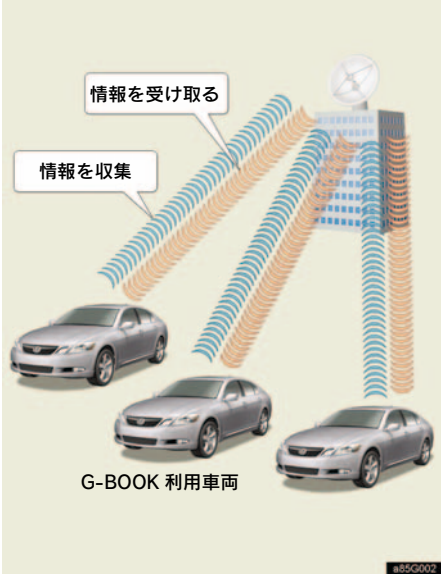
G 情報マーク連動サービスを利用する

プローブコミュニケーション交通情報について

プローブコミュニケーション交通情報とは、G-BOOK ユーザーの走行状態から渋滞度などを G-BOOK センターで集約し、G-BOOK 利用車両に配信されるリアルタイムな交通情報です。従来の交通情報に比べ、幅広いエリアのリアルタイムな交通情報を提供できるようになります。この情報は、次の機能・サービスに利用されています。

- VICS・交通情報の表示（→ P.151）
- Gルート探索（プローブ情報付）（→P.557）
- 到着予想時刻（→ P.562）

また、ここで得られた交通情報は、独自の統計処理により地図データベースに格納されており、統計情報として地図上に表示することができます。



携帯電話やパソコンでのご利用について

G-Link のさまざまなサービスは G-BOOK センターからインターネットを通じて、携帯電話やパソコンのユーザーサイトからもご利用いただけます。

■ 携帯電話でのご利用方法

QR コード

● 携帯サイトにログインする方法（初回）

http://lexus.g-book.com/ にアクセスする
▼
［G 暗証番号ログイン］を選択
▼
レクサスオーナーズカード ID、又はレクサスサービスカード ID とパスワードを入力
▼
［送信］を選択
▼
［登録する］を選択
▼
［G-BOOK メインメニュー］を選択
▼
ログイン完了

● 2 回目以降のログイン方法
2 回目以降は G 暗証番号で、簡単にログインできます。

■ パソコンでのご利用方法

▶レクサスオーナーズカードをお持ちの場合

● レクサス用 G-BOOK ユーザーサイトへのアクセス方法

http://lexus.jp/ にアクセスする
▼
［オーナーズサイト］を選択
▼
レクサスオーナーズカード ID とパスワードを入力
▼
［ログイン］を選択
▼
［Owner Logs］を選択
▼
［G-LINK］を選択
▼
［G-BOOK ユーザーサイトへ］を選択
▼
レクサス用 G-BOOK ユーザーサイトが表示されます

▶レクサスサービスカードをお持ちの場合

- レクサス用 G-BOOK ユーザーサイトへのアクセス方法

http://lexus.jp/ にアクセスする
▼
[G-Link サイト] を選択
▼
レクサスサービスカード ID とパスワードを入力※
▼
［ログイン］を選択
▼
レクサス用 G-BOOK ユーザーサイトが表示されます

- レクサスオーナーズカード ID はお手元の「レクサスオーナーズカード」の印字をご覧ください。パスワードについては、カードと共にお渡しした「レクサスオーナーズカードのご案内」をご覧ください。

※レクサスサービスカードIDはお手元の「レクサスサービスカード」の印字をご覧ください。パスワードについては、カードと共にお渡しした「レクサスサービスカードのご案内」をご覧ください。

2. G ルート探索（プローブ情報付）

G ルート探索をする

G-BOOK センターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探索し、ご案内します。

全ルート図表示画面と再探索画面で使用することができます。

- 事故など突発的に発生した渋滞については、予測できないことがあります。
- 旅行時間データが提供されていない路線については、G ルート探索を実行してもルートが変わりません。
- G ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。
- 広域の渋滞予測情報は、再探索に利用する他に、現在地周辺の渋滞情報を表示するために利用されます。
- レクサスオーナーズデスクにナビの目的地設定を依頼すると、G ルート探索による最適なルート案内を行います。

全ルート図表示画面から G ルート探索する

ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面から、G ルート探索することができます。

ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で［G ルート］にタッチ。



- G-BOOK センターに接続し、G ルート探索を行います。
- 通常のルート探索をしたルートにもどすとき
  ➡［元ルート］にタッチ。
- 目的地案内開始後は、全ルート図表示画面から G ルート探索させることはできません。
  この場合、［再探索］→［G ルート探索］の順にタッチすると、G ルート探索することができます。
- 広域の渋滞予測情報が車載機に保存されていれば、［元ルート］にタッチしたあとに［G ルート］にタッチしても、G-BOOK センターに接続されません。
- G ルート探索後に IC 指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

再探索で G ルート探索する

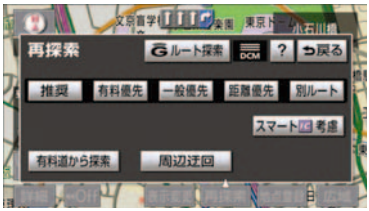
再探索するときに、G ルート探索することができます。

現在地画面表示中

1 ［再探索］にタッチ。



2 ［G ルート探索］にタッチ。



- G-BOOKセンターに接続し、Gルート探索を行います。
- G ルート探索情報の取得を中止するとき
  ➡ [再探索] → [取得中止] の順にタッチ。

G ルート情報の取得を自動継続する

G ルート情報（広域の渋滞予測情報）の取得を自動継続に設定すると、次のタイミングで自動的に G ルート情報を取得できます。

- 定期的に G-BOOK センターに接続
- JCT 手前や高速道路に乗る手前などで G-BOOK センターに接続

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
ナビ詳細設定
▼
ルート系設定
▼
ナビ詳細設定画面

G ルート情報の取得方法について、自動継続のする／しないを選択できます。

設定はナビ詳細設定画面から行います。（→ P.131）

1 渋滞考慮探索設定の [変更する] にタッチ。



2 G ルート情報自動継続の [する] にタッチ。



- 解除するとき ➡ [しない] にタッチ。

3. 渋滞予測

渋滞予測情報を表示する

G-BOOK センターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。

高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。

今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。

渋滞予測情報画面



渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
	渋滞	渋滞の区間を示しています。
	混雑	混雑の区間を示しています。
	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※ 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。
交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

渋滞予測情報を提供する路線について

- 都市間高速道路
- 都市高速道路
- 主な有料道路
- 一部の一般道路

松永道路、名阪国道、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

＊ 情報提供路線は随時更新されます。

- 事故など突発的に発生した渋滞や規制については、予測できないことがあります。

画面外の 情報・G または INFO
↓
（ 情報 ）
↓
情報画面

1 ［渋滞予測］にタッチ。



2 G-BOOK センターに接連し、渋滞予測情報を取得する。



- 情報の表示および読み上げを行います。
- 中止するとき
  ➡ ［中止］にタッチ。
- 渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読上げ設定（→ P.576）に関係なく、常に読み上げられます。
- 以前に取得した渋滞予測情報が車載機に保存されているときは、G-BOOKセンターに接続しないことがあります。
- 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。

渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

次のいずれかにタッチ。

［＋］渋滞予測時間を進める

［－］渋滞予測時間をもどす

［現在］現在の渋滞状況を表示する

- G-BOOK センターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- 渋滞予測時間を変更したとき、その時間の渋滞予測情報を取得していないときは、G-BOOK センターに接続して渋滞予測情報を取得します。

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。

また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

画面外の **情報・G** または **INFO**
↓
（ **情報** ）
↓
渋滞予測
↓
渋滞予測画面

▶渋滞増減予測アイコンの ON（表示する）／ OFF（表示しない）を選択できます。

1 **［設定］**にタッチ。



2 **［渋滞増減予測表示］**にタッチ。



作動表示灯

- アイコン表示が ON のときは、作動表示灯が点灯します。
- アイコンを表示しないとき
  ➡ 再度 **［渋滞増減予測表示］**にタッチ。

3 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチ。



- 渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内 容
	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

- 渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
- 渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。

［広域］または［詳細］にタッチ。

到着予想時刻



- ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上に IC 毎の到着予想時刻が表示されます。
- もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3 時間先以降は到着予想時刻設定（→ P.98）で設定した車速から計算されます。
  そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。

区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。

ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。

区間所要時間予測表示



画面外の 情報・G または INFO
↓
（ 情報 ）
↓
渋滞予測
↓
渋滞予測画面

1 ［所要時間］にタッチ。

- G-BOOKセンターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

2 区間所要時間予測表示を解除するときは、［終了］または［戻る］にタッチ。

- 出口ICまでの距離が遠い場合は、出口ICまで表示されないことがあります。
- 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

4. G メモリ地点

G メモリ地点について

パソコンや携帯電話のユーザーサイトで登録した G メモリを、車載機のメモリ地点に登録したものを「G メモリ地点」といいます。

一度 G メモリ地点に登録すると、G-BOOK センターに接続しなくても、G メモリを呼び出すことができます。

G メモリ地点を登録する

Gメモリを車載機に登録するときは、次のいずれかの方法で行ってください。

車載機から登録する

車載機でG-BOOK.comコンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で［G メモリ］にタッチ。

- パソコンや携帯電話のユーザーサイトの G メモリ、および車載機の G メモリ地点に地点情報が登録されます。

G で設定を使って登録する

「G メモリを一括ダウンロードする」をご覧ください。（→ P.568）

G メモリ地点を表示する

G メモリ地点として登録した地点情報は、メインメニューから呼び出すことができます。

画面外の 情報・G または INFO
↓
（ G-Link ）
↓
メインメニュー
↓
メインメニュー画面

1 ［G メモリ地点情報］にタッチ。



2 G メモリ地点名称にタッチ。



3 ブラウザ画面に切り替わる。

- G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

- G メモリ地点は、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- 同一の G メモリ地点は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。
- G メモリ地点は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。
  修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
  ただし、修正できるのは「自宅・特別メモリに種別変更」と「名称読み」に限定されます。
  詳しくは、「メモリ地点の登録」をご覧ください。(→ P.113)

5. ドライブプラン

ドライブプランを利用する

パソコンや携帯電話のユーザーサイトでドライブプランを作成しておくと、車載機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(G-Link)
↓
G-Link 画面

［ドライブプラン］にタッチ。



以下のドライブプランをダウンロードすることができます。

- My ルート（→ P.565）
- G メモリ（→ P.566）
- 目的地が設定されているときにドライブプランで目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
  なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。
- ドライブプランは次のサービスからも利用できます。
  ・My リクエスト（→ P.595）
  ・G で設定（→ P.567）

My ルートを利用する

パソコンや携帯電話のユーザーサイトで作成したMyルートを車載機にダウンロードして、経由地および目的地を設定します。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(G-Link)
↓
ドライブプラン
↓
ドライブプラン画面

1 ［My ルート］にタッチ。



2 設定したいルートにタッチ。



3 詳細情報を確認し、［決定］にタッチ。



4 経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始する。

G メモリを利用する

パソコンや携帯電話のユーザーサイトで登録した G メモリを呼び出して、ナビの目的地に設定します。

画面外の 情報・G または INFO
（ G-Link ）
ドライブプラン
ドライブプラン画面

1 ［G メモリ］にタッチ。



2 設定したい G メモリにタッチ。



3 ［はい］にタッチ。



4 目的地が設定され、ルート探索を開始する。

6. G で設定

G で設定について

パソコンや携帯電話のユーザーサイトで作成したドライブプランや G メモリを、車載機で利用することができます。

- 目的地が設定されているときに[Gで設定]で目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
  なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。

G で設定画面を表示する

1 画面外の **目的地** または **DEST** を押す。

2 [G で設定] にタッチ。



G で設定画面から、次の機能を利用できます。

- ドライブプラン（My ルート）（→ P.567）
- G メモリ（→ P.568）
- G メモリー括ダウンロード（→ P.568）

ドライブプランを利用する

パソコンや携帯電話のユーザーサイトでドライブプランを作成しておくと、車載機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

画面外の **目的地** または **DEST**
↓
G で設定
↓
G で設定画面

1 [ドライブプラン（My ルート）] にタッチ。



2 設定したいドライブプランにタッチ。



3 [はい] にタッチ。



4 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始する。

G メモリを利用する

パソコンや携帯電話のユーザーサイトで登録した G メモリを呼び出して、ナビの目的地に設定できます。ナビのデータベースに収録されていない地点が利用できるようになります。

画面外の 目的地 または DEST
▼
G で設定
▼
G で設定画面

1 ［G メモリ］にタッチ。



2 目的地に設定したい　G　メモリにタッチ。



3 ［はい］にタッチ。



4 目的地が設定され、ルート探索を開始する。

G メモリを一括ダウンロードする

パソコンや携帯電話のユーザーサイトや、スポット連携※で登録した G メモリを一度車載機に一括ダウンロードすると、次からは G-BOOK センターに接続しなくてもナビのメモリ地点（G メモリ地点）として常に利用することができます。

※ 詳しくは、パソコンサイトのG-BOOK.com（http://lexus.g-book.com/）でご確認ください。

画面外の 目的地 または DEST
▼
G で設定
▼
G で設定画面

1 ［G メモリー括ダウンロード］にタッチ。



2 ダウンロード完了の画面が表示される。

● G メモリ地点として利用できます。
➡「G メモリ地点」（→ P.563）

7. 施設情報表示

施設の情報を表示する

地図上に G-BOOK.com コンテンツから取得したアイコンが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 アイコンにタッチ。



2 **［情報］**にタッチ。



3 ブラウザ画面に切り替わる。

- G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

8. G 情報マーク表示

G 情報マークを表示する

G 情報マークは、G-BOOK.com コンテンツが提供する地点情報です。

通常は、情報を取得すると自動で G 情報マークが地図に表示されます。

G 情報マーク表示



G 情報マーク

G 情報マークが表示されていないときは、次の手順で表示することができます。

地図表示中

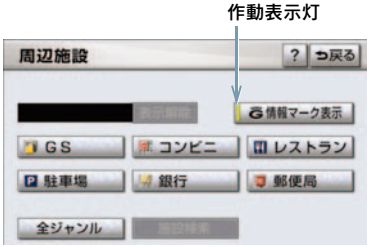
1 **［表示変更］**にタッチ。



2 **［周辺施設］**にタッチ。



3 **［G 情報マーク表示］**にタッチ。



- 取得済みの G 情報マークが表示されます。
- G 情報マーク表示が ON のときは、作動表示灯が点灯します。
- G 情報マーク表示を解除するとき
  ➡ 再度 **［G 情報マーク表示］**にタッチ。
- ナビ詳細設定の周辺施設表示設定（→ P.56）からも設定することができます。
- **［G 情報マーク表示］**で表示／非表示を切り替えることができる G 情報マークは、次のいずれかになります。
  - パソコンや携帯電話の G-BOOK.com サイトの G メモリを表示させた G 情報マーク
  - My リクエストなどで、G-BOOK.com コンテンツを利用して表示させた G 情報マーク

  なお、G メモリ地点の G 情報マークは常に表示され、非表示にすることはできません。

9. G 情報マーク連動サービス

G 情報マーク連動サービスについて

G 情報マーク連動サービスは、現在、サービスの提供をしておりません。サービスの提供開始時期については、パソコンサイトの G-BOOK.com（http://lexus.g-book.com/）などでお知らせします。

G 情報マーク連動サービスを利用すると、現在地が近接案内情報を持つ施設などに近づいたとき、その施設などの情報を読み上げ、G-BOOK センターから情報を取得します。

- ナビ詳細設定の G 情報マーク連動サービスで「する」を選択しているときに利用することができます。
- 近接案内は、G 情報マークの地点情報を取得していれば、マークの表示に関係なく行われます。また、マークが表示されていない場合でも、近接案内が行われるとマークが自動で表示されます。
- 近接案内情報の読み上げは、ブラウザの自動読上げ設定（→ P.576）に関係なく、常に読み上げられます。
- 近接案内情報の読み上げ中の操作は、My リクエスト（→ P.591）と同様です。
- 近接案内中に別の近接案内対象施設に近づいたときは、案内中の近接案内は中止され、次の近接案内に切り替わります。

G 情報マーク連動サービスの設定をする

G 情報マーク連動サービスは、サービスを ON（する）にするか、OFF（しない）にするか選ぶことができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
ナビ詳細設定
↓
案内表示設定
↓
ナビ詳細設定画面

設定はナビ詳細設定画面から行います。（→ P.130）

G 情報マーク連動サービスの **［する］** にタッチ。



- 解除するとき ➡ **［しない］** にタッチ。

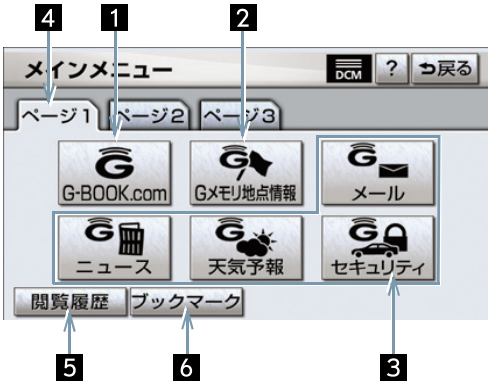
1. メインメニュー画面で操作する

メインメニュー画面の使い方

メインメニューは、G-Link のアプリケーションを起動するメニューです。

画面外の 情報・G または INFO
↓
(G-Link)
↓
G-Link 画面

［メインメニュー］にタッチ。



スイッチ	機　能
1 G-BOOK.com スイッチ	G-BOOK センターに接続し、ブラウザ画面（→ P.573）を表示する。 • G-BOOK.com コンテンツが閲覧できます。
2 G メモリ地点情報 スイッチ	G メモリ地点情報のリスト画面を表示する。（→ P.563） • G メモリ地点は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。（→ P.114、P.120）
3 G-BOOK センターが追加するスイッチ	スイッチが表示されているときは、タッチすると該当のアプリケーションを起動する。 • G-BOOK センター側で用意されるサービスにより、機能が割り当てられます。 • スイッチはG-BOOKセンターからの指示で、追加･削除されます。
4 ページ切り替えタブ	ページを切り替える。
5 閲覧履歴スイッチ	閲覧履歴画面（→ P.579）を表示する。
6 ブックマークスイッチ	ブックマーク画面（→ P.581）を表示する。

2. ブラウザを操作する

ブラウザ画面で操作する

ブラウザは、G-Link の各種コンテンツの表示や操作を行います。

ブラウザ画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。

各スイッチはブラウザ表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。



スイッチ	機　能
1 G メイン／終了スイッチ	[G メイン] … メインメニュー画面にもどる [終了] …… ブラウザ画面を終了してブラウザ表示前の画面にもどる
2 登録スイッチ	表示中のページをブックマークに登録する。 • 登録したブックマークを表示するとき ➡「ブックマークしたコンテンツを見る」（→ P.581）
3 読上げスイッチ	読み上げを開始する。 • 読み上げ情報がないときは、スイッチは灰色になっています。 • 読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。（→ P.576）

スイッチ	機　能
4 更新／中止スイッチ※	**［更新］**…… コンテンツの再読み込みをして画面を更新する（コンテンツの読み込みが完了または中断しているときに表示） **［中止］**…… コンテンツの読み込みを中止する（コンテンツの読み込み中に表示）
5 スクロールスイッチ	表示中のページが画面に収まらないとき、スクロールスイッチにタッチすると画面が移動する。 • タッチし続けると、連続して画面が移動します。 • 走行中はスクロール操作できません。

※ コンテンツの読み込み中に**［中止］**にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。
この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
・**［更新］**にタッチして、コンテンツを再取得する。
・**［↩戻る］**にタッチしていったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツの読み上げ中は、次の操作ができます。



スイッチ	機　能
1 G メインスイッチ	メインメニュー画面にもどる。
2 音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 ［▼ VOL］……小さくする ［VOL ▲］……大きくする
3 前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更する。 ［⏮］……読み上げ中の項目の先頭からはじめる ［⏭］……次の項目の先頭からはじめる • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡［⏮］にタッチしてから約 1 秒以内に再度タッチ。
4 停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどる。
5 ポーズ／再開スイッチ	［⏸］…… コンテンツの読み上げを一時停止する（読み上げ中に表示） ［▶］…… 読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する （読み上げ一時停止中に表示）

ブラウザの設定をする

G-Link 詳細設定で、次の項目を設定することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
G-Link
↓
G-Link 詳細設定
↓
G-Link 詳細設定画面（→ P.590）

1 各設定をする。

G-Link 詳細設定画面



ブラウザの自動読上げ

ブラウザで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

ブラウザの自動読上げの［**する**］にタッチ。

- 解除するとき ➡ ［**しない**］にタッチ。

読上げ速度

読み上げが聞き取りづらいとき、読み上げの速度を設定することができます。

［**標準**］…… 標準の速度で読み上げる

［**ゆっくり**］… ゆっくり読み上げる

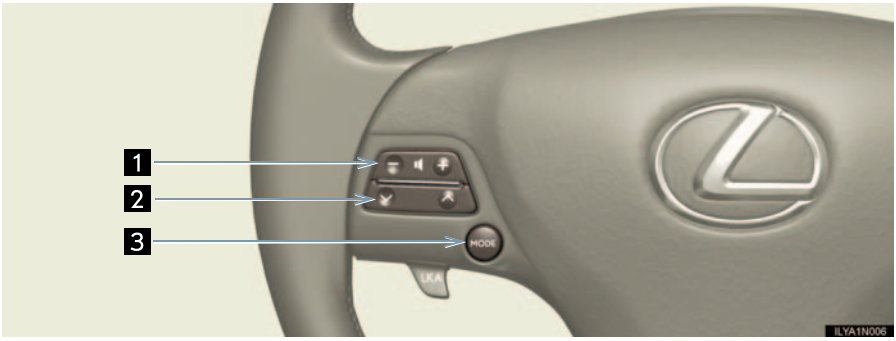
2 ［**完了**］にタッチ。

車載機のスイッチで操作する



スイッチ	機　能
1 パワースイッチ・音量調整ツマミ	■ パワースイッチ コンテンツの読み上げを停止する。 ■ 音量調整ツマミ コンテンツの読み上げ音量を調整する。 • 大きくするとき ➡ 右へまわす。 • 小さくするとき ➡ 左へまわす。
2 TRACK スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 • 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨ 側を押す。 • 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∧ 側を押す。 • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨ 側を押してから約 1 秒以内に再度押す。

ステアリングスイッチで操作する



スイッチ	機　能
1 音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整する。 • 大きくするとき ➡ ＋側を押す。 • 小さくするとき ➡ －側を押す。
2 TRACK スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 • 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨ 側を押す。 • 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∧側を押す。 • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨ 側を押してから約 1 秒以内に再度押す。
3 MODE（モード切り替え）スイッチ	• コンテンツの読み上げを解除するとき ➡ 読み上げ中にスイッチを押す。 • オーディオの電源を OFF にするとき ➡ 読み上げ中にスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続ける。

3. 閲覧履歴からコンテンツを表示する

閲覧履歴について

閲覧履歴には、これまでにブラウザで閲覧したコンテンツのタイトルが、閲覧した日付が新しいものから順に保存されています。以前に閲覧したコンテンツを再度閲覧したい場合に使用すると便利です。

- 閲覧履歴は、最大 100 件まで登録されます。100 件を超えると、古いものから順に削除されます。

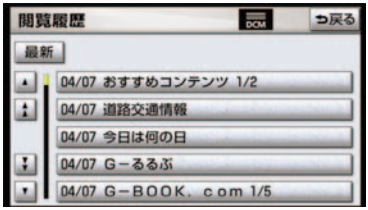
閲覧履歴からコンテンツを表示する

画面外の **情報・G** または **INFO**
↓
（ G-Link ）
↓
メインメニュー
↓
メインメニュー画面

1 ［閲覧履歴］にタッチ。



2 閲覧したいコンテンツにタッチ。



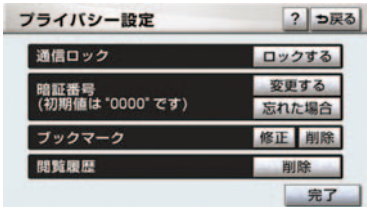
- リストは最近閲覧したコンテンツの順に表示されます。
- リストの先頭に移動するとき
  ➡［最新］にタッチ。

閲覧履歴を削除する

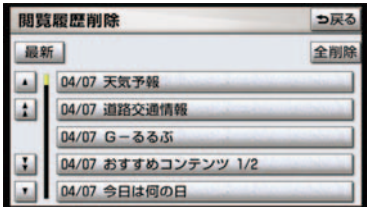
閲覧履歴は 100 件を超えると古いものから順に削除されますが、任意で履歴を削除することもできます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
G-Link
↓
プライバシー設定
↓
プライバシー設定画面（→ P.584）

1 閲覧履歴の［削除］にタッチ。



2 削除したい閲覧履歴にタッチ。



- すべての履歴を削除するとき
  ➡［全削除］にタッチ。

3 ［**はい**］にタッチ。



4. ブックマークを使う

ブックマークについて

ブラウザで表示しているページをブックマークに登録することができます。

ブックマークは、閲覧履歴のように古いものから順に削除されることがありません。

そのため、再度閲覧したいページがあるときなどに使用すると、ブックマーク画面から簡単にそのページを表示することができます。

また、登録したブックマークのタイトルは、あとで修正することができます。

- ブックマークは最大 50 件まで登録できます。

- ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。そのようなページでは、登録スイッチが灰色になっています。

ブックマークに登録する

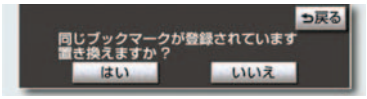
1 ブラウザ画面で、登録したいページを表示する。



2 ［登録］にタッチ。

3 同じブックマークが登録されているとき

➡ 置き換えてもよければ、［はい］にタッチ。



ブックマークしたコンテンツを見る

画面外の 情報・G または INFO

↓

（ G-Link ）

↓

メインメニュー

↓

メインメニュー画面

1 ［ブックマーク］にタッチ。



2 希望のブックマークにタッチ。



- リストを並べ替えるとき

➡「リストを並べ替える」（→ P.582）

リストを並べ替える

リストは登録順と閲覧順の 2 種類の並べ方をさせることができます。

登録順 … ブックマークに登録した日時が新しいものから順に並べる

閲覧順 … コンテンツを最後に閲覧した日時が新しいものから順に並べる

ブックマークの修正をする

ブックマークのタイトルは、ブックマークを探しやすくするなどの目的で、お好みのタイトルに変更することができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**

▼

G-Link

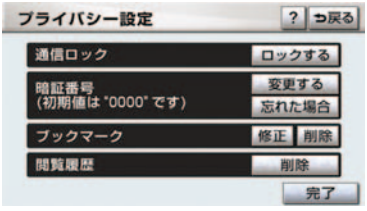
▼

プライバシー設定

▼

プライバシー設定画面（→ P.584）

1 ブックマークの［修正］にタッチ。



2 修正したいブックマークにタッチ。



3 ［タイトル］にタッチ。



4 タイトルを修正する。



● ソフトウェアキーボードで入力する。

5 ［完了］にタッチ。

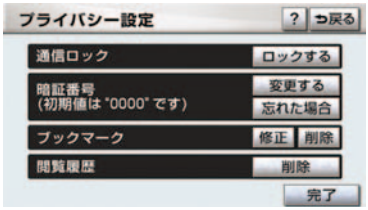


ブックマークを削除する

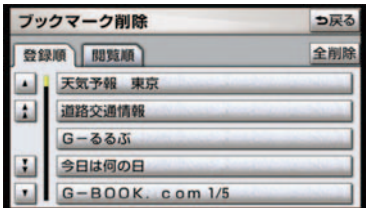
ブックマークは、最大 50 件まで登録できます。最大登録件数を超えて登録しようとした場合はメッセージが表示されます。この場合は、不要なブックマークを削除してから登録してください。

画面外の 設定・編集 または SET UP
↓
G-Link
↓
プライバシー設定
↓
プライバシー設定画面（→ P.584）

1 ブックマークの［削除］にタッチ。



2 削除したいブックマークにタッチ。



● すべてのブックマークを削除するとき
➡［全削除］にタッチ。（手順 **4** へ）

3 ［削除］にタッチ。



4 ［はい］にタッチ。



5. G-Link の設定をする

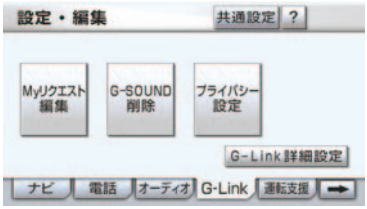
設定・編集画面を表示する

G-Link を利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

1 画面外の **設定・編集** または **SET UP** を押す。

2 **G-Link** にタッチ。

設定・編集画面で、次の項目を設定することができます。



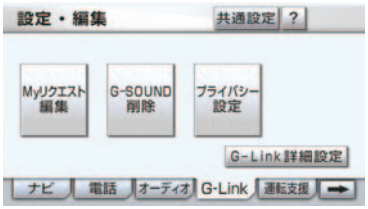
- プライバシー設定（→ P.584）
- G-Link 詳細設定（→ P.590）
- My リクエスト編集（→ P.596）
- G-SOUND 削除（→ P.604）

プライバシー設定をする

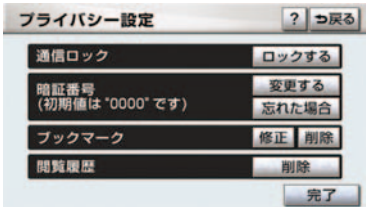
プライバシーに関する各種設定をすることができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
G-Link
↓
設定・編集画面

1 **［プライバシー設定］**にタッチ。



2 各項目を設定する。



- 暗証番号を変更する（→ P.585）
- 通信ロックを使う（→ P.588）
- ブックマークの修正と削除をする（→ P.582、P.583）
- ブラウザ閲覧履歴を削除する（→ P.579）

3 設定が終わったら、**［完了］**にタッチ。

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（→ P.588）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

- 暗証番号は 4 桁の数字です。初期設定は「0000」になっています。
  暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
- 質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。（→ P.585）
  質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。
- 暗証番号を変更するときも、同様の操作で行なうことができます。

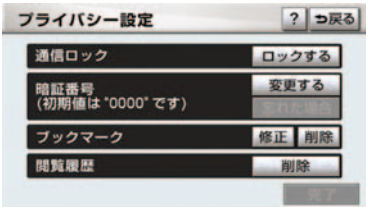
⚠ 注意

［完了］にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。

- “エンジン スタート ストップ”スイッチ／“パワー”スイッチを OFF にする。
- エンジン／ハイブリッドシステムを再始動する。

画面外の 設定・編集 または SET UP
→ G-Link
→ プライバシー設定
→ プライバシー設定画面

1 暗証番号の［変更する］にタッチ。



2 現在の暗証番号を入力し、［完了］にタッチ。



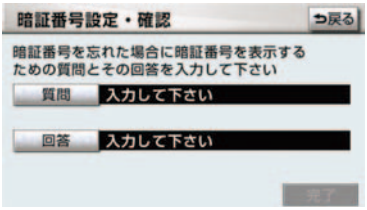
- はじめて設定するとき
  ➡「0000」を入力する。
- 変更するとき
  ➡ 設定してある暗証番号を入力する。
- 間違えたとき ➡［修正］にタッチ。
- 暗証番号を忘れたとき
  ➡「暗証番号を忘れた場合」（→ P.586）

3 新しく設定したい暗証番号を入力し、［完了］にタッチ。



4 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、［完了］にタッチ。

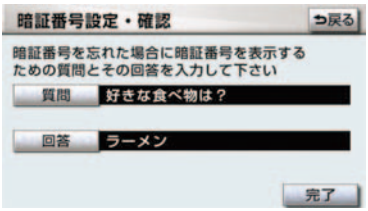
5 [質問]、[回答]にタッチして、それぞれ入力する。



● ソフトウェアキーボードで入力する。



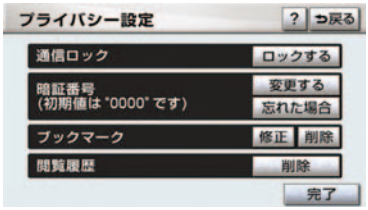
6 [完了]にタッチ。



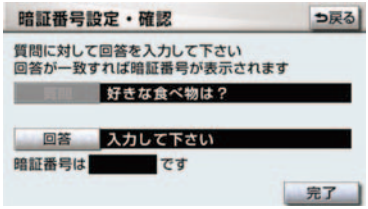
暗証番号を忘れた場合

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
G-Link
▼
プライバシー設定
▼
プライバシー設定画面

1 暗証番号の[忘れた場合]にタッチ。



2 [回答]にタッチ。

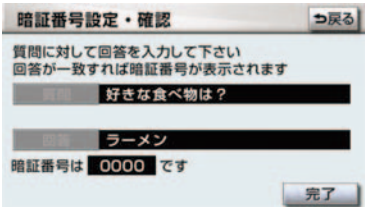


3 回答を入力する。



● ソフトウェアキーボードで入力する。

4 ［完了］にタッチ。



- 回答が一致すると、暗証番号が表示されます。

5 暗証番号を確認したら、［完了］にタッチ。

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。
他人に車を貸す場合など、G-Link を触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

○：利用できます
×：利用できません

機　能		動　作
ヘルプネット		○
G-Security		○（事前の設定が必要）
マップオンデマンド		×（通信モジュールで更新するとき）
メインメニュー	G-BOOK.com	×
	閲覧履歴	×
	ブックマーク	×
My リクエスト		×
レクサスオーナーズデスク		×
G-SOUND	G-SOUND（試聴・利用手続き）	×
	G-SOUND コピー	○
CD タイトル情報取得		×
G-Link とナビの連携機能	渋滞予測	×
	G ルート探索	×（プローブコミュニケーション交通情報を含む）
	G メモリ地点	○（保存済みデータのみ）
	ドライブプラン	×
	G で設定	×
	施設情報表示	×
	G 情報マーク連動サービス	○（情報の読み上げのみ）

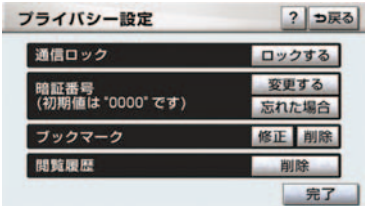
- 通信ロックを使用するような場合は、ハンズフリーの発信制限も合わせてご利用ください。（→ P.483、P.484）

ロックする

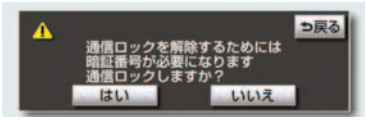
- 通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。暗証番号については、「暗証番号を変更する」をご覧ください。(→P.585)

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
G-Link
↓
プライバシー設定
↓
プライバシー設定画面

1 通信ロックの［**ロックする**］にタッチ。



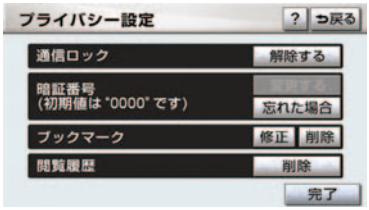
2 ［**はい**］にタッチ。



解除する

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
G-Link
↓
プライバシー設定
↓
プライバシー設定画面

1 通信ロックの［**解除する**］にタッチ。



2 暗証番号を入力し、［**完了**］にタッチ。

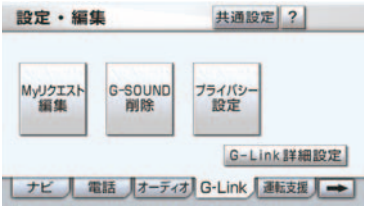


G-Link 詳細設定をする

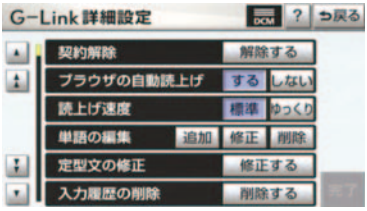
G-Link に関する各種設定をすることができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
↓
G-Link
↓
設定・編集画面

1 **[G-Link 詳細設定]** にタッチ。



2 各項目を設定する。



- 契約の解除手続き（→ P.506）
- ブラウザの自動読上げ（→ P.576）
- 読上げ速度の選択（→ P.576）
- 単語の編集（→ P.20）
- 定形文の修正（→ P.21）
- 入力履歴の削除（→ P.22）
- 予測変換候補の表示設定（→ P.22）

3 設定が終わったら、**[完了]** にタッチ。

1. My リクエスト

My リクエストについて

My リクエストでは、ニュースや天気予報などを簡単な操作でリクエストして、取得した情報を読み上げることができます。
また、登録するメニューを変更したり、並べ替えたりすることもできます。
操作は、My リクエスト画面から行う方法と、音声認識で行う方法があります。

My リクエスト画面で操作する

画面外の 情報・G または INFO
▼
(G-Link)
▼
G-Link 画面

［My リクエスト］にタッチ。



スイッチ	機　能
1 音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 ［▼ VOL］……小さくする ［VOL ▲］……大きくする
2 前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更する。 ［⏮］……読み上げ中の項目の先頭からはじめる ［⏭］……次の項目の先頭からはじめる • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡［⏮］にタッチしてから約 1 秒以内に再度タッチ。
3 停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどる。

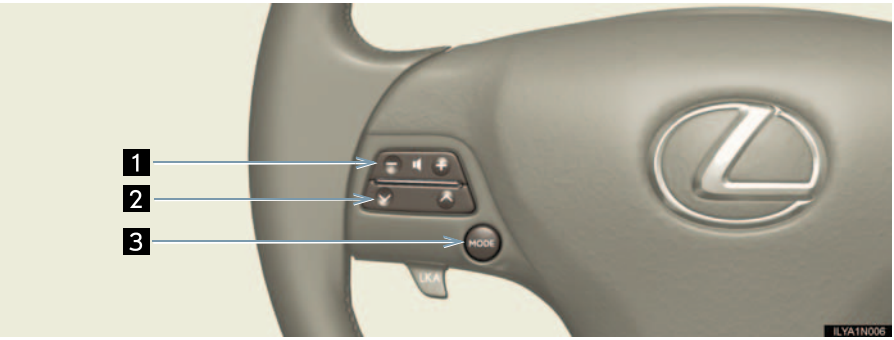
スイッチ	機　能
4 ポーズ／再開スイッチ	[❚❚] ····· コンテンツの読み上げを一時停止する （読み上げ中に表示） [▶] ····· 読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する （読み上げ一時停止中に表示）
5 中止スイッチ	G-BOOK センターとのデータ通信を中止する。

車載機のスイッチで操作する



スイッチ	機　能
1 パワースイッチ・音量調整ツマミ	**パワースイッチ** コンテンツの読み上げを停止する。 **音量調整ツマミ** コンテンツの読み上げ音量を調整する。 • 大きくするとき ➡ 右へまわす。 • 小さくするとき ➡ 左へまわす。
2 TRACK スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 • 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨ 側を押す。 • 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∧ 側を押す。 • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨ 側を押してから約 1 秒以内に再度押す。

ステアリングスイッチで操作する



スイッチ	機　能
1 音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整する。 • 大きくするとき ➡ ＋側を押す。 • 小さくするとき ➡ －側を押す。
2 TRACK スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 • 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨側を押す。 • 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∧側を押す。 • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨側を押してから約 1 秒以内に再度押す。
3 MODE（モード切り替え）スイッチ	• コンテンツの読み上げを解除するとき ➡ 読み上げ中にスイッチを押す。 • オーディオの電源を OFF にするとき ➡ 読み上げ中にスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続ける。

My リクエストを使う

画面外の 情報・G または INFO

▼

(G-Link)

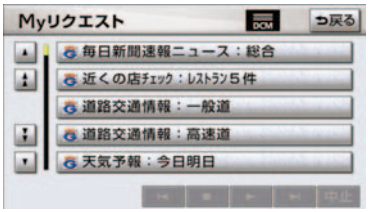
▼

My リクエスト

▼

My リクエスト画面

1 リクエストしたいコンテンツにタッチ。



- 走行中はリストを動かすことができません。2 ページ目以降に登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、音声認識でリクエストしてください。(→ P.595)

2 ナビ画面に切り替わる。

通信中マーク



- データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。
- ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。

読み上げ中に操作する

読み上げ中に音量調整などの操作をしたいときは、My リクエスト画面を表示させて行います。(→ P.591)

- コンテンツの読み上げ中に別の読み上げコンテンツを受信したときは、読み上げ中のコンテンツを中止し、次の読み上げコンテンツに切り替わります。
- リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されることがあります。
  状況によって、次のようになります。
  ・運転補助画面（交差点案内などの運転を補助する画面）が表示されているときは、運転補助画面が優先されるため、運転補助画面の終了後にメッセージが表示されます。
  ・ハンズフリーなど優先度の高い機能の割り込みがあると、メッセージは破棄されます。
- コンテンツの読み上げ中にナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止します。
  なお、音声案内が終了すると読み上げが再開されます。
- コンテンツの読み上げ中にハンズフリーの着信があったときは、読み上げを終了します。
- リクエストによるコンテンツの読み上げは、ブラウザの自動読上げの設定（→ P.576）に関係なく行われます。

情報を見る

リクエストによって、地図上にアイコンが表示されたときは、その施設の情報を見ることができます。

1 アイコンにタッチ。



- アイコンが表示されるコンテンツにもかかわらず、アイコンが画面に表示されていないときは、地図縮尺の切り替えや地図の移動をすると、アイコンが確認できます。

2 ［情報］にタッチ。



- ブラウザ画面または施設情報画面に切り替わり、情報が表示されます。
- リクエストで地図上に表示されたアイコンの表示／非表示を設定することができます。（→ P.570）

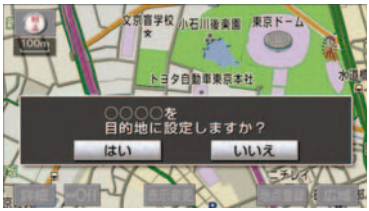
ドライブプランを利用する

Myリクエストからもドライブプランを利用できます。

1 設定したいドライブプランにタッチ。



2 ［はい］にタッチ。



音声認識でリクエストをする

音声認識でリクエストすると、登録してあるすべてのコンテンツを、走行中でもリクエストすることができます。

- リクエストのしかたについて
  ➡「My リクエストを使う」（→ P.348）

リクエストしたあとの操作については、Myリクエスト画面のスイッチでリクエストした場合と同様です。

My リクエストの編集をする

My リクエストに登録するコンテンツの変更や並べ替えをすることができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**

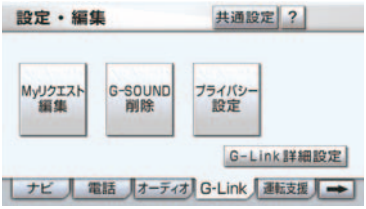
▼

G-Link

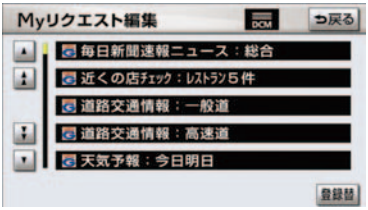
▼

設定・編集画面

1 ［My リクエスト編集］にタッチ。



2 ［登録替］にタッチ。



3 画面の指示にしたがって、リクエストしたいコンテンツを登録する。



1. ご利用になる前に

G-SOUND について

G-SOUND は、車載機のハードディスクに保存されている曲（G-SOUND 楽曲）を、利用手続きをして G-BOOK センターからライセンスを取得することにより、再生可能にするサービスです。

次のようにして利用します。

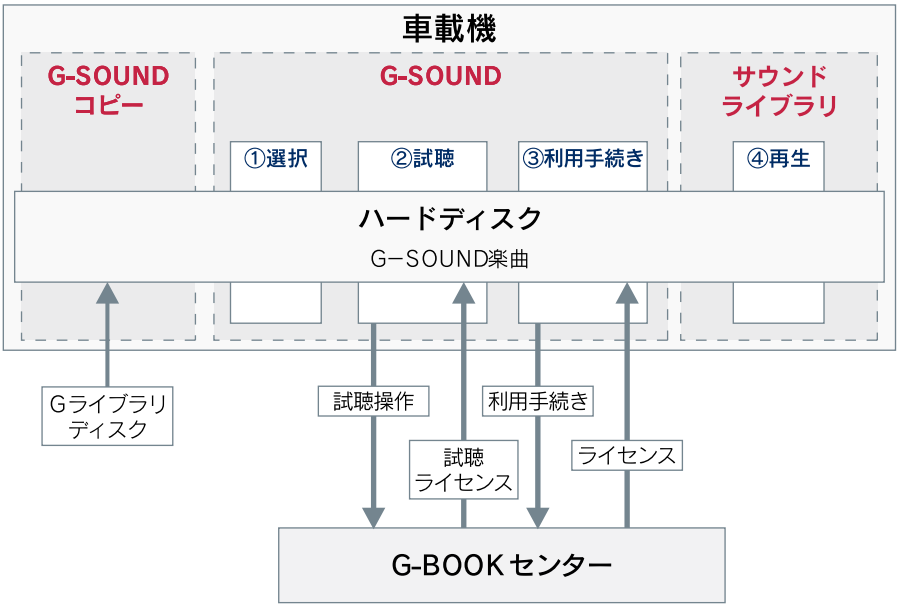
① G-SOUND で、希望の楽曲を選択します。

②楽曲を試聴します。（試聴は省略してもかまいません。）

③利用手続きをします。

④サウンドライブラリで、楽曲を再生します。

なお、G ライブラリディスクを入手された場合は、G-SOUND コピーを利用して車載機のハードディスクにコピーすることで、同様に再生することができます。



G-SOUND 楽曲について

- G-SOUND 楽曲には、「カプセル」と「単曲」があります。
  カプセル …… 複数の曲が収録されています。
  タイトルに [無料] と表示されているカプセルは、無料で再生できます。
  単曲 …… 1 曲のみ収録されています。
- 車載機のハードディスク内に保存されているG-SOUND楽曲は、G-SOUNDを利用して、試聴および利用手続きができます。
  単曲は、いろいろな検索条件を設定することで、保存されている楽曲の中から聴きたい楽曲を絞り込むことができます。
  また、「オススメ情報」では、季節やドライブコースに合ったカプセルの紹介をしています。
- G-SOUND 楽曲は、車載機のハードディスクにプレインストールされていますが、次の方法で入手することもできます。
  ・G ライブラリディスクを入手して、ハードディスクにコピーする。
  ・G-BOOK センターから楽曲を取得する。
- G-Link を解約しても個人情報の初期化をしなければ、ライセンス取得済みの G-SOUND 楽曲はそのままご利用いただけます。
- 車載機に保存できる G-SOUND 楽曲は、最大 5000 曲※です。

※ ハードディスクの空き容量などにより、異なることがあります。

ライセンスについて

G-SOUND 楽曲を再生するときは、利用手続きをして、その楽曲のライセンスを取得する必要があります。

- ライセンスに有効期限が設定されている場合は、有効期限までその楽曲を再生することができます。

本サービスにて提供された著作物データを、個人的な利用の目的以外で複製、頒布すること、または改変、インターネットなどによる公衆送信などの行為を行うことは、法律により禁止されています。

G ライブラリディスクについて

G ライブラリディスクに収録されている楽曲は、G-SOUND コピーを利用して、車載機のハードディスクにコピーすることができます。

G ライブラリディスクに含まれる内容

G ライブラリディスクには、G-SOUND 楽曲（→ P.598）が収録されています。
コピーをするときは、パッケージ単位でコピーされます。



2. G-SOUND を利用する

G-SOUND 画面の使い方

画面外の 情報・G または INFO

↓

(G-Link)

↓

G-Link 画面

［G-SOUND］にタッチ。



スイッチ	機　能
1 カプセル／単曲タブ	リストの表示を切り替える。 カプセル … カプセルを一覧表示する 単曲 …… 単曲を一覧表示する
2 絞り込み検索スイッチ（単曲一覧表示時のみ）	ハードディスク内の G-SOUND 楽曲の中から、検索条件を変更して希望の楽曲を検索する。
3 G オススメスイッチ	オススメするカプセルと直接配信コンテンツの紹介ページを表示する。

楽曲を試聴する

G-SOUND 画面から聴きたい楽曲を選択して、利用手続きの前に試聴することができます。

▶楽曲の試聴をするには、「試聴ライセンス」が必要です。

▶試聴ライセンスには、試聴期限または試聴回数が設定されており、それらを超えた楽曲は試聴することができません。

画面外の **情報・G** または **INFO**
↓
（ G-Link ）
↓
G-SOUND
↓
G-SOUND 画面

または

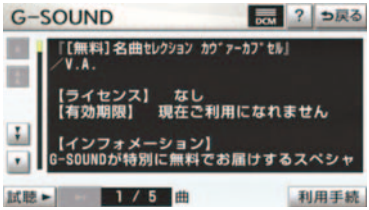
絞り込み検索結果画面（→ P.602）

1 聴きたい楽曲にタッチ。



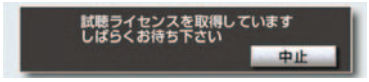
- 単曲を選択するときは、絞り込み検索をすると便利です。（→ P.602）

2 **［試聴 ▶］**にタッチ。



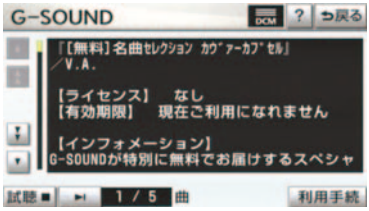
- 試聴は単曲 3 回、カプセル 3 回まで可能です。
- 1 回の試聴時間は、1 曲あたり約 30 秒です。
- カプセルの試聴は、カプセル単位での試聴になります。
- **［試聴 ▶］**にタッチしたら、その時点で試聴回数は 1 回と計算されます。

3 試聴ライセンスを取得していない場合は、試聴ライセンスの取得を開始する。



- 中止するとき ➡ **［中止］**にタッチ。
- 次の場合は、ライセンスの取得が中止されます。
  - ・試聴ライセンスを取得中に他の画面に切り替えたとき
  - ・ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったとき

4 試聴再生を開始する。



- 試聴再生を停止するとき
  ➡ **［試聴 ■］**にタッチ。
- 次の曲を試聴再生するとき
  ➡ **［▶I］**にタッチ。

● サウンドライブラリ操作画面を表示するとき
➡ 画面外の **オーディオ** または **AUDIO** を押す。

希望の楽曲を検索する

単曲を選択する場合、いろいろな検索条件を設定して希望の楽曲を検索することができます。

画面外の **情報・G** または **INFO**
▼
(G-Link)
▼
G-SOUND
▼
G-SOUND 画面

1 単曲一覧表示で、**[絞り込み検索]** にタッチ。



2 検索条件に設定したい項目にタッチ。



● 検索条件を解除するとき
➡ 項目の右側にある **[解除]** にタッチ。

● すべての検索条件を解除するとき
➡ **[全解除]** にタッチ。

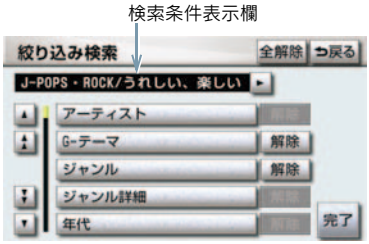
3 検索条件に設定したい詳細項目にタッチ。



● **2** の画面で「アーティスト」を選択したとき
➡ 希望のアーティストにタッチ。



4 **[完了]** にタッチ。



● 設定した検索条件は検索条件表示欄に表示されます。**[◀]** または **[▶]** にタッチしてスクロールさせると、設定した検索条件をすべて確認することができます。

5 絞り込み検索結果が表示される。



- 絞り込みを解除するとき
  ➡［絞り込み解除］にタッチ。
- 楽曲の試聴・利用手続きをするとき
  ➡「楽曲を試聴する」（→ P.601）
  「利用手続きをする」（→ P.603）

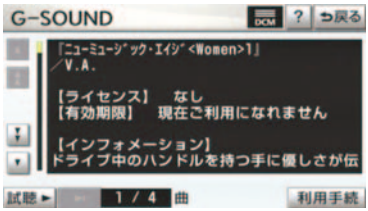
利用手続きをする

試聴してみて、継続して聴きたい楽曲の場合は、利用手続きをしてライセンスを取得します。

- ライセンスは最大 1000 個まで購入できます。

画面外の 情報・G または INFO
↓
（ G-Link ）
↓
G-SOUND
↓
（聴きたい楽曲）
↓
G-SOUND 画面（試聴・利用手続）

1 ［利用手続］にタッチ。



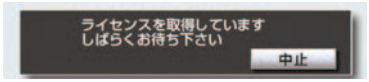
2 ［購入］にタッチ。



- 無料カプセルの場合
  ➡［次へ］にタッチ。（手順 **4** へ）
- 購入金額は、G-SOUND 楽曲、ライセンス利用期限により異なります。

3 G 暗証番号を入力し、［決定］にタッチ。

4 ライセンスの取得を開始する。



- 中止するとき ➡［中止］にタッチ。

5 ライセンスの取得が完了すると、再生を開始する。

- サウンドライブラリ操作画面を表示するとき
  ➡画面外の オーディオ または AUDIO を押す。
- ライセンス取得に失敗した場合は、再度手続きを行ってください。
- ライセンスの取得を中断したときは、次の G-SOUND 起動時に利用手続きの再開確認メッセージが表示されます。
  ［はい］にタッチすると、利用手続きを再開します。
  ただし、ライセンス取得に失敗した楽曲を削除すると、その楽曲のライセンスは取得できません。

ライセンスを取得できないとき

サウンドライブラリの再生可能曲数を超える場合は、メッセージが表示され、ライセンスを取得できません。
この場合、サウンドライブラリ編集メニュー画面から不要なライセンス取得済みの楽曲を削除してください。(→P.247)

G-SOUND 楽曲を再生する

ライセンスを取得した G-SOUND 楽曲は、サウンドライブラリ（→P.241）で再生することができます。

G-SOUND 楽曲の操作方法は、次の「サウンドライブラリで録音した曲との相違点」を除いては、サウンドライブラリで録音した曲と同様です。

サウンドライブラリで録音した曲との相違点

G-SOUND 楽曲は、次の点がサウンドライブラリで録音した曲と異なります。

- タイトル情報の取得機能はありません。
- 曲（トラック）単位で削除することができません。削除する場合は、コンテンツ単位での削除になります。

G-SOUND 楽曲を削除する

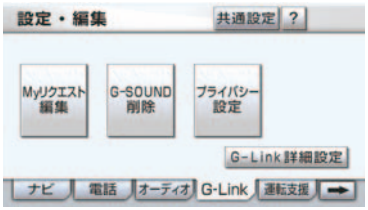
ライセンスのない不要な G-SOUND 楽曲は削除することができます。

注意

- すべての G-SOUND 楽曲を削除すると、G-SOUND 楽曲はすべて利用できなくなります。
- 車載機にプリインストールされている G-SOUND 楽曲を削除する場合は、本当に削除してもよいかご確認ください。削除した楽曲をもとにもどすことはできません。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
G-Link
▼
設定・編集画面

1 **[G-SOUND 削除]** に 10 秒以上タッチし続ける。

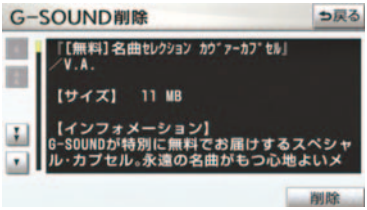


2 削除したい楽曲にタッチ。

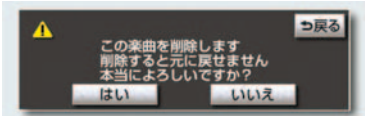


- 単曲またはカプセルの、すべての楽曲を削除するとき
  ➡［**全削除**］にタッチ。（手順 **4** へ）
- 単曲を削除するときは、絞り込み検索をしてから削除することができます。（→ P.605）

3 ［**削除**］にタッチ。



4 ［**はい**］にタッチ。



5 ［**全削除**］を選択した場合、途中で削除を中止するとき
➡［**中止**］にタッチ。



注意

全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了した楽曲をもとにもどすことはできません。

- ライセンス取得済みの楽曲は、削除画面のリストに表示されません。
  削除する場合は、サウンドライブラリ編集メニュー画面（→ P.247）から削除してください。

楽曲を絞り込んで削除する

単曲を削除する場合、いろいろな検索条件を設定して絞り込むことができます。

画面外の **設定・編集** または **SET UP**
▼
G-Link
▼
G-SOUND 削除
（10 秒以上タッチ）
▼
G-SOUND 削除画面

1 単曲一覧表示で、［**絞り込み検索**］にタッチ。



2 「希望の楽曲を検索する」（→ P.602）の **2** ～ **4** と同様の操作をする。

3 削除したい楽曲にタッチ。



- 絞り込んだ楽曲をすべて削除するとき
  ➡ **［絞り込み削除］**にタッチ。
  （「G-SOUND　楽曲を削除する」（→P.604）手順 **4** へ）
- 絞り込みを解除するとき
  ➡ **［絞り込み解除］**にタッチ。

以降は「G-SOUND 楽曲を削除する」の手順 **3** ～ **4** と同様の操作をします。

3. G-SOUND コピー

パッケージをコピーする

G ライブラリディスクに収録されているパッケージを車載機のハードディスクにコピーできます。

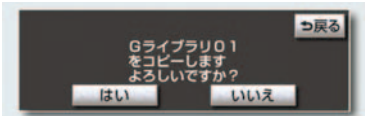
- 車載機の時刻データが更新されていないと、コピーできないことがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、画面外の 現在地 または MAP を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

1 G ライブラリディスクを車載機に挿入する。

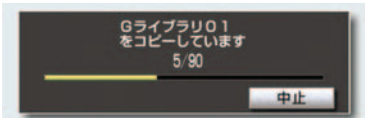
2 コピーしたいパッケージにタッチ。



3 メッセージが表示されたら［**はい**］にタッチ。



- コピーを開始します。
- コピー中は進行状況が表示されます。



- コピーを中止するとき
  ➡［**中止**］にタッチ。

4 メッセージが表示され、コピーが完了する。



- G ライブラリディスクを挿入してから G-SOUND コピー画面が表示されるまでは、少し時間がかかります。
- コピー中に通信ロック（→ P.588）をすると、コピーが中止されます。
- パッケージによっては、コピーをするのに非常に時間がかかる場合があります。（20MB コピーするのに、約 1 分かかります。）
- コピー中は、他の機能の動作が遅くなることがあります。
- コピー中に他の画面に切り替えても、コピーは継続されます。この場合、G-Link 画面で［**G-SOUND**］にタッチすると、コピーの進行状況が確認できます。
- 他の画面に切り替えているときにコピーが終了すると、メッセージが表示されます。このとき［**はい**］にタッチすると、再度 G-SOUND コピー画面を表示することができます。
- コピー中は G ライブラリディスクを取り出さないでください。コピーが中止されます。
- Gライブラリディスクを挿入したまま“エンジン スタート ストップ”スイッチ／“パワー”スイッチを OFF にしないでください。コピー中にスイッチを OFF にすると、コピーが中止されます。
  そのまま以下の状態にすると、G-SOUND コピー画面が表示されることがあります。
  ・GS460/GS350：“エンジン スタート ストップ”スイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモードにする
  ・GS450h：“パワー”スイッチをアクセサリーモードまたはONモードにする
- その他の原因によりコピーが中止された場合は、自動的にコピーを再開することができません。この場合は、最初からコピー操作をやり直してください。
- パッケージをコピーする場合、コピーを中止しても、既にコピーが終了した楽曲は G-SOUND 画面に表示されます。

ディスクの収録内容を確認する

G ライブラリディスクからコピーする前に、パッケージの詳細情報を確認することができます。

G ライブラリディスクを挿入

▼

G-SOUND コピー画面

1 確認したいパッケージの［**情報**］にタッチ。



2 収録されているコンテンツが一覧表示される。

- 各コンテンツの収録曲を確認するとき
  ➡ 確認したいコンテンツにタッチ。



※ 実際には、コンテンツ名が表示されます。

コピーできなかったとき

次のような場合はメッセージが表示され、パッケージをコピーできません。

- ハードディスクの空き容量が不足しているとき
- コンテンツの最大保存数が超過するとき

この場合、G-SOUND 削除画面から不要な楽曲を削除してください。（→P.604）

1. CD タイトル情報取得

タイトル情報を取得する

サウンドライブラリでは、音楽 CD から内蔵のハードディスクへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、ハードディスクに収録されているデータベースから取得することができます。

ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。G-Link を利用すると、最新の CD タイトル情報を G-BOOK センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。

- サウンドライブラリについて
  ➡「サウンドライブラリ」（→ P.234）

アルバム修正画面 (→ P.254)

1 ［G で検索］にタッチ。



2 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録する。

- 該当するCDタイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面にもどります。
- ハンズフリーの着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

1. こんなメッセージが表示されたときは

こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、以下の表にもとづき、まず確認してください。処置をしても解消されないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

メッセージ	原　因	処　置
G-Link の利用手続きが必要です 情報･Gのメインメニューの G-BOOK.com から手続きできます	G-Linkの利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。 (→ P.500)
緊急通報中です G-Link サービスをご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 • 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。
オペレーターと通話中です 終了してからご利用下さい	レクサスオーナーズデスクを利用中のため。	レクサスオーナーズデスクが終了してからご利用ください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用下さい	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定・編集の G-Link のプライバシー設定で削除して下さい	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。(→ P.583)
通話中は試聴できません	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
これ以上ライセンスを取得できません 設定・編集のオーディオから手続済の G-SOUND 楽曲を削除して下さい	ライセンスの最大保存数を超過したため。	不要なライセンス取得済み G-SOUND 楽曲を削除してください。(「アルバムを削除する」(→ P.261))

メッセージ	原　因	処　置
これ以上楽曲を追加できません 設定･編集のG-LinkのG-SOUND 削除で楽曲を削除して下さい	• G-SOUND 楽曲の最大保存数を超過したため。 • ハードディスクの空き容量が不足しているため。	① 不要な G-SOUND 楽曲を削除してください。(「G-SOUND 楽曲を削除する」(→ P.604)) ② 削除できるG-SOUND楽曲が無く、ハードディスクの空き容量が不足している場合は、ハードディスクに録音した曲を削除してください。
これ以上コピーできません 設定･編集のG-LinkのG-SOUND 削除で楽曲を削除して下さい		
これ以上 G メモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要な G メモリ地点情報を削除して下さい	G メモリ地点の最大保存数を超過したため。	不要な G メモリ地点を削除してください。(→ P.120)
通信ロック中です ロックを解除してからお使い下さい	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の**［忘れた場合］**にタッチして確認してください。
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作して下さい	• サービスエリア圏外にいる。 • 認証に失敗した。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
時刻データが古いため使用できません GPS を受信して下さい	GPS が受信できていない。	GPS が受信できる場所に移動してください。
回線が混雑しています しばらく待ってお使い下さい	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混み合っている等により情報を取得できませんでした	• サービスエリア圏外にいる。 • 認証に失敗した。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。 • 通信設定に誤りがある。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。

索　引

さくいん

あ

iPod® 292
　iPod® について 294
　アルバムの中からランダムに聞く ... 293
　同じ曲（トラック）を
　　繰り返し聞く 293
　聞きたい曲（トラック）を選ぶ 292
　再生する 292
　全アルバムの中から
　　ランダムに聞く 294
　早送り、早戻しする 293
　プレイモードを選ぶ 292
アラーム通知 530
暗証番号の変更 585
暗証番号を忘れた場合 586
安全・快適走行設定 132
アンテナ 33
　G-Link 用（通信）アンテナ 33
　デジタルテレビ用アンテナ 33
　ナビゲーション用アンテナ
　　（GPS アンテナ） 33
　ラジオ用アンテナ 33
案内道路情報（ルート情報） 90
案内表示設定 130

い

EWS（緊急警報放送） 279
ETC 画面の使い方 431
　ETC 画面の表示 431
　ETC の設定（通知設定) 433
　ETC マーク表示 432
　エラーコードの表示 433
　登録情報の表示 433
　履歴表示 432
　割込表示 432
ETC システム 421
ETC ユニットの使い方 424
　ETC カード 425
　ETC ユニット 424
　音量調整 429
　カード抜き忘れ警告 427
　カードを挿入する 425
　カードを抜く 426
　表示と音声案内 427
　有効期限切れ通知 427
　利用履歴の確認 429
EPG（電子番組表） 272
EJECT スイッチ
　車載機 185
　ETC ユニット 424
一時停止案内 59
イベントリレーの設定 284
IC の指定・解除 109
INFO スイッチ 9

う

迂回メモリ地点の修正 121
迂回メモリ地点の消去 122
迂回メモリ地点の登録 121

え

エアコン 327
ASL（音量補正）の設定 179
AM スイッチ 180
AUX スイッチ..... 289、292、306
AUX 端子..... 13
エコ情報 367
閲覧履歴 579
閲覧履歴からコンテンツを表示する.... 579
閲覧履歴の削除..... 579
FM スイッチ 180
FM 多重放送 370
MP3 192
　MP3 について 196
　同じフォルダを繰り返し聞く 195
　繰り返し聞く..... 195
　再生する..... 193
　全フォルダの中から
　　ランダムに聞く 195
　ディスクの出し入れ..... 185
　早送り、早戻し..... 194
　ファイルを選ぶ..... 194
　フォルダの中からファイルを探す.... 196
　フォルダの中からランダムに聞く.... 195
　フォルダを選ぶ..... 193
　フォルダを探す..... 196
エラーコードについて（ETC）..... 435
　エラーコードの確認方法 437
　統一エラーコード一覧 435
エリアスイッチ
　デジタルテレビ..... 271
　ラジオ 183
エンジン始動通知..... 532

お

応答保留..... 463
お車を手放すとき ..... 446、495
オーディオ＆ビジュアル 167
　iPod® 292
　サウンドライブラリ 234
　DVD チェンジャー..... 185
　　MP3/WMA 192
　　音楽 CD..... 188
　　DVD 200
　　ビデオ CD..... 222
　デジタルテレビ..... 264
　Bluetooth オーディオ..... 301
　USB メモリー..... 295
　ラジオ..... 180
オーディオスイッチ 9
AUDIO スイッチ 9
オーディオ操作画面 175
オーディオ操作スイッチ 10
オーディオ電源..... 175
オーディオ部..... 10
音質調整..... 177
音声案内..... 93
音声案内について 45
音声案内用スピーカーの設定 30
音声設定..... 130
音声の設定..... 70
音声操作画面..... 341
音声操作システム..... 340
音声多重放送..... 272
音声認識（音声操作システム）..... 339
音声認識コマンド一覧 353
音声認識中止機能..... 452
音声認識の対象設定 476
音声認識発信..... 461

音量設定
ナビゲーション..... 70
ハンズフリー..... 468
音量調整
ETC システム..... 429
オーディオ 175
音量調整ツマミ..... 174
音量バランスの調整..... 178
音量補正（ASL) の設定 179
オンルートスクロール..... 101
オンルートスクロールの設定 101

か

解約手続き 507
各種手続き 500
画質の調整 25
学校存在案内 62
カプセル 598
画質・消スイッチ..... 9
画面切り替え時の動画表現 64
画面の調整・設定..... 25
画面モードについて..... 27
画面モードの切り替え
DVD..... 212
ビデオ CD 228
画面を消す 26
カレンダー機能..... 373
簡易画面 466

き

機器アドレス
オーディオ..... 316、319
ハンズフリー..... 470、481
機器名称
オーディオ..... 316、319
ハンズフリー..... 470、480
季節規制区間の迂回ルート探索 111
季節規制区間の表示..... 62
居住地域の設定（デジタルテレビ）..... 282
距離の補正 123
緊急警報放送（EWS）..... 279
緊急情報 ..... 164、370
緊急通報 515

く

区間所要時間予測表示..... 562
クリアランスソナー..... 404
クリアランスソナーの設定 415
Gracenote メディアデータベース..... 234

け

携帯電話の接続..... 449
自動接続 449
手動接続 450
携帯電話の登録..... 448
携帯電話本体から発信 462
警備員の派遣..... 534
言語設定の変更..... 32
県境案内 64
現在地スイッチ..... 9
現在地の修正..... 123
現在地の表示..... 46

こ

交差点案内 95
交差点拡大図表示 96
ターンリスト図表示 98
レーンリスト図表示 95
交差点拡大図表示
拡大図表示の解除 97
交差点拡大図 96
3D 交差点拡大図表示 96
立体的な拡大図表示 97
連続車線変更案内 97
高速道路・都市高速道路表示 65
高速分岐案内 68
高速路線マップ 66
都市高速マップ 68
ハイウェイモード 65
高速分岐案内画面の表示・解除 68
高速路線マップ表示・解除 67
縮尺の切り替え 67
交通情報放送 184
交通・ナビ関連情報の表示 369
故障とお考えになる前に
G-Link ..... 526、547
デジタルテレビ 287
ナビゲーション 141
個人情報の初期化 31
コマンド（音声認識コマンド） 353
コマンドリスト 341
5 ルートの詳細情報 91
5 ルート表示 91
こんなメッセージが表示されたときは
G-Link 610
デジタルテレビ 287
ナビゲーション 139

さ

サウンドライブラリ 234
概要 234
データベースについて 234
サウンドライブラリの再生
アルバムの中から曲を探す 246
アルバムの中からランダムに聞く 245
アルバムを選ぶ 242
アルバムを探す 246
同じアルバムを繰り返し聞く 245
曲を選ぶ 243
繰り返し聞く 245
再生する 242
全アルバムの中から
ランダムに聞く 246
早送り、早戻し 244
サウンドライブラリの編集
アルバム情報の編集 254
アーティスト名・
アーティスト読み修正 256
アルバムタイトル・
アルバム読み修正 255
ジャンル修正 258
タイトル情報の再取得 260
トラックタイトル・
トラック読み修正 259
アルバムの削除 261
HDD 詳細情報の表示 263
曲（トラック）の削除 262
マイベストの削除 253
マイベストの作成 248
マイベストの編集 249
曲の削除 252
曲の追加 250
曲の並べ替え 251
名称の修正 249

サウンドライブラリの録音
録音する 237
曲を選んで録音する 237
自動で録音する 237
録音設定 239
録音を中止する 238
作動条件 8
サポートアドレス ..... 504、529
残距離表示 43
残距離表示の切り替え 103
サンプリング周波数 233

し

G 暗証番号ログインの登録 535
G オススメ 600
G-SOUND 597
G-SOUND 楽曲 598
カプセル 598
再生 604
削除 604
試聴 601
試聴ライセンス 601
単曲 598
G-SOUND 画面 600
G-SOUND コピー 607
G 情報マーク表示 570
G 情報マーク連動サービス 571
G-Security（G セキュリティ） 527
アラーム通知 530
エンジン始動通知 532
携帯電話での操作 536
警備員の派遣 534
G 暗証番号ログインの登録 535
車両の位置確認 534
初期設定の確認・変更 527
CD 185
曲を選ぶ 189
曲を探す 191
繰り返し聞く 190
再生する 189
使用できるディスク 171
ディスクの出し入れ 185
早送り、早戻し 190
ランダムに聞く 191
CD タイトル情報取得 609
G で設定 567
G メモリ 568
G メモリー括ダウンロード 568
ドライブプラン 567
GPS アンテナ
（ナビゲーション用アンテナ） 33
GPS について 138
GPS ボイスナビゲーション 35
地図について 146
地図の操作 46
地点の登録 113
VICS・交通情報 151
目的地案内 84
G-BOOK.com 572
G-Link 489
各種手続き 500
CD タイトル情報取得 609
G-SOUND 597
G-Security 527
ナビ連携機能 554
ヘルプネット
（エアバッグ連動タイプ） 508
My リクエスト 591
マップオンデマンド
（地図差分更新） 538
メインメニュー 572
レクサスオーナーズデスク 548

G-Link 画面 494
G-Link サポートセンター 506
G-Link 詳細設定 590
G-Link の設定・編集 584
G メモリ 566
G メモリー括ダウンロード 568
G メモリ地点 563
G ライブラリディスク 599
G-Link 用（通信）アンテナ 33
G ルート探索 557
G ルート情報自動継続 558
市街図表示・解除 54
事故多発地点案内 61
自車位置マーク 43
シーズンレジャー
　ランドマークの表示 63
施設情報表示 569
施設で地図を呼び出す 78
施設内容の表示 82
施設の表示・消去 57
自宅の登録・解除 115
自宅を目的地に設定 86
視聴制限 ..... 217、232
視点の調整（リアル市街図） 52
自動音量切替
　ナビゲーション 70
　ハンズフリー 468
自動再探索 104
自動着信応答 485
自動着信拒否 471
自動通知
（メンテナンス案内）の設定 136
自動電話機接続 487
自動表示切替設定 129
自動保守点検 520
車載機 9
車載機の設定 28
　音声案内用スピーカーの設定 30
　言語設定の変更 32
　個人情報の初期化 31
　スタートアップサウンド
　　音量の調整 30
　スタートアップサウンドの変更 30
　操作画面継続表示の設定 29
　時計の調整 28
車載機の Bluetooth 設定変更
　オーディオ 319
　ハンズフリー 480
車速設定（平均車速の設定） 99
車両情報の設定 100
車両の位置確認 534
ジャンルで地図を呼び出す 79
周辺施設走行中呼出ジャンルの変更 58
住所で地図を呼び出す 77
渋滞・規制音声案内 154
渋滞考慮探索 157
渋滞考慮探索設定
　G ルート情報自動継続 558
　渋滞考慮探索 157
　新旧ルート比較表示 158
渋滞増減予測表示 561
渋滞予測 559
渋滞予測時間の変更 560
渋滞予測情報 559
手動保守点検 520
受信レベル表示
　G-Link 499
　ハンズフリー 444
受話音量 468
情報確認 550
情報画面 366
新旧ルート比較表示 158

す

スイッチの表示..... 46
スイッチ表示設定..... 47
スケール表示 148
スタートアップサウンド音量の設定 30
スタートアップサウンドの変更 30
ステアリングオーディオスイッチ 322
　音量調整 322
　選曲する（CD、MP3、WMA、サウンドライブラリ、iPod®、USB メモリー、Bluetooth オーディオ）..... 324、325
　電源の ON・OFF 322
　放送局を選ぶ（ラジオ、デジタルテレビ）..... 323
　見たい場所を選ぶ（DVD、ビデオ CD）..... 207、226
　モードの切り替え..... 323
ステアリング部..... 12
3D 交差点拡大図表示 96
3D 表示・解除..... 51、52
　角度の調整 52
　地図の回転 53
　ルート方向アップ表示..... 53

せ

精度について 143
SET UP（ETC）
　通知設定 433
SET UP（Support）
　安全・快適走行設定..... 132
SET UP（Audio）
　オーディオプレーヤー切り替え 315
　サウンドライブラリ編集 247
　CD 録音設定 239
　Bluetooth オーディオ設定..... 309
SET UP（G-Link）
　G-SOUND 削除 604
　G-Link 詳細設定..... 590
　プライバシー設定..... 584
　My リクエスト編集 596
SET UP（Telephone）
　音量設定 468
　電話機選択..... 469
　電話詳細設定..... 482
　電話帳編集..... 472
　Bluetooth 設定 480
SET UP（NAVI）
　案内中止／案内再開 92
　音量設定 70
　地図更新 541
　ナビ詳細設定..... 128
　メモリ地点登録編集 ..... 113、121
　ルート変更..... 106
SET UP（Maintenance）
　項目設定 133
　販売店設定..... 136
　メンテナンス詳細設定 135
設定・編集（ETC）
　通知設定 433
設定・編集（運転支援）
　安全・快適走行設定..... 132
設定・編集（オーディオ）
　オーディオプレーヤー切り替え 315
　サウンドライブラリ編集 247
　CD 録音設定 239
　Bluetooth オーディオ設定..... 309
設定・編集（G-Link）
　G-SOUND 削除 604
　G-Link 詳細設定..... 590
　プライバシー設定..... 584
　My リクエスト編集 596

設定・編集（電話）
音量設定……468
電話機選択……469
電話詳細設定……482
電話帳編集……472
Bluetooth 設定……480
設定・編集（ナビ）
案内中止／案内再開……92
音量設定……70
地図更新……541
ナビ詳細設定……128
メモリ地点登録編集……113、121
ルート変更……106
設定・編集（メンテナンス）
項目設定……133
販売店設定……136
メンテナンス詳細設定……135
設備マーク表示……65
説明音声（操作説明音声）……70
説明機能……14
全ルート図表示……88

そ

走行軌跡の表示・消去……62、63
操作ガイド……14
操作画面継続表示の設定……29
操作説明音声（説明音声）……70
その他（ナビ詳細設定）……131
ソフトウェアキーボード……15
各スイッチの使い方……15
ソフトウェアキーボードの設定……20
単語の編集……20
定型文の修正……21
入力履歴の削除……22
予測変換候補の表示設定……22

た

タイトル情報の再取得……260
タイムスタンプ……152
ダイヤル画面……458
ダイヤル発信……454
WMA……192
同じフォルダを繰り返し聞く……195
繰り返し聞く……195
再生する……193
全フォルダの中から
ランダムに聞く……195
WMA について……196
ディスクの出し入れ……185
早送り、早戻し……194
ファイルを選ぶ……194
フォルダの中からファイルを探す……196
フォルダの中からランダムに聞く……195
フォルダを選ぶ……193
フォルダを探す……196
単語の編集……20
探索条件の変更……106
ターンリスト図表示・解除……98
単曲……598

ち

地域番号
（リージョンコード）……230、232
近くの施設の検索……57
ルートを考慮したリストの表示……58
地上デジタルテレビ……264
地図記号・表示……148
地図更新画面……541
地図差分更新……538
地図縮尺の切り替え……48
地図データについて……146
地図データの情報を見る……146
地図データベースについて……147

地図について 146
地図の移動（ワンタッチスクロール）.... 47
地図の縮尺スケール表示 148
地図の操作 46
地図の表示 46
地図の表示色の切り替え 53
地図の文字サイズの変更 49
地図の呼び出し方法 71
施設 78
ジャンル 79
住所 77
電話番号 78
マップコード 80
名称 74
郵便番号 80
履歴 81
地図表示画面の設定 56
地図表示設定 128
地図向きの切り替え 49
地点の登録 113
着信音量 468
着信拒否する 463
着信中の操作 463
着信割り込み表示 486
CH スイッチ ..... 180、265
駐車場マップ表示・解除 55
TUNE ツマミ ..... 180、265

つ

通過道路指定の解除 111
通過道路の指定 109
通過道路の修正 110
通信機器の選択 469
通信中マーク 499
通信モジュール 496
通信モジュールで更新 542
通信モジュールの選択 451
通信モジュールの発信制限 484
通信ロック 588
通話中の操作 457
通話転送 465

て

DTS 233
DVD ビデオ・DVD-VR 200
アングルの切り替え 210
一時停止する 204
音声の切り替え 209
音声モードの切り替え 211
画面モードの切り替え 212
再生する 202
再生モードの切り替え 211
再生中の操作について 229
字幕の切り替え 209
使用できるディスク 171
初期設定 213
オートスタートの設定 218
音声言語の設定 214
音声ダイナミックレンジの設定 218
言語コードの入力 219
視聴制限レベルの設定 217
字幕言語の設定 215
設定の初期化 221
ソフトメニュー言語の設定 215

マルチアングルマーク
表示の設定 216
スロー再生する 205
静止画の切り替え 205
DVD ビデオについて 229
停止する 204
ディスクの指定位置に戻る 212
ディスクの出し入れ 185
早送り、早戻し 204
見たい場所を選ぶ 207
メニュー画面の操作 208
提携駐車場の検索 82
定型文の修正 21
DISC スイッチ
...176、189、193、202、224、242
ディスクの出し入れ 185
DISP スイッチ 9
出入口 IC の指定・解除 109
デジタルテレビ 264
EPG（電子番組表）を見る 272
映像を切り替える 277
エリアスイッチについて 271
音声多重放送のモード切り替え 272
音声を切り替える 278
緊急警報放送（EWS）について 279
自動でチャンネルを記憶する 270
字幕を切り替える 278
初期設定 280
IC（B-CAS）カードの
情報を見る 286
IC（B-CAS）カードの
動作確認をする 286
イベントリレーの設定 284
居住地域の設定 282
メールの閲覧 284
文字スーパーの設定 281
チャンネルの記憶 269
チャンネルを選ぶ 267
地上デジタルテレビを見る 266
データ放送を見る 274
データ放送を操作する 275
番組を選ぶ 268
放送局からのお知らせ 279
ワンセグ放送に自動で切り替える 271
デジタルテレビ用アンテナ 33
ディスプレイ部 9
デモンストレーション（デモ） 92
TV スイッチ 266
電子番組表（EPG） 272
電池残量表示
オーディオ 302
ハンズフリー 445
電話機詳細情報表示 470
電話（ハンズフリー） 439
ダイヤル画面 458
電話スイッチ 452
電話を受ける 456
電話をかける ..... 454、458
電話を切る 455
電話を保留する 463
電話機選択 469
電話詳細設定 482
電話スイッチ ..... 12、452
電話帳 472
電話帳・発着信履歴制限 483
電話帳データの削除 477
電話帳データの修正 476
電話帳データの新規追加 474
電話帳データの転送 472
電話帳の選択 459
電話帳の編集 472

電話帳発信 458
電話帳編集 472
電話番号で地図を呼び出す 78
電話を受ける 456
電話をかける ..... 454、458
　音声認識発信..... 461
　携帯電話本体から発信 462
　ダイヤル発信..... 454
　電話帳発信 458
　ナビ発信 462
　履歴発信 459
　ワンタッチ発信..... 461
電話を切る ..... 455、457

と

統一エラーコード一覧（ETC）..... 435
統一エラーコードの確認方法
（ETC）..... 437
統一エラーコードの表示（ETC）..... 433
到着予想時刻表示
　G-Link..... 562
　ナビゲーション..... 43、98
到着予想時刻表示の切り替え 103
道路形状案内 60
トークスイッチ..... 12、341
トーン 457
特別メモリ地点の登録・解除 115
都市高速マップ表示・解除 ..... 68、69
ドライブプラン..... 565、567、595
TRACK スイッチ..... 188、192、201、
223、241、305
ドルビーデジタル..... 233

な

NAVI・AI-SHIFT 127
ナビゲーション画面の調整 25
ナビゲーション画面の見方 43
ナビゲーション用アンテナ
（GPS アンテナ）..... 33
ナビ詳細設定..... 128
　案内表示設定..... 130
　音声設定 130
　自動表示切替設定 129
　その他 131
　地図表示設定..... 128
　ルート系設定..... 131
ナビ設定の記憶・消去 ..... 125、126
ナビ発信 462
ナビ連携機能..... 554
　G 情報マーク表示..... 570
　G 情報マーク連動サービス 571
　G で設定 567
　G メモリ地点..... 563
　G ルート探索..... 557
　施設情報表示..... 569
　渋滞予測 559
　ドライブプラン..... 565、567

に

2 画面表示・解除 50
　右画面の設定..... 50
入力履歴の削除..... 22

の

ノースアップ表示..... 49

は

ハイウェイモード表示・解除 ..... 65、66
パスキー
　オーディオ..... 319
　ハンズフリー..... 480
バックガイドモニター 376
パッケージ..... 599
HDD（ハードディスク）
　オーディオ..... 234
ハートフル音声..... 70
パワースイッチ..... 174
ハンズフリー..... 439
ハンズフリーの準備 448
ハンズフリーの設定 467
販売店の修正..... 137
販売店の消去..... 137
販売店の設定..... 136

ひ

B-CAS カード情報..... 286
ビジュアルシティマップ表示 59
VICS・交通情報 151
　渋滞・規制音声案内 154
　渋滞考慮探索..... 157
　新旧ルート比較表示 158
　VICS 記号 165
　VICS・交通情報の表示設定 153
　VICS 図形情報・文字情報..... 155
　放送局の選択..... 159
　割込情報の表示・設定 ..... 155、156
ビデオ CD 222
　一時停止する..... 225
　音声モードの切り替え 228
　画面モードの切り替え 228
　再生する..... 224
　再生中の操作について 229
　使用できるディスク 171
　スロー再生する 226
　停止する..... 225
　ディスクの出し入れ 185
　早送り、早戻し 225
　見たい場所を選ぶ 226
　メニュー画面の表示 227
　メニュー番号を選ぶ 227
昼画表示..... 26
ヒント機能..... 14
ピンポイント検索 82

ふ

フェリー航路の案内 100
ブックマーク（G-Link）..... 581
　ブックマークの削除 583
　ブックマークの修正 582
　ブックマークの登録 581
プライバシー設定 584
ブラウザ..... 573
　閲覧履歴..... 579
　閲覧履歴削除..... 579
　閲覧履歴表示..... 579
　自動読上げ..... 576
Bluetooth オーディオ..... 301
Bluetooth オーディオの再生
　アルバムを選ぶ..... 307
　一時停止する..... 306
　曲を選ぶ..... 307
　繰り返し聞く 308
　再生する..... 292
　早送り、早戻し 307
　ランダムに聞く 308
Bluetooth オーディオの設定
　車載機の Bluetooth 設定を初期化する
　　..... 320

車載機の Bluetooth 設定を
変更する 319
ポータブルオーディオの
詳細情報を表示する 316
ポータブルオーディオの接続 311
ポータブルオーディオの選択 315
ポータブルオーディオの登録 309
ポータブルオーディオの登録を
削除する 321
Bluetooth 携帯電話 441
Bluetooth 接続確認表示
オーディオ 312
ハンズフリー..... 449
Bluetooth 接続状態表示
オーディオ 302
ハンズフリー..... 445
Bluetooth 設定 480
プローブコミュニケーション
交通情報 554
フロントワイド表示..... 49

へ

平均車速の設定（車速設定）..... 99
ヘディングアップ表示..... 49
ヘルプネット
（エアバッグ連動タイプ）..... 508
緊急通報 515
故障とお考えになる前に 526
サービス開始操作..... 513
自動保守点検..... 520
手動保守点検..... 520

ほ

方位マーク 43
補正が必要なとき 123
ポータブルオーディオ詳細情報表示.... 316
ポータブルオーディオの接続 311
自動接続 311
手動接続 313
ポータブルオーディオの選択 315
ポータブルオーディオの登録 309
ポータブルオーディオの登録を
削除する 321
VOL ツマミ..... 174

ま

マイク ..... 341、443、509
My リクエスト..... 591
My リクエスト画面..... 591
My リクエスト編集..... 596
マップオンデマンド
（地図差分更新）..... 538
更新日の確認..... 545
故障とお考えになる前に 547
差分更新 538
CD・DVD で更新 543
全更新 538
地図更新画面..... 541
通信モジュールで更新 542
マップコード..... 80
マップコードで地図を呼び出す 80
マップマッチング..... 38
マルチアングル..... 232
マルチランゲージ..... 232

み

右画面の設定（2 画面表示時）..... 50

め

名称で地図を呼び出す 74
メインメニュー 572
メモリ地点の修正 114
　位置修正 119
　自宅・特別メモリ地点に登録 115
　自宅・特別メモリ地点の解除 115
　電話番号入力 119
　マークの変更 115
　名称入力 117
　名称表示 118
　名称読み入力 118
メモリ地点の消去 120
メモリ地点の登録 113
メンテナンス機能 133
　自動通知（メンテナンス案内）の設定 136
　メンテナンス案内 134
　メンテナンス時期の設定 133
　メンテナンス詳細設定 135
　メンテナンス設定の更新 ..... 135、136
　メンテナンス設定の消去 ..... 134、136

も

モードの切り替え（オーディオ） 176
目的地案内 84
目的地案内の開始・中止 92
目的地の消去 108
目的地の設定 85
目的地の追加 106
目的地の並び替え 107
目的地方向マーク 43
目的地履歴の消去 112
文字入力
　ソフトウェアキーボード 15
　メモリ地点の名称入力 117
　名称で地図を呼び出す 74

ゆ

USB 端子 13
USB メモリー 295
　MP3/WMA について 299
　同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く 296
　同じフォルダを繰り返し聞く 297
　聞きたい曲（ファイル）を選ぶ 296
　聞きたいフォルダを選ぶ 295
　再生する 295
　全フォルダの中からランダムに聞く 297
　早送り、早戻しする 296
　フォルダの中から曲（ファイル）を探す 298
　フォルダの中からランダムに聞く 297
　フォルダを探す 298
　USB メモリーについて 298
ユーザー画面 503
郵便番号で地図を呼び出す 80
有料コンテンツ 504

よ

予測変換候補の表示設定 22
呼び出した地図の操作 82
夜画表示 26

ら

ラジオ 180
　エリアスイッチについて 183
　交通情報放送を聞く 184
　自動で放送局を記憶する 182
　放送局を選ぶ 181
　放送局を記憶する 182
　ラジオを聞く 180
ラジオ用アンテナ 33

り

リアル市街図表示..... 52
リージョンコード（地域番号）
..... 230、232
リスト画面の切り替え方..... 23
立体ランドマークの表示..... 59
リニア PCM..... 233
リダイヤル 478
立体的な拡大図表示..... 97
利用開始操作 502
料金案内 99
量子化ビット 233
利用手続き
G-Link..... 500
G-SOUND 楽曲 603
履歴で地図を呼び出す..... 81
履歴の削除
G-BOOK..... 579
ソフトウェアキーボード 22
ハンズフリー..... 460
履歴発信 459

る

ルート学習 86
ルート学習結果の消去..... 87
ルート系設定 131
ルート情報（案内道路情報）..... 90
ルート探索 86
ルートの再探索..... 104
自動再探索 104
ルート変更 106
季節規制区間の迂回ルート探索 111
探索条件の変更..... 106
通過道路指定の解除..... 111
通過道路の指定..... 109
通過道路の修正..... 110
出入口 IC の指定・解除..... 109
目的地の消去..... 108
目的地の追加..... 106
目的地の並び替え 107
ルート変更画面の表示..... 106
ルートを考慮したリストの表示 58

れ

レーンリスト図表示・解除 95
レクサスオーナーズデスク 548
情報確認 550
レクサスオーナーズデスクの利用.... 548
連続車線変更案内..... 97

ろ

ロック No..... 483
録音する 237

わ

割込情報
（ビーコン即時案内）の表示 155
ワンタッチスクロール（地図の移動）.... 47
ワンタッチダイヤル..... 461
ワンタッチダイヤルの削除 478
ワンタッチダイヤルの登録 478
ワンタッチ発信..... 461

索引

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

(約款の適用)

第 1 条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

(契約の単位)

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サー ビス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条

1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条

1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表 視聴料金］

視聴料金：315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

※この契約約款は、2006 年 6 月 1 日変更時のものを掲載しています。

「個人情報保護方針」については、http://lexus.jp にて掲載しております。

●印刷　2009年 8 月20日　II
●発行　2009年 8 月27日　初版

M30B40
01999-30B40